第 10 次上川町総合計画

まちづくりアンケート調査

結果報告書

平成 29 年 8 月

上川町

目　　次

I 調査概要……1
1 調査対象 ……1
2 調査方法 ……1
3 質問項目 ……2

II 調査結果の概要……3
1 対象者の特性……3
2 生活やまちづくりへの期待……3
3 分野別対策への意向 ……5

III 調査結果……7
1 対象者の概要……7
（1） 性別 ……7
（2） 年齢 ……9
（3） 職業 ……10
（4） 家族人数……13
（5） 家族構成……15
（6） 居住歴……17
（7） 居住地区……19
（8） 出生地……22

2 生活やまちづくりへの期待……24
（1） 上川町の印象（イメージ） ……24
（2） 上川町の特徴（複数回答） ……27
（3） 今後の居住意向 ……31
（4） 上川町の将来像 ……34
（5） 現在の生活の満足度……38
（6） 現在の生活の総合的な満足度 ……62
（7） 町政（まちづくり）への参加方法……65

3 分野別対策への意向 ……68
（1） 健康で安心した生活を送るための対策 ……68
（2） 子育て環境の整備・子育て支援の推進 ……72
（3） 老後も生きがいを持ち、充実した生活を送るための対策……77
（4） 居住環境の改善すべき点 ……82

（５） 移住の際の問題点 88
（６） 空き家対策 91
（７） 防災対策 94
（８） 地域産業の振興方策 98
（９） 農林水産業の振興方策 101
（１０） 商業の振興方策 105
（１１） 観光振興方策 109
（１２） 環境と共生したまちづくりを進める上での対策 112
（１３） 交通網の整備 115
（１４） 情報化の推進 118
（１５） 日常的な学習活動や文化活動の促進にむけた施策 121
（１６） スポーツ活動や青年活動、レクリエーション活動の促進にむけた施策 .. 126
（１７） 町民の主体的な活動への参加意向 130
（１８） 国際化の推進 135
（１９） 他地域との関わり 138
（２０） 結びつくことが望ましい分野 141

４ まちづくりについてのアイディアや意見 144
（１） 保健・医療・福祉 144
（２） 生活環境 145
（３） 産業 146
（４） 地域環境 148
（５） 教育・文化・スポーツ 152
（６） 町民との協働 152
（７） まちづくり全般、その他 155

Ⅰ　調査概要

1　調査対象

平成 29 年 6 月 1 日現在の住民基本台帳による町内全世帯（1,830 世帯）を対象とした。

回収数※は 927 票、回収率は 50.7％となった。

※無効票 3 票含む

2　調査方法

・調査期間　　：平成 29 年 6 月 30 日（金）～ 7 月 14 日（金）

・回収期限　　：平成 29 年 7 月 24 日（月）までに回収された 885 票を集計

　　：回収期限以降の調査票は、自由意見のみ掲載

・配布・回収方法

　・市街地：公区委員による全戸配布、郵送または個別訪問による回収（共進を除く）

　・農村地域・共進・白川・清川・層雲峡：郵送による配布・回収

表　地区別配布・回収状況（集計分）　（単位：票）

地区名		配布数	回収数	回収率
市街地（東地区）	本町	193	101	52.3%
	旭町	163	79	48.5%
	東町	158	87	55.1%
	新町	110	48	43.6%
	小計	624	315	50.5%
市街地（北地区）	中央町	70	33	47.1%
	南町	88	49	55.7%
	北町	75	54	72.0%
	花園町	183	97	53.0%
	西町	115	56	48.7%
	小計	531	289	54.4%
市街地（西地区）	栄町	164	97	59.1%
	新光町	151	76	50.3%
	川端町	34	19	55.9%
	共進	44	18	40.9%
	小計	393	210	53.4%
市街地　計		1,548	814	52.6%
農村地域	東雲	38	7	18.4%
	菊水	33	7	21.2%
	越路	14	2	14.3%
	日東	10	5	50.0%
	天幕	1	1	100.0%
	豊原	6	2	33.3%
	小計	102	24	23.5%
白川・清川	白川	4	0	0.0%
	清川	17	0	0.0%
	小計	21	0	0.0%
層雲峡		159	27	17.0%
居住地区不明		-	20	-
合計		1,830	885	48.4%

3　質問項目

質問項目	内　　容
1　回答者について	・回答者の性別・年齢・職業・家族人数・家族構成 ・居住歴・居住地域・出生地
2　上川町のイメージやまちづくりに期待すること	・上川町の印象（イメージ） ・上川町の特徴 ・今後の居住意向 ・上川町の将来像
3　生活やまちづくりに関する満足度	・生活やまちづくりに関する満足度（保健・医療・福祉、生活環境、産業、地域環境、教育・文化・スポーツ、町民との協働） ・生活やまちづくりに関する総合的な満足度 ・町政への参加方法
4）分野別対策や意向	・健康対策（複数回答） ・子育て対策（複数回答） ・老後の生きがい対策（複数回答） ・居住環境の改善点（複数回答） ・移住に対する問題点（複数回答） ・空き家対策（複数回答） ・防災対策（複数回答） ・地域産業の振興方策（複数回答） ・農林水産業の振興方策（複数回答） ・商業の振興方策（複数回答） ・観光振興方策（複数回答） ・環境共生まちづくりへの対策（複数回答） ・交通網の整備（複数回答） ・情報化の推進（複数回答） ・学習活動や文化活動の促進（複数回答） ・スポーツ活動や青年活動、レクリエーション活動の促進施策（複数回答） ・まちづくり活動参加意向（複数回答） ・国際化の推進（複数回答） ・他地域との関わり方（複数回答） ・他地域と関わりを強めることが望ましい分野（複数回答）
5　まちづくりについて（自由記述）	

II　調査結果の概要

1　対象者の特性

項　目	調査結果
年齢	「70 歳以上」が 44.6%で最も多く、次いで「60 代」が 24.7%、「50 代」が 12.8%
職業	「年金生活者」が 33.9%で最も多く、次いで「主婦」が 11.8%、「無職」が 10.5%、「金融サービス業」が 8.8%
家族構成	「夫婦のみ」が 39.2%で最も多く、次いで「単身」が 29.3%、「夫婦と子ども」が 14.2%
居住歴	「31 年以上」が 57.1%で最も多く、次いで「生まれてからずっと」が 14.2%、「21 年～30 年」が 9.6%
現在の居住地区	「市街地」が 92.0%、「農村地域」が 2.7%、「層雲峡」が 3.1%
出生地	「上川町」が 37.1%で最も多く、次いで「道内の他市町村」が 22.0%、「上川町の近隣の町村」が 9.4%

2　生活やまちづくりへの期待

（1）上川町のイメージ・特徴

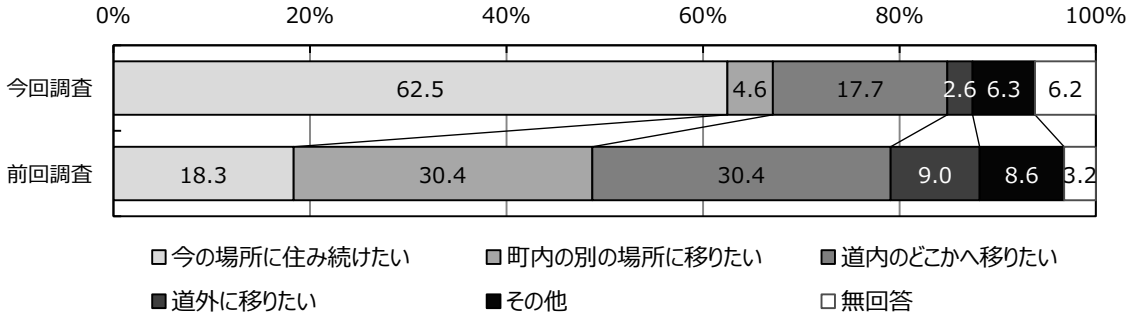
・ 上川町の印象（イメージ）は、「安心できる町」が、「そう思う」、「ややそう思う」合わせて 62.1%で最も多く、次いで「清楚な町」が 53.5%、「明るい町」が 46.6%、「ふれあいや連帯感のある町」が 46.3%である。

・ 上川町の特徴を表す一言は、「自然が豊かなまち」が 60.1%で最も多く、次いで「水と空気のおいしいまち」が 40.6%、「温泉のまち」が 22.1%である。

（2）今後の居住意向

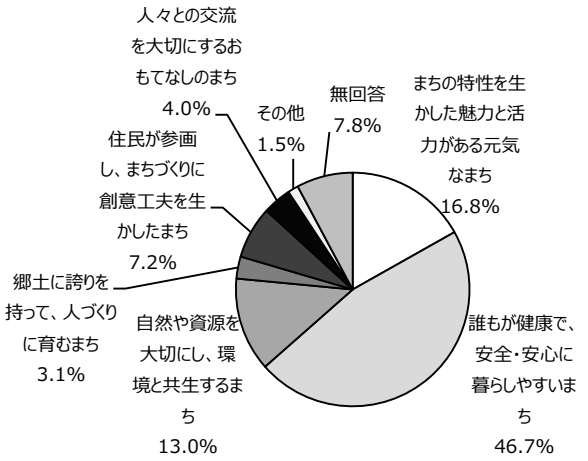
・ 今後の居住意向は、「今の場所に住み続けたい」が 62.5%で最も多く、次いで「道内のどこかへ移りたい」が 17.7%である。

・ 前回調査（第 9 次総合計画住民意識調査）と比べて「今の場所に住み続けたい」が大幅に増加している。



（3）上川町の将来像

・ 将来の上川町の望ましい姿は、「誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち」が46.7%で最も多く、次いで「まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち」が16.8%である。

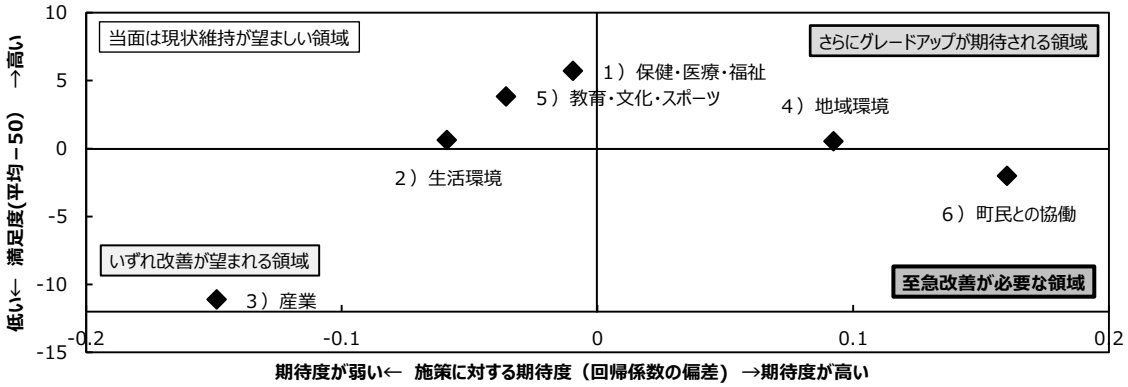


（4）現在の生活の満足度

項　目	満足傾向※	不満傾向※
保健・医療・福祉	「保健・健康対策病気の予防や各種検診など)」が 42.8%で最も多く、次いで「高齢者や障がい者への福祉サービス」が 28.7%	「病院など医療機関」が 29.2%で最も多い。
生活環境	「ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動」が 51.3%で最も多く、次いで「上下水道などの施設整備」が 37.8%	「空き家対策」が 49.6%で最も多く、次いで「移住定住対策」が 29.6%
産業	「観光の振興」が 17.3%で最も多い。	「雇用の場の拡大」が 50.8%で最も多く、次いで「商業の振興、買い物の便利さ」が 48.3%
地域環境	「自然環境（緑の豊かさ、川の水質など)」が 58.4%で最も多く、次いで「緑化、花いっぱいの推進」が 35.8%	「雪対策の充実」が 38.3%で最も多く、次いで「市街地や商店街の整備」が 23.9%
教育・文化・スポーツ	「小中学校、高等学校などの学校教育」が 23.1%で最も多いが、他の項目と大きな違いはみられない。	不満傾向が多い項目は、「スポーツ活動の施設、取り組み」が 11.5%で最も多い。
町民との協働	「広報活動、情報化への取り組み」が 18.8%で最も多く、次いで「コミュニティの推進（地域活動など)」が 16.3%	「情報共有と協働のまちづくりの推進」が 17.6%で最も多く、次いで「町政（まちづくり）への住民参加」が 17.3%

※満足傾向：「満足」または「やや満足」の回答割合　　不満傾向：「不満」または「やや不満」の回答割合

・ 現在の生活の総合的な満足度については、満足傾向が 20.6%、不満傾向は 19.3%であり、満足傾向がわずかに上回っている。
・ 現状の満足度平均と各項目に対する期待度にみると、満足度が最も高い項目は「保健・医療・福祉」であり、最も低い項目は「産業」である。また領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「町民との協働」であり、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「地域環境」となっている。



（５）町政への参加方法

・ 町政への参加方法については、「役場や議会、専門家などに一任する」が 18.4%で最も多く、次いで「関心がない」が 14.0%であり、約３割は町政への自発的な参加に対して関心が低い。以下、「選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示をしたい」が 13.7%、「「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい」が 12.2%である。

３　分野別対策への意向

項　目	調査結果
健康で安心した生活を送るための対策	「地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実を図る」が 36.8%で最も多く、次いで「年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する」が 34.1%
子育て環境や支援を進めるための対策	「乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化を進める」が 19.5%で最も多く、次いで「地域全体で子供を育む環境の充実を図る」が 18.3%
老後も充実した生活を送るための対策	「ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備を検討する」が 24.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実を図る」が 19.0%
居住環境で改善すべき点	「積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する」が 43.1%で最も多く、次いで「災害に強いまちづくりを推進する」が 28.8%
町外から上川町に移住する際の問題点	「町外から移住してきても定住するための仕事がない」が 67.1%で最も多く、次いで「買い物、娯楽などの商業施設が少ない」が 22.5%
空き家対策	「空き家撤去に対する持ち主への支援」が 39.2%で最も多く、次いで「危険な空き家について行政の代執行による撤去」が 28.9%
防災対策	「異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実を図る」が 47.9%で最も多く、次いで、「大規模災害等に備える広域支援体制の整備を進める」が 23.1%
地域産業の振興方策	「雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が 36.7%で最も多く、次いで「次代を担う人材育成」が 23.7%

項　目	調査結果
農林水産業の振興方策	「後継者の確保・育成」が 32.9%で最も多く、次いで「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」が 24.1%
商業の振興方策	「町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充」が 48.9%で最も多く、次いで「地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策」が 30.2%
観光振興方策	「大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり」が 40.9%で最も多く、次いで「温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり」が 38.9%
環境と共生したまちづくり対策	「大雪山の魅力を後世に引き継ぐ」が 41.1%で最も多く、次いで「地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る」が 39.0%
交通網整備の改善点	「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」が 49.5%で最も多く、次いで「除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大を図る」が 39.4%
情報化推進の改善点	「行政からの情報発信を強化する」が 34.9%で最も多く、次いで「地域ぐるみで情報化学習を推進する」が 29.4%
学習活動や文化活動促進に向けた施策	「子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実を図る」が 30.4%で最も多く、次いで「学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流を推進する」が 19.8%
スポーツや青年活動、レクリエーション活動促進に向けた施策	「地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動を推進する」が 29.7%で最も多く、次いで「スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援を図る」が 22.4%
まちづくり活動の参加希望	「地元産品の利用や、町内での買物に心がける」が 32.1%で最も多く、次いで「あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加する」が 28.6%
国際化推進の改善点	「学校における語学・国際理解学習を強化する」が 31.5%で最も多く、次いで「外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する」が 29.6%
他地域との関わり	第 1 位の占める割合は「旭川圏 1 市 8 町との結びつきを強める」が 51.9%で最も多く、次いで「旭川市との結びつきを強める」が 26.9%
他地域と結びつくことが望ましい分野	第 1 位の占める割合は「保健医療・介護福祉分野」が 58.0%で最も高く、次いで「観光・産業経済分野」が 28.3%

III　調査結果

1　対象者の概要

（1）性別

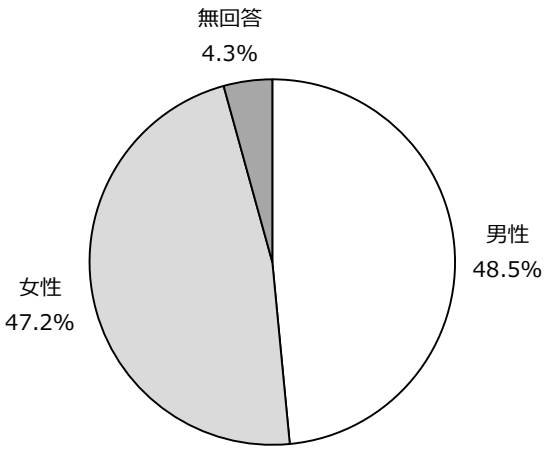
1－①性別

1．男性　　2．女性

回答者のうち「男性」は 48.5%、「女性」は 47.2%で男性の占める割合が若干多い。

地区別にみると、農村地域及び層雲峡で男性の占める割合が高く、市街地（東地区）で女性の占める割合が高くなっている。

年齢別にみると、20 歳未満及び 50～60 代で男性が多く、40 代で女性が多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地　計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
男性	140 44.4%	144 49.8%	101 48.1%	385 47.3%	21 87.5%	18 66.7%	5 25.0%	429 48.5%
女性	165 52.4%	132 45.7%	101 48.1%	398 48.9%	3 12.5%	7 25.9%	10 50.0%	418 47.2%
無回答	10 3.2%	13 4.5%	8 3.8%	31 3.8%	0 0.0%	2 7.4%	5 25.0%	38 4.3%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
男性	2 100.0%	9 50.0%	25 48.1%	30 39.5%	59 52.2%	114 52.1%	188 47.6%	2 20.0%	429 48.5%
女性	0 0.0%	8 44.4%	27 51.9%	46 60.5%	52 46.0%	99 45.2%	185 46.8%	1 10.0%	418 47.2%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.8%	6 2.7%	22 5.6%	7 70.0%	38 4.3%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

（2）年齢

1－②年齢

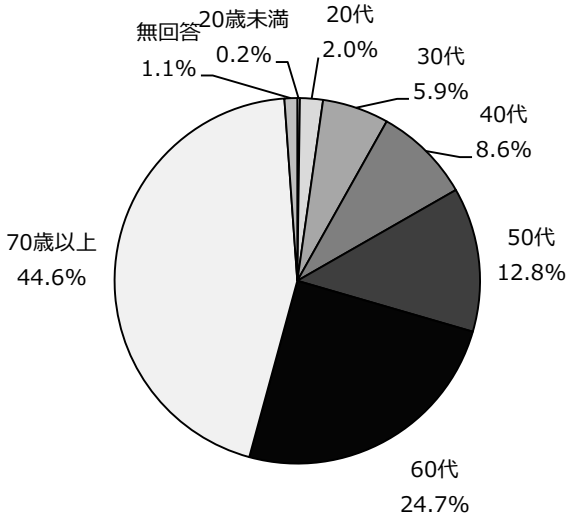
ア．20 歳未満　　イ．20 歳～29 歳　　ウ．30 歳～39 歳

エ．40 歳～49 歳　　オ．50 歳～59 歳　　カ．60 歳～64 歳

キ．65 歳～69 歳　　ク．70 歳～74 歳　　ケ．75 歳以上

回答者の年齢は、「70 歳以上」が 44.6%で最も多く、次いで「60 代」の 24.7%、「50 代」の 12.8%となっており、「60 歳以上」の高齢者が 69.3%を占めている。

地区別にみると、市街地で「70 歳以上」が多く、農村地域は「60 代」「70 歳以上」、層雲峡は「50 代」「60 代」がそれぞれ多くなっている。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地　計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
20 歳未満	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	2 0.2%
20 代	2 0.6%	9 3.1%	2 1.0%	13 1.6%	0 0.0%	4 14.8%	1 5.0%	18 2.0%
30 代	16 5.1%	12 4.2%	19 9.0%	47 5.8%	2 8.3%	3 11.1%	0 0.0%	52 5.9%
40 代	30 9.5%	20 6.9%	20 9.5%	70 8.6%	1 4.2%	2 7.4%	3 15.0%	76 8.6%
50 代	40 12.7%	38 13.1%	25 11.9%	103 12.7%	2 8.3%	8 29.6%	0 0.0%	113 12.8%
60 代	65 20.6%	78 27.0%	54 25.7%	197 24.2%	9 37.5%	9 33.3%	4 20.0%	219 24.7%
70 歳以上	160 50.8%	130 45.0%	89 42.4%	379 46.6%	10 41.7%	0 0.0%	6 30.0%	395 44.6%
無回答	2 0.6%	1 0.3%	1 0.5%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	10 1.1%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

（3）職業

１－③職業

１．農業　２．林業　３．製造業　４．建設業　５．商業

６．金融・サービス業　７．公務員　８．団体職員　９．その他の職業

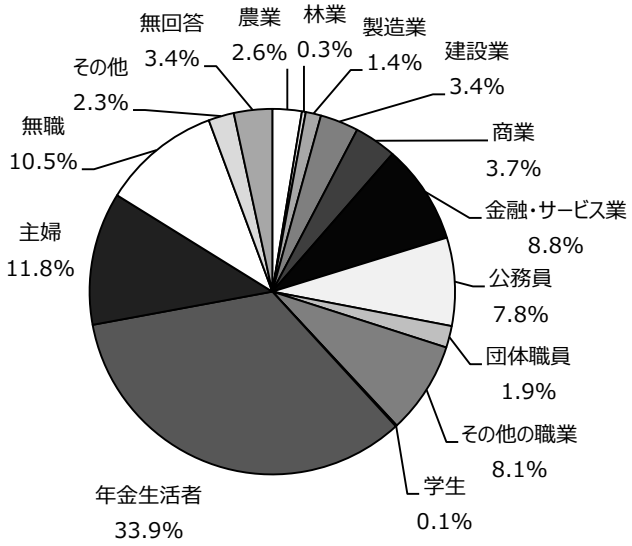
１０．学生　１１．年金生活者　１２．主婦

１３．無職（年金生活者、主婦を除く）　１４．その他（　　）

回答者の職業は、「年金生活者」が 33.9%で最も多く、次いで「主婦」が 11.8%、「無職」が 10.5%、「金融・サービス業」が 8.8%となっている。

地区別にみると、市街地では「年金生活者」が多く、農村地域では「農業」、層雲峡では「金融・サービス業」が多くなっている。

年齢別にみると、20～50 代が「公務員」、60 代以上は「年金生活者」が多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
農業	2 0.6%	2 0.7%	6 2.9%	10 1.2%	11 45.8%	0 0.0%	2 10.0%	23 2.6%
林業	1 0.3%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%
製造業	5 1.6%	4 1.4%	2 1.0%	11 1.4%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	12 1.4%
建設業	7 2.2%	9 3.1%	14 6.7%	30 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	30 3.4%
商業	10 3.2%	16 5.5%	5 2.4%	31 3.8%	1 4.2%	1 3.7%	0 0.0%	33 3.7%
金融・サービス業	25 7.9%	18 6.2%	14 6.7%	57 7.0%	0 0.0%	19 70.4%	2 10.0%	78 8.8%
公務員	24 7.6%	23 8.0%	21 10.0%	68 8.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	69 7.8%
団体職員	7 2.2%	1 0.3%	9 4.3%	17 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 1.9%
その他の職業	20 6.3%	28 9.7%	17 8.1%	65 8.0%	1 4.2%	4 14.8%	2 10.0%	72 8.1%
学生	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
年金生活者	119 37.8%	106 36.7%	65 31.0%	290 35.6%	7 29.2%	0 0.0%	3 15.0%	300 33.9%
主婦	48 15.2%	31 10.7%	23 11.0%	102 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	104 11.8%
無職	31 9.8%	34 11.8%	26 12.4%	91 11.2%	1 4.2%	0 0.0%	1 5.0%	93 10.5%
その他	7 2.2%	5 1.7%	4 1.9%	16 2.0%	1 4.2%	3 11.1%	0 0.0%	20 2.3%
無回答	8 2.5%	11 3.8%	4 1.9%	23 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	7 35.0%	30 3.4%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
農業	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	0 0.0%	3 2.7%	7 3.2%	7 1.8%	1 10.0%	23 2.6%
林業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	1 0.3%	0 0.0%	3 0.3%
製造業	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	2 1.8%	5 2.3%	1 0.3%	0 0.0%	12 1.4%
建設業	0 0.0%	0 0.0%	4 7.7%	5 6.6%	8 7.1%	7 3.2%	6 1.5%	0 0.0%	30 3.4%
商業	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	6 7.9%	10 8.8%	6 2.7%	10 2.5%	0 0.0%	33 3.7%
金融・サービス業	1 50.0%	5 27.8%	8 15.4%	8 10.5%	17 15.0%	34 15.5%	5 1.3%	0 0.0%	78 8.8%
公務員	0 0.0%	6 33.3%	11 21.2%	22 28.9%	23 20.4%	7 3.2%	0 0.0%	0 0.0%	69 7.8%
団体職員	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	7 9.2%	3 2.7%	6 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	17 1.9%
その他の職業	1 50.0%	2 11.1%	8 15.4%	12 15.8%	21 18.6%	22 10.0%	6 1.5%	0 0.0%	72 8.1%
学生	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
年金生活者	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	57 26.0%	241 61.0%	1 10.0%	300 33.9%
主婦	0 0.0%	3 16.7%	7 13.5%	11 14.5%	13 11.5%	34 15.5%	36 9.1%	0 0.0%	104 11.8%
無職	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	6 5.3%	24 11.0%	61 15.4%	0 0.0%	93 10.5%
その他	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	0 0.0%	5 4.4%	5 2.3%	7 1.8%	0 0.0%	20 2.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%	2 1.8%	3 1.4%	14 3.5%	8 80.0%	30 3.4%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

（4）家族人数

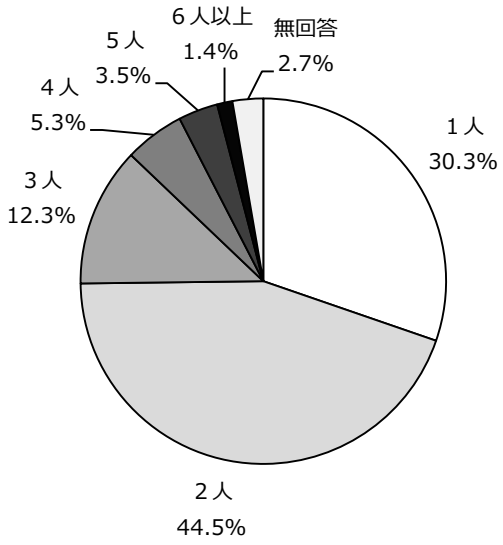
１－④家族人数

ア．１人　　イ．２人　　ウ．３人　　エ．４人　　オ．５人　　カ．６人以上

回答者の家族人員は、「２人」が 44.5%で最も多く、次いで「１人」が 30.3%、「３人」が 12.3%となっている。

地区別にみると、層雲峡では「１人」が最も多いが、他の地区は「２人」が多い。また農村地域では、他地区と比較して「１人」が少ない。

年齢別にみると、20 代以下及び 40 代が「1 人」、50 歳以上は「2 人」、30 代は「３人」がそれぞれ多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
1人	95 30.2%	80 27.7%	64 30.5%	239 29.4%	3 12.5%	22 81.5%	4 20.0%	268 30.3%
2人	146 46.3%	131 45.3%	97 46.2%	374 45.9%	13 54.2%	4 14.8%	3 15.0%	394 44.5%
3人	41 13.0%	42 14.5%	22 10.5%	105 12.9%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	109 12.3%
4人	14 4.4%	16 5.5%	14 6.7%	44 5.4%	2 8.3%	0 0.0%	1 5.0%	47 5.3%
5人	13 4.1%	5 1.7%	7 3.3%	25 3.1%	1 4.2%	0 0.0%	5 25.0%	31 3.5%
6人以上	1 0.3%	5 1.7%	3 1.4%	9 1.1%	1 4.2%	1 3.7%	1 5.0%	12 1.4%
無回答	5 1.6%	10 3.5%	3 1.4%	18 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 30.0%	24 2.7%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不明	合計
1人	2 100.0%	7 38.9%	12 23.1%	18 23.7%	28 24.8%	56 25.6%	145 36.7%	0 0.0%	268 30.3%
2人	0 0.0%	2 11.1%	5 9.6%	16 21.1%	45 39.8%	125 57.1%	199 50.4%	2 20.0%	394 44.5%
3人	0 0.0%	6 33.3%	15 28.8%	12 15.8%	18 15.9%	26 11.9%	31 7.8%	1 10.0%	109 12.3%
4人	0 0.0%	0 0.0%	13 25.0%	11 14.5%	13 11.5%	8 3.7%	2 0.5%	0 0.0%	47 5.3%
5人	0 0.0%	2 11.1%	6 11.5%	14 18.4%	4 3.5%	1 0.5%	3 0.8%	1 10.0%	31 3.5%
6人以上	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	5 6.6%	2 1.8%	2 0.9%	1 0.3%	0 0.0%	12 1.4%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.7%	1 0.5%	14 3.5%	6 60.0%	24 2.7%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

（５）家族構成

１－⑤家族構成

１．単身（一人暮らし）　２．夫婦のみ　３．夫婦と子ども

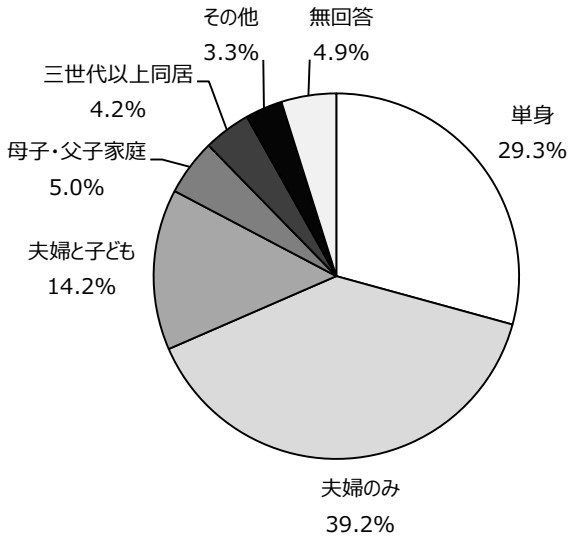
４．母子・父子家庭　５．親・子・孫など（三世代以上同居）

６．その他（　　）

回答者の家族構成は、「夫婦のみ」が 39.2%で最も多く、次いで「単身」が 29.3%、「夫婦と子ども」が 14.2%となっている。

地区別にみると、層雲峡では「単身」が多く、市街地と農村地域では「夫婦のみ」が多い。市街地では「夫婦と子ども」と「母子・父子家庭」を合わせると２割を超えているものの農村地域、層雲峡はそれを下回っている。

年齢別にみると、20 代以下は「単身」、30～40 歳は「夫婦と子ども」、50 歳以上は「夫婦二人」がそれぞれ多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
単身	94	77	60	231	3	22	3	259
	29.8%	26.6%	28.6%	28.4%	12.5%	81.5%	15.0%	29.3%
夫婦のみ	130	114	85	329	12	2	4	347
	41.3%	39.4%	40.5%	40.4%	50.0%	7.4%	20.0%	39.2%
夫婦と子ども	47	45	30	122	2	0	2	126
	14.9%	15.6%	14.3%	15.0%	8.3%	0.0%	10.0%	14.2%
母子・父子家庭	16	14	13	43	0	1	0	44
	5.1%	4.8%	6.2%	5.3%	0.0%	3.7%	0.0%	5.0%
三世代以上同居	8	13	10	31	1	0	5	37
	2.5%	4.5%	4.8%	3.8%	4.2%	0.0%	25.0%	4.2%
その他	8	12	4	24	3	2	0	29
	2.5%	4.2%	1.9%	2.9%	12.5%	7.4%	0.0%	3.3%
無回答	12	14	8	34	3	0	6	43
	3.8%	4.8%	3.8%	4.2%	12.5%	0.0%	30.0%	4.9%
回答者数	315	289	210	814	24	27	20	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
単身	2	7	13	18	27	58	134	0	259
	100.0%	38.9%	25.0%	23.7%	23.9%	26.5%	33.9%	0.0%	29.3%
夫婦のみ	0	2	3	9	37	103	191	2	347
	0.0%	11.1%	5.8%	11.8%	32.7%	47.0%	48.4%	20.0%	39.2%
夫婦と子ども	0	6	28	28	19	18	26	1	126
	0.0%	33.3%	53.8%	36.8%	16.8%	8.2%	6.6%	10.0%	14.2%
母子・父子家庭	0	1	4	8	14	13	4	0	44
	0.0%	5.6%	7.7%	10.5%	12.4%	5.9%	1.0%	0.0%	5.0%
三世代以上同居	0	1	1	9	8	9	8	1	37
	0.0%	5.6%	1.9%	11.8%	7.1%	4.1%	2.0%	10.0%	4.2%
その他	0	1	2	2	8	11	5	0	29
	0.0%	5.6%	3.8%	2.6%	7.1%	5.0%	1.3%	0.0%	3.3%
無回答	0	0	1	2	0	7	27	6	43
	0.0%	0.0%	1.9%	2.6%	0.0%	3.2%	6.8%	60.0%	4.9%
回答者数	2	18	52	76	113	219	395	10	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

（6）居住歴

2　居住歴

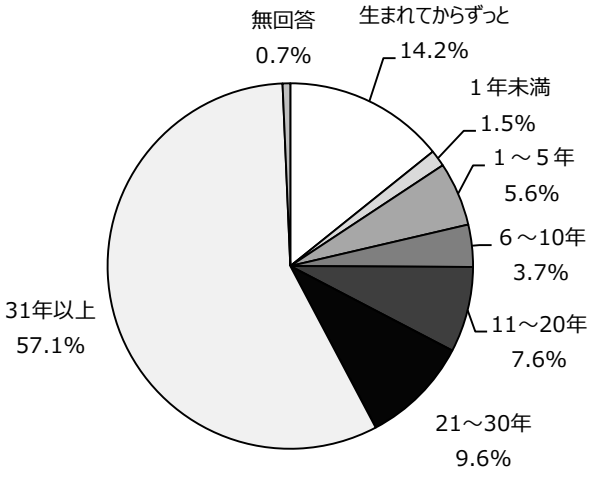
1．生まれてからずっと　2．1年未満　3．1～5年　4．6～10年

5．11～20年　6．21～30年　7．31年以上

回答者の居住歴は、「31 年以上」が 57.1%で最も多く、次いで「生まれてからずっと」が 14.2%であり、長期居住者が約 7 割を占めている。以下、「21～30 年」が 9.6%、「11～20 年」が 7.6%で、5 年以下の居住歴はわずか 7.1%である。

地区別にみると、市街地及び農村地域は「31 年以上」が多く、層雲峡では「1～5 年」、「6～10 年」及び「11～20 年」が同程度である。市街地内では、市街地（北地区）が他に比べ 10 年以下の比率が多い。

年齢別にみると、20 代は「1～5 年」、30～40 代は「11～20 年」、50 代以上は「31 年以上」がそれぞれ多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
生まれてからずっと	46 14.6%	42 14.5%	28 13.3%	116 14.3%	9 37.5%	0 0.0%	1 5.0%	126 14.2%
1年未満	2 0.6%	6 2.1%	4 1.9%	12 1.5%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	13 1.5%
1～5年	19 6.0%	17 5.9%	6 2.9%	42 5.2%	1 4.2%	7 25.9%	0 0.0%	50 5.6%
6～10年	4 1.3%	12 4.2%	9 4.3%	25 3.1%	0 0.0%	7 25.9%	1 5.0%	33 3.7%
11～20年	25 7.9%	18 6.2%	13 6.2%	56 6.9%	1 4.2%	8 29.6%	2 10.0%	67 7.6%
21～30年	29 9.2%	24 8.3%	27 12.9%	80 9.8%	2 8.3%	1 3.7%	2 10.0%	85 9.6%
31年以上	190 60.3%	169 58.5%	122 58.1%	481 59.1%	11 45.8%	3 11.1%	10 50.0%	505 57.1%
無回答	0 0.0%	1 0.3%	1 0.5%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 20.0%	6 0.7%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不明	合計
生まれてからずっと	0 0.0%	1 5.6%	6 11.5%	9 11.8%	22 19.5%	29 13.2%	59 14.9%	0 0.0%	126 14.2%
1年未満	1 50.0%	1 5.6%	4 7.7%	4 5.3%	3 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 1.5%
1～5年	1 50.0%	10 55.6%	10 19.2%	9 11.8%	10 8.8%	9 4.1%	1 0.3%	0 0.0%	50 5.6%
6～10年	0 0.0%	4 22.2%	9 17.3%	7 9.2%	1 0.9%	8 3.7%	3 0.8%	1 10.0%	33 3.7%
11～20年	0 0.0%	1 5.6%	12 23.1%	20 26.3%	12 10.6%	11 5.0%	10 2.5%	1 10.0%	67 7.6%
21～30年	0 0.0%	1 5.6%	6 11.5%	12 15.8%	26 23.0%	23 10.5%	16 4.1%	1 10.0%	85 9.6%
31年以上	0 0.0%	0 0.0%	4 7.7%	15 19.7%	39 34.5%	138 63.0%	306 77.5%	3 30.0%	505 57.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	4 40.0%	6 0.7%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

（7）居住地区

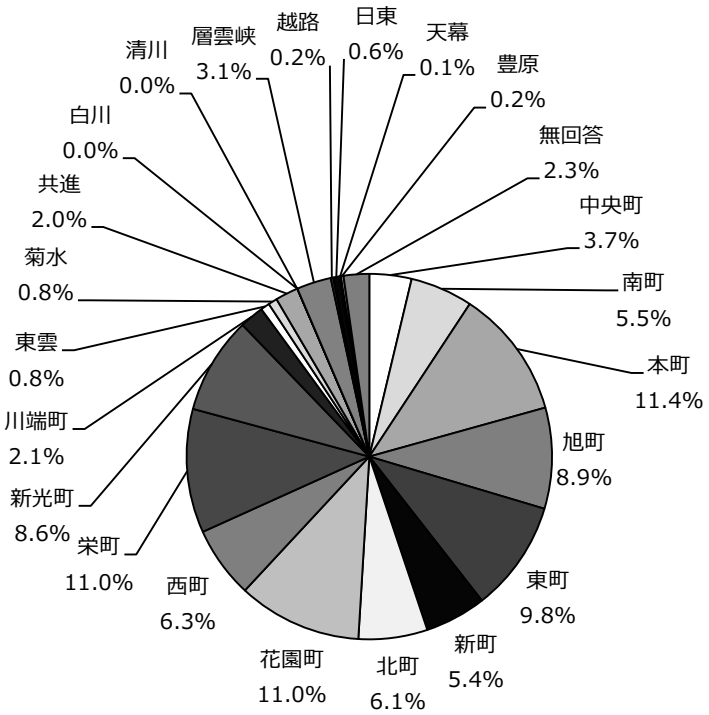
3　居住地区

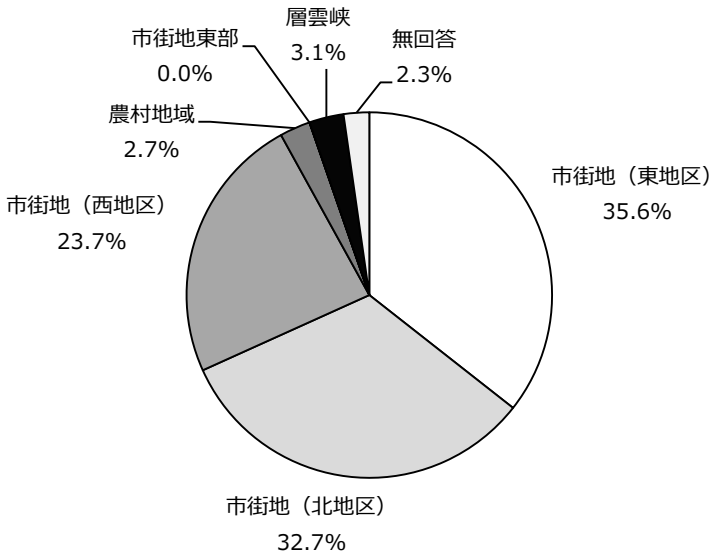
1．中央町　2．南町　3．本町　4．旭町　5．東町　6．新町
7．北町　8．花園町　9．西町　１０．栄町　１１．新光町　１２．川端町
１３．東雲　１４．菊水　１５．共進　１６．白川　１７．清川　１８．層雲峡
１９．越路　２０．日東　２１．天幕　２２．豊原

回答者の居住地区は、「本町」が 11.4％で最も多く、次いで「花園町」及び「栄町」が 11.0％、「東町」が 9.8％となっている。

地区区分でみると、「市街地（東地区）」が 35.6％で最も多く、次いで「市街地（北地区）」が 32.7％、「市街地（西地区）」が 23.7％となっており、これら市街地だけで全体の 92.0％を占めている。また農村地域（東雲、菊水、越路、日東、天幕、豊原）は 2.7％、層雲峡は 3.1％である。

年齢別にみると、「20 代」は北町と層雲峡、「30 代」は栄町と新光町、「40 代」は東町、「50 代」は花園町、「60 代」は新光町、「70 歳以上」は本町が多く、年代によって異なる。





地区区分	居住地区名	実数	構成比
市街地（東地区）	本町	101	11.4%
	旭町	79	8.9%
	東町	87	9.8%
	新町	48	5.4%
	小計	315	35.6%
市街地（北地区）	中央町	33	3.7%
	南町	49	5.5%
	北町	54	6.1%
	花園町	97	11.0%
	西町	56	6.3%
	小計	289	32.7%
市街地（西地区）	栄町	97	11.0%
	新光町	76	8.6%
	川端町	19	2.1%
	共進	18	2.0%
	小計	210	23.7%
市街地　計		814	92.0%
農村地域	東雲	7	0.8%
	菊水	7	0.8%
	越路	2	0.2%
	日東	5	0.6%
	天幕	1	0.1%
	豊原	2	0.2%
	小計	24	2.7%
白川・清川	白川	0	0.0%
	清川	0	0.0%
	小計	0	0.0%
層雲峡		27	3.1%
無回答		20	2.3%
合計		885	100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢不明	合計
中央町	1 50.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 2.6%	3 2.7%	12 5.5%	14 3.5%	0 0.0%	33 3.7%
南町	0 0.0%	2 11.1%	3 5.8%	4 5.3%	8 7.1%	16 7.3%	16 4.1%	0 0.0%	49 5.5%
本町	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	11 14.5%	11 9.7%	18 8.2%	55 13.9%	0 0.0%	101 11.4%
旭町	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	5 6.6%	11 9.7%	19 8.7%	38 9.6%	1 10.0%	79 8.9%
東町	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	12 15.8%	9 8.0%	19 8.7%	42 10.6%	1 10.0%	87 9.8%
新町	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	2 2.6%	9 8.0%	9 4.1%	25 6.3%	0 0.0%	48 5.4%
北町	0 0.0%	4 22.2%	4 7.7%	4 5.3%	8 7.1%	15 6.8%	19 4.8%	0 0.0%	54 6.1%
花園町	0 0.0%	2 11.1%	2 3.8%	8 10.5%	14 12.4%	18 8.2%	52 13.2%	1 10.0%	97 11.0%
西町	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	2 2.6%	5 4.4%	17 7.8%	29 7.3%	0 0.0%	56 6.3%
栄町	0 0.0%	0 0.0%	8 15.4%	8 10.5%	12 10.6%	19 8.7%	49 12.4%	1 10.0%	97 11.0%
新光町	0 0.0%	1 5.6%	8 15.4%	9 11.8%	7 6.2%	22 10.0%	29 7.3%	0 0.0%	76 8.6%
川端町	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.3%	3 2.7%	7 3.2%	5 1.3%	0 0.0%	19 2.1%
東雲	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	2 1.8%	2 0.9%	2 0.5%	0 0.0%	7 0.8%
菊水	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	4 1.0%	0 0.0%	7 0.8%
共進	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	2 2.6%	3 2.7%	6 2.7%	6 1.5%	0 0.0%	18 2.0%
白川	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
清川	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
層雲峡	1 50.0%	4 22.2%	3 5.8%	2 2.6%	8 7.1%	9 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	27 3.1%
越路	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
日東	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	3 0.8%	0 0.0%	5 0.6%
天幕	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	1 0.1%
豊原	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	0 0.0%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	3 3.9%	0 0.0%	4 1.8%	6 1.5%	6 60.0%	20 2.3%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

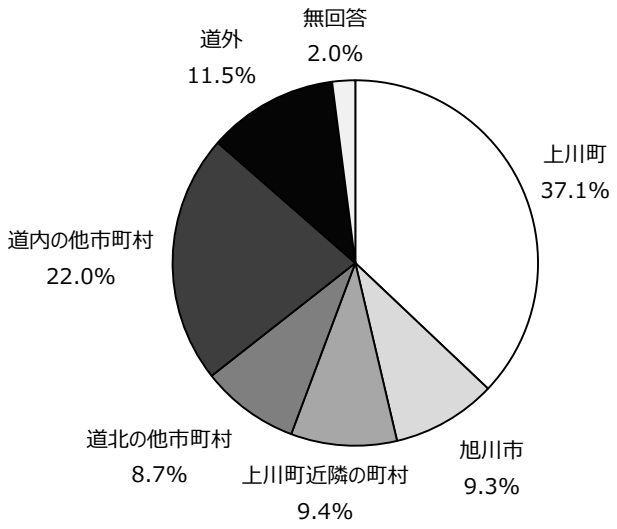
（8）出生地

4　出生地		
1．上川町	2．旭川市	3．上川町近隣の町村
4．道北の他市町村	5．道内の他市町村	6．道外

回答者の出生地は「上川町」が 37.1％で最も多く、次いで「道内の他市町村」が 22.0％、「上川町の近隣の町村」が 9.4％、「旭川市」が 9.3％となっている。

地区別にみると市街地と農村地域では「上川町」が多く、層雲峡では「道内の他市町村」が多い。

年齢別にみると 20 代以下は「旭川市」及び「道内の他市町村」が多いが、他の年代は「上川町」が多い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
上川町	117 37.1%	102 35.3%	90 42.9%	309 38.0%	14 58.3%	1 3.7%	4 20.0%	328 37.1%
旭川市	30 9.5%	28 9.7%	19 9.0%	77 9.5%	0 0.0%	3 11.1%	2 10.0%	82 9.3%
上川町近隣の町村	25 7.9%	41 14.2%	14 6.7%	80 9.8%	0 0.0%	1 3.7%	2 10.0%	83 9.4%
道北の他市町村	24 7.6%	27 9.3%	21 10.0%	72 8.8%	1 4.2%	2 7.4%	2 10.0%	77 8.7%
道内の他市町村	74 23.5%	56 19.4%	41 19.5%	171 21.0%	5 20.8%	16 59.3%	3 15.0%	195 22.0%
道外	39 12.4%	32 11.1%	23 11.0%	94 11.5%	4 16.7%	4 14.8%	0 0.0%	102 11.5%
無回答	6 1.9%	3 1.0%	2 1.0%	11 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 35.0%	18 2.0%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
上川町	0 0.0%	2 11.1%	16 30.8%	26 34.2%	54 47.8%	86 39.3%	141 35.7%	3 30.0%	328 37.1%
旭川市	1 50.0%	7 38.9%	11 21.2%	14 18.4%	17 15.0%	10 4.6%	20 5.1%	2 20.0%	82 9.3%
上川町近隣の町村	0 0.0%	2 11.1%	3 5.8%	5 6.6%	7 6.2%	23 10.5%	43 10.9%	0 0.0%	83 9.4%
道北の他市町村	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	5 6.6%	11 9.7%	21 9.6%	37 9.4%	0 0.0%	77 8.7%
道内の他市町村	1 50.0%	7 38.9%	8 15.4%	15 19.7%	19 16.8%	63 28.8%	81 20.5%	1 10.0%	195 22.0%
道外	0 0.0%	0 0.0%	11 21.2%	9 11.8%	5 4.4%	13 5.9%	64 16.2%	0 0.0%	102 11.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	3 1.4%	9 2.3%	4 40.0%	18 2.0%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

2　生活やまちづくりへの期待

（1）上川町の印象（イメージ）

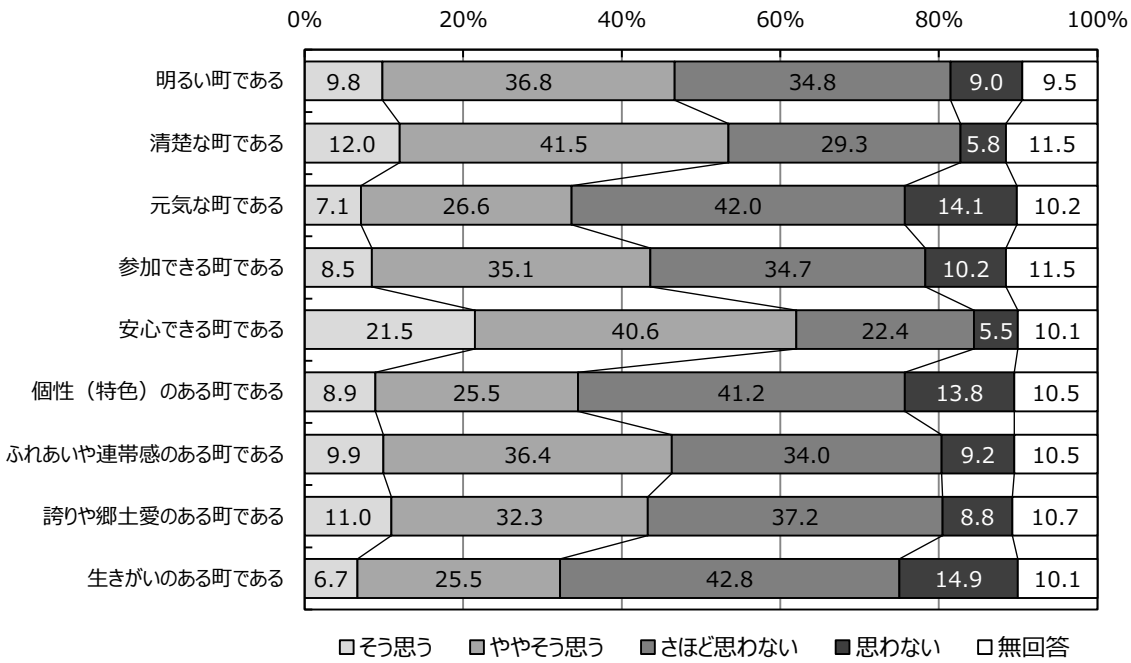
上川町の印象（イメージ）についてお伺いします。次の各項目について、1（そう思う）～4（思わない）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ1つ選択）

	そう思う	やや思う	さほど思わない	思わない
① 明るい町である	1	2	3	4
② 清楚な町である	1	2	3	4
③ 元気な町である	1	2	3	4
④ 参加できる町である	1	2	3	4
⑤ 安心できる町である	1	2	3	4
⑥ 個性（特色）のある町である	1	2	3	4
⑦ ふれあいや連帯感のある町である	1	2	3	4
⑧ 誇りや郷土愛のある町である	1	2	3	4
⑨ 生きがいのある町である	1	2	3	4

上川町の印象（イメージ）については、「安心できる町」が「そう思う」、「ややそう思う」合わせて 62.1%で最も多く、次いで「清楚な町」が 53.5%、「明るい町」が 46.6%、「ふれあいや連帯感のある町」が 46.3%となっている。

反対に「生きがいのある町」が「思わない」、「さほど思わない」合わせて 57.7%で最も多く、次いで「元気な町」が 56.1%、「個性（特色）のある町」が 55.0%となっている。

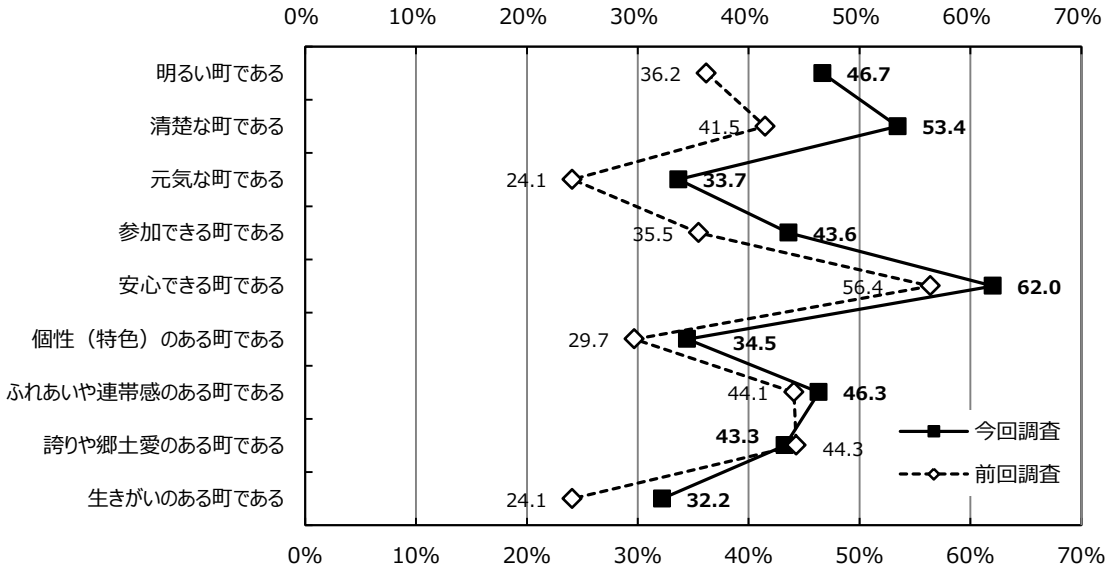
前回調査（第 9 次総合計画住民意識調査）と比較すると、「そう思う」、「ややそう思う」合わせた割合は、「誇りや郷土愛のある町」を除いた項目で前回を上回っている。また、思わない」、「さほど思わない」合わせた割合は、「安心できる町」を除いた項目で前回を下回っている。



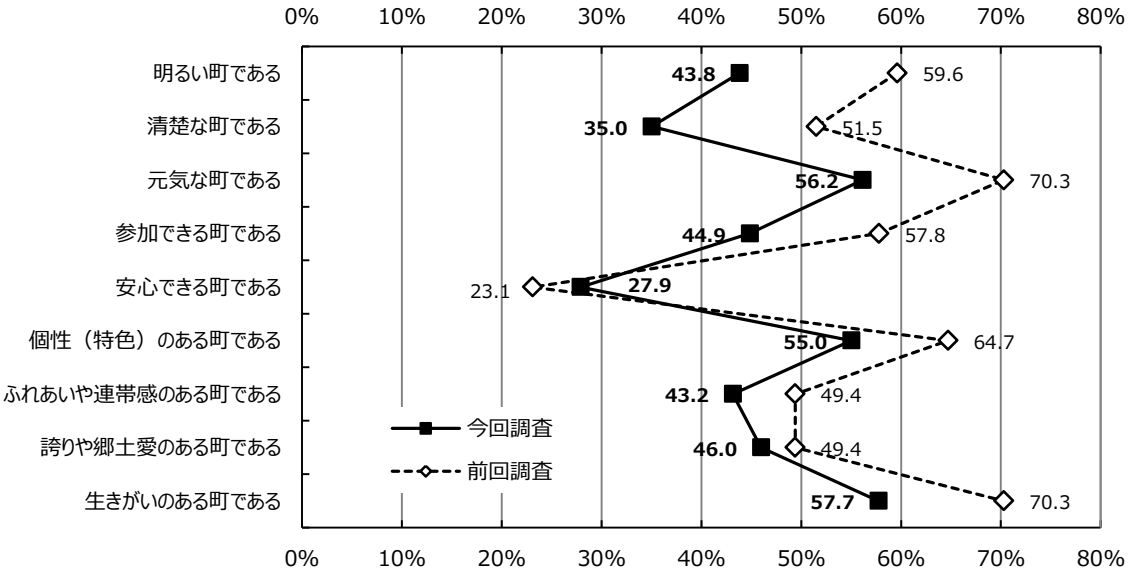
	そう思う	ややそう思う	さほど思わない	思わない	無回答	回答者数
明るい町である	87	326	308	80	84	885
	9.8%	36.8%	34.8%	9.0%	9.5%	100.0%
清楚な町である	106	367	259	51	102	885
	12.0%	41.5%	29.3%	5.8%	11.5%	100.0%
元気な町である	63	235	372	125	90	885
	7.1%	26.6%	42.0%	14.1%	10.2%	100.0%
参加できる町である	75	311	307	90	102	885
	8.5%	35.1%	34.7%	10.2%	11.5%	100.0%
安心できる町である	190	359	198	49	89	885
	21.5%	40.6%	22.4%	5.5%	10.1%	100.0%
個性（特色）のある町である	79	226	365	122	93	885
	8.9%	25.5%	41.2%	13.8%	10.5%	100.0%
ふれあいや連帯感のある町である	88	322	301	81	93	885
	9.9%	36.4%	34.0%	9.2%	10.5%	100.0%
誇りや郷土愛のある町である	97	286	329	78	95	885
	11.0%	32.3%	37.2%	8.8%	10.7%	100.0%
生きがいのある町である	59	226	379	132	89	885
	6.7%	25.5%	42.8%	14.9%	10.1%	100.0%

前回調査との比較

【そう思う+ややそう思う】



【さほど思わない+思わない】



（２）上川町の特徴（複数回答）

あなたは、上川町の特徴を一言で表すとしたらどのように言い表せると思いますか。

（２つまで選択）

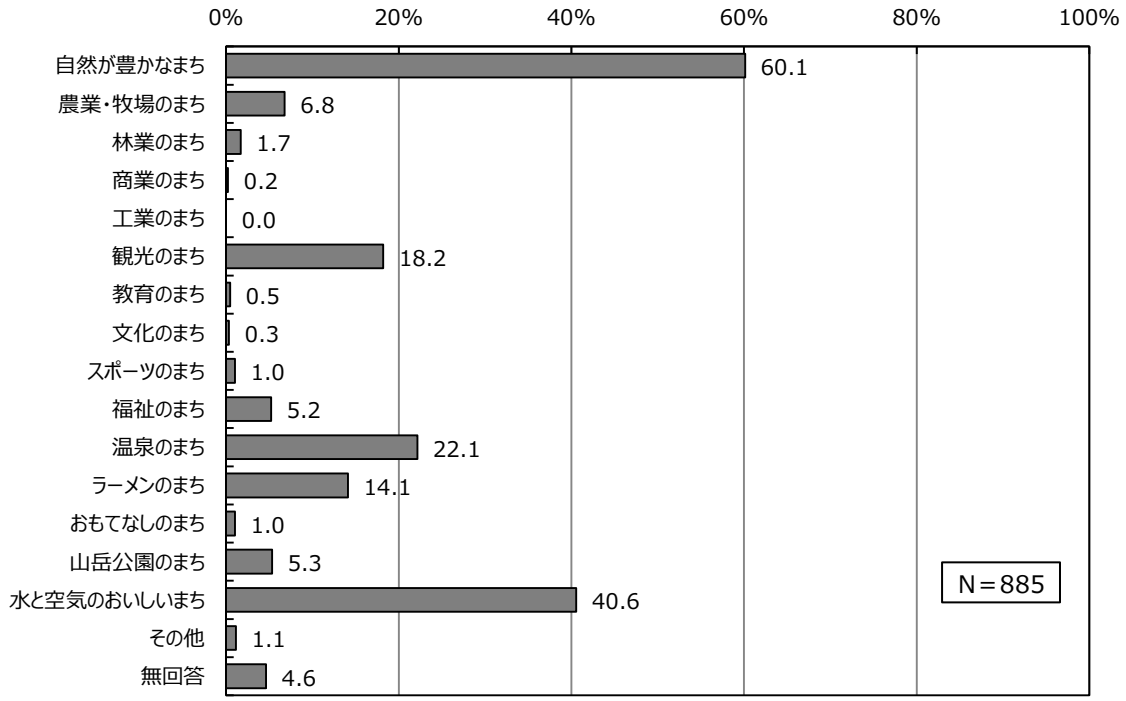
１．自然が豊かなまち	２．農業・牧場のまち	３．林業のまち
４．商業のまち	５．工業のまち	６．観光のまち
７．教育のまち	８．文化のまち	９．スポーツのまち
10．福祉のまち	11．温泉のまち	12．ラーメンのまち
13．おもてなしのまち	14．山岳公園のまち	15．水と空気のおいしいまち
16．その他（　　）		

上川町の特徴を表す一言（複数回答）としては、「自然が豊かなまち」と答えた方が 60.1%で最も多く、次いで「水と空気のおいしいまち」が 40.6%、「温泉のまち」が 22.1%となっている。

地区別にみると、層雲峡で「温泉のまち」が多く、他の地区は「自然が豊かなまち」が多い。

年齢別にみると、全ての年代で「自然が豊かなまち」が多いが、20 代は「温泉のまち」も多くなっている。

前回調査と比較すると、全ての項目で大きな変化はみられない。



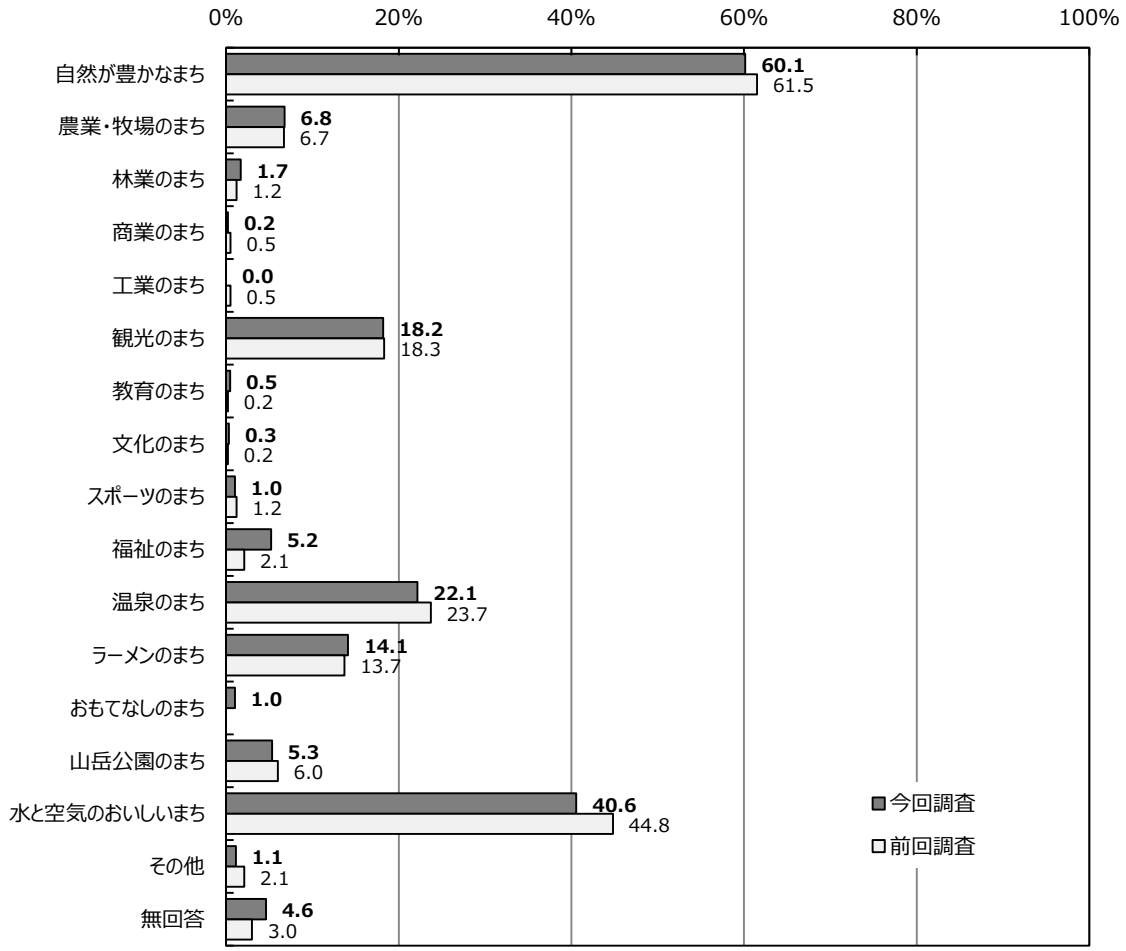
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
自然が豊かなまち	188 59.7%	186 64.4%	120 57.1%	494 60.7%	17 70.8%	14 51.9%	7 35.0%	532 60.1%
農業・牧場のまち	24 7.6%	8 2.8%	20 9.5%	52 6.4%	6 25.0%	1 3.7%	1 5.0%	60 6.8%
林業のまち	4 1.3%	8 2.8%	3 1.4%	15 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 1.7%
商業のまち	0 0.0%	0 0.0%	2 1.0%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%
工業のまち	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
観光のまち	58 18.4%	56 19.4%	36 17.1%	150 18.4%	4 16.7%	6 22.2%	1 5.0%	161 18.2%
教育のまち	3 1.0%	0 0.0%	1 0.5%	4 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.5%
文化のまち	0 0.0%	2 0.7%	1 0.5%	3 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.3%
スポーツのまち	4 1.3%	0 0.0%	3 1.4%	7 0.9%	0 0.0%	1 3.7%	1 5.0%	9 1.0%
福祉のまち	25 7.9%	10 3.5%	8 3.8%	43 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	46 5.2%
温泉のまち	66 21.0%	56 19.4%	49 23.3%	171 21.0%	7 29.2%	15 55.6%	3 15.0%	196 22.1%
ラーメンのまち	41 13.0%	39 13.5%	38 18.1%	118 14.5%	1 4.2%	3 11.1%	3 15.0%	125 14.1%
おもてなしのまち	5 1.6%	2 0.7%	2 1.0%	9 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.0%
山岳公園のまち	15 4.8%	10 3.5%	13 6.2%	38 4.7%	4 16.7%	5 18.5%	0 0.0%	47 5.3%
水と空気のおいしいまち	126 40.0%	132 45.7%	81 38.6%	339 41.6%	8 33.3%	5 18.5%	7 35.0%	359 40.6%
その他	4 1.3%	4 1.4%	1 0.5%	9 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	10 1.1%
無回答	15 4.8%	12 4.2%	10 4.8%	37 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 20.0%	41 4.6%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
自然が豊かなまち	2 100.0%	8 44.4%	36 69.2%	55 72.4%	73 64.6%	138 63.0%	217 54.9%	3 30.0%	532 60.1%
農業・牧場のまち	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	7 9.2%	6 5.3%	15 6.8%	27 6.8%	0 0.0%	60 6.8%
林業のまち	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	2 1.8%	2 0.9%	10 2.5%	0 0.0%	15 1.7%
商業のまち	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.3%	0 0.0%	2 0.2%
工業のまち	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
観光のまち	0 0.0%	5 27.8%	6 11.5%	12 15.8%	25 22.1%	41 18.7%	71 18.0%	1 10.0%	161 18.2%
教育のまち	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0 0.0%	4 0.5%
文化のまち	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.8%	0 0.0%	3 0.3%
スポーツのまち	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	0 0.0%	2 0.9%	5 1.3%	0 0.0%	9 1.0%
福祉のまち	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 1.3%	1 0.9%	7 3.2%	35 8.9%	1 10.0%	46 5.2%
温泉のまち	1 50.0%	8 44.4%	12 23.1%	17 22.4%	29 25.7%	47 21.5%	80 20.3%	2 20.0%	196 22.1%
ラーメンのまち	0 0.0%	7 38.9%	8 15.4%	16 21.1%	17 15.0%	25 11.4%	52 13.2%	0 0.0%	125 14.1%
おもてなしのまち	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	1 0.9%	1 0.5%	4 1.0%	1 10.0%	9 1.0%
山岳公園のまち	0 0.0%	0 0.0%	6 11.5%	3 3.9%	8 7.1%	10 4.6%	20 5.1%	0 0.0%	47 5.3%
水と空気の おいしいまち	1 50.0%	2 11.1%	12 23.1%	19 25.0%	46 40.7%	104 47.5%	173 43.8%	2 20.0%	359 40.6%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	2 1.8%	1 0.5%	4 1.0%	1 10.0%	10 1.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	2 1.8%	6 2.7%	27 6.8%	4 40.0%	41 4.6%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・お年寄りのまち、さみしいまち、残念なまち。
・働かない人の多い町。
・特徴の無い町。
・何もない町。
・ジャンプのまち。
・町民不在の行政の町。
・どれといってあまりいい表せない町。
・特別な特徴もなく、ごく普通の町。
・人の悪口を広める人が多い町。
・自分さえ良ければという人の多い町。

前回調査との比較



（3）今後の居住意向

あなたは、将来も上川町に住み続けたいと思いますか。（1つ選択）

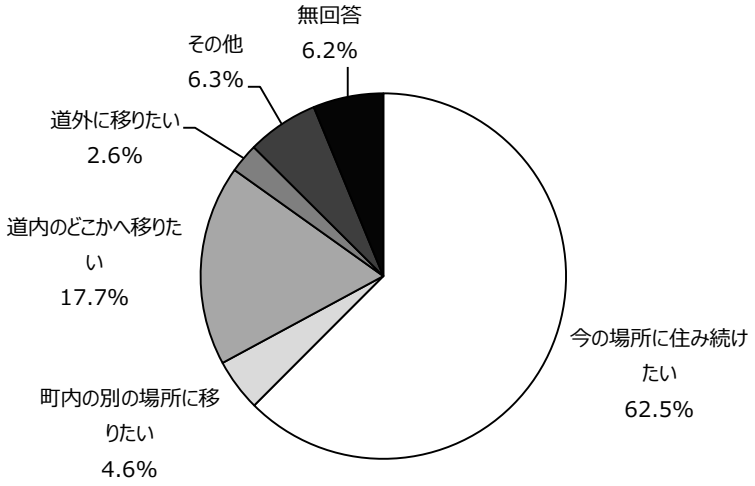
1．今の場所に住み続けたい　　2．町内の別の所に移りたい
3．道内のどこかへ移りたい　　4．道外に移りたい
5．その他（　　）

今後の居住意向については、「今の場所に住み続けたい」が 62.5%で最も多く、次いで「道内のどこかへ移りたい」が 17.7%である。

地区別にみると、層雲峡は「道内のどこかへ移りたい」が多く、他の地区は「今の場所に住み続けたい」が最も多い。

年齢別にみると、20 代は「道内のどこかへ移りたい」が多く、30 代以上は「今の場所に住み続けたい」が多い。一方で 40～50 代は「道内のどこかへ移りたい」が 3 割を超えている。

前回調査と比較すると、「今の場所に住み続けたい」が大幅に増加している。



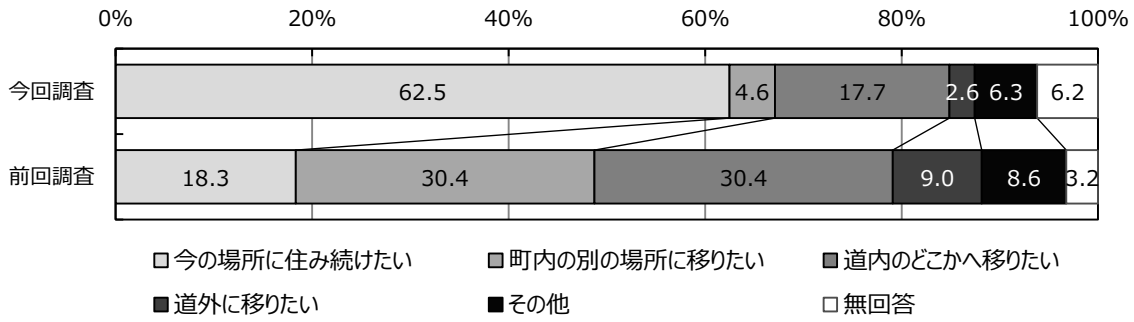
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
今の場所に住み続けたい	204 64.8%	183 63.3%	131 62.4%	518 63.6%	19 79.2%	7 25.9%	9 45.0%	553 62.5%
町内の別の場所に移りたい	13 4.1%	15 5.2%	9 4.3%	37 4.5%	1 4.2%	2 7.4%	1 5.0%	41 4.6%
道内のどこかへ移りたい	54 17.1%	48 16.6%	35 16.7%	137 16.8%	4 16.7%	14 51.9%	2 10.0%	157 17.7%
道外に移りたい	5 1.6%	8 2.8%	7 3.3%	20 2.5%	0 0.0%	2 7.4%	1 5.0%	23 2.6%
その他	22 7.0%	14 4.8%	17 8.1%	53 6.5%	0 0.0%	1 3.7%	2 10.0%	56 6.3%
無回答	17 5.4%	21 7.3%	11 5.2%	49 6.0%	0 0.0%	1 3.7%	5 25.0%	55 6.2%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
今の場所に 住み続けたい	0 0.0%	3 16.7%	29 55.8%	31 40.8%	53 46.9%	142 64.8%	290 73.4%	5 50.0%	553 62.5%
町内の別の場 所に移りたい	0 0.0%	4 22.2%	3 5.8%	6 7.9%	2 1.8%	11 5.0%	15 3.8%	0 0.0%	41 4.6%
道内のどこか へ移りたい	1 50.0%	8 44.4%	12 23.1%	26 34.2%	36 31.9%	42 19.2%	32 8.1%	0 0.0%	157 17.7%
道外に移りたい	1 50.0%	1 5.6%	2 3.8%	3 3.9%	5 4.4%	5 2.3%	5 1.3%	1 10.0%	23 2.6%
その他	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	8 10.5%	14 12.4%	10 4.6%	17 4.3%	1 10.0%	56 6.3%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	2 2.6%	3 2.7%	9 4.1%	36 9.1%	3 30.0%	55 6.2%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・安心、生きがいのある所。
・移動できるものであれば、雪の少ない所へ。
・今さらどうにもならない。
・移りたいが移れない。
・上川町に居たいと思うが、体が弱ってきたら町外に住む。子供の近くの施設に入ろうと思う。
・札幌に移る。
・仕方がない、不安。
・仕事の状況による。(5)
・自分の故郷へ戻ります。(3)
・集合住宅が出来れば住みたい。
・住み続けたいが、目、耳、足腰の病院がないので迷う事あり。
・住み続けたいが限界集落になりそうで不安。
・住み続けたい気持ちはあるが、このままでは気持ちが切れてしまう。
・住み続けたいが医療が不安(2)
・町内から出来れば出たい。
・町内であればよい。
・特に考えた事がない。(3)
・どこでもよい。
・夏上川、冬道外。
・一人になればどうなるか？
・別の所にと思うが年齢的に無理と思う。
・町の発展次第。
・分からない。(14)

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
今回調査
62.5
4.6
17.7
2.6
6.3
6.2
前回調査
18.3
30.4
30.4
9.0
8.6
3.2
今の場所に住み続けたい
町内の別の場所に移りたい
道内のどこかへ移りたい
道外に移りたい
その他
無回答

（4）上川町の将来像

あなたは、将来の上川町がどのような町になることを望みますか。（1つ選択）

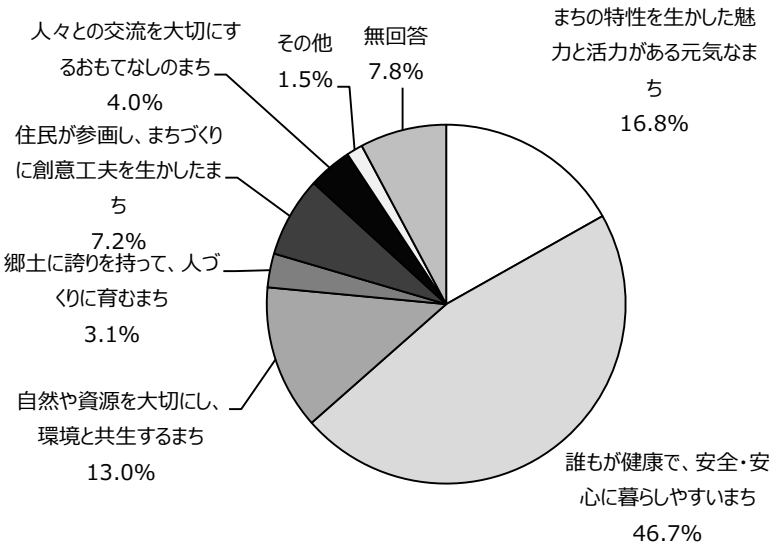
1．まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち
2．誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち
3．自然や資源を大切にし、環境と共生するまち
4．郷土に誇りを持って、人づくりに育むまち
5．住民が参画し、まちづくりに創意工夫を生かしたまち
6．人々との交流を大切にするおもてなしのまち
7．その他（　　）

将来の上川町の望ましい姿は、「誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち」が46.7%で最も多く、次いで「まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち」が16.8%、「自然や資源を大切にし、環境と共生するまち」が13.0%である。

地区別にみると、市街地は「誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち」が多く、農村地域及び層雲峡は「自然や資源を大切にし、環境と共生するまち」が最も多い。

年齢別にみると、20代以上で「誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち」が最も多い。また40代は「まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち」も多く3割を超える。

前回調査と比較すると、「誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち」が増加し、「まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち」及び「自然や資源を大切にし、環境と共生するまち」が減少している。



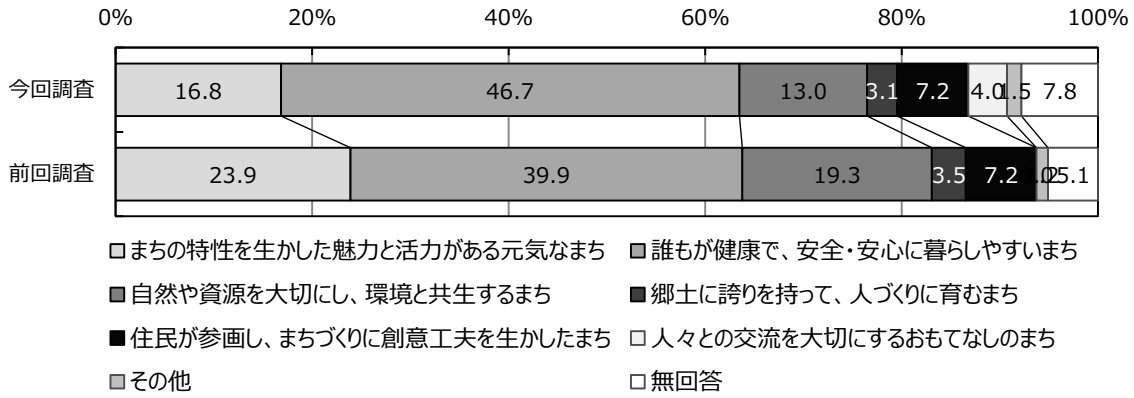
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち	51 16.2%	57 19.7%	31 14.8%	139 17.1%	3 12.5%	4 14.8%	3 15.0%	149 16.8%
誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち	160 50.8%	130 45.0%	102 48.6%	392 48.2%	7 29.2%	7 25.9%	7 35.0%	413 46.7%
自然や資源を大切にし、環境と共生するまち	34 10.8%	36 12.5%	26 12.4%	96 11.8%	9 37.5%	8 29.6%	2 10.0%	115 13.0%
郷土に誇りを持って、人づくりに育むまち	5 1.6%	12 4.2%	8 3.8%	25 3.1%	1 4.2%	1 3.7%	0 0.0%	27 3.1%
住民が参画し、まちづくりに創意工夫を生かしたまち	24 7.6%	20 6.9%	11 5.2%	55 6.8%	2 8.3%	6 22.2%	1 5.0%	64 7.2%
人々との交流を大切にするおもてなしのまち	14 4.4%	8 2.8%	10 4.8%	32 3.9%	2 8.3%	0 0.0%	1 5.0%	35 4.0%
その他	4 1.3%	3 1.0%	4 1.9%	11 1.4%	0 0.0%	1 3.7%	1 5.0%	13 1.5%
無回答	23 7.3%	23 8.0%	18 8.6%	64 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	69 7.8%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち	1 50.0%	3 16.7%	11 21.2%	26 34.2%	21 18.6%	37 16.9%	48 12.2%	2 20.0%	149 16.8%
誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち	0 0.0%	6 33.3%	17 32.7%	28 36.8%	50 44.2%	105 47.9%	205 51.9%	2 20.0%	413 46.7%
自然や資源を大切にし、環境と共生するまち	0 0.0%	2 11.1%	9 17.3%	7 9.2%	19 16.8%	37 16.9%	41 10.4%	0 0.0%	115 13.0%
郷土に誇りを持って、人づくりに育むまち	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	3 3.9%	6 5.3%	8 3.7%	8 2.0%	0 0.0%	27 3.1%
住民が参画し、まちづくりに創意工夫を生かしたまち	0 0.0%	3 16.7%	6 11.5%	6 7.9%	11 9.7%	14 6.4%	24 6.1%	0 0.0%	64 7.2%
人々との交流を大切にするおもてなしのまち	0 0.0%	3 16.7%	5 9.6%	3 3.9%	3 2.7%	4 1.8%	17 4.3%	0 0.0%	35 4.0%
その他	1 50.0%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.3%	2 1.8%	1 0.5%	4 1.0%	1 10.0%	13 1.5%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.6%	1 0.9%	13 5.9%	48 12.2%	5 50.0%	69 7.8%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・過疎の町、人口 2,000 人以下。
・分からない。
・今のままでは将来に希望が持てません。
・将来は村になる。
・近所との交流をもっと深く。
・観光地なのでそれを活かしてほしい。
・何よりも働く場所を増やす事。
・すべてを望みたい。
・高齢者、子供も金銭面の補助の充実。税金の免除等、少ない年金でも安心して過ごせる環境づくり。
・仕事、店、人口が増えるまち。
・人口が増える町（活気づくから）。
・もっと明るく前向きな町になってほしい。

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
今回調査
16.8
46.7
13.0
3.1
7.2
4.0
1.5
7.8
前回調査
23.9
39.9
19.3
3.5
7.2
1.0
25.1
まちの特性を生かした魅力と活力がある元気なまち
誰もが健康で、安全・安心に暮らしやすいまち
自然や資源を大切にし、環境と共生するまち
郷土に誇りを持って、人づくりに育むまち
住民が参画し、まちづくりに創意工夫を生かしたまち
人々との交流を大切にするおもてなしのまち
その他
無回答

（５）現在の生活の満足度

あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
１）保健・医療・福祉に関する項目					
① 保健・健康対策（病気の予防や各種検診など）	1	2	3	4	5
② 病院など医療機関	1	2	3	4	5
③ 高齢者や障がい者への福祉サービス	1	2	3	4	5
④ 保育サービスや子育て支援	1	2	3	4	5
⑤ 保健・医療・福祉全般の満足度	1	2	3	4	5

現在の生活のうち、保健・医療・福祉に関する全般について「満足」または「やや満足」（以下、「満足傾向」という）が 30.5%、「不満」または「やや不満」（以下、「不満傾向」という）は 14.7%であり、満足傾向が上回っている。

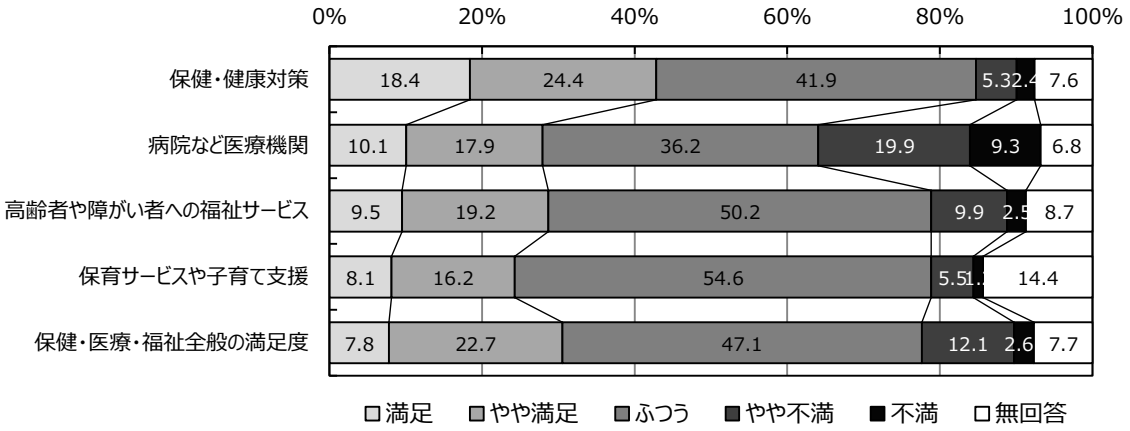
満足傾向が多い項目は、「保健・健康対策病気の予防や各種検診など）」が 42.8%で最も多く、次いで「高齢者や障がい者への福祉サービス」が 28.7%である。一方で、不満傾向が多い項目は、「病院など医療機関」が 29.2%で最も多くなっている。

現状の満足度平均※1 と各項目の施策に対する期待度※2 を「当面は現状維持が望ましい領域」、「いずれは改善が望まれる領域」、「さらにグレードアップが期待される領域」、「至急改善が必要な領域」の４つの領域に分類し、回答特性をみると、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「保育サービスや子育て支援」及び「高齢者や障がい者への福祉サービス」となっている。

前回調査と比較すると、全項目で満足傾向が前回を上回るとともに、不満傾向は下回っている。特に「病院など医療機関」の不満傾向が 70.1%から 29.2%へ減少し、大きく改善している。

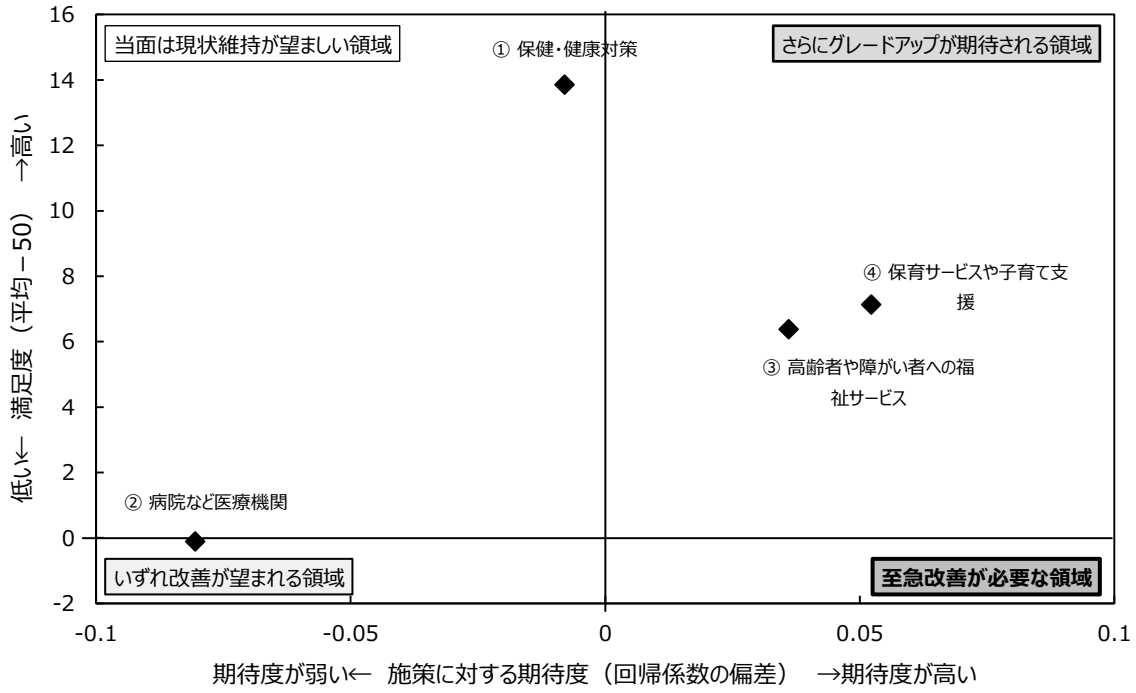
※1　満足：100 点　やや満足：75 点　ふつう：50 点　やや不満：25 点　不満：０点として数値化した回答全体の平均値

※2　各項目の満足度が全般満足度に与える影響（期待）を重回帰分析により算出
重回帰分析：１つの目的変数（今回の場合、全般満足度）を複数の説明変数（項目別満足度）で予測する分析手法。要因分析に使われる最もスタンダードな多変量解析。



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
保健・健康対策	163	216	371	47	21	67	885
	18.4%	24.4%	41.9%	5.3%	2.4%	7.6%	100.0%
病院など医療機関	89	158	320	176	82	60	885
	10.1%	17.9%	36.2%	19.9%	9.3%	6.8%	100.0%
高齢者や障がい者への福祉サービス	84	170	444	88	22	77	885
	9.5%	19.2%	50.2%	9.9%	2.5%	8.7%	100.0%
保育サービスや子育て支援	72	143	483	49	11	127	885
	8.1%	16.2%	54.6%	5.5%	1.2%	14.4%	100.0%
保健・医療・福祉全般の満足度	69	201	417	107	23	68	885
	7.8%	22.7%	47.1%	12.1%	2.6%	7.7%	100.0%

現状の満足度平均と施策に対する期待度



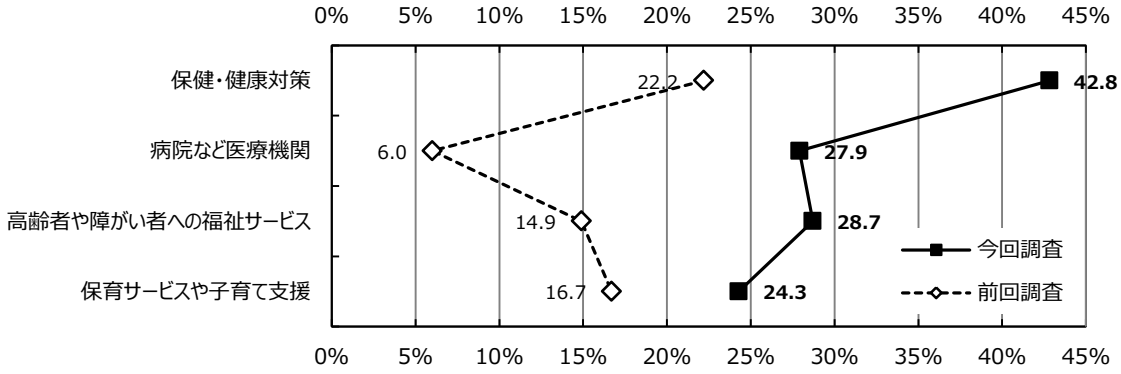
R	R 2乗	修正R 2乗
0.740	0.548	0.546

	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	1.393	1.292		7.188	P < 0.001			
① 保健・健康対策（病気の予防や各種検診など）	0.197	0.027	0.23	7.188	P < 0.001	63.8	-0.01	13.8
② 病院など医療機関	0.159	0.032	0.16	4.931	P < 0.001	49.9	-0.08	-0.1
③ 高齢者や障がい者への福祉サービス	0.268	0.033	0.27	8.218	P < 0.001	56.4	0.04	6.4
④ 保育サービスや子育て支援	0.284	0.029	0.29	9.639	P < 0.001	57.1	0.05	7.1
平均			0.24					

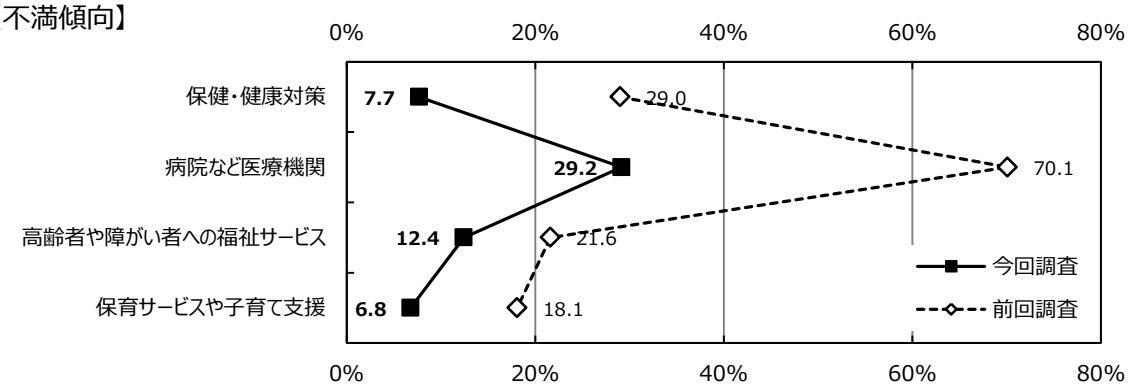
偏回帰係数：回帰式における各説明変数の係数
標準誤差：偏回帰係数の推定誤差
標準偏回帰係数：データを標準化して重回帰分析を行った場合の偏回帰係数。各説明変数の目的変数への影響度を比較するのに用いる。
t 値：説明変数が目的変数に与える影響の大きさ t 値の絶対値が 2 より小さい場合は、目的変数へ影響しない。
P 値：説明変数の係数の有意確率を表す。一般的に、有意確率が 5%を下回っている場合、その説明変数は目的変数に対して「関係性がある」という判断をする。
満足度の平均値：「満足」100 点「やや満足」75 点「ふつう」50 点「やや不満」25 点「不満」 0 点として数値化した回答全体の平均値
重視度：各説明変数の標準偏回帰係数から標準偏回帰係数平均値を差し引いた値
満足度：満足度の平均値から 50 差し引いた値

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
２）生活環境に関する項目					
① 住宅や宅地の整備	1	2	3	4	5
② 上下水道などの施設整備	1	2	3	4	5
③ ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動	1	2	3	4	5
④ 交通安全や防犯、防災への対策	1	2	3	4	5
⑤ 移住定住対策	1	2	3	4	5
⑥ 空き家対策	1	2	3	4	5
⑦ 生活環境全般の満足度	1	2	3	4	5

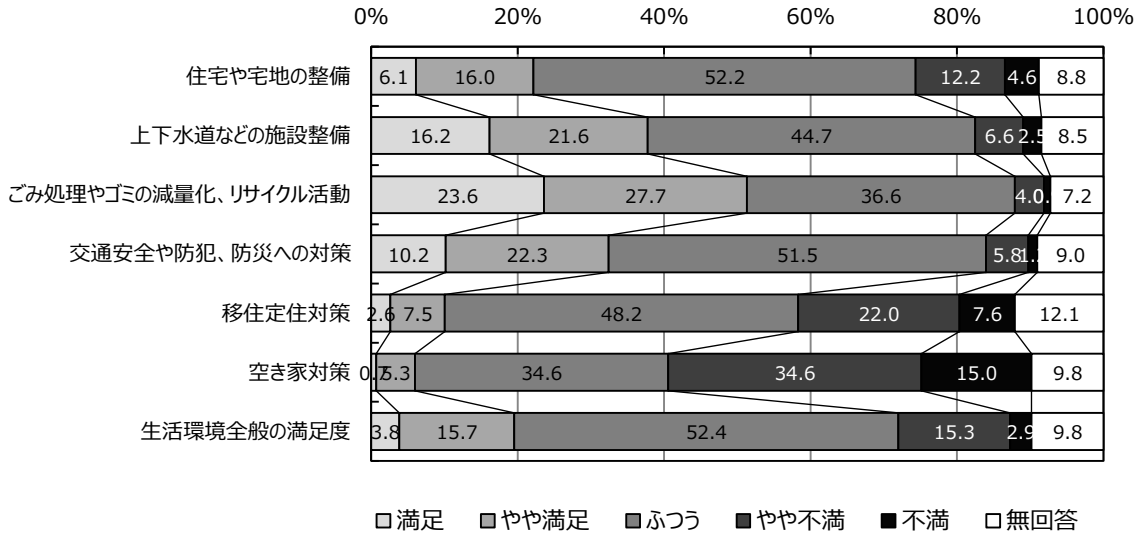
生活環境に関する全般について、満足傾向が 19.5%、不満傾向は 18.2%であり、満足傾向がわずかに上回っている。

満足傾向が多い項目は、「ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動」が 51.3%で最も多く、次いで「上下水道などの施設整備」が 37.8%である。一方で、不満傾向が多い項目は、「空き家対策」が 49.6%で最も多く、次いで「移住定住対策」が 29.6%である。

現状の満足度平均と各項目の施策に対する期待度を領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「移住定住対策」及び「空き家対策」であり、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「住宅や宅地の整備」、「交通安全や防犯、防災への対策」となっていることから、多くの項目で改善が期待されていることがうかがえる。なお「ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動」及び「上下水道などの施設整備」は分析結果の有意性が低い。

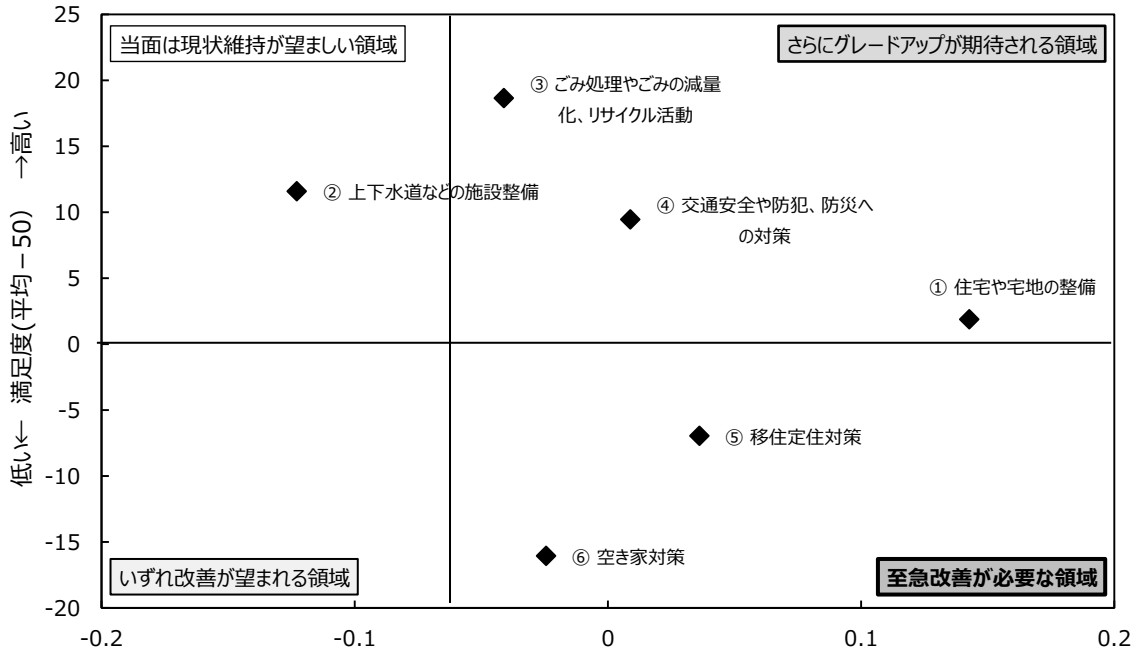
前回調査※と比較すると、「住宅や宅地の整備」を除き、満足傾向が前回を上回っている。また全項目で不満傾向は下回っている。

※「空き家対策」、「移住定住対策」は前回設問なし



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
住宅や宅地の整備	54	142	462	108	41	78	885
	6.1%	16.0%	52.2%	12.2%	4.6%	8.8%	100.0%
上下水道などの施設整備	143	191	396	58	22	75	885
	16.2%	21.6%	44.7%	6.6%	2.5%	8.5%	100.0%
ごみ処理やゴミの減量化、リサイクル活動	209	245	324	35	8	64	885
	23.6%	27.7%	36.6%	4.0%	0.9%	7.2%	100.0%
交通安全や防犯、防災への対策	90	197	456	51	11	80	885
	10.2%	22.3%	51.5%	5.8%	1.2%	9.0%	100.0%
移住定住対策	23	66	427	195	67	107	885
	2.6%	7.5%	48.2%	22.0%	7.6%	12.1%	100.0%
空き家対策	6	47	306	306	133	87	885
	0.7%	5.3%	34.6%	34.6%	15.0%	9.8%	100.0%
生活環境全般の満足度	34	139	464	135	26	87	885
	3.8%	15.7%	52.4%	15.3%	2.9%	9.8%	100.0%

現状の満足度平均と施策に対する期待度

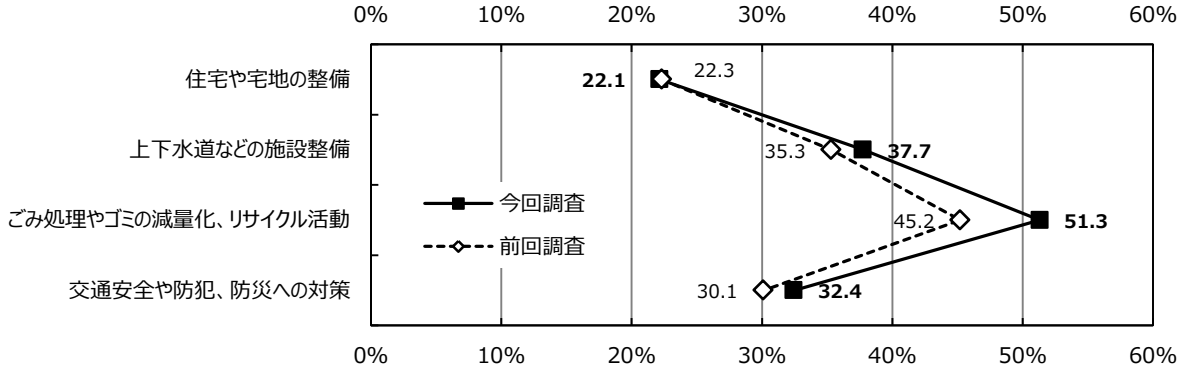


R	R 2乗	修正R 2乗
0.565	0.319	0.314

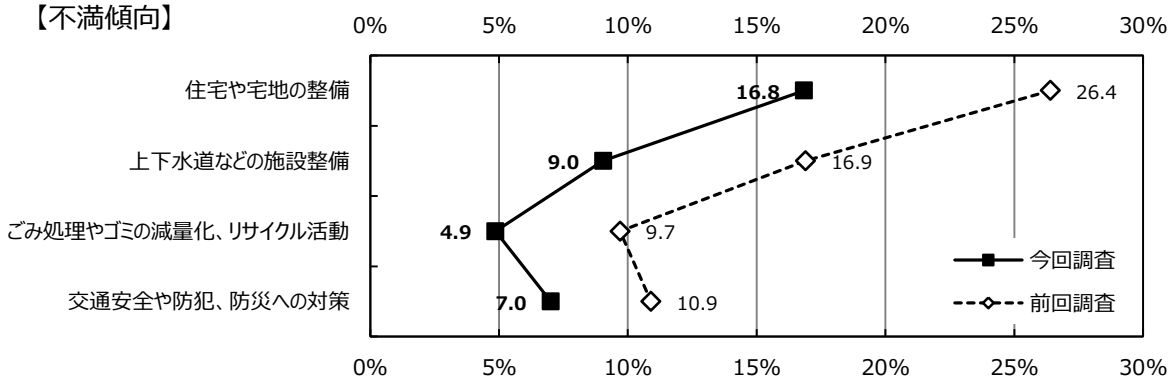
	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	2.920	1.496		1.952	0.0514			
① 住宅や宅地の整備	0.249	0.037	0.27	6.639	P < 0.001	51.9	0.14	1.9
② 上下水道などの施設整備	0.005	0.036	0.01	0.130	0.8964	61.6	-0.12	11.6
③ ごみ処理やごみの減量化、リサイクル活動	0.065	0.034	0.09	1.926	0.0545	68.6	-0.04	18.6
④ 交通安全や防犯、防災への対策	0.112	0.034	0.14	3.259	0.0012	59.4	0.01	9.4
⑤ 移住定住対策	0.204	0.046	0.17	4.413	P < 0.001	43.0	0.04	-7.0
⑥ 空き家対策	0.172	0.057	0.10	3.027	0.0026	33.9	-0.02	-16.1
平均			0.13					

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
３）産業に関する項目					
① 農林水産業の振興	1	2	3	4	5
② 工業の振興、企業の誘致	1	2	3	4	5
③ 商業の振興、買い物の便利さ	1	2	3	4	5
④ 観光の振興	1	2	3	4	5
⑤ 雇用の場の拡大	1	2	3	4	5
⑥ 人材育成対策の推進	1	2	3	4	5
⑦ 産業全般の満足度	1	2	3	4	5

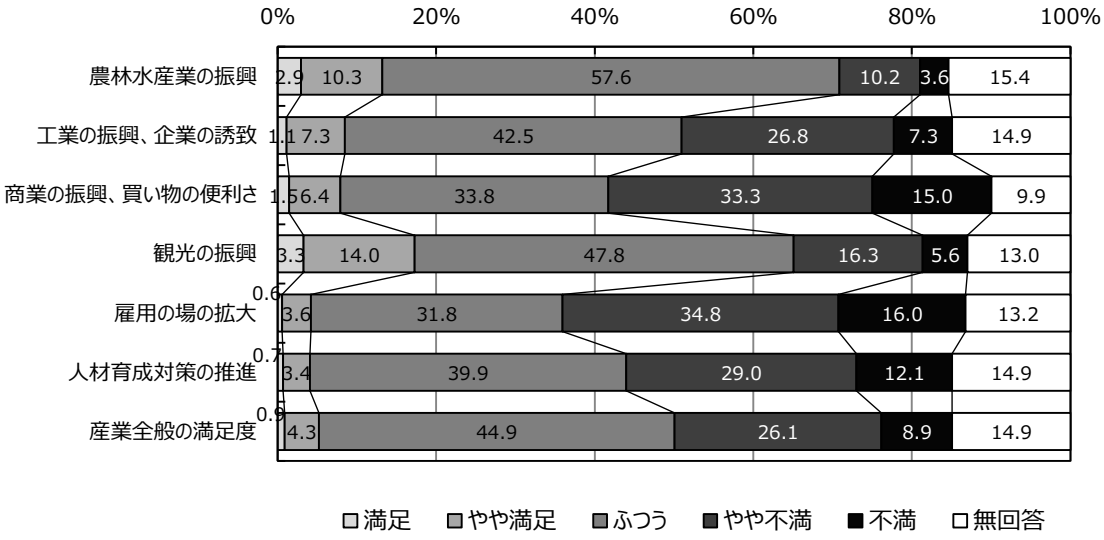
産業に関する全般について、満足傾向が 5.2%、不満傾向は 35.0%であり、満足傾向がおおきく下回っている。

満足傾向が多い項目は、「観光の振興」が 17.3%で最も多い。一方で、不満傾向が多い項目は、「雇用の場の拡大」が 50.8%で最も多く、次いで「商業の振興、買い物の便利さ」が 48.3%である。

現状の満足度平均と各項目の施策に対する期待度を領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「人材育成対策の推進」のみであり、他の項目は全て「いずれ改善が望まれる領域」となっている。なお「農林水産業の振興」は分析結果の有意性が低い。

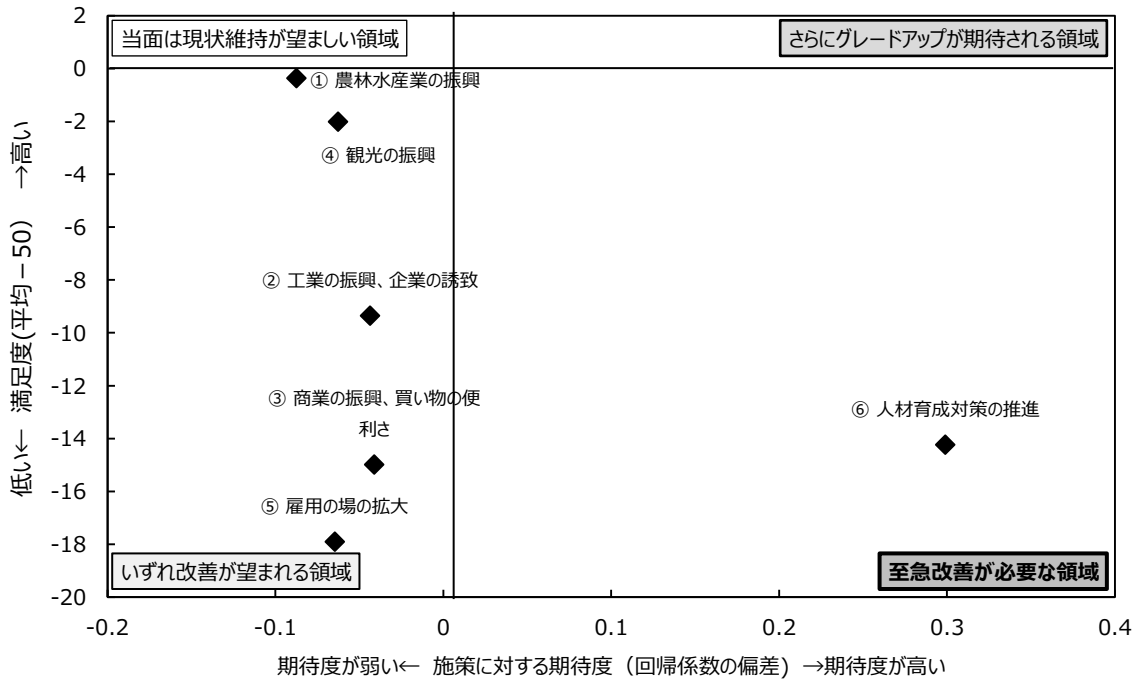
前回調査※と比較すると、「農林水産業の振興」を除き、満足傾向が前回を上回っている。また全項目で不満傾向は下回っている。

※「雇用の場の拡大」、「人材育成対策の推進」は前回設問なし



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
農林水産業の振興	26	91	510	90	32	136	885
	2.9%	10.3%	57.6%	10.2%	3.6%	15.4%	100.0%
工業の振興、企業の誘致	10	65	376	237	65	132	885
	1.1%	7.3%	42.5%	26.8%	7.3%	14.9%	100.0%
商業の振興、買い物の便利さ	13	57	299	295	133	88	885
	1.5%	6.4%	33.8%	33.3%	15.0%	9.9%	100.0%
観光の振興	29	124	423	144	50	115	885
	3.3%	14.0%	47.8%	16.3%	5.6%	13.0%	100.0%
雇用の場の拡大	5	32	281	308	142	117	885
	0.6%	3.6%	31.8%	34.8%	16.0%	13.2%	100.0%
人材育成対策の推進	6	30	353	257	107	132	885
	0.7%	3.4%	39.9%	29.0%	12.1%	14.9%	100.0%
産業全般の満足度	8	38	397	231	79	132	885
	0.9%	4.3%	44.9%	26.1%	8.9%	14.9%	100.0%

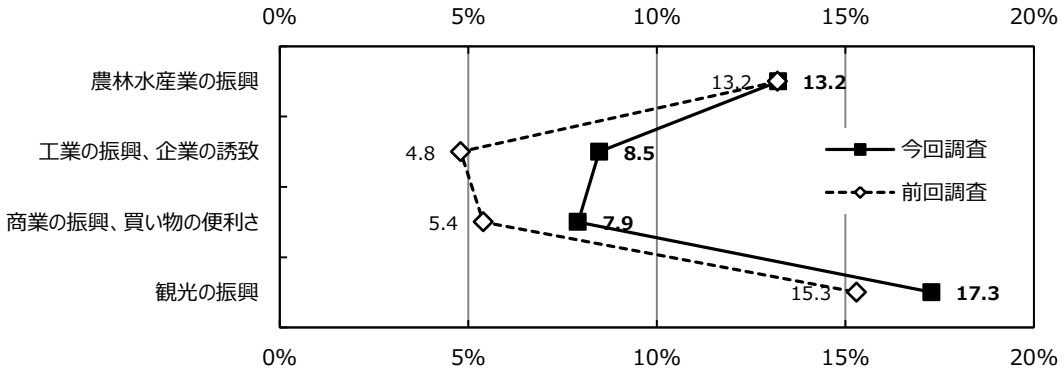
現状の満足度平均と施策に対する期待度



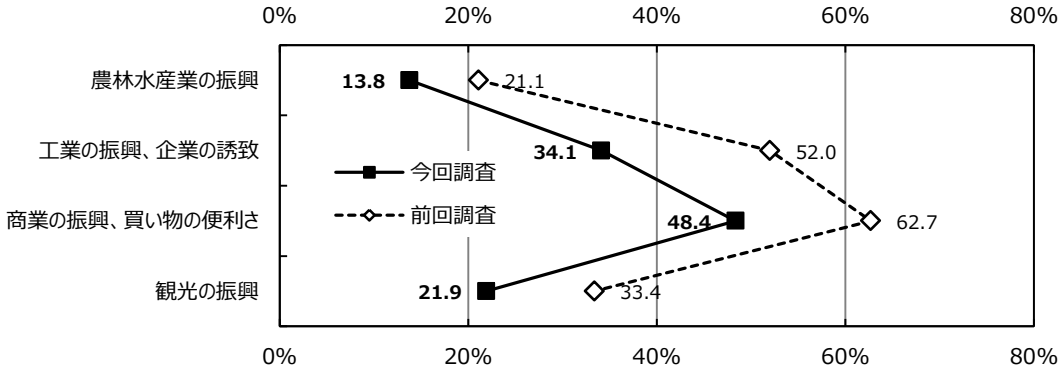
	R	R 2乗	修正R 2乗					
	0.673	0.453	0.449					
	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	0.583	0.711		0.820	0.4126			
① 農林水産業の振興	0.040	0.024	0.06	1.678	0.0937	49.6	-0.09	-0.4
② 工業の振興、企業の誘致	0.090	0.032	0.10	2.833	0.0047	40.6	-0.04	-9.4
③ 商業の振興、買い物の便利さ	0.094	0.031	0.10	3.067	0.0022	35.0	-0.04	-15.0
④ 観光の振興	0.054	0.022	0.08	2.457	0.0143	48.0	-0.06	-2.0
⑤ 雇用の場の拡大	0.091	0.043	0.08	2.116	0.0347	32.1	-0.06	-17.9
⑥ 人材育成対策の推進	0.505	0.043	0.44	11.645	P < 0.001	35.8	0.30	-14.2
平均			0.15					

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
４）地域環境に関する項目					
① 自然環境（緑の豊かさ、川の水質など）	1	2	3	4	5
② 公害防止対策の充実	1	2	3	4	5
③ 市街地や商店街の整備	1	2	3	4	5
④ 公園や遊び場、憩いの場などの整備	1	2	3	4	5
⑤ 緑化、花いっぱいの推進	1	2	3	4	5
⑥ 高規格道路や国道など広域幹線道路網の整備	1	2	3	4	5
⑦ 町内各地区の生活道路の整備	1	2	3	4	5
⑧ 雪対策の充実	1	2	3	4	5
⑨ 道路、鉄道・バスなどの公共交通機関	1	2	3	4	5
⑩ 地域環境全般の満足度	1	2	3	4	5

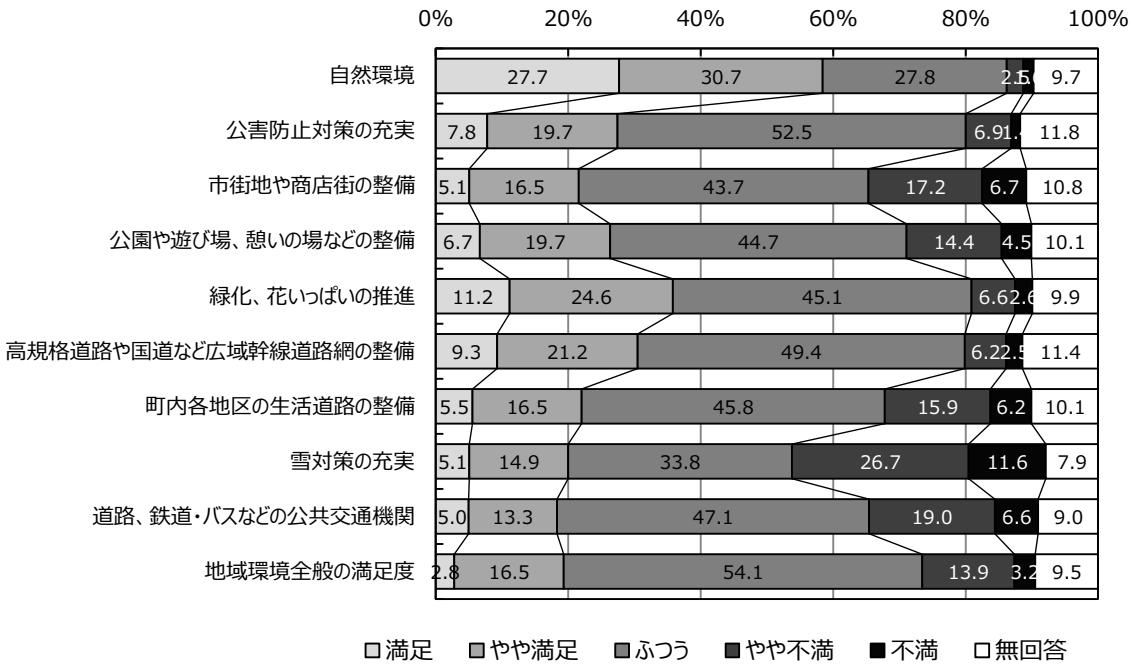
地域環境に関する全般について、満足傾向が 19.3%、不満傾向は 17.1%であり、満足傾向がわずかに上回っている。

満足傾向が多い項目は、「自然環境（緑の豊かさ、川の水質など）」が 58.4%で最も多く、次いで「緑化、花いっぱいの推進」が 35.8%である。一方で、不満傾向が多い項目は、「雪対策の充実」が 38.3%で最も多く、次いで「市街地や商店街の整備」が 23.9%である。

現状の満足度平均と各項目の施策に対する期待度を領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「道路、鉄道・バスなどの公共交通機関」、「町内各地区の生活道路の整備」、「雪対策の充実」及び「市街地や商店街の整備」であり、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「公園や遊び場、憩いの場などの整備」となっていることから、多くの項目で改善が期待されていることがうかがえる。なお「自然環境（緑の豊かさ、川の水質など）」、「公害防止対策の充実」及び「緑化、花いっぱいの推進」は分析結果の有意性が低い。

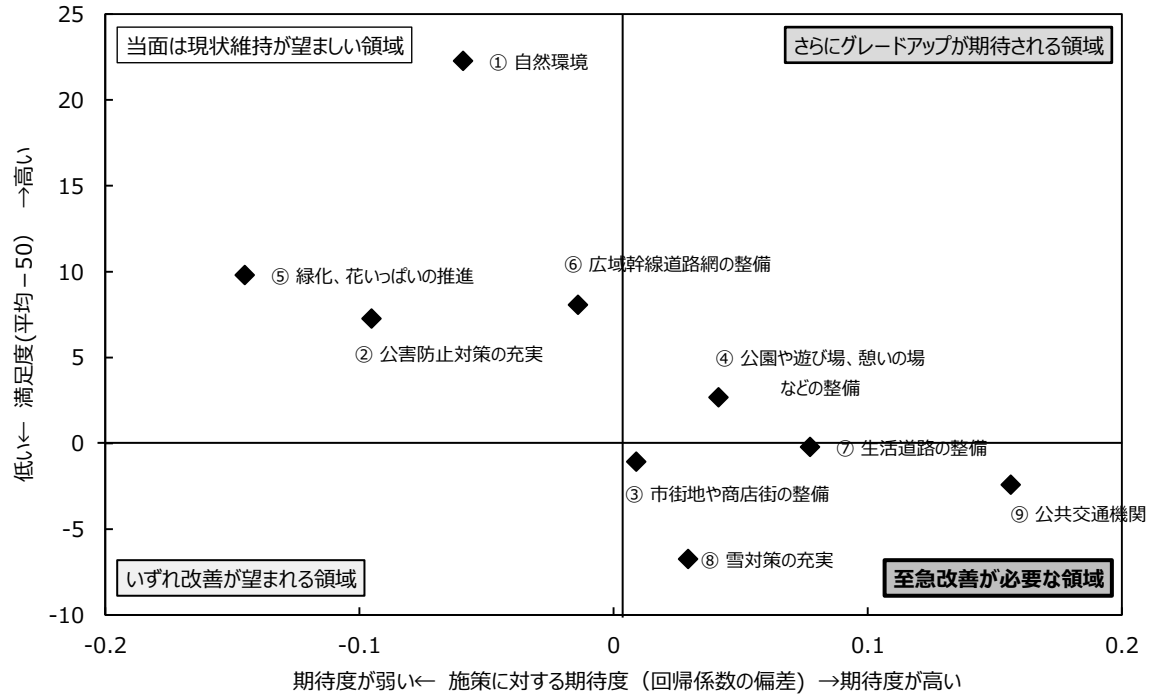
前回調査※と比較すると、「自然環境（緑の豊かさ、川の水質など）」、「道路、鉄道・バスなどの公共交通機関」ともに満足傾向が前回を下回っている。また不満傾向は前回から大きな変化がみられない。

※「自然環境（緑の豊かさ、川の水質など)」、「道路、鉄道・バスなどの公共交通機関」のみ



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
自然環境	245	272	246	22	14	86	885
	27.7%	30.7%	27.8%	2.5%	1.6%	9.7%	100.0%
公害防止対策の充実	69	174	465	61	12	104	885
	7.8%	19.7%	52.5%	6.9%	1.4%	11.8%	100.0%
市街地や商店街の整備	45	146	387	152	59	96	885
	5.1%	16.5%	43.7%	17.2%	6.7%	10.8%	100.0%
公園や遊び場、憩いの場などの整備	59	174	396	127	40	89	885
	6.7%	19.7%	44.7%	14.4%	4.5%	10.1%	100.0%
緑化、花いっぱいの推進	99	218	399	58	23	88	885
	11.2%	24.6%	45.1%	6.6%	2.6%	9.9%	100.0%
高規格道路や国道など広域幹線道路網の整備	82	188	437	55	22	101	885
	9.3%	21.2%	49.4%	6.2%	2.5%	11.4%	100.0%
町内各地区の生活道路の整備	49	146	405	141	55	89	885
	5.5%	16.5%	45.8%	15.9%	6.2%	10.1%	100.0%
雪対策の充実	45	132	299	236	103	70	885
	5.1%	14.9%	33.8%	26.7%	11.6%	7.9%	100.0%
道路、鉄道・バスなどの公共交通機関	44	118	417	168	58	80	885
	5.0%	13.3%	47.1%	19.0%	6.6%	9.0%	100.0%
地域環境全般の満足度	25	146	479	123	28	84	885
	2.8%	16.5%	54.1%	13.9%	3.2%	9.5%	100.0%

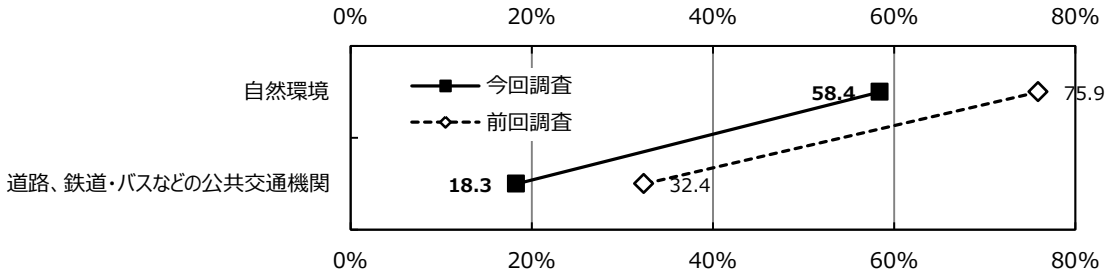
現状の満足度平均と施策に対する期待度



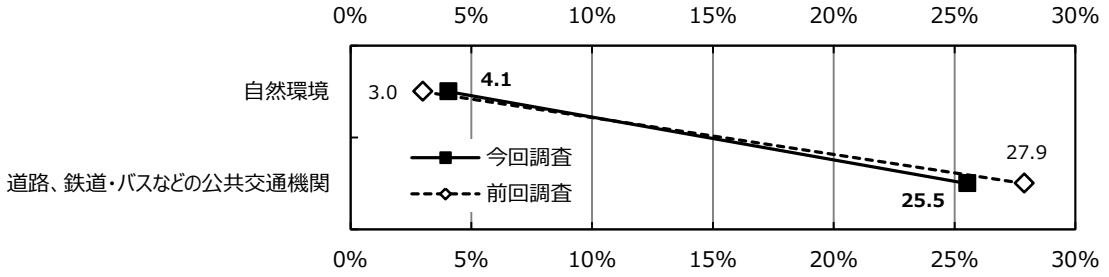
	R	R 2乗	修正R 2乗					
	0.735	0.541	0.535					
	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	-2.792	1.324		-2.109	0.0353			
① 自然環境（緑の豊かさ、川の水質など）	0.038	0.023	0.05	1.688	0.0918	72.3	-0.06	22.3
② 公害防止対策の充実	0.014	0.026	0.02	0.512	0.6088	57.3	-0.10	7.3
③ 市街地や商店街の整備	0.114	0.031	0.12	3.633	P < 0.001	48.9	0.01	-1.1
④ 公園や遊び場、憩いの場などの整備	0.134	0.033	0.15	4.090	P < 0.001	52.7	0.04	2.7
⑤ 緑化、花いっぱいの推進	-0.026	0.027	-0.03	-0.961	0.3367	59.8	-0.15	9.8
⑥ 高規格道路や国道など広域幹線道路網の整備	0.078	0.029	0.10	2.722	0.0066	58.1	-0.01	8.1
⑦ 町内各地区の生活道路の整備	0.173	0.034	0.19	5.096	P < 0.001	49.8	0.08	-0.2
⑧ 雪対策の充実	0.141	0.032	0.14	4.426	P < 0.001	43.3	0.03	-6.7
⑨ 道路、鉄道・バスなどの公共交通機関	0.263	0.031	0.27	8.455	P < 0.001	47.6	0.16	-2.4
平均			0.11					

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
５）教育・文化・スポーツに関する項目					
① 小中学校、高等学校などの学校教育	1	2	3	4	5
② 生涯学習の充実	1	2	3	4	5
③ 文化・芸術活動の施設、取り組み	1	2	3	4	5
④ スポーツ活動の施設、取り組み	1	2	3	4	5
⑤ 教育・文化・スポーツ全般の満足度	1	2	3	4	5

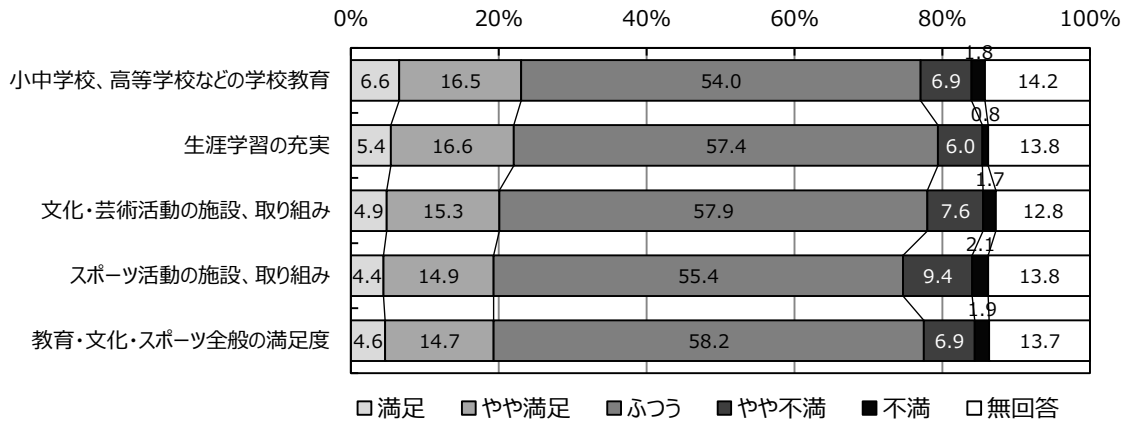
教育・文化・スポーツに関する全般について、満足傾向が 19.3%、不満傾向は 8.8%であり、満足傾向が上回っている。

満足傾向が多い項目は、「小中学校、高等学校などの学校教育」が 23.1%で最も多いが、他の項目と大きな違いはみられない。一方で、不満傾向が多い項目は、「スポーツ活動の施設、取り組み」が 11.5%で最も多い。

現状の満足度平均と各項目の施策に対する期待度を領域別にみると、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「スポーツ活動の施設、取り組み」であり、他の項目は全て「当面は現状維持が望ましい領域」となっている。

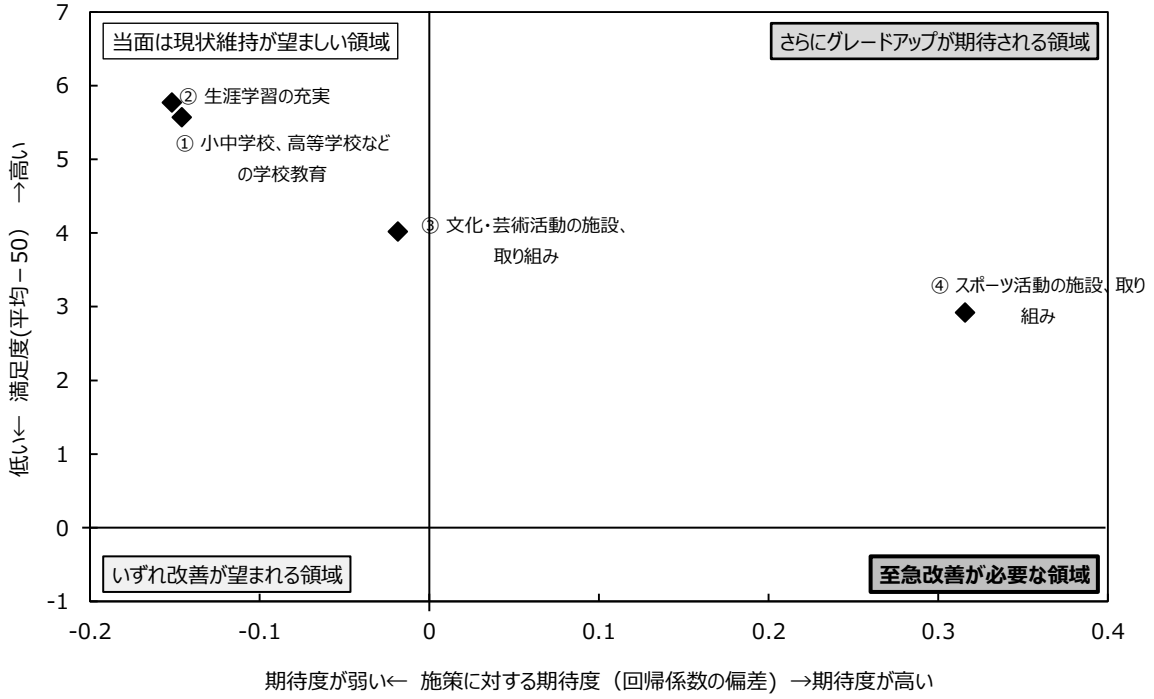
前回調査※と比較すると、全項目で満足傾向が前回を上回り、不満傾向は下回っている。

※「生涯学習の充実」は前回設問なし



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
小中学校、高等学校などの学校教育	58	146	478	61	16	126	885
	6.6%	16.5%	54.0%	6.9%	1.8%	14.2%	100.0%
生涯学習の充実	48	147	508	53	7	122	885
	5.4%	16.6%	57.4%	6.0%	0.8%	13.8%	100.0%
文化・芸術活動の施設、取り組み	43	135	512	67	15	113	885
	4.9%	15.3%	57.9%	7.6%	1.7%	12.8%	100.0%
スポーツ活動の施設、取り組み	39	132	490	83	19	122	885
	4.4%	14.9%	55.4%	9.4%	2.1%	13.8%	100.0%
教育・文化・スポーツ全般の満足度	41	130	515	61	17	121	885
	4.6%	14.7%	58.2%	6.9%	1.9%	13.7%	100.0%

現状の満足度平均と施策に対する期待度

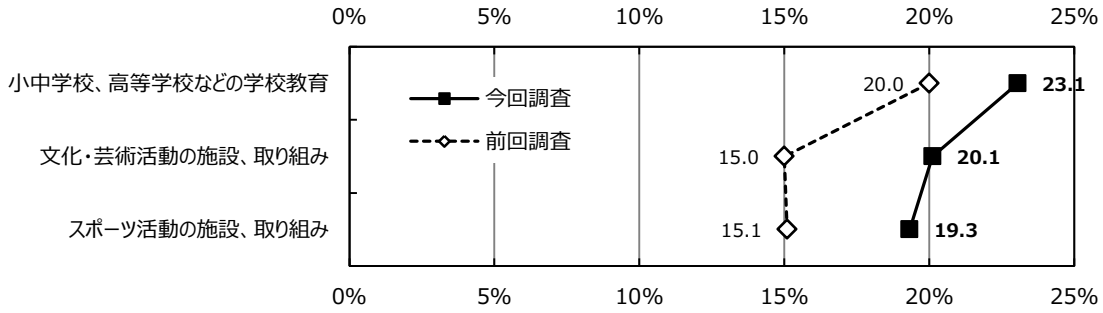


R	R 2乗	修正R 2乗
0.873	0.762	0.761

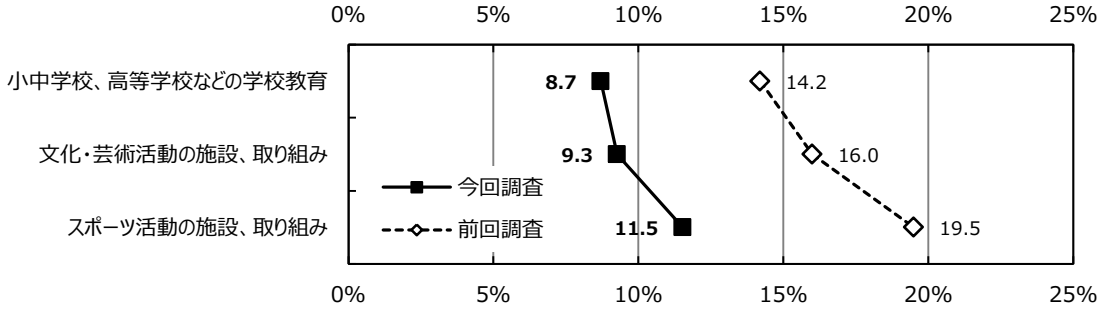
	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	-0.307	0.716		-0.428	0.6688			
① 小中学校、高等学校などの学校教育	0.091	0.025	0.10	3.703	P < 0.001	55.6	-0.15	5.6
② 生涯学習の充実	0.087	0.030	0.09	2.889	0.0040	55.8	-0.15	5.8
③ 文化・芸術活動の施設、取り組み	0.223	0.031	0.22	7.189	P < 0.001	54.0	-0.02	4.0
④ スポーツ活動の施設、取り組み	0.566	0.028	0.56	20.382	P < 0.001	52.9	0.32	2.9
平均			0.24					

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



あなたは、現在の生活やまちづくりにどの程度満足していますか。次の各項目について、１（満足）～５（不満）の中からあなたの考えに最も近いものをお答えください。（それぞれ１つ選択）

内容＼評価	現在の満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
６）町民との協働に関する項目					
① 町政（まちづくり）への住民参加	1	2	3	4	5
② 広報活動、情報化への取り組み	1	2	3	4	5
③ 女性の社会参加など女性対策の推進	1	2	3	4	5
④ コミュニティの推進（地域活動など）	1	2	3	4	5
⑤ 国際化への対応や地域間交流の推進	1	2	3	4	5
⑥ 情報共有と協働のまちづくりの推進	1	2	3	4	5
⑦ 町民との協働全般の満足度	1	2	3	4	5

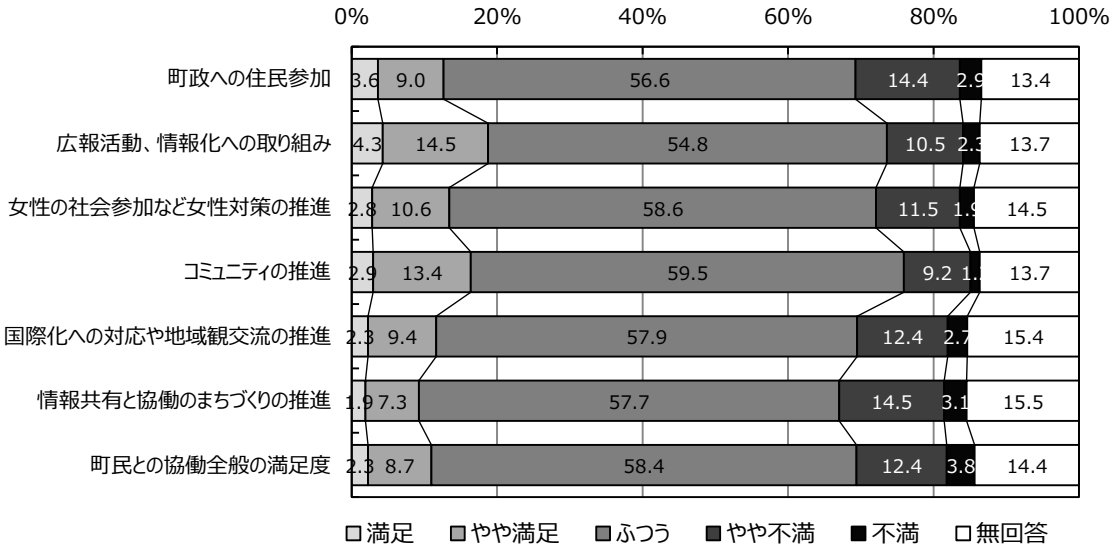
町民との協働に関する全般について、満足傾向が 11.0%、不満傾向は 16.2%であり、満足傾向が下回っている。

満足傾向が多い項目は、「広報活動、情報化への取り組み」が 18.8%で最も多く、次いで「コミュニティの推進（地域活動など）」が 16.3%である。一方で、不満傾向が多い項目は、「情報共有と協働のまちづくりの推進」が 17.6%で最も多く、次いで「町政（まちづくり）への住民参加」が 17.3%である。

現状の満足度平均と各項目の施策に対する期待度を領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「情報共有と協働のまちづくりの推進」及び「町政（まちづくり）への住民参加」である。また「いずれ改善が望まれる領域」は、「国際化への対応や地域間交流の推進」となっている。なお「広報活動、情報化への取り組み」は分析結果の有意性が低い。

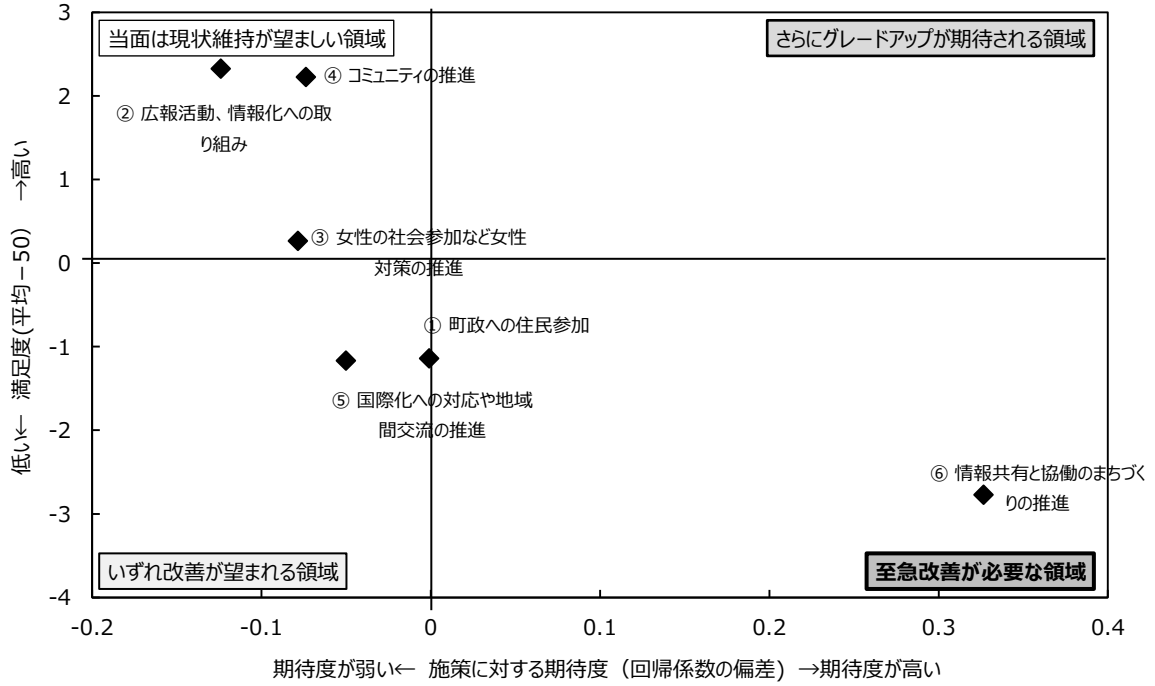
前回調査※と比較すると、「コミュニティの推進（地域活動など）」を除き、満足傾向が前回を上回っている。また全項目で不満傾向は下回っている。

※「町政（まちづくり）への住民参加」「広報活動、情報化への取り組み」「コミュニティの推進（地域活動など）」のみ



	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	回答者数
町政への住民参加	32	80	501	127	26	119	885
	3.6%	9.0%	56.6%	14.4%	2.9%	13.4%	100.0%
広報活動、情報化への取り組み	38	128	485	93	20	121	885
	4.3%	14.5%	54.8%	10.5%	2.3%	13.7%	100.0%
女性の社会参加など女性対策の推進	25	94	519	102	17	128	885
	2.8%	10.6%	58.6%	11.5%	1.9%	14.5%	100.0%
コミュニティの推進	26	119	527	81	11	121	885
	2.9%	13.4%	59.5%	9.2%	1.2%	13.7%	100.0%
国際化への対応や地域観交流の推進	20	83	512	110	24	136	885
	2.3%	9.4%	57.9%	12.4%	2.7%	15.4%	100.0%
情報共有と協働のまちづくりの推進	17	65	511	128	27	137	885
	1.9%	7.3%	57.7%	14.5%	3.1%	15.5%	100.0%
町民との協働全般の満足度	20	77	517	110	34	127	885
	2.3%	8.7%	58.4%	12.4%	3.8%	14.4%	100.0%

現状の満足度平均と施策に対する期待度

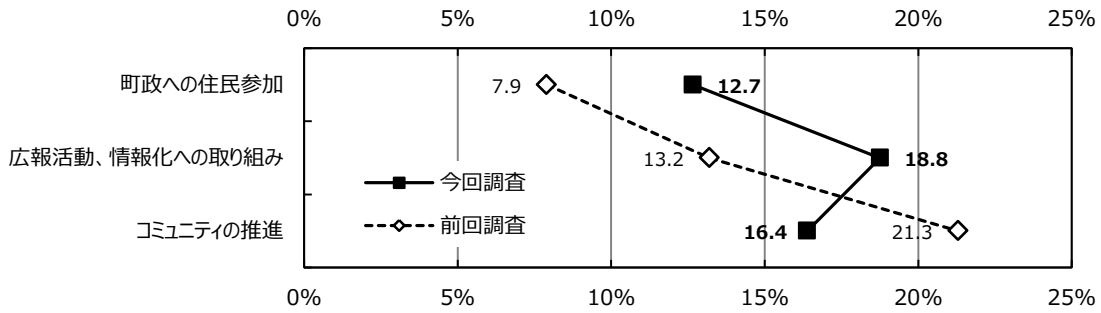


R	R 2乗	修正R 2乗
0.835	0.697	0.695

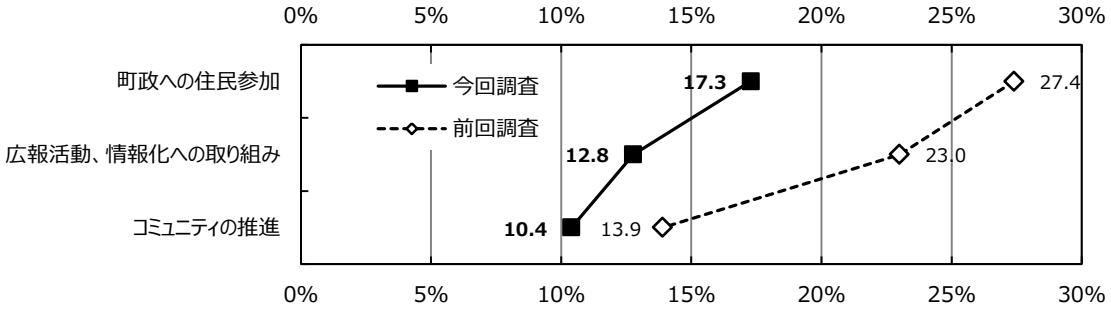
	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	-0.293	0.630		-0.465	0.6422			
① 町政（まちづくり）への住民参加	0.153	0.027	0.16	5.734	P < 0.001	48.9	0.00	-1.1
② 広報活動、情報化への取り組み	0.034	0.023	0.04	1.443	0.1495	52.3	-0.12	2.3
③ 女性の社会参加など女性対策の推進	0.082	0.030	0.09	2.704	0.0070	50.3	-0.08	0.3
④ コミュニティの推進（地域活動など）	0.080	0.028	0.09	2.884	0.0040	52.2	-0.07	2.2
⑤ 国際化への対応や地域間交流の推進	0.113	0.029	0.12	3.881	P < 0.001	48.8	-0.05	-1.2
⑥ 情報共有と協働のまちづくりの推進	0.515	0.033	0.49	15.396	P < 0.001	47.2	0.33	-2.8
平均			0.17					

前回調査との比較

【満足傾向】



【不満傾向】



（6）現在の生活の総合的な満足度

全項目を総合的に判断して生活やまちづくりにどの程度満足していますか。（1つ選択）

1．満足	2．やや満足	3．ふつう	4．やや不満	5．不満

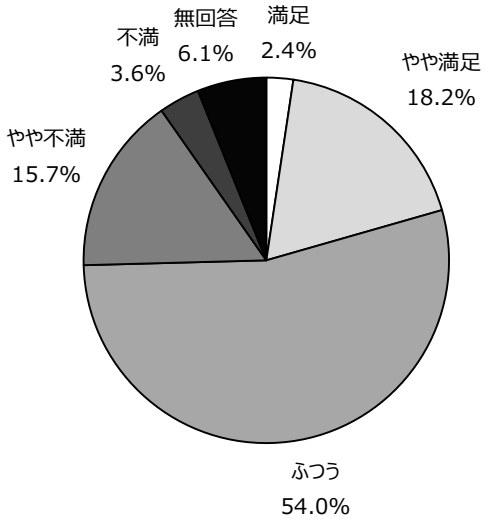
現在の生活の総合的な満足度については、満足傾向が 20.6%、不満傾向は 19.3%であり、満足傾向がわずかに上回っている。

地区別でみると、市街地（東地区）及び市街地（西地区）は満足傾向が不満傾向を上回るが、残りの市街地（北地区）、農村地域及び層雲峡は不満傾向が上回っている。

年齢別でみると、20～40 代及び 70 歳以上は満足傾向が不満傾向を上回るが、20 歳未満及び 50～60 代は不満傾向が上回っている。

現状の満足度平均と福祉・生活環境など各項目に対する期待度にみると、満足度が最も高い項目は「保健・医療・福祉」であり、最も低い項目は「産業」となっている。

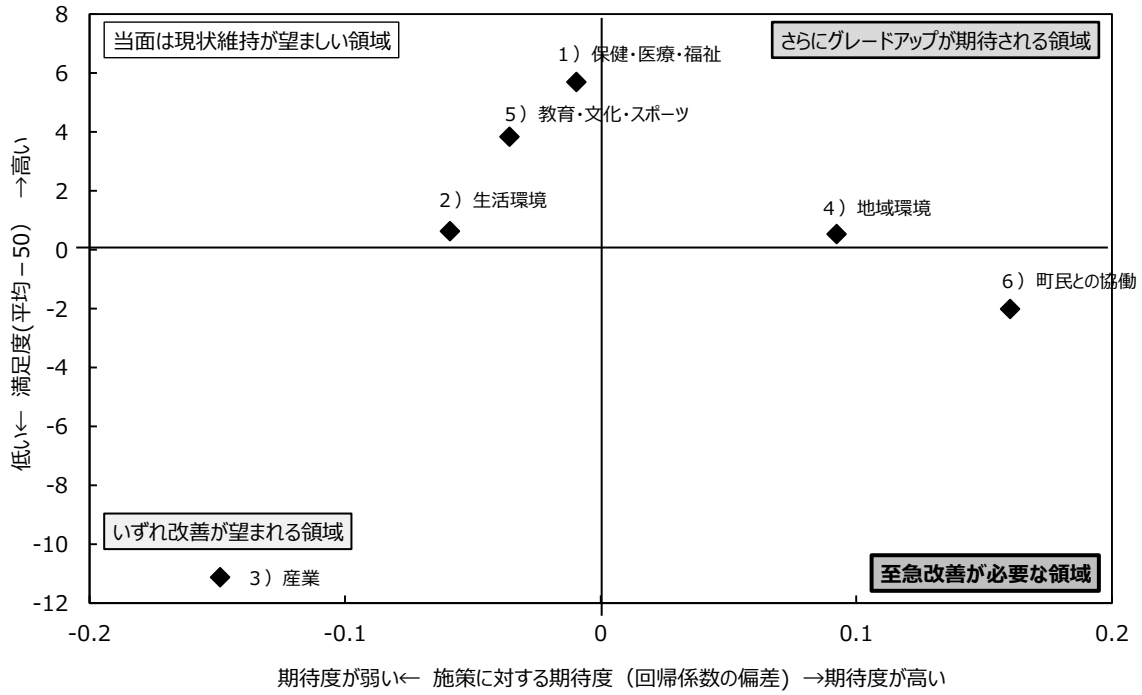
また領域別にみると、「至急改善が必要な領域」は、「町民との協働」であり、「さらにグレードアップが期待される領域」は、「地域環境」となっている。「当面は維持管理が望ましい領域」は「保健・医療・福祉」、「教育・文化・スポーツ」及び「生活環境」である。なお「産業」は分析結果の有意性が低い。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地　計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
満足	9	8	3	20	0	1	0	21
	2.9%	2.8%	1.4%	2.5%	0.0%	3.7%	0.0%	2.4%
やや満足	59	49	41	149	5	5	2	161
	18.7%	17.0%	19.5%	18.3%	20.8%	18.5%	10.0%	18.2%
ふつう	175	156	111	442	13	14	9	478
	55.6%	54.0%	52.9%	54.3%	54.2%	51.9%	45.0%	54.0%
やや不満	43	47	37	127	3	7	2	139
	13.7%	16.3%	17.6%	15.6%	12.5%	25.9%	10.0%	15.7%
不満	8	13	6	27	3	0	2	32
	2.5%	4.5%	2.9%	3.3%	12.5%	0.0%	10.0%	3.6%
無回答	21	16	12	49	0	0	5	54
	6.7%	5.5%	5.7%	6.0%	0.0%	0.0%	25.0%	6.1%
回答者数	315	289	210	814	24	27	20	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不明	合計
満足	0	0	3	2	3	4	9	0	21
	0.0%	0.0%	5.8%	2.6%	2.7%	1.8%	2.3%	0.0%	2.4%
やや満足	0	5	17	23	15	30	71	0	161
	0.0%	27.8%	32.7%	30.3%	13.3%	13.7%	18.0%	0.0%	18.2%
ふつう	1	11	20	37	60	128	218	3	478
	50.0%	61.1%	38.5%	48.7%	53.1%	58.4%	55.2%	30.0%	54.0%
やや不満	1	1	8	9	26	40	51	3	139
	50.0%	5.6%	15.4%	11.8%	23.0%	18.3%	12.9%	30.0%	15.7%
不満	0	1	3	3	8	12	4	1	32
	0.0%	5.6%	5.8%	3.9%	7.1%	5.5%	1.0%	10.0%	3.6%
無回答	0	0	1	2	1	5	42	3	54
	0.0%	0.0%	1.9%	2.6%	0.9%	2.3%	10.6%	30.0%	6.1%
回答者数	2	18	52	76	113	219	395	10	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

現状の満足度平均と施策に対する期待度



R	R 2乗	修正R 2乗
0.642	0.412	0.407

	偏回帰係数	標準誤差	標準偏回帰係数 β	t 値	P 値	満足度の平均値	重視度 βの偏差	満足度 平均-50
定数	4.232	1.196		3.540	P < 0.001			
1）保健・医療・福祉	0.108	0.028	0.13	3.820	P < 0.001	55.7	-0.01	5.7
2）生活環境	0.078	0.035	0.08	2.253	0.0246	50.6	-0.06	0.6
3）産業	-0.011	0.050	-0.01	-0.228	0.8199	38.9	-0.15	-11.1
4）地域環境	0.229	0.036	0.23	6.418	P < 0.001	50.5	0.09	0.5
5）教育・文化・スポーツ	0.096	0.033	0.11	2.885	0.0040	53.8	-0.04	3.8
6）町民との協働	0.352	0.044	0.30	8.074	P < 0.001	48.0	0.16	-2.0
平均			0.14					

（7）町政（まちづくり）への参加方法

あなたは、町政（まちづくり）への参加方法についてどのようにお考えですか。（1つ選択）

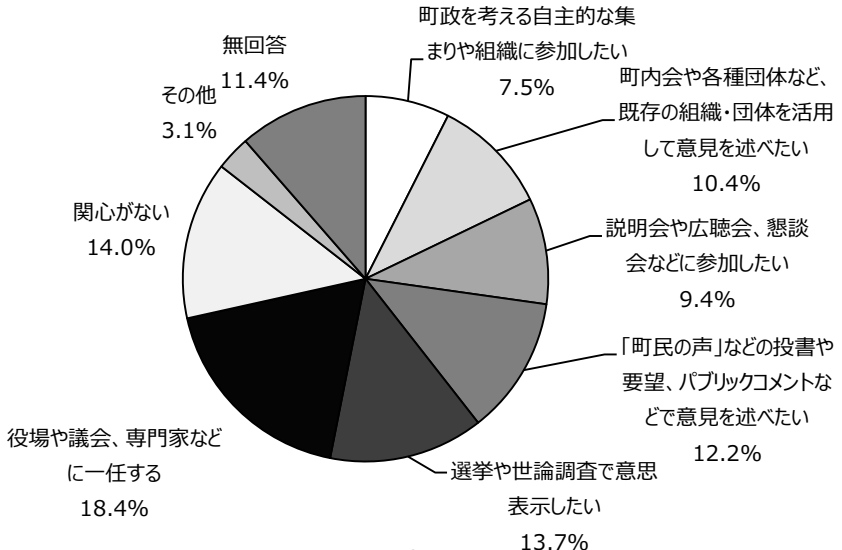
1．町政（まちづくり）を考える自主的な集まりや組織に参加したい
2．町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3．説明会や広聴会、懇談会などに参加したい
4．「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい
5．選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示をしたい
6．役場や議会、専門家などに一任する
7．関心がない
8．その他（　　）

町政（まちづくり）への参加方法については、「役場や議会、専門家などに一任する」が 18.4%で最も多く、次いで「関心がない」が 14.0%となっており、約 3 割は町政への自発的な参加に対して関心が低い。以下、「選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示をしたい」が 13.7%、「「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい」が 12.2%となっている。

地区別にみると、市街地は「役場や議会、専門家などに一任する」、層雲峡は「関心がない」がそれぞれ最も多い。また農村地域では回答が分散している。

年齢別にみると、20 歳未満では「関心がない」、30 代は「町政（まちづくり）を考える自主的な集まりや組織に参加したい」、40 代及び 60 代は「選挙や世論調査（アンケートなど）で意思表示をしたい」、50 代は「「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい」、70 歳以上は「役場や議会、専門家などに一任する」がそれぞれ最も多く、年代によってばらつきがみられる。また 20 代は回答が分散している。

前回調査と比較すると、「役場や議会、専門家などに一任する」及び「関心がない」が増加し、他の項目は減少している。



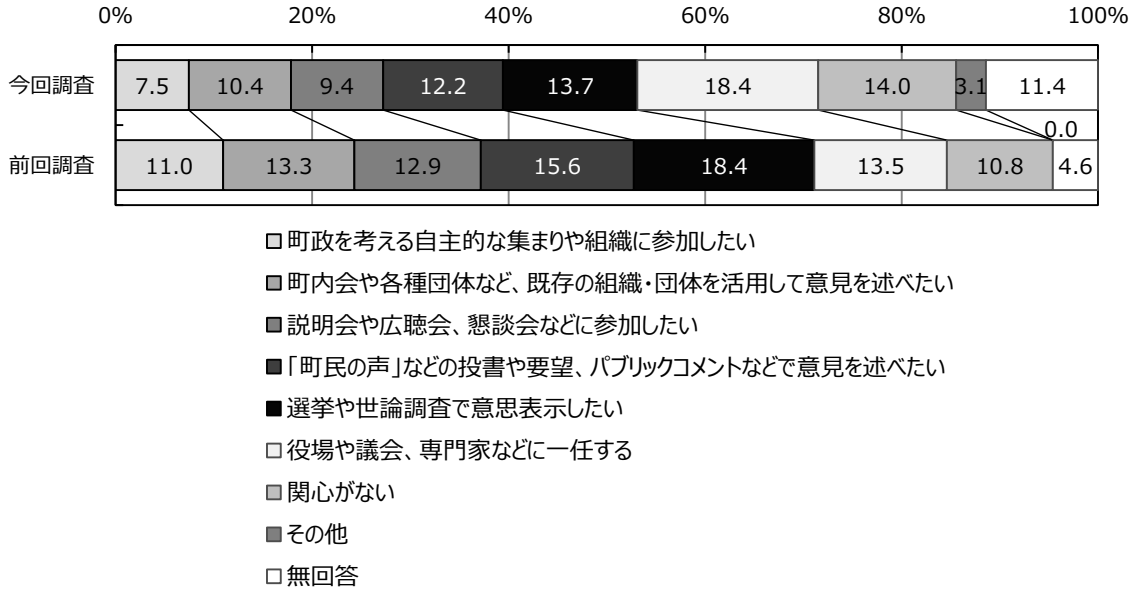
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
町政を考える自主的な集まりや組織に参加した	21 6.7%	20 6.9%	21 10.0%	62 7.6%	2 8.3%	0 0.0%	2 10.0%	66 7.5%
町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい	28 8.9%	28 9.7%	28 13.3%	84 10.3%	5 20.8%	2 7.4%	1 5.0%	92 10.4%
説明会や広聴会、懇談会などに参加したい	34 10.8%	28 9.7%	16 7.6%	78 9.6%	2 8.3%	2 7.4%	1 5.0%	83 9.4%
「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい	34 10.8%	42 14.5%	19 9.0%	95 11.7%	4 16.7%	8 29.6%	1 5.0%	108 12.2%
選挙や世論調査で意思表示したい	46 14.6%	39 13.5%	27 12.9%	112 13.8%	5 20.8%	2 7.4%	2 10.0%	121 13.7%
役場や議会、専門家などに一任する	67 21.3%	56 19.4%	34 16.2%	157 19.3%	4 16.7%	1 3.7%	1 5.0%	163 18.4%
関心がない	35 11.1%	42 14.5%	34 16.2%	111 13.6%	0 0.0%	10 37.0%	3 15.0%	124 14.0%
その他	12 3.8%	2 0.7%	9 4.3%	23 2.8%	1 4.2%	1 3.7%	2 10.0%	27 3.1%
無回答	38 12.1%	32 11.1%	22 10.5%	92 11.3%	1 4.2%	1 3.7%	7 35.0%	101 11.4%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
町政を考える自主的な集まりや組織に参加したい	0 0.0%	1 5.6%	11 21.2%	6 7.9%	11 9.7%	12 5.5%	23 5.8%	2 20.0%	66 7.5%
町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい	0 0.0%	0 0.0%	6 11.5%	4 5.3%	14 12.4%	25 11.4%	41 10.4%	2 20.0%	92 10.4%
説明会や広聴会、懇談会などに参加したい	0 0.0%	3 16.7%	1 1.9%	11 14.5%	8 7.1%	17 7.8%	43 10.9%	0 0.0%	83 9.4%
「町民の声」などの投書や要望、パブリックコメントなどで意見を述べたい	0 0.0%	4 22.2%	8 15.4%	13 17.1%	28 24.8%	29 13.2%	26 6.6%	0 0.0%	108 12.2%
選挙や世論調査で意思表示したい	0 0.0%	2 11.1%	6 11.5%	16 21.1%	16 14.2%	37 16.9%	44 11.1%	0 0.0%	121 13.7%
役場や議会、専門家などに一任する	0 0.0%	4 22.2%	8 15.4%	11 14.5%	7 6.2%	34 15.5%	99 25.1%	0 0.0%	163 18.4%
関心がない	2 100.0%	4 22.2%	9 17.3%	13 17.1%	21 18.6%	34 15.5%	40 10.1%	1 10.0%	124 14.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.3%	5 4.4%	11 5.0%	10 2.5%	0 0.0%	27 3.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.3%	3 2.7%	20 9.1%	69 17.5%	5 50.0%	101 11.4%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・全体的に年数が浅いので自分の事で精いっぱいです。
・若い人が参加しても高齢者の意見が優先となり、無意味になっている。
・行きたくても高齢でなかなか行けない。
・各種委員会等で住民の意見は聞いているはず。それを集約すれば済むこと。わざわさまちづくり参加など考える必要はない。それに住民といってもほとんどは６０歳以上の未就労者、高齢者、町政の参加の機会があっても参加する人はほとんどいないと思います。
・現在の自分は毎日生きるのが大変な年齢。
・特に不満を持ってない。
・参加したいが同じ人が参加しているだけで参加しずらい。
・関心はあるが、参加しずらい。
・なかなか参加出来ない。
・物事を決めるときトップダウンになっているのが不満。
・わからない。(2)
・１．に参加したいと思っていますが、自分が忙しくて出れない。
・時間とその空間の中で気が入れば。
・意識はあるが積極的に出るのは苦手。

前回調査との比較



3　分野別対策への意向

（1）健康で安心した生活を送るための対策

町民が健康で安心した生活を送るためには、今後のまちづくりの中でどのような対策が重要だと思いますか。（3つまで選択）

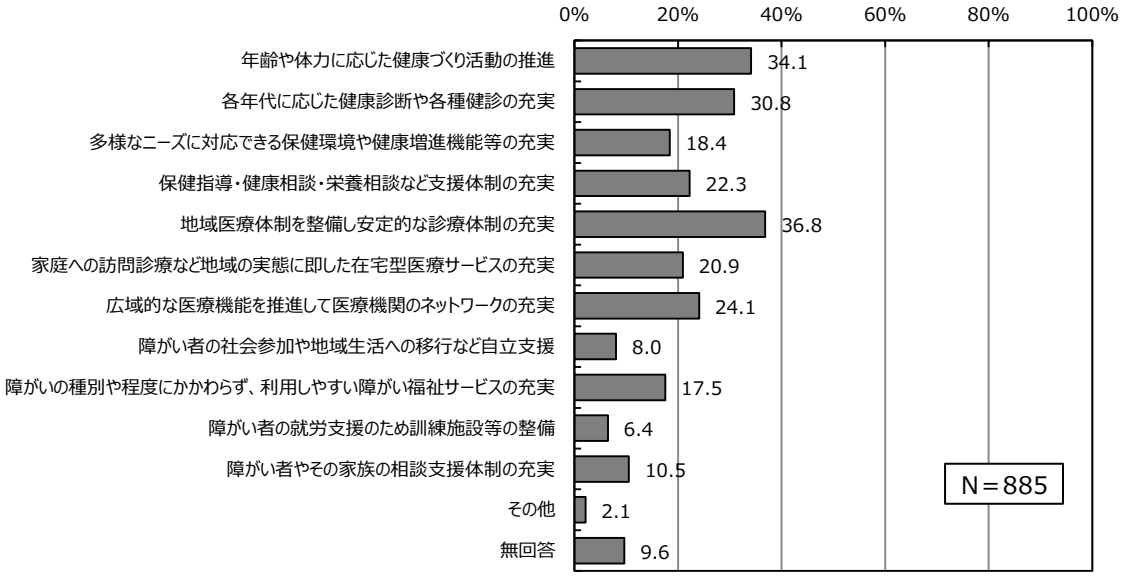
1．年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する
2．各年代に応じた健康診断や各種健診の充実を図る
3．多様なニーズに対応できる保健環境や健康増進機能等の充実を図る
4．保健指導・健康相談・栄養相談など支援体制の充実を図る
5．地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実を図る
6．家庭への訪問診療など地域の実態に即した在宅型医療サービスの充実を図る
7．広域的な医療機能を推進して医療機関のネットワークの充実を図る
8．障がい者の社会参加や地域生活への移行など自立支援を図る
9．障がいの種別や程度にかかわらず、利用しやすい障がい福祉サービスの充実を図る
10．障がい者の就労支援のため訓練施設等の整備を検討する
11．障がい者やその家族の相談支援体制の充実を図る
12．その他（　　）

町民が健康で安心した生活を送るために重要な対策（複数回答）としては、「地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実を図る」が 36.8%で最も多く、次いで「年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する」が 34.1%、「各年代に応じた健康診断や各種健診の充実を図る」が 30.8%となっている。

地区別にみると、市街地（東地区）及び市街地（西地区）は「地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実を図る」が最も多く、市街地（北地区）は「年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する」最も多くなっている。層雲峡では「広域的な医療機能を推進して医療機関のネットワークの充実を図る」が最も多い。農村地域は回答が分散している。

年齢別にみると、20 代と 60 代以上は「年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する」、40～50 代は「地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実を図る」が最も多くなっているが、20 歳未満は「広域的な医療機能を推進して医療機関のネットワークの充実を図る」、30 代は「各年代に応じた健康診断や各種健診の充実を図る」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「年齢や体力に応じた健康づくり活動を推進する」が前回から 10 ポイント以上増加している。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
年齢や体力に応じた健康づくり活動の推進	97 30.8%	110 38.1%	74 35.2%	281 34.5%	7 29.2%	8 29.6%	6 30.0%	302 34.1%
各年代に応じた健康診断や各種健診の充実	98 31.1%	88 30.4%	65 31.0%	251 30.8%	8 33.3%	9 33.3%	5 25.0%	273 30.8%
多様なニーズに対応できる保健環境や健康増進機能等の充実	56 17.8%	57 19.7%	34 16.2%	147 18.1%	8 33.3%	5 18.5%	3 15.0%	163 18.4%
保健指導・健康相談・栄養相談など支援体制の充実	64 20.3%	62 21.5%	53 25.2%	179 22.0%	7 29.2%	7 25.9%	4 20.0%	197 22.3%
地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実	115 36.5%	105 36.3%	84 40.0%	304 37.3%	8 33.3%	9 33.3%	5 25.0%	326 36.8%
家庭への訪問診療など地域の実態に即した在宅型医療サービスの充実	67 21.3%	60 20.8%	49 23.3%	176 21.6%	4 16.7%	4 14.8%	1 5.0%	185 20.9%
広域的な医療機能を推進して医療機関のネットワークの充実	72 22.9%	76 26.3%	42 20.0%	190 23.3%	4 16.7%	15 55.6%	4 20.0%	213 24.1%
障がい者の社会参加や地域生活への移行など自立支援	25 7.9%	22 7.6%	17 8.1%	64 7.9%	4 16.7%	2 7.4%	1 5.0%	71 8.0%
障がいの種別や程度にかかわらず、利用しやすい障がい福祉サービスの充実	64 20.3%	48 16.6%	32 15.2%	144 17.7%	5 20.8%	6 22.2%	0 0.0%	155 17.5%
障がい者の就労支援のため訓練施設等の整備	24 7.6%	14 4.8%	16 7.6%	54 6.6%	1 4.2%	2 7.4%	0 0.0%	57 6.4%
障がい者やその家族の相談支援体制の充実	35 11.1%	29 10.0%	24 11.4%	88 10.8%	2 8.3%	3 11.1%	0 0.0%	93 10.5%
その他	6 1.9%	4 1.4%	4 1.9%	14 1.7%	1 4.2%	0 0.0%	4 20.0%	19 2.1%
無回答	33 10.5%	29 10.0%	17 8.1%	79 9.7%	2 8.3%	0 0.0%	4 20.0%	85 9.6%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

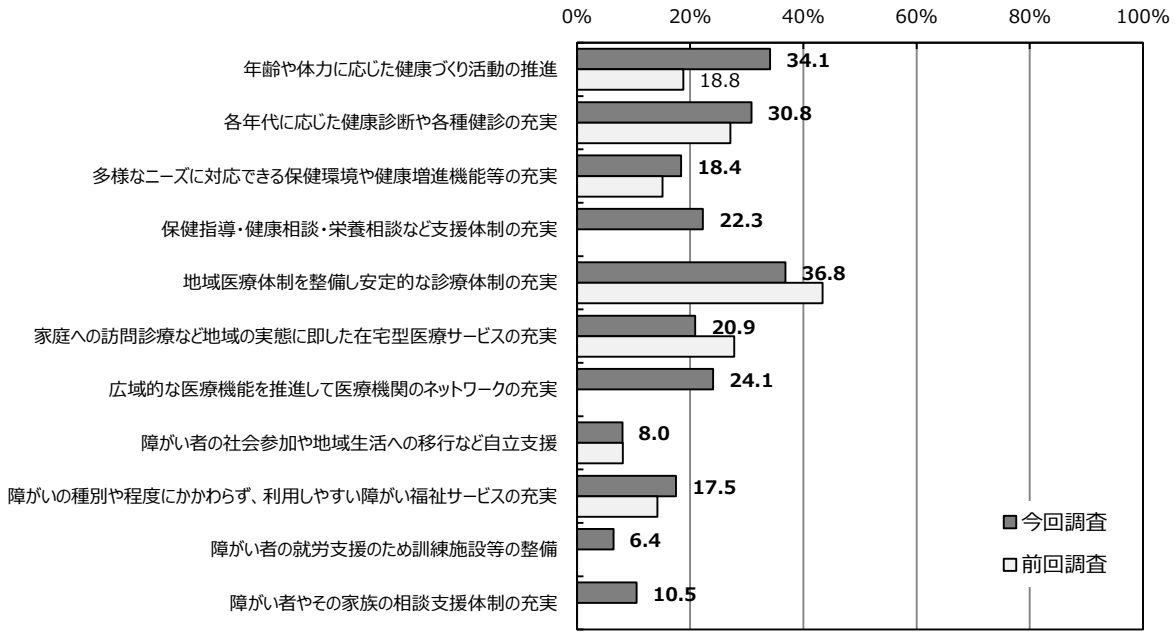
	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
年齢や体力に応じた健康づくり活動の推進	0 0.0%	8 44.4%	18 34.6%	12 15.8%	36 31.9%	87 39.7%	138 34.9%	3 30.0%	302 34.1%
各年代に応じた健康診断や各種健診の充実	0 0.0%	6 33.3%	30 57.7%	28 36.8%	30 26.5%	62 28.3%	115 29.1%	2 20.0%	273 30.8%
多様なニーズに対応できる保健環境や健康増進機能等の充実	0 0.0%	7 38.9%	9 17.3%	22 28.9%	21 18.6%	44 20.1%	59 14.9%	1 10.0%	163 18.4%
保健指導・健康相談・栄養相談など支援体制の充実	1 50.0%	5 27.8%	13 25.0%	11 14.5%	23 20.4%	46 21.0%	97 24.6%	1 10.0%	197 22.3%
地域医療体制を整備し安定的な診療体制の充実	1 50.0%	5 27.8%	21 40.4%	44 57.9%	53 46.9%	81 37.0%	120 30.4%	1 10.0%	326 36.8%
家庭への訪問診療など地域の実態に即した在宅型医療サービスの充実	0 0.0%	2 11.1%	7 13.5%	9 11.8%	19 16.8%	37 16.9%	110 27.8%	1 10.0%	185 20.9%
広域的な医療機能を推進して医療機関のネットワークの充実	2 100.0%	5 27.8%	17 32.7%	21 27.6%	39 34.5%	54 24.7%	75 19.0%	0 0.0%	213 24.1%
障がい者の社会参加や地域生活への移行など自立支援	1 50.0%	2 11.1%	5 9.6%	6 7.9%	16 14.2%	26 11.9%	15 3.8%	0 0.0%	71 8.0%
障がいの種別や程度にかかわらず、利用しやすい障がい福祉サービスの充実	1 50.0%	5 27.8%	5 9.6%	8 10.5%	22 19.5%	42 19.2%	72 18.2%	0 0.0%	155 17.5%
障がい者の就労支援のため訓練施設等の整備	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	7 9.2%	6 5.3%	20 9.1%	20 5.1%	1 10.0%	57 6.4%
障がい者やその家族の相談支援体制の充実	0 0.0%	2 11.1%	3 5.8%	8 10.5%	11 9.7%	25 11.4%	44 11.1%	0 0.0%	93 10.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	7 6.2%	2 0.9%	4 1.0%	2 20.0%	19 2.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	2 2.6%	2 1.8%	10 4.6%	65 16.5%	5 50.0%	85 9.6%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・病院が少なく、遠方まで行く必要がある。交通費を少し負担等してほしい。
・年寄りばかり（65 歳以上）健康体操など行ってるが 60 歳以上にしてほしい。
・町内の医療関係者が今の医療の問題を話し合うことができたらいいと思う。
・それぞれに出来る範囲で実行するほうがいい。自分達も動ける内は動いてきてるので。みんなと同じくは時間がかかってかえって迷惑。
・診療の待ち時間の解消、そのほかは能力に応じ、出来る範囲ですればいい。人口 4 千人未満の町でこれもあれもなんて無理だと思います。
・相談しても解決につながらないときがある。（聞いてくれるだけ）会社訪問も年に 1 回だとイベントですが、月 1 訪問などできませんか。しつこく訪問。
・バス等の利用出来ない集落での高齢者の自家用車、考え方と免許証返納。
・保健師など専門家に任せます。
・旭川の専門科に行きたい。送迎車は決まったところだけですか。
・子供や乳児はいろいろな病気を発症するので専門の小児科を配置するべき。
・保健師の機能発揮を望む（現、無能に近い）。
・意識の改革、支援体制ではなく、自ら各々が自主的に行動する意識。
・女性が利用しやすいトレーニングマシンの設置と場所の提供。

・人口増加。支える労働力も大切。
・認知症予防。
・気軽な場所づくり（世代や性別、障がいを超えた)。
・すぐ医者に行けをやめる事。薬を飲みながら酒を飲んでいる人を多く見かける（医療費がかさむだけ)。
・すでに上記の件、すべて当てはまっていると思いますが。
・己の努力(自己管理する)

前回調査との比較



（２）子育て環境の整備・子育て支援の推進

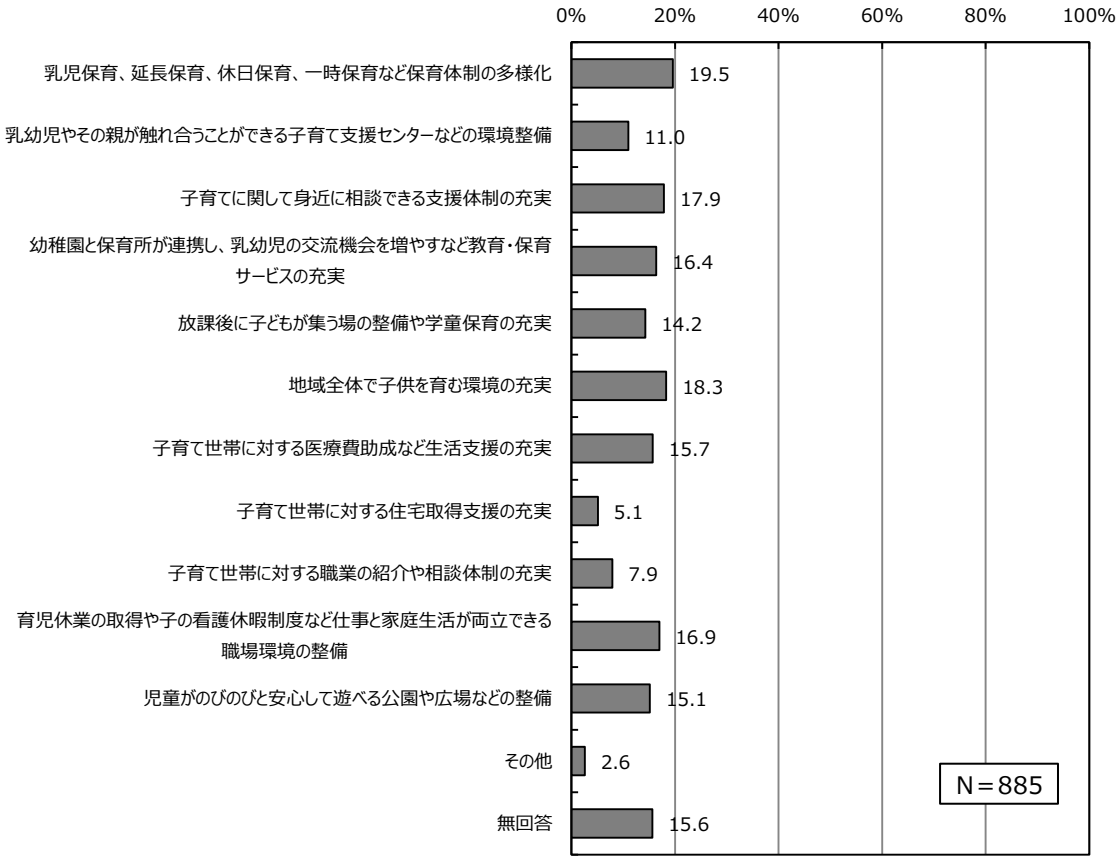
少子化が進む中、子育て環境の整備や子育て支援を進めるにあたって、どのような対策が重要だと思いますか。（２つまで選択）

１．乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化を進める
２．乳幼児やその親が触れ合うことができる子育て支援センターなどの環境整備を図る
３．子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実を図る
４．幼稚園と保育所が連携し、乳幼児の交流機会を増やすなど教育・保育サービスの充実を図る
５．放課後に子どもが集う場の整備や学童保育の充実を図る
６．地域全体で子供を育む環境の充実を図る
７．子育て世帯に対する医療費助成など生活支援の充実を図る
８．子育て世帯に対する住宅取得支援の充実を図る
９．子育て世帯に対する職業の紹介や相談体制の充実を図る
10. 育児休業の取得や子の看護休暇制度など仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備を図る
11. 児童がのびのびと安心して遊べる公園や広場などの整備を図る
12. その他（　　）

子育て環境の整備や子育て支援を進めるために重要な対策（複数回答）としては、「乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化を進める」が 19.5％で最も多く、次いで「地域全体で子供を育む環境の充実を図る」が 18.3％、「子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実を図る」が 17.9％となっている。

地区別にみると、市街地（東地区）は「子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実を図る」、市街地（北地区）は「乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化を進める」、市街地（西地区）は「地域全体で子供を育む環境の充実を図る」、農村地域は「幼稚園と保育所が連携し、乳幼児の交流機会を増やすなど教育・保育サービスの充実を図る」、層雲峡は「育児休業の取得や子の看護休暇制度など仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備を図る」がそれぞれ最も多く、地区によって回答にばらつきがみられる。

年齢別にみると、20 代以下は「子育て世帯に対する医療費助成など生活支援の充実を図る」が最も多く、30～40 代及び 60 代は「乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化を進める」が最も多くなっている。また 70 歳以上は無回答が最も多い。


0%
20%
40%
60%
80%
100%
乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化
19.5
乳幼児やその親が触れ合うことができる子育て支援センターなどの環境整備
11.0
子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実
17.9
幼稚園と保育所が連携し、乳幼児の交流機会を増やすなど教育・保育サービスの充実
16.4
放課後に子どもが集う場の整備や学童保育の充実
14.2
地域全体で子供を育む環境の充実
18.3
子育て世帯に対する医療費助成など生活支援の充実
15.7
子育て世帯に対する住宅取得支援の充実
5.1
子育て世帯に対する職業の紹介や相談体制の充実
7.9
育児休業の取得や子の看護休暇制度など仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備
16.9
児童がのびのびと安心して遊べる公園や広場などの整備
15.1
その他
2.6
無回答
15.6
N＝885

	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化	55 17.5%	65 22.5%	38 18.1%	158 19.4%	6 25.0%	7 25.9%	2 10.0%	173 19.5%
乳幼児やその親が触れ合うことができる子育て支援センターなどの環境整備	29 9.2%	33 11.4%	25 11.9%	87 10.7%	4 16.7%	5 18.5%	1 5.0%	97 11.0%
子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実	64 20.3%	55 19.0%	31 14.8%	150 18.4%	2 8.3%	4 14.8%	2 10.0%	158 17.9%
幼稚園と保育所が連携し、乳幼児の交流機会を増やすなど教育・保育サービスの充実	51 16.2%	43 14.9%	35 16.7%	129 15.8%	7 29.2%	6 22.2%	3 15.0%	145 16.4%
放課後に子どもが集う場の整備や学童保育の充実	37 11.7%	43 14.9%	37 17.6%	117 14.4%	2 8.3%	4 14.8%	3 15.0%	126 14.2%
地域全体で子供を育む環境の充実	61 19.4%	49 17.0%	44 21.0%	154 18.9%	5 20.8%	1 3.7%	2 10.0%	162 18.3%
子育て世帯に対する医療費助成など生活支援の充実	45 14.3%	46 15.9%	36 17.1%	127 15.6%	6 25.0%	4 14.8%	2 10.0%	139 15.7%
子育て世帯に対する住宅取得支援の充実	13 4.1%	13 4.5%	14 6.7%	40 4.9%	1 4.2%	4 14.8%	0 0.0%	45 5.1%
子育て世帯に対する職業の紹介や相談体制の充実	28 8.9%	22 7.6%	14 6.7%	64 7.9%	1 4.2%	4 14.8%	1 5.0%	70 7.9%
育児休業の取得や子の看護休暇制度など仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備	58 18.4%	46 15.9%	32 15.2%	136 16.7%	3 12.5%	10 37.0%	1 5.0%	150 16.9%
児童がのびのびと安心して遊べる公園や広場などの整備	47 14.9%	41 14.2%	33 15.7%	121 14.9%	5 20.8%	2 7.4%	6 30.0%	134 15.1%
その他	8 2.5%	6 2.1%	6 2.9%	20 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	23 2.6%
無回答	52 16.5%	47 16.3%	30 14.3%	129 15.8%	2 8.3%	1 3.7%	6 30.0%	138 15.6%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
乳児保育、延長保育、休日保育、一時保育など保育体制の多様化	0 0.0%	3 16.7%	19 36.5%	21 27.6%	23 20.4%	54 24.7%	52 13.2%	1 10.0%	173 19.5%
乳幼児やその親が触れ合うことができる子育て支援センターなどの環境整備	0 0.0%	4 22.2%	5 9.6%	6 7.9%	10 8.8%	21 9.6%	51 12.9%	0 0.0%	97 11.0%
子育てに関して身近に相談できる支援体制の充実	0 0.0%	3 16.7%	4 7.7%	13 17.1%	24 21.2%	35 16.0%	78 19.7%	1 10.0%	158 17.9%
幼稚園と保育所が連携し、乳幼児の交流機会を増やすなど教育・保育サービスの充実	0 0.0%	3 16.7%	7 13.5%	10 13.2%	20 17.7%	42 19.2%	62 15.7%	1 10.0%	145 16.4%
放課後に子どもが集う場の整備や学童保育の充実	0 0.0%	3 16.7%	11 21.2%	18 23.7%	17 15.0%	37 16.9%	40 10.1%	0 0.0%	126 14.2%
地域全体で子供を育む環境の充実	0 0.0%	2 11.1%	10 19.2%	14 18.4%	25 22.1%	44 20.1%	65 16.5%	2 20.0%	162 18.3%
子育て世帯に対する医療費助成など生活支援の充実	2 100.0%	5 27.8%	10 19.2%	13 17.1%	22 19.5%	31 14.2%	56 14.2%	0 0.0%	139 15.7%
子育て世帯に対する住宅取得支援の充実	2 100.0%	4 22.2%	6 11.5%	3 3.9%	9 8.0%	11 5.0%	10 2.5%	0 0.0%	45 5.1%
子育て世帯に対する職業の紹介や相談体制の充実	1 50.0%	2 11.1%	9 17.3%	9 11.8%	13 11.5%	16 7.3%	20 5.1%	0 0.0%	70 7.9%
育児休業の取得や子の看護休暇制度など仕事と家庭生活が両立できる職場環境の整備	0 0.0%	2 11.1%	4 7.7%	19 25.0%	24 21.2%	45 20.5%	56 14.2%	0 0.0%	150 16.9%
児童がのびのびと安心して遊べる公園や広場などの整備	0 0.0%	4 22.2%	13 25.0%	8 10.5%	14 12.4%	30 13.7%	62 15.7%	3 30.0%	134 15.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	4 5.3%	4 3.5%	6 2.7%	7 1.8%	1 10.0%	23 2.6%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	2 2.6%	3 2.7%	22 10.0%	105 26.6%	5 50.0%	138 15.6%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・雨の日や雪の時期に子どもたちが安全に過ごせる居場所がほしい。
・子育てに関する柱となるテーマを持つ。その中で各論の１～１１の内容を充実させる。
・仕事の無い町では何も望めない。
・どの政策を行っても子供が増える訳ではない。
・3 番、5 番を進めるにあたって専門的知識がある人材の育成が必要。
・もっと若い人が住みやすい町づくりが必要。
・子供の給食費無料。
・自分が直面していない事なので何が不足しているのか解らない。
・親が育児、教育に弱くなってきた。過去の経験からして特記すること無し、８５歳。
・親の看護休暇も必要になると思う。
・幼保一元となる幼児センターの創設を願います、
・自分の子供は自らの力で育てる基本をしっかり持つ意識改革。
・子供が増えるような移住の促進。
・大学、専門学校へ行ける学費補助。

・独身の結婚適齢者に結婚を支援することが一番大切では？
・遊び場、学び場が必要。南町公園に他の公園にある遊具を集め、ぎゅっと濃縮してほしい。公園が点在していても遠い場所へ遊びに行けず、結局南町公園になる。
・図面上の良い公園作りではなく、地域の人々が楽しめる公園を作ってください。
・少子化の中、子育て環境の整備も必要ながら、それ以前、結婚する人、相手がいない事が問題。出しゃばりおヨネが必要。
・感染疱になり、長期間登園、登所出来ず、仕事に支障が出るのが困るので、医療機関に（軽度や経過見程度の症状に限り）有料でも預かってくれる場がほしい。1 日 1000～2000 円くらいで。
・親が不安なく就労できる子育ての場に力を。
・子供を産めば得するシステム

（3）老後も生きがいを持ち、充実した生活を送るための対策

町民が老後も生きがいを持ち、充実した生活を送るためには、今後のまちづくりの中でどのような対策が重要だと思いますか。（2つまで選択）

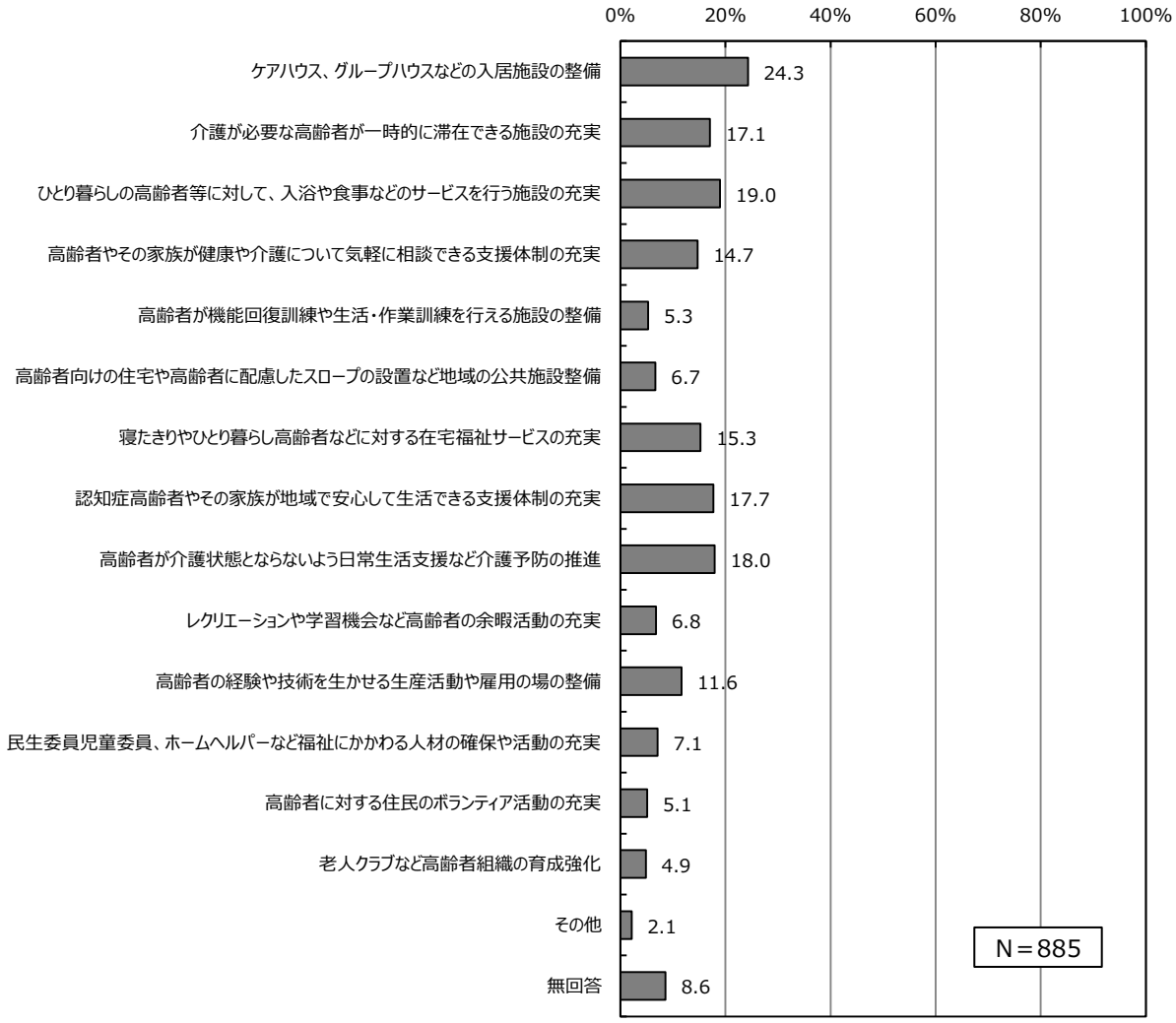
1．ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備を検討する
2．介護が必要な高齢者が一時的に滞在できる施設の充実を図る
3．ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実を図る
4．高齢者やその家族が健康や介護について気軽に相談できる支援体制の充実を図る
5．高齢者が機能回復訓練や生活・作業訓練を行える施設の整備を図る
6．高齢者向けの住宅や高齢者に配慮したスロープの設置など地域の公共施設整備を進める
7．寝たきりやひとり暮らし高齢者などに対する在宅福祉サービスの充実を図る
8．認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活できる支援体制の充実を図る
9．高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進を図る
10．レクリエーションや学習機会など高齢者の余暇活動の充実を図る
11．高齢者の経験や技術を生かせる生産活動や雇用の場の整備を図る
12．民生委員児童委員、ホームヘルパーなど福祉にかかわる人材の確保や活動の充実を図る
13．高齢者に対する住民のボランティア活動の充実を図る
14．老人クラブなど高齢者組織の育成強化を図る
15．その他（　　）

老後も生きがいを持ち充実した生活を送るために重要な対策（複数回答）としては、「ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備を検討する」が 24.3%と最も多く、次いで「ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実を図る」が 19.0%、「高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進を図る」が 18.0%となっている。

地区別にみると、市街地及び層雲峡では「ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備を検討する」が最も多くなっているが、農村地域では「認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活できる支援体制の充実を図る」が最も多くなっている。

年齢別にみると、30～50 代は「ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備を検討する」が最も多くなっているが、60 代では「ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実を図る」、70 歳以上では「高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進を図る」がそれぞれ最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「寝たきりやひとり暮らし高齢者などに対する在宅福祉サービスの充実を図る」が前回より 13 ポイント、「高齢者の経験や技術を生かせる生産活動や雇用の場の整備を図る」が前回より 10 ポイント下回っている。


0%
20%
40%
60%
80%
100%
ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備
24.3
介護が必要な高齢者が一時的に滞在できる施設の充実
17.1
ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実
19.0
高齢者やその家族が健康や介護について気軽に相談できる支援体制の充実
14.7
高齢者が機能回復訓練や生活・作業訓練を行える施設の整備
5.3
高齢者向けの住宅や高齢者に配慮したスロープの設置など地域の公共施設整備
6.7
寝たきりやひとり暮らし高齢者などに対する在宅福祉サービスの充実
15.3
認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活できる支援体制の充実
17.7
高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進
18.0
レクリエーションや学習機会など高齢者の余暇活動の充実
6.8
高齢者の経験や技術を生かせる生産活動や雇用の場の整備
11.6
民生委員児童委員、ホームヘルパーなど福祉にかかわる人材の確保や活動の充実
7.1
高齢者に対する住民のボランティア活動の充実
5.1
老人クラブなど高齢者組織の育成強化
4.9
その他
2.1
無回答
8.6
N＝885

	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備	81 25.7%	64 22.1%	52 24.8%	197 24.2%	4 16.7%	11 40.7%	3 15.0%	215 24.3%
介護が必要な高齢者が一時的に滞在できる施設の充実	59 18.7%	41 14.2%	39 18.6%	139 17.1%	8 33.3%	4 14.8%	0 0.0%	151 17.1%
ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実	53 16.8%	57 19.7%	45 21.4%	155 19.0%	2 8.3%	9 33.3%	2 10.0%	168 19.0%
高齢者やその家族が健康や介護について気軽に相談できる支援体制の充実	51 16.2%	52 18.0%	22 10.5%	125 15.4%	1 4.2%	3 11.1%	1 5.0%	130 14.7%
高齢者が機能回復訓練や生活・作業訓練を行える施設の整備	18 5.7%	18 6.2%	9 4.3%	45 5.5%	1 4.2%	0 0.0%	1 5.0%	47 5.3%
高齢者向けの住宅や高齢者に配慮したスロープの設置など地域の公共施設整備	24 7.6%	19 6.6%	11 5.2%	54 6.6%	1 4.2%	3 11.1%	1 5.0%	59 6.7%
寝たきりやひとり暮らし高齢者などに対する在宅福祉サービスの充実	42 13.3%	53 18.3%	34 16.2%	129 15.8%	1 4.2%	3 11.1%	2 10.0%	135 15.3%
認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活できる支援体制の充実	51 16.2%	44 15.2%	42 20.0%	137 16.8%	10 41.7%	6 22.2%	4 20.0%	157 17.7%
高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進	57 18.1%	56 19.4%	32 15.2%	145 17.8%	4 16.7%	5 18.5%	5 25.0%	159 18.0%
レクリエーションや学習機会など高齢者の余暇活動の充実	19 6.0%	22 7.6%	16 7.6%	57 7.0%	0 0.0%	2 7.4%	1 5.0%	60 6.8%
高齢者の経験や技術を生かせる生産活動や雇用の場の整備	35 11.1%	38 13.1%	24 11.4%	97 11.9%	2 8.3%	4 14.8%	0 0.0%	103 11.6%
民生委員児童委員、ホームヘルパーなど福祉にかかわる人材の確保や活動の充実	28 8.9%	12 4.2%	15 7.1%	55 6.8%	2 8.3%	3 11.1%	3 15.0%	63 7.1%
高齢者に対する住民のボランティア活動の充実	14 4.4%	16 5.5%	14 6.7%	44 5.4%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	45 5.1%
老人クラブなど高齢者組織の育成強化	13 4.1%	14 4.8%	13 6.2%	40 4.9%	2 8.3%	0 0.0%	1 5.0%	43 4.9%
その他	7 2.2%	2 0.7%	6 2.9%	15 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 20.0%	19 2.1%
無回答	28 8.9%	24 8.3%	17 8.1%	69 8.5%	3 12.5%	0 0.0%	4 20.0%	76 8.6%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
ケアハウス、グループハウスなどの入居施設の整備	0 0.0%	3 16.7%	14 26.9%	29 38.2%	35 31.0%	48 21.9%	84 21.3%	2 20.0%	215 24.3%
介護が必要な高齢者が一時的に滞在できる施設の充実	0 0.0%	1 5.6%	6 11.5%	17 22.4%	20 17.7%	49 22.4%	57 14.4%	1 10.0%	151 17.1%
ひとり暮らしの高齢者等に対して、入浴や食事などのサービスを行う施設の充実	0 0.0%	1 5.6%	7 13.5%	14 18.4%	25 22.1%	56 25.6%	64 16.2%	1 10.0%	168 19.0%
高齢者やその家族が健康や介護について気軽に相談できる支援体制の充実	0 0.0%	1 5.6%	8 15.4%	11 14.5%	15 13.3%	36 16.4%	59 14.9%	0 0.0%	130 14.7%
高齢者が機能回復訓練や生活・作業訓練を行える施設の整備	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	3 3.9%	12 10.6%	7 3.2%	24 6.1%	0 0.0%	47 5.3%
高齢者向けの住宅や高齢者に配慮したスロープの設置など地域の公共施設整備	1 50.0%	1 5.6%	2 3.8%	3 3.9%	8 7.1%	17 7.8%	27 6.8%	0 0.0%	59 6.7%
寝たきりやひとり暮らし高齢者などに対する在宅福祉サービスの充実	0 0.0%	6 33.3%	6 11.5%	15 19.7%	18 15.9%	30 13.7%	57 14.4%	3 30.0%	135 15.3%
認知症高齢者やその家族が地域で安心して生活できる支援体制の充実	1 50.0%	2 11.1%	8 15.4%	14 18.4%	23 20.4%	37 16.9%	71 18.0%	1 10.0%	157 17.7%
高齢者が介護状態とならないよう日常生活支援など介護予防の推進	1 50.0%	5 27.8%	8 15.4%	6 7.9%	17 15.0%	28 12.8%	92 23.3%	2 20.0%	159 18.0%
レクリエーションや学習機会など高齢者の余暇活動の充実	0 0.0%	6 33.3%	8 15.4%	6 7.9%	8 7.1%	15 6.8%	17 4.3%	0 0.0%	60 6.8%
高齢者の経験や技術を生かせる生産活動や雇用の場の整備	1 50.0%	2 11.1%	13 25.0%	10 13.2%	19 16.8%	39 17.8%	19 4.8%	0 0.0%	103 11.6%
民生委員児童委員、ホームヘルパーなど福祉にかかわる人材の確保や活動の充実	0 0.0%	2 11.1%	5 9.6%	3 3.9%	5 4.4%	17 7.8%	31 7.8%	0 0.0%	63 7.1%
高齢者に対する住民のボランティア活動の充実	0 0.0%	2 11.1%	3 5.8%	3 3.9%	2 1.8%	15 6.8%	20 5.1%	0 0.0%	45 5.1%
老人クラブなど高齢者組織の育成強化	0 0.0%	2 11.1%	1 1.9%	4 5.3%	2 1.8%	4 1.8%	29 7.3%	1 10.0%	43 4.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.3%	4 3.5%	2 0.9%	8 2.0%	1 10.0%	19 2.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	2 1.8%	10 4.6%	56 14.2%	4 40.0%	76 8.6%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・50～60 代から始める対策が必要と思います。

・高齢者でもできる仕事などをつくる。

・介護施設で働く人の賃金及び休暇の充実。

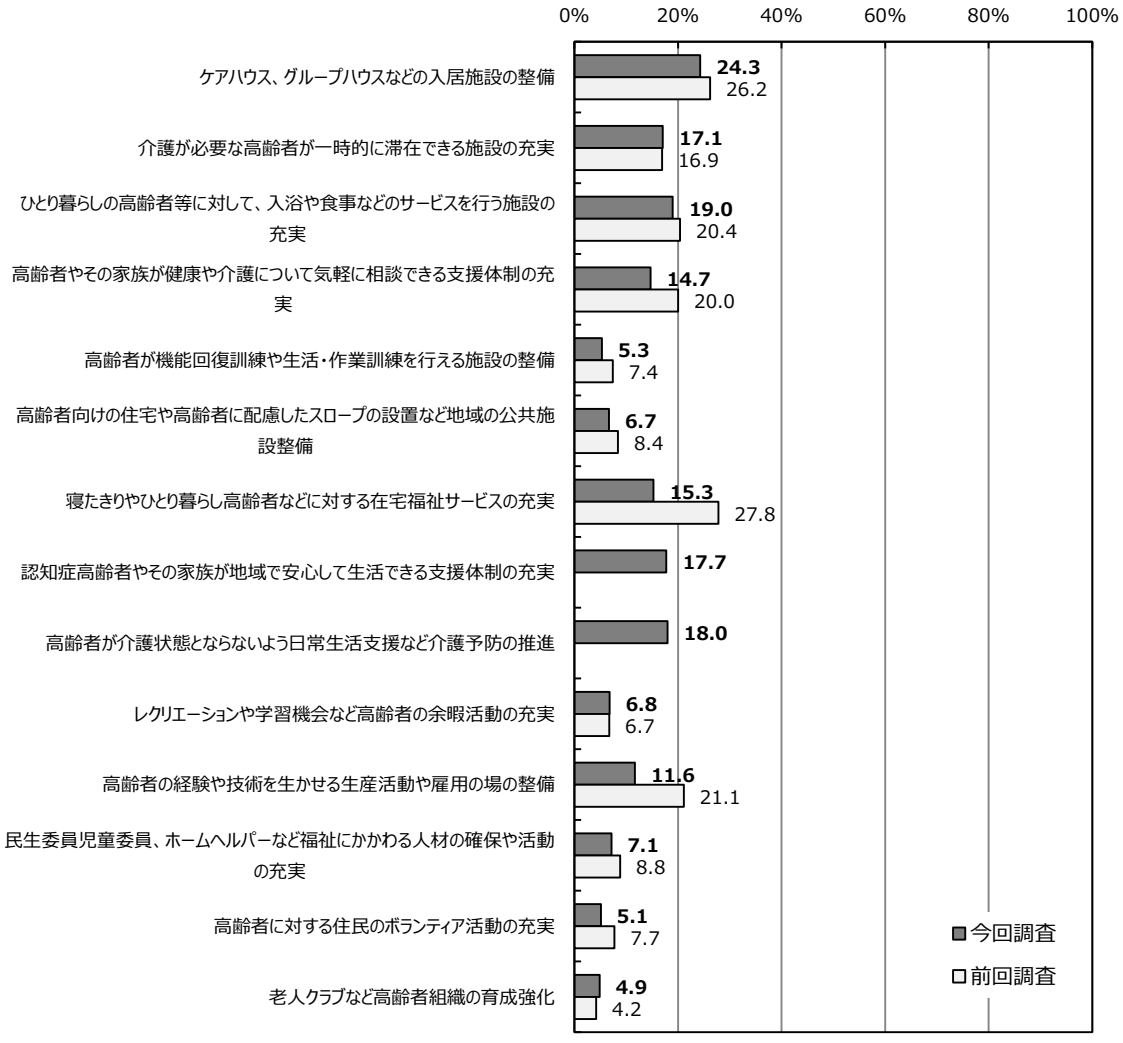
・もう充分ではないですか？

・町内民生委員の活動が足りない。

・高齢者の奥様がいますが、子供（息子）さんが時々見えるが、プライドが高くて…やはり、自

分で終活を考えるべきだと思う。
・民生委員など全く来て話をした事がない。自分の楽しみに忙しいのだろうな。
・そこそこの地元にあったものを希望。
・無料買物巡回バスの運行。
・なかなか参加できない。
・老人等の自立促進の強化、自助、公助で、公助は少なめに。
・最終的に高齢者の問題点は金銭面。
・介護職やホームヘルパー等福祉に関わる方の賃金や待遇の改善。
・老後も安心して上川に住むには医療と除雪対策の充実と税金を安く。
・労働力の確保。人材育成。そのための人口増加。
・組織に入れない人の孤立が気になる。
・認知症への偏見が解消されるための学習会。町内会、班内の結びつき、声掛け合い。
・先の短い俺よりも子、孫に対しての対策を。
・親戚、家族と仲良く暮らす。

前回調査との比較



（4）居住環境の改善すべき点

今後、居住環境を改善していくにあたって、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（３つまで選択）

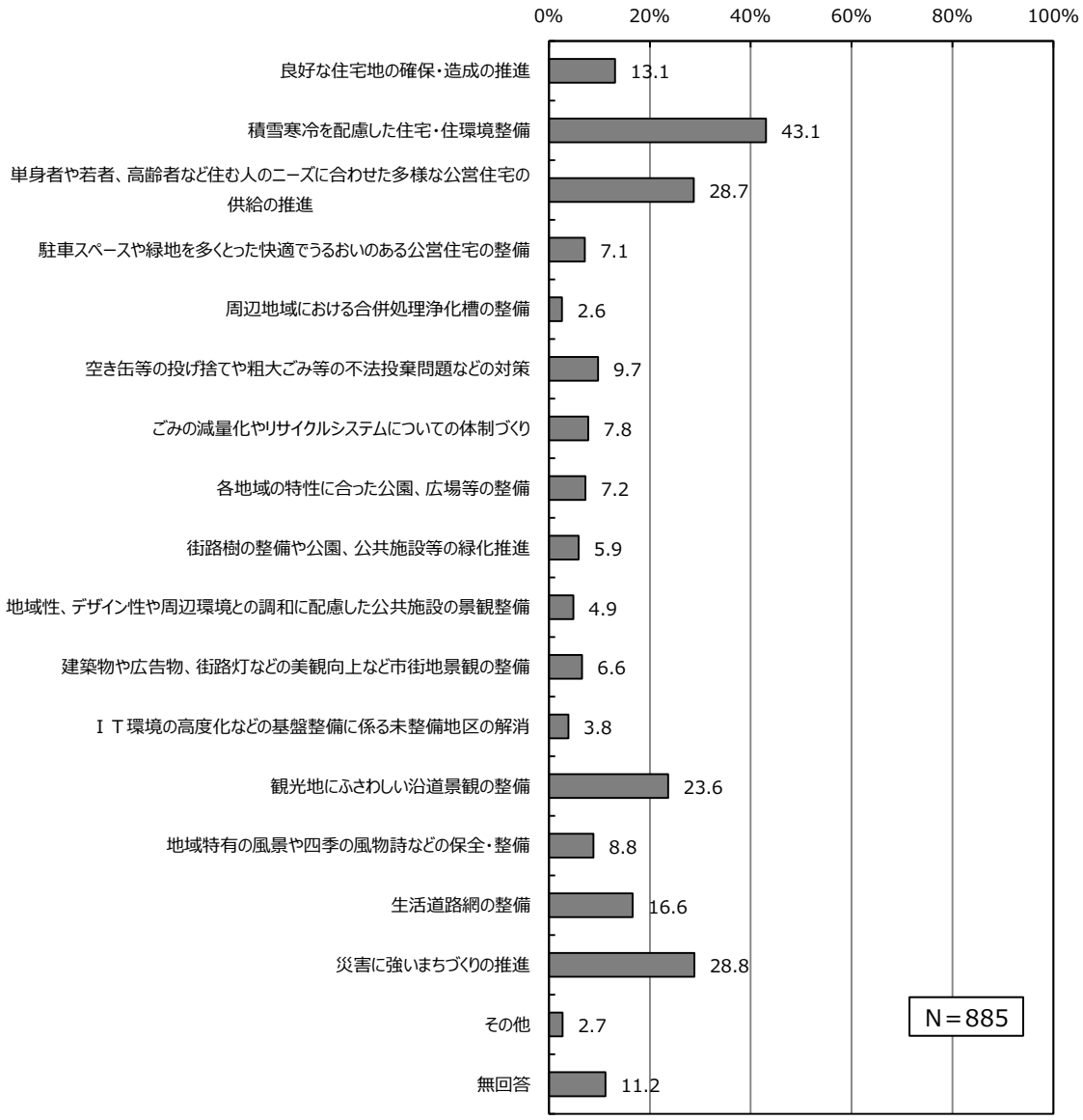
１．良好な住宅地の確保・造成を推進する
２．積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する
３．単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給を推進する
４．駐車スペースや緑地を多くとった快適でうるおいのある公営住宅を整備する
５．周辺地域における合併処理浄化槽の整備に努める
６．空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策を進める
７．ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくりを充実する
８．各地域の特性に合った公園、広場等の整備を図る
９．街路樹の整備や公園、公共施設等の緑化推進に努める
10．地域性、デザイン性や周辺環境との調和に配慮した公共施設の景観整備を推進する
11．建築物や広告物、街路灯などの美観向上など市街地景観の整備を進める
12．ＩＴ環境の高度化などの基盤整備に係る未整備地区の解消を図る
13．観光地にふさわしい沿道景観の整備を推進する
14．地域特有の風景や四季の風物詩などの保全・整備を進める
15．生活道路網の整備を進める
16．災害に強いまちづくりを推進する
17．その他（　　）

居住環境の改善にあたって力をそそぐべき点（複数回答）としては、「積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する」が 43.1%で最も多く、次いで「災害に強いまちづくりを推進する」が 28.8%、「単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給を推進する」が 28.8%、「観光地にふさわしい沿道景観の整備を推進する」が 23.6%となっている。

地区別にみると、市街地及び層雲峡では「積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する」が最も多いが、農村地区では「観光地にふさわしい沿道景観の整備を推進する」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 代及び 40 代は「単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給を推進する」が最も多く、30 代及び 50 代以上では「積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備について検討する」が前回より 10 ポイント増加する一方で、「空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策を進める」は 12 ポイント、「ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくりを充実する」は 11 ポイントそれぞれ減少している。


0%
20%
40%
60%
80%
100%
良好な住宅地の確保・造成の推進
13.1
積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備
43.1
単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給の推進
28.7
駐車スペースや緑地を多くとった快適でうるおいのある公営住宅の整備
7.1
周辺地域における合併処理浄化槽の整備
2.6
空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策
9.7
ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくり
7.8
各地域の特性に合った公園、広場等の整備
7.2
街路樹の整備や公園、公共施設等の緑化推進
5.9
地域性、デザイン性や周辺環境との調和に配慮した公共施設の景観整備
4.9
建築物や広告物、街路灯などの美観向上など市街地景観の整備
6.6
ＩＴ環境の高度化などの基盤整備に係る未整備地区の解消
3.8
観光地にふさわしい沿道景観の整備
23.6
地域特有の風景や四季の風物詩などの保全・整備
8.8
生活道路網の整備
16.6
災害に強いまちづくりの推進
28.8
その他
2.7
無回答
11.2
N＝885

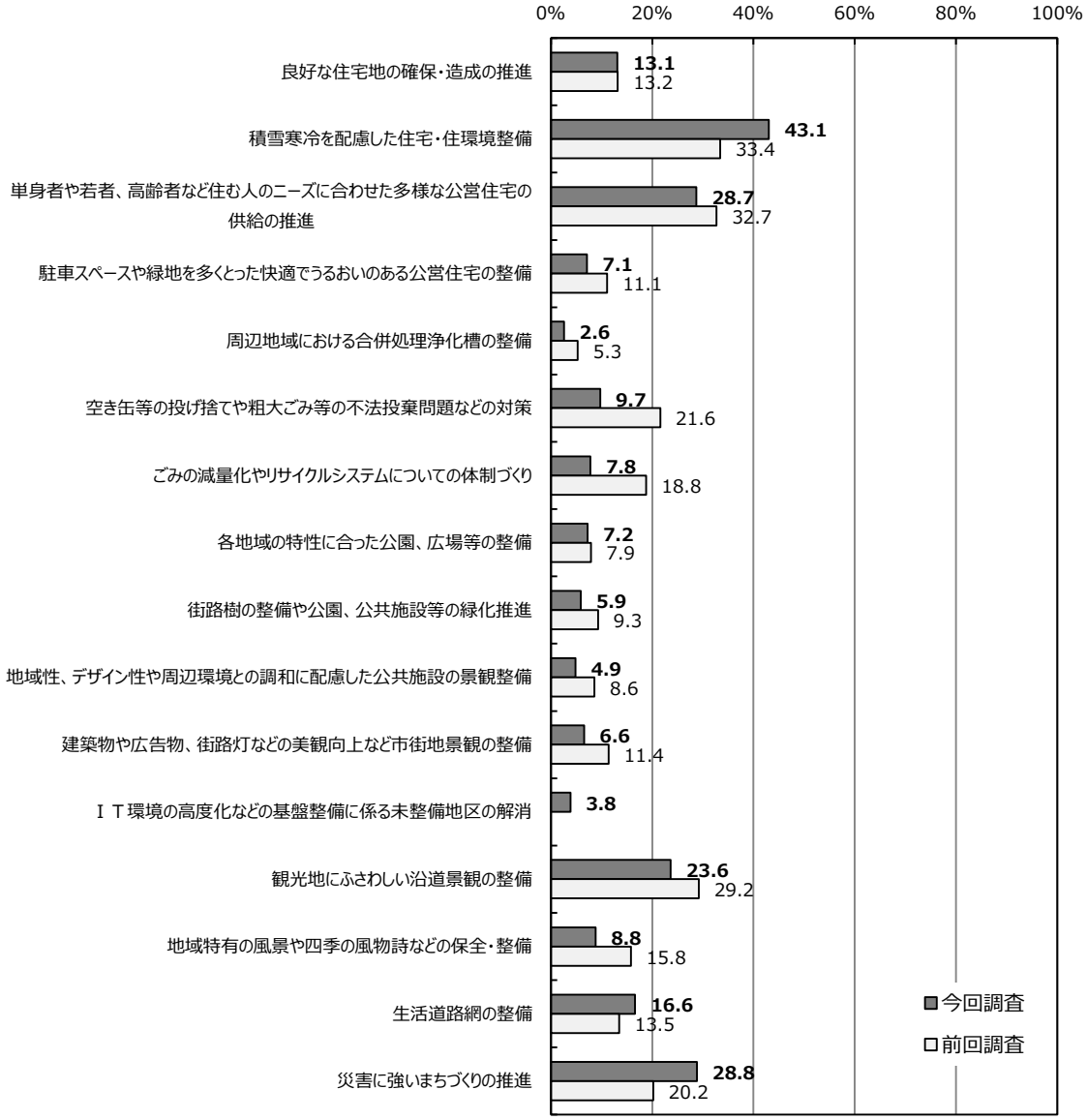
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
良好な住宅地の確保・造成の推進	34 10.8%	44 15.2%	26 12.4%	104 12.8%	1 4.2%	9 33.3%	2 10.0%	116 13.1%
積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備	144 45.7%	121 41.9%	89 42.4%	354 43.5%	8 33.3%	11 40.7%	8 40.0%	381 43.1%
単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給の推進	87 27.6%	77 26.6%	67 31.9%	231 28.4%	6 25.0%	13 48.1%	4 20.0%	254 28.7%
駐車スペースや緑地を多くとった快適でうるおいのある公営住宅の整備	23 7.3%	20 6.9%	10 4.8%	53 6.5%	2 8.3%	8 29.6%	0 0.0%	63 7.1%
周辺地域における合併処理浄化槽の整備	9 2.9%	4 1.4%	5 2.4%	18 2.2%	3 12.5%	1 3.7%	1 5.0%	23 2.6%
空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策	26 8.3%	27 9.3%	24 11.4%	77 9.5%	3 12.5%	4 14.8%	2 10.0%	86 9.7%
ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくり	25 7.9%	20 6.9%	20 9.5%	65 8.0%	1 4.2%	1 3.7%	2 10.0%	69 7.8%
各地域の特性に合った公園、広場等の整備	18 5.7%	22 7.6%	22 10.5%	62 7.6%	0 0.0%	1 3.7%	1 5.0%	64 7.2%
街路樹の整備や公園、公共施設等の緑化推進	17 5.4%	18 6.2%	14 6.7%	49 6.0%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%	52 5.9%
地域性、デザイン性や周辺環境との調和に配慮した公共施設の景観整備	13 4.1%	15 5.2%	13 6.2%	41 5.0%	1 4.2%	1 3.7%	0 0.0%	43 4.9%
建築物や広告物、街路灯などの美観向上など市街地景観の整備	22 7.0%	21 7.3%	13 6.2%	56 6.9%	1 4.2%	0 0.0%	1 5.0%	58 6.6%
ＩＴ環境の高度化などの基盤整備に係る未整備地区の解消	9 2.9%	13 4.5%	6 2.9%	28 3.4%	2 8.3%	3 11.1%	1 5.0%	34 3.8%
観光地にふさわしい沿道景観の整備	69 21.9%	69 23.9%	48 22.9%	186 22.9%	11 45.8%	10 37.0%	2 10.0%	209 23.6%
地域特有の風景や四季の風物詩などの保全・整備	26 8.3%	25 8.7%	19 9.0%	70 8.6%	6 25.0%	1 3.7%	1 5.0%	78 8.8%
生活道路網の整備	52 16.5%	49 17.0%	38 18.1%	139 17.1%	4 16.7%	2 7.4%	2 10.0%	147 16.6%
災害に強いまちづくりの推進	101 32.1%	83 28.7%	57 27.1%	241 29.6%	5 20.8%	4 14.8%	5 25.0%	255 28.8%
その他	9 2.9%	4 1.4%	5 2.4%	18 2.2%	1 4.2%	0 0.0%	5 25.0%	24 2.7%
無回答	36 11.4%	34 11.8%	22 10.5%	92 11.3%	3 12.5%	0 0.0%	4 20.0%	99 11.2%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
良好な住宅地の確保・造成の推進	1 50.0%	3 16.7%	12 23.1%	22 28.9%	28 24.8%	27 12.3%	23 5.8%	0 0.0%	116 13.1%
積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備	1 50.0%	6 33.3%	19 36.5%	28 36.8%	58 51.3%	105 47.9%	161 40.8%	3 30.0%	381 43.1%
単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給の推進	0 0.0%	10 55.6%	17 32.7%	30 39.5%	41 36.3%	72 32.9%	82 20.8%	2 20.0%	254 28.7%
駐車スペースや緑地を多くとった快適でうるおいのある公営住宅の整備	0 0.0%	4 22.2%	5 9.6%	9 11.8%	5 4.4%	18 8.2%	22 5.6%	0 0.0%	63 7.1%
周辺地域における合併処理浄化槽の整備	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	1 1.3%	2 1.8%	6 2.7%	12 3.0%	1 10.0%	23 2.6%
空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策	1 50.0%	3 16.7%	4 7.7%	4 5.3%	9 8.0%	19 8.7%	46 11.6%	0 0.0%	86 9.7%
ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくり	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	5 6.6%	10 8.8%	9 4.1%	40 10.1%	2 20.0%	69 7.8%
各地域の特性に合った公園、広場等の整備	0 0.0%	1 5.6%	12 23.1%	4 5.3%	8 7.1%	11 5.0%	28 7.1%	0 0.0%	64 7.2%
街路樹の整備や公園、公共施設等の緑化推進	1 50.0%	0 0.0%	3 5.8%	2 2.6%	6 5.3%	13 5.9%	27 6.8%	0 0.0%	52 5.9%
地域性、デザイン性や周辺環境との調和に配慮した公共施設の景観整備	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	5 6.6%	6 5.3%	11 5.0%	16 4.1%	1 10.0%	43 4.9%
建築物や広告物、街路灯などの美観向上など市街地景観の整備	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	7 9.2%	5 4.4%	16 7.3%	24 6.1%	0 0.0%	58 6.6%
ＩＴ環境の高度化などの基盤整備に係る未整備地区の解消	0 0.0%	3 16.7%	2 3.8%	6 7.9%	10 8.8%	7 3.2%	5 1.3%	1 10.0%	34 3.8%
観光地にふさわしい沿道景観の整備	1 50.0%	2 11.1%	11 21.2%	16 21.1%	34 30.1%	53 24.2%	92 23.3%	0 0.0%	209 23.6%
地域特有の風景や四季の風物詩などの保全・整備	0 0.0%	3 16.7%	4 7.7%	7 9.2%	11 9.7%	22 10.0%	30 7.6%	1 10.0%	78 8.8%
生活道路網の整備	1 50.0%	1 5.6%	7 13.5%	4 5.3%	21 18.6%	42 19.2%	71 18.0%	0 0.0%	147 16.6%
災害に強いまちづくりの推進	0 0.0%	5 27.8%	16 30.8%	23 30.3%	27 23.9%	71 32.4%	111 28.1%	2 20.0%	255 28.8%
その他	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	4 5.3%	1 0.9%	6 2.7%	9 2.3%	1 10.0%	24 2.7%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	2 1.8%	15 6.8%	74 18.7%	4 40.0%	99 11.2%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・様々な情報を早く、的確に伝える環境づくりが急務です。
・現在の公営住宅の整備をまず考えてほしい。
・花園町の沿道が高く、高齢者には危ないので整備してほしい。
・空き家対策の推進。
・公営住宅よりも移住や仕事で赴任してきた人が住める空き家を住めるようにリフォームしてほしい。
・新築年数により部分的に改装するべき。
・街灯が少ない。
・少子高齢化にあった生活道路等を含めた環境の整備。
・季節労働者や単年度労働者向けの民間アパート等の確保。
・全戸水洗トイレ化（無償で）。
・ポテト（ケーブルテレビ）が見たい。
・寒暖対策の為の補助充実
・窓の壊れた空き家、屋根の落ちた空き家、こんな空き家がある限り、町の美化あり得ないと思う。大通り歩道は広くなったがその歩道に駐車している店の持ち主の車、歩道広くした意味ないのでは。
・大通り以外の歩道の整備。除雪対策。
・空き家は放置で新しい家を建てても意味が無い。町外に勉強のために出ていった（通っている人）人が夜帰るときの道が安全とはいいがたい。
・他市町村からも利用者が来る充実した公共施設。
・地域住民の意識改革が必要。
・各地域の雪捨て場の確保。
・13 に同一する意見ですが、街、沿道付近も整備し、推進したほうが良いのでは。
・歩くための道路ではない、歩道のへこみや段差、アスファルトの亀裂、除雪の不満。
・美瑛町や東川町、トマム町のように町全体がおしゃれでちょっぴり個性的な感じに統一されているとそれだけで観光になる。若者の目、大事だと思います。
・２階建て住宅を１階建てに改装するための助成。
・移住者向け、高齢者向け、若者向けのターゲットを明確とした住宅づくり

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
良好な住宅地の確保・造成の推進
13.1
13.2
積雪寒冷を配慮した住宅・住環境整備
43.1
33.4
単身者や若者、高齢者など住む人のニーズに合わせた多様な公営住宅の供給の推進
28.7
32.7
駐車スペースや緑地を多くとった快適でうるおいのある公営住宅の整備
7.1
11.1
周辺地域における合併処理浄化槽の整備
2.6
5.3
空き缶等の投げ捨てや粗大ごみ等の不法投棄問題などの対策
9.7
21.6
ごみの減量化やリサイクルシステムについての体制づくり
7.8
18.8
各地域の特性に合った公園、広場等の整備
7.2
7.9
街路樹の整備や公園、公共施設等の緑化推進
5.9
9.3
地域性、デザイン性や周辺環境との調和に配慮した公共施設の景観整備
4.9
8.6
建築物や広告物、街路灯などの美観向上など市街地景観の整備
6.6
11.4
ＩＴ環境の高度化などの基盤整備に係る未整備地区の解消
3.8
観光地にふさわしい沿道景観の整備
23.6
29.2
地域特有の風景や四季の風物詩などの保全・整備
8.8
15.8
生活道路網の整備
16.6
13.5
災害に強いまちづくりの推進
28.8
20.2
今回調査
前回調査

（５）移住の際の問題点

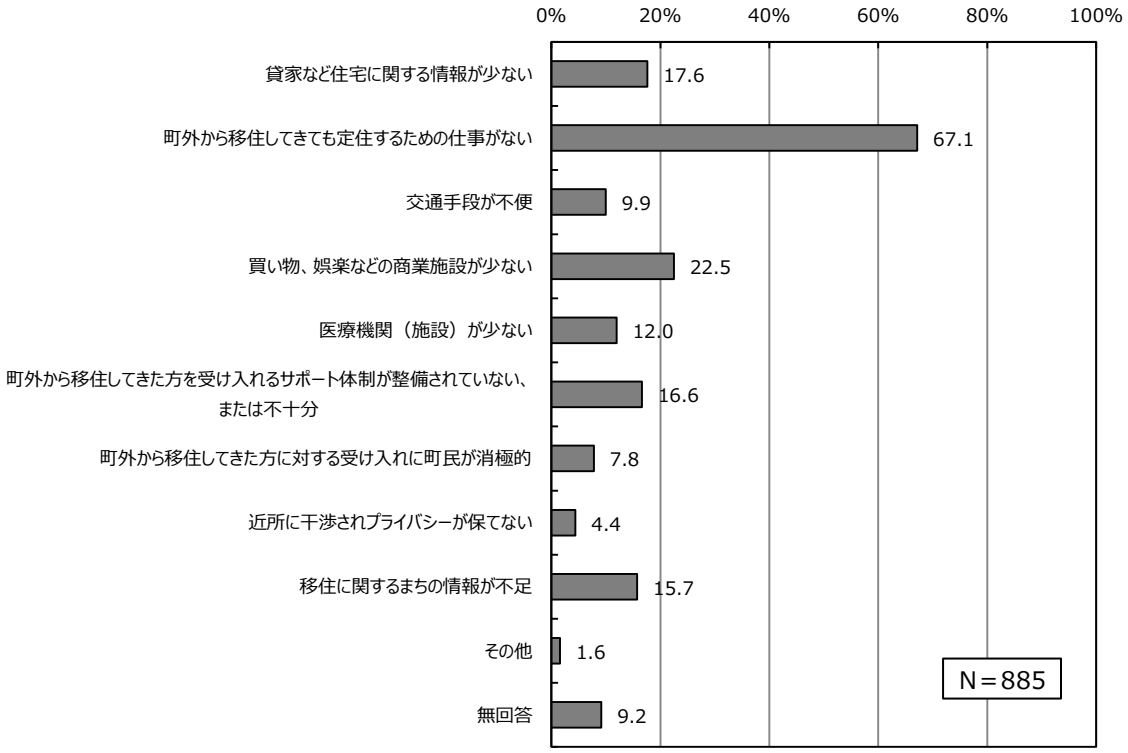
町外から上川町に移住する際の問題点は何だとお考えでしょうか。（２つまで選択）

１．貸家など住宅に関する情報が少ない
２．町外から移住してきても定住するための仕事がない
３．交通手段が不便
４．買い物、娯楽などの商業施設が少ない
５．医療機関（施設）が少ない
６．町外から移住してきた方を受け入れるサポート体制が整備されていない、または不十分
７．町外から移住してきた方に対する受け入れに町民が消極的
８．近所に干渉されプライバシーが保てない
９．移住に関するまちの情報が不足している
10．その他（　　）

町外から上川町に移住する際の問題点（複数回答）としては、「町外から移住してきても定住するための仕事がない」が 67.1％で最も多く、次いで「買い物、娯楽などの商業施設が少ない」が 22.5％、「貸家など住宅に関する情報が少ない」が 17.6％となっている。

地区別にみると、全地区で「町外から移住してきても定住するための仕事がない」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 代は「買い物、娯楽などの商業施設が少ない」が最も多く、30 代以上では「町外から移住してきても定住するための仕事がない」が最も多くなっている。また 30 代では、次いで「貸家など住宅に関する情報が少ない」が多く５割を超えている。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
貸家など住宅に関する情報が少ない	43 13.7%	53 18.3%	44 21.0%	140 17.2%	6 25.0%	4 14.8%	6 30.0%	156 17.6%
町外から移住してきても定住するための仕事がない	206 65.4%	198 68.5%	152 72.4%	556 68.3%	15 62.5%	13 48.1%	10 50.0%	594 67.1%
交通手段が不便	30 9.5%	24 8.3%	26 12.4%	80 9.8%	0 0.0%	7 25.9%	1 5.0%	88 9.9%
買い物、娯楽などの商業施設が少ない	65 20.6%	65 22.5%	56 26.7%	186 22.9%	2 8.3%	10 37.0%	1 5.0%	199 22.5%
医療機関（施設）が少ない	41 13.0%	35 12.1%	23 11.0%	99 12.2%	2 8.3%	5 18.5%	0 0.0%	106 12.0%
町外から移住してきた方を受け入れるサポート体制が整備されていない、または不十分	47 14.9%	53 18.3%	29 13.8%	129 15.8%	8 33.3%	6 22.2%	4 20.0%	147 16.6%
町外から移住してきた方に対する受け入れに町民が消極的	23 7.3%	20 6.9%	22 10.5%	65 8.0%	2 8.3%	1 3.7%	1 5.0%	69 7.8%
近所に干渉されプライバシーが保てない	15 4.8%	14 4.8%	8 3.8%	37 4.5%	0 0.0%	1 3.7%	1 5.0%	39 4.4%
移住に関するまちの情報が不足	49 15.6%	51 17.6%	27 12.9%	127 15.6%	6 25.0%	5 18.5%	1 5.0%	139 15.7%
その他	4 1.3%	3 1.0%	6 2.9%	13 1.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	14 1.6%
無回答	37 11.7%	24 8.3%	11 5.2%	72 8.8%	3 12.5%	0 0.0%	6 30.0%	81 9.2%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
貸家など住宅に関する情報が少ない	0 0.0%	7 38.9%	27 51.9%	29 38.2%	27 23.9%	27 12.3%	37 9.4%	2 20.0%	156 17.6%
町外から移住してきても定住するための仕事がない	0 0.0%	6 33.3%	30 57.7%	52 68.4%	78 69.0%	165 75.3%	262 66.3%	1 10.0%	594 67.1%
交通手段が不便	0 0.0%	5 27.8%	7 13.5%	8 10.5%	13 11.5%	25 11.4%	30 7.6%	0 0.0%	88 9.9%
買い物、娯楽などの商業施設が少ない	1 50.0%	11 61.1%	18 34.6%	16 21.1%	26 23.0%	50 22.8%	77 19.5%	0 0.0%	199 22.5%
医療機関（施設）が少ない	1 50.0%	0 0.0%	5 9.6%	12 15.8%	15 13.3%	22 10.0%	51 12.9%	0 0.0%	106 12.0%
町外から移住してきた方を受け入れるサポート体制が整備されていない、または不十分	0 0.0%	4 22.2%	3 5.8%	11 14.5%	21 18.6%	41 18.7%	65 16.5%	2 20.0%	147 16.6%
町外から移住してきた方に対する受け入れに町民が消極的	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	7 9.2%	6 5.3%	15 6.8%	39 9.9%	0 0.0%	69 7.8%
近所に干渉されプライバシーが保てない	1 50.0%	0 0.0%	2 3.8%	4 5.3%	7 6.2%	13 5.9%	11 2.8%	1 10.0%	39 4.4%
移住に関するまちの情報が不足	1 50.0%	0 0.0%	5 9.6%	5 6.6%	18 15.9%	48 21.9%	62 15.7%	0 0.0%	139 15.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	3 2.7%	1 0.5%	6 1.5%	0 0.0%	14 1.6%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	1 1.3%	3 2.7%	8 3.7%	60 15.2%	7 70.0%	81 9.2%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・上記全てに当てはまります。わかっているならもっと考えてください。
・冬が長すぎるため、上川町への移住すべきではない。
・移住者に対する援助制度がない。
・町内が広すぎて面倒な方式は難しい。
・１～9 まですべて問題点だと。
・働く場所がほとんどない。
・活気が無く住む楽しさが無い。良いのは雄大な山々だけでしょうか。
・働く場をつくる。
・冬の仕事。
・風倒木、移住する人が一気に、あれから何年？
・住居支援（新たに町外から来た方の住まい）。
・安価な賃貸住宅が見つからない。(単身用)　単身者に厳しい町と思う。
・役場の対応が不親切

（6）空き家対策

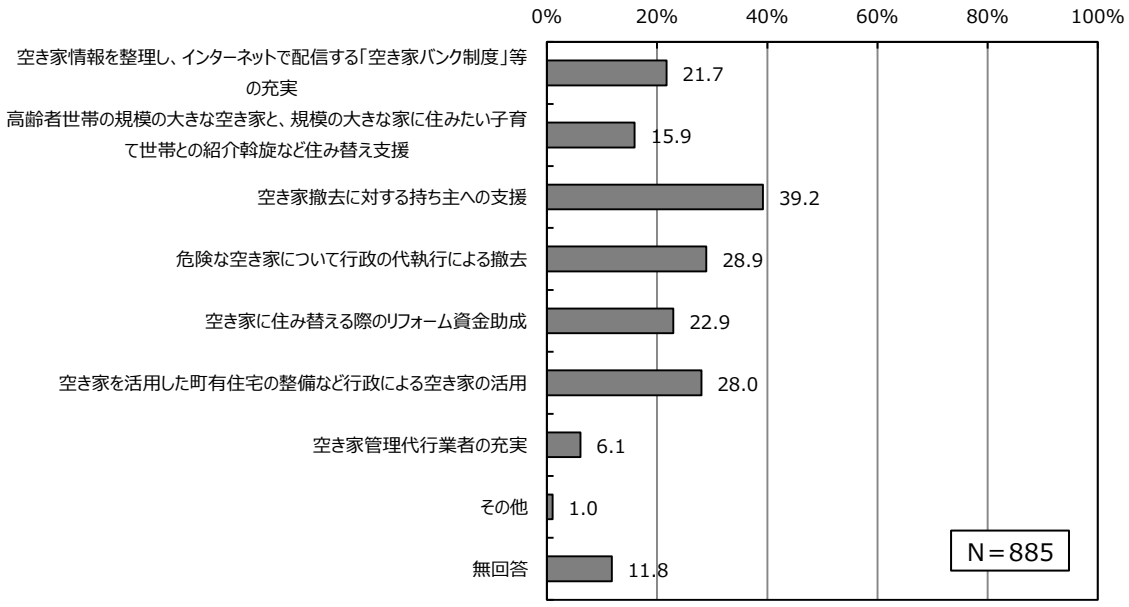
人口減少が進むと、空き家の増加が懸念されます。空き家対策について、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（２つまで選択）

１．空き家情報を整理し、インターネットで配信する「空き家バンク制度」等の充実
２．高齢者世帯の規模の大きな空き家と、規模の大きな家に住みたい子育て世帯との紹介斡旋など住み替え支援
３．空き家撤去に対する持ち主への支援
４．危険な空き家について行政の代執行による撤去
５．空き家に住み替える際のリフォーム資金助成
６．空き家を活用した町有住宅の整備など行政による空き家の活用
７．空き家管理代行業者の充実
８．その他（　　）

空き家対策で力をそそぐべき点（複数回答）としては、「空き家撤去に対する持ち主への支援」が 39.2%で最も多く、次いで「危険な空き家について行政の代執行による撤去」が 28.9%、「空き家を活用した町有住宅の整備など行政による空き家の活用」が 28.0%となっている。

地区別にみると、市街地及び農村地域が「空き家撤去に対する持ち主への支援」が最も多く、層雲峡では「空き家を活用した町有住宅の整備など行政による空き家の活用」が最も多くなっている。

年代別にみると、20 代は「高齢者世帯の規模の大きな空き家と、規模の大きな家に住みたい子育て世帯との紹介斡旋など住み替え支援」、30 代は「空き家に住み替える際のリフォーム資金助成」、50 代以上は「空き家撤去に対する持ち主への支援」がそれぞれ最も多く、年代によって考えが異なる。また 20 歳未満及び 40 代は回答が分散している。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
空き家情報を整理し、インターネットで配信する「空き家バンク制度」等の充実	67 21.3%	67 23.2%	46 21.9%	180 22.1%	2 8.3%	6 22.2%	4 20.0%	192 21.7%
高齢者世帯の規模の大きな空き家と、規模の大きな家に住みたい子育て世帯との紹介斡旋など住み替え支援	49 15.6%	40 13.8%	35 16.7%	124 15.2%	5 20.8%	8 29.6%	4 20.0%	141 15.9%
空き家撤去に対する持ち主への支援	116 36.8%	125 43.3%	89 42.4%	330 40.5%	11 45.8%	2 7.4%	4 20.0%	347 39.2%
危険な空き家について行政の代執行による撤去	87 27.6%	88 30.4%	60 28.6%	235 28.9%	7 29.2%	10 37.0%	4 20.0%	256 28.9%
空き家に住み替える際のリフォーム資金助成	74 23.5%	59 20.4%	48 22.9%	181 22.2%	6 25.0%	10 37.0%	6 30.0%	203 22.9%
空き家を活用した町有住宅の整備など行政による空き家の活用	84 26.7%	79 27.3%	65 31.0%	228 28.0%	7 29.2%	11 40.7%	2 10.0%	248 28.0%
空き家管理代行業者の充実	14 4.4%	26 9.0%	9 4.3%	49 6.0%	2 8.3%	3 11.1%	0 0.0%	54 6.1%
その他	4 1.3%	3 1.0%	1 0.5%	8 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	9 1.0%
無回答	48 15.2%	29 10.0%	19 9.0%	96 11.8%	2 8.3%	0 0.0%	6 30.0%	104 11.8%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
空き家情報を整理し、インターネットで配信する「空き家バンク制度」等の充実	0 0.0%	4 22.2%	19 36.5%	27 35.5%	33 29.2%	53 24.2%	54 13.7%	2 20.0%	192 21.7%
高齢者世帯の規模の大きな空き家と、規模の大きな家に住みたい子育て世帯との紹介斡旋など住み替え支援	0 0.0%	8 44.4%	15 28.8%	13 17.1%	20 17.7%	38 17.4%	46 11.6%	1 10.0%	141 15.9%
空き家撤去に対する持ち主への支援	1 50.0%	7 38.9%	14 26.9%	24 31.6%	49 43.4%	93 42.5%	156 39.5%	3 30.0%	347 39.2%
危険な空き家について行政の代執行による撤去	0 0.0%	7 38.9%	9 17.3%	20 26.3%	34 30.1%	62 28.3%	122 30.9%	2 20.0%	256 28.9%
空き家に住み替える際のリフォーム資金助成	1 50.0%	5 27.8%	23 44.2%	25 32.9%	31 27.4%	54 24.7%	63 15.9%	1 10.0%	203 22.9%
空き家を活用した町有住宅の整備など行政による空き家の活用	1 50.0%	2 11.1%	10 19.2%	27 35.5%	36 31.9%	59 26.9%	113 28.6%	0 0.0%	248 28.0%
空き家管理代行業者の充実	1 50.0%	1 5.6%	5 9.6%	3 3.9%	5 4.4%	15 6.8%	24 6.1%	0 0.0%	54 6.1%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%	2 1.8%	3 1.4%	3 0.8%	0 0.0%	9 1.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	2 1.8%	15 6.8%	80 20.3%	5 50.0%	104 11.8%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・役場窓口での情報提供。
・空き家情報を役場で公開する。
・空き家を撤去して雪の捨場をつくるべき。
・行政も赤字のため、自分は自分で守るしかない。それには貯えも必要です。あまりにも行政に頼りすぎたと思う。
・2：意味不明。大きな空き家というのは高齢者が所有しているが、空き家ということ？住んでいるのであれば空き家とはいえない。
・空き家を町有住宅にし、リフォームは本人たちの自由とし格安で貸し出す。

（7）防災対策

上川町の防災対策について、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（2つまで選択）

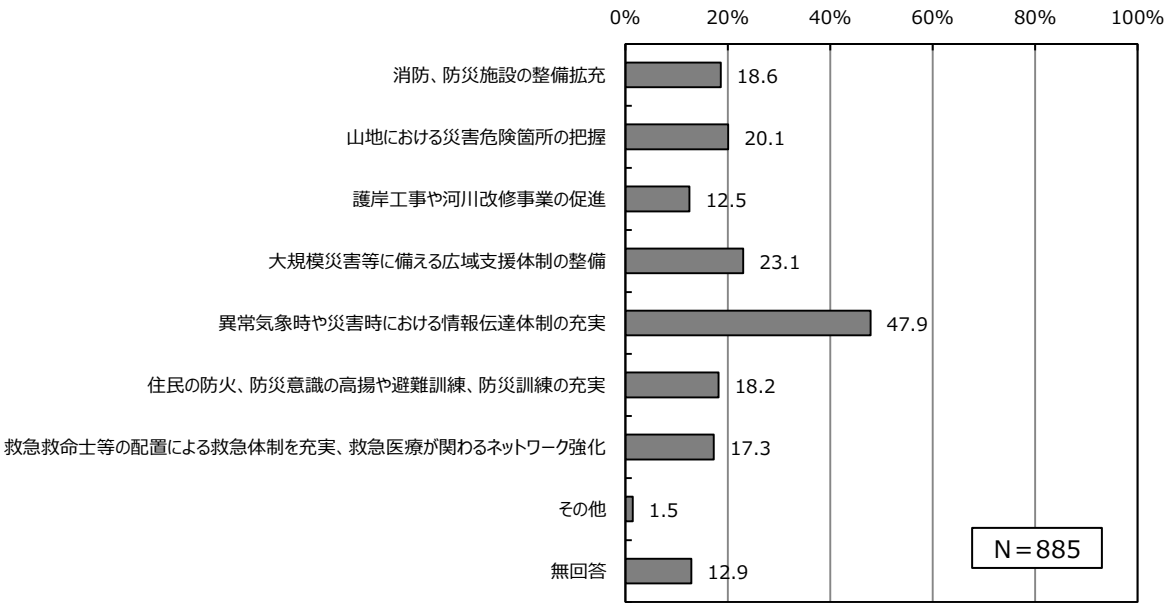
1．消防、防災施設の整備拡充を図る
2．山地における災害危険箇所の把握に努める
3．護岸工事や河川改修事業の促進について検討する
4．大規模災害等に備える広域支援体制の整備を進める
5．異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実を図る
6．住民の防火、防災意識の高揚や避難訓練、防災訓練を充実する
7．救急救命士等の配置による救急体制を充実するとともに、救急医療が関わるネットワーク強化について整備する
8．その他（　　）

防災対策について力をそそぐべき点（複数回答）としては、「異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実を図る」が 47.9%で最も多く、次いで、「大規模災害等に備える広域支援体制の整備を進める」が 23.1%、「山地における災害危険箇所の把握に努める」が 20.1%となっている。

地区別にみると、市街地及び農村地域で「異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実を図る」が最も多く、層雲峡では「救急救命士等の配置による救急体制を充実するとともに、救急医療が関わるネットワーク強化について整備する」が最も多くなっている。

年齢別にみると、20 代は「山地における災害危険箇所の把握に努める」が最も多く、30 代以上は「異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実を図る」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「救急救命士等の配置による救急体制を充実するとともに、救急医療が関わるネットワーク強化について整備する」が前回の 55.2%から 38 ポイント下がっており、大きな変化がみられる。加えて、「大規模災害等に備える広域支援体制の整備を進める」が 17 ポイント、「住民の防火、防災意識の高揚や避難訓練、防災訓練を充実する」が 10 ポイントそれぞれ減少している。



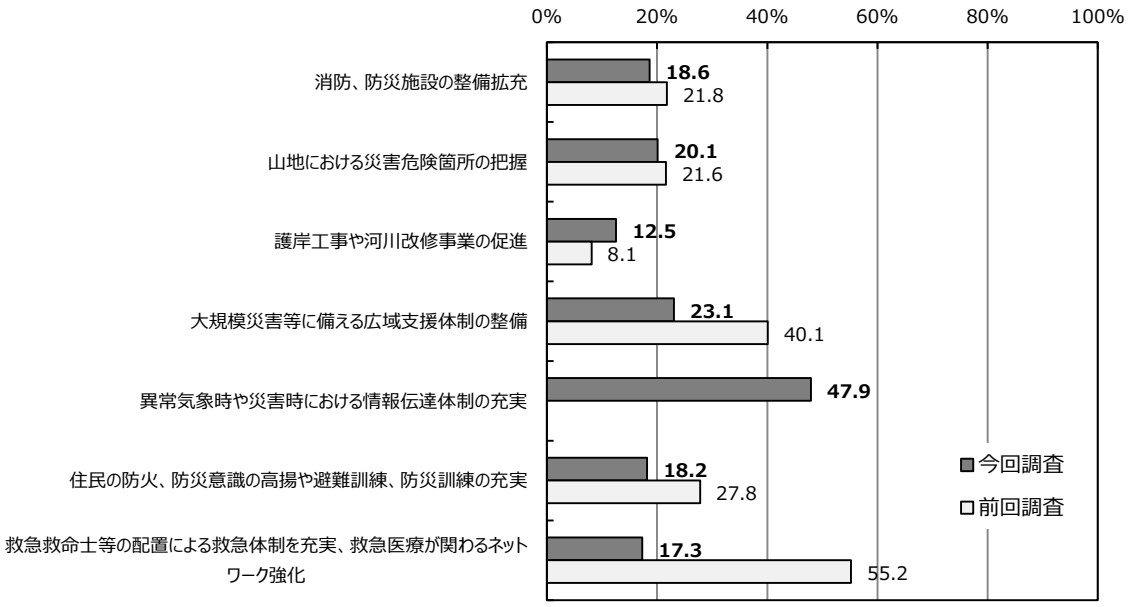
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
消防、防災施設の整備拡充	56 17.8%	60 20.8%	39 18.6%	155 19.0%	1 4.2%	6 22.2%	3 15.0%	165 18.6%
山地における災害危険箇所の把握	58 18.4%	62 21.5%	41 19.5%	161 19.8%	4 16.7%	8 29.6%	5 25.0%	178 20.1%
護岸工事や河川改修事業の促進	37 11.7%	31 10.7%	31 14.8%	99 12.2%	8 33.3%	2 7.4%	2 10.0%	111 12.5%
大規模災害等に備える広域支援体制の整備	72 22.9%	69 23.9%	43 20.5%	184 22.6%	8 33.3%	8 29.6%	4 20.0%	204 23.1%
異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実	151 47.9%	142 49.1%	104 49.5%	397 48.8%	15 62.5%	7 25.9%	5 25.0%	424 47.9%
住民の防火、防災意識の高揚や避難訓練、防災訓練の充実	60 19.0%	52 18.0%	44 21.0%	156 19.2%	2 8.3%	2 7.4%	1 5.0%	161 18.2%
救急救命士等の配置による救急体制を充実、救急医療が関わるネットワーク強化	54 17.1%	41 14.2%	37 17.6%	132 16.2%	3 12.5%	13 48.1%	5 25.0%	153 17.3%
その他	5 1.6%	3 1.0%	4 1.9%	12 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	13 1.5%
無回答	45 14.3%	35 12.1%	25 11.9%	105 12.9%	2 8.3%	2 7.4%	5 25.0%	114 12.9%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
消防、防災施設の整備拡充	0 0.0%	3 16.7%	13 25.0%	15 19.7%	25 22.1%	39 17.8%	69 17.5%	1 10.0%	165 18.6%
山地における災害危険箇所の把握	0 0.0%	8 44.4%	8 15.4%	12 15.8%	18 15.9%	54 24.7%	76 19.2%	2 20.0%	178 20.1%
護岸工事や河川改修事業の促進	1 50.0%	3 16.7%	8 15.4%	7 9.2%	18 15.9%	33 15.1%	40 10.1%	1 10.0%	111 12.5%
大規模災害等に備える広域支援体制の整備	1 50.0%	7 38.9%	16 30.8%	20 26.3%	26 23.0%	56 25.6%	78 19.7%	0 0.0%	204 23.1%
異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実	0 0.0%	4 22.2%	24 46.2%	48 63.2%	69 61.1%	111 50.7%	166 42.0%	2 20.0%	424 47.9%
住民の防火、防災意識の高揚や避難訓練、防災訓練の充実	0 0.0%	5 27.8%	11 21.2%	15 19.7%	18 15.9%	44 20.1%	67 17.0%	1 10.0%	161 18.2%
救急救命士等の配置による救急体制を充実、救急医療が関わるネットワーク強化	1 50.0%	2 11.1%	9 17.3%	11 14.5%	22 19.5%	36 16.4%	71 18.0%	1 10.0%	153 17.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	4 3.5%	1 0.5%	3 0.8%	1 10.0%	13 1.5%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	2 2.6%	6 5.3%	16 7.3%	83 21.0%	5 50.0%	114 12.9%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・上記全てに力を注ぐべき。
・火事の時、防火水槽前に車を駐車する常識無い住民、人の不幸をただ見学しに来る心無い町民、腹が立ちます。冷たい人間が多い上川町民、防火水槽前の雪はねする身になってほしい。何 10 年も雪はねしてます。消防の人も回って、感謝の言葉かけてほしいです。
・大雨が心配。大雨対策で住民がやっておくといいことを周知しておくとよい。大規模な工事もいいが住民から始められる地道なことも大切。
・他方の対策を見直して、町、人にあわせてくれればと。
・たまにサイレンが鳴っているが何の情報なのかがわからないので広報等で周知してほしい。
・被災時の相互支援の整備。
・早急に防災無線を確立して、火災時も早く町民に情報を伝達して不安を解消すること。
・先日の火事の時、何のサイレンかわからず、怖かった。
・一時避難場所を知っている人は町全体で何％？
・自然災害は防ぎようがないので、いざ起きたときの支援にお金を使うべき
・町民全体での防災訓練等の実施

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
消防、防災施設の整備拡充
18.6
21.8
山地における災害危険箇所の把握
20.1
21.6
護岸工事や河川改修事業の促進
12.5
8.1
大規模災害等に備える広域支援体制の整備
23.1
40.1
異常気象時や災害時における情報伝達体制の充実
47.9
住民の防火、防災意識の高揚や避難訓練、防災訓練の充実
18.2
27.8
救急救命士等の配置による救急体制を充実、救急医療が関わるネットワーク強化
17.3
55.2
今回調査
前回調査

（８）地域産業の振興方策

上川町の経済を支える地域産業の振興方策について、どのようにお考えでしょうか。（２つまで選択）

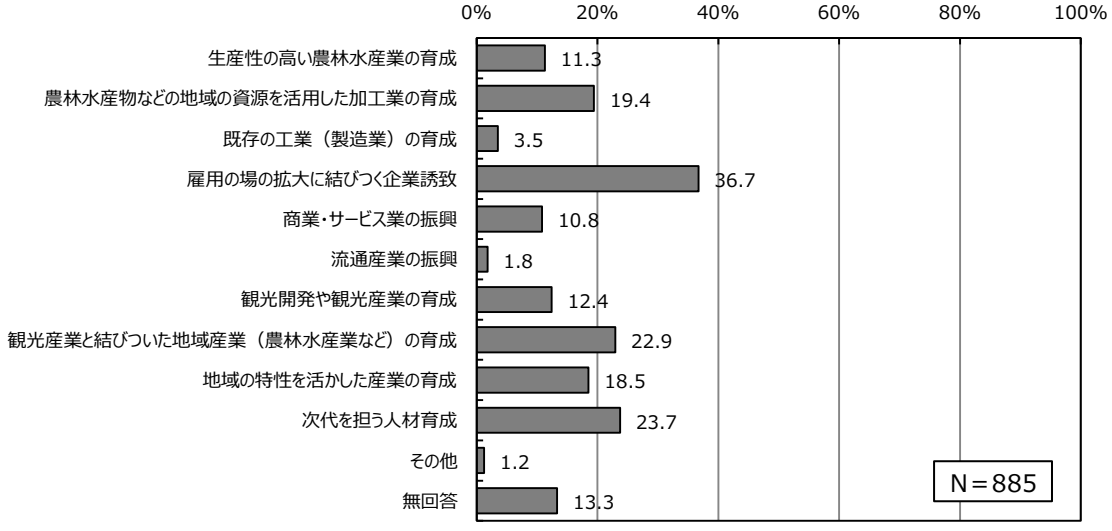
１．生産性の高い農林水産業の育成
２．農林水産物などの地域の資源を活用した加工業の育成
３．既存の工業（製造業）の育成
４．雇用の場の拡大に結びつく企業誘致
５．商業・サービス業の振興
６．流通産業の振興
７．観光開発や観光産業の育成
８．観光産業と結びついた地域産業（農林水産業など）の育成
９．地域の特性を活かした産業の育成
10．次代を担う人材育成
11．その他（　　）

地域産業の振興方策（複数回答）については、「雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が 36.7%で最も多く、次いで「次代を担う人材育成」が 23.7%、「観光産業と結びついた地域産業（農林水産業など）の育成」が 22.9%となっている。

地区別にみると、市街地では「雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多いが、農村地域では「観光産業と結びついた地域産業（農林水産業など）の育成」が最も多く、層雲峡では「観光開発や観光産業の育成」が最も多くなっている。

年齢別にみると、20 歳未満では「商業・サービス業の振興」が最も多く、30 代以上は「雇用の場の拡大に結びつく企業誘致」が最も多くなっている。20 代は回答が分散している。

前回調査と比較すると、「農林水産物などの地域の資源を活用した加工業の育成」及び「次代を担う人材育成」のみ前回より上回っているが、全項目で大きな変化はみられない。



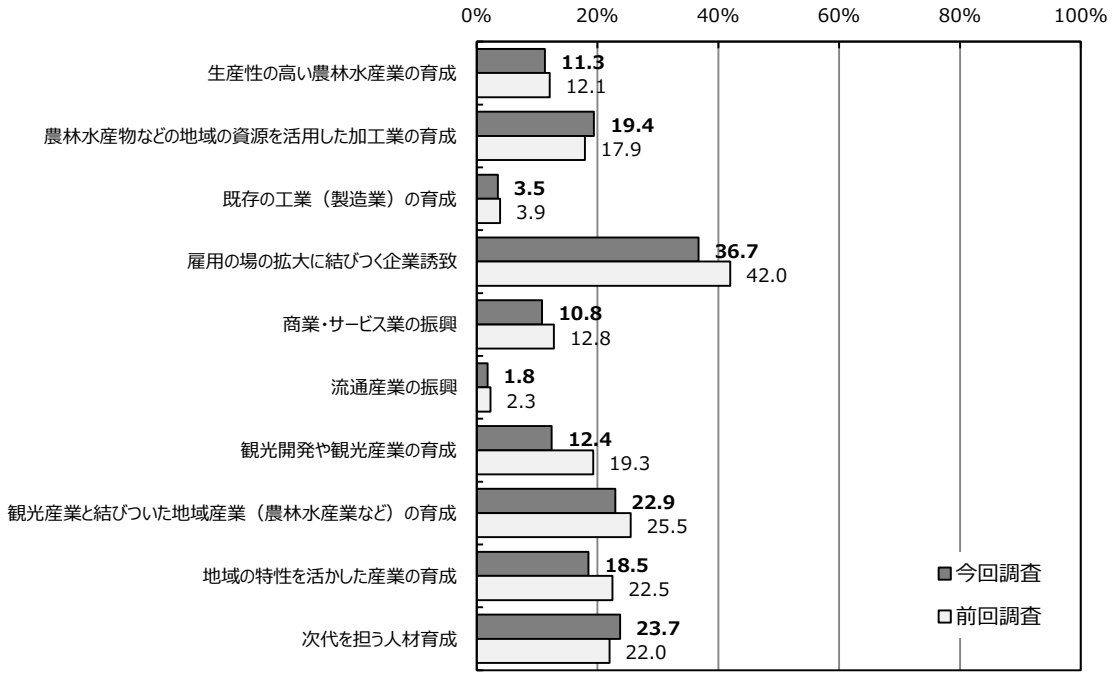
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
生産性の高い農林水産業の育成	33	27	28	88	8	0	4	100
	10.5%	9.3%	13.3%	10.8%	33.3%	0.0%	20.0%	11.3%
農林水産物などの地域の資源を活用した加工業の育成	50	67	35	152	8	6	6	172
	15.9%	23.2%	16.7%	18.7%	33.3%	22.2%	30.0%	19.4%
既存の工業（製造業）の育成	10	13	8	31	0	0	0	31
	3.2%	4.5%	3.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%
雇用の場の拡大に結びつく企業誘致	122	106	80	308	4	8	5	325
	38.7%	36.7%	38.1%	37.8%	16.7%	29.6%	25.0%	36.7%
商業・サービス業の振興	33	32	21	86	2	7	1	96
	10.5%	11.1%	10.0%	10.6%	8.3%	25.9%	5.0%	10.8%
流通産業の振興	4	5	7	16	0	0	0	16
	1.3%	1.7%	3.3%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
観光開発や観光産業の育成	37	37	21	95	1	12	2	110
	11.7%	12.8%	10.0%	11.7%	4.2%	44.4%	10.0%	12.4%
観光産業と結びついた地域産業（農林水産業など）の育成	64	71	48	183	9	8	3	203
	20.3%	24.6%	22.9%	22.5%	37.5%	29.6%	15.0%	22.9%
地域の特性を活かした産業の育成	56	56	42	154	6	3	1	164
	17.8%	19.4%	20.0%	18.9%	25.0%	11.1%	5.0%	18.5%
次代を担う人材育成	76	65	57	198	6	4	2	210
	24.1%	22.5%	27.1%	24.3%	25.0%	14.8%	10.0%	23.7%
その他	5	2	2	9	0	0	2	11
	1.6%	0.7%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%	10.0%	1.2%
無回答	54	32	24	110	2	1	5	118
	17.1%	11.1%	11.4%	13.5%	8.3%	3.7%	25.0%	13.3%
回答者数	315	289	210	814	24	27	20	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	年齢不明	合計
生産性の高い農林水産業の育成	0	1	8	7	14	27	41	2	100
	0.0%	5.6%	15.4%	9.2%	12.4%	12.3%	10.4%	20.0%	11.3%
農林水産物などの地域の資源を活用した加工業の育成	0	5	10	17	21	43	76	0	172
	0.0%	27.8%	19.2%	22.4%	18.6%	19.6%	19.2%	0.0%	19.4%
既存の工業（製造業）の育成	0	0	1	3	2	8	17	0	31
	0.0%	0.0%	1.9%	3.9%	1.8%	3.7%	4.3%	0.0%	3.5%
雇用の場の拡大に結びつく企業誘致	0	5	19	26	42	84	146	3	325
	0.0%	27.8%	36.5%	34.2%	37.2%	38.4%	37.0%	30.0%	36.7%
商業・サービス業の振興	2	5	8	11	17	21	31	1	96
	100.0%	27.8%	15.4%	14.5%	15.0%	9.6%	7.8%	10.0%	10.8%
流通産業の振興	0	2	1	2	1	3	7	0	16
	0.0%	11.1%	1.9%	2.6%	0.9%	1.4%	1.8%	0.0%	1.8%
観光開発や観光産業の育成	1	4	11	16	15	29	33	1	110
	50.0%	22.2%	21.2%	21.1%	13.3%	13.2%	8.4%	10.0%	12.4%
観光産業と結びついた地域産業（農林水産業など）の育成	0	4	12	25	35	58	68	1	203
	0.0%	22.2%	23.1%	32.9%	31.0%	26.5%	17.2%	10.0%	22.9%
地域の特性を活かした産業の育成	0	1	8	11	19	46	79	0	164
	0.0%	5.6%	15.4%	14.5%	16.8%	21.0%	20.0%	0.0%	18.5%
次代を担う人材育成	1	5	13	14	40	50	87	0	210
	50.0%	27.8%	25.0%	18.4%	35.4%	22.8%	22.0%	0.0%	23.7%
その他	0	0	1	1	2	2	5	0	11
	0.0%	0.0%	1.9%	1.3%	1.8%	0.9%	1.3%	0.0%	1.2%
無回答	0	1	2	2	3	18	87	5	118
	0.0%	5.6%	3.8%	2.6%	2.7%	8.2%	22.0%	50.0%	13.3%
回答者数	2	18	52	76	113	219	395	10	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他の回答内容

・どれも振興時期を逃した感あり。
・農林水産物、観光、福祉を合わせた振興。
・上川町産業の農産物等をホテルで使用してもらう。
・層雲峡の公共駐車場を一刻も早く治して。現状は大変みにくい。美しい観光地にしてください。
・行政押し付けの育成策をやめる。
・スポーツ合宿の誘致で商工振興と雇用の拡大。
・食品加工場の誘致。
・木質バイオのさらなる発展。
・特産品が目立っていない。

前回調査との比較



（9）農林水産業の振興方策

上川町の農林水産業の振興方策について、どのようにお考えでしょうか。（2つまで選択）

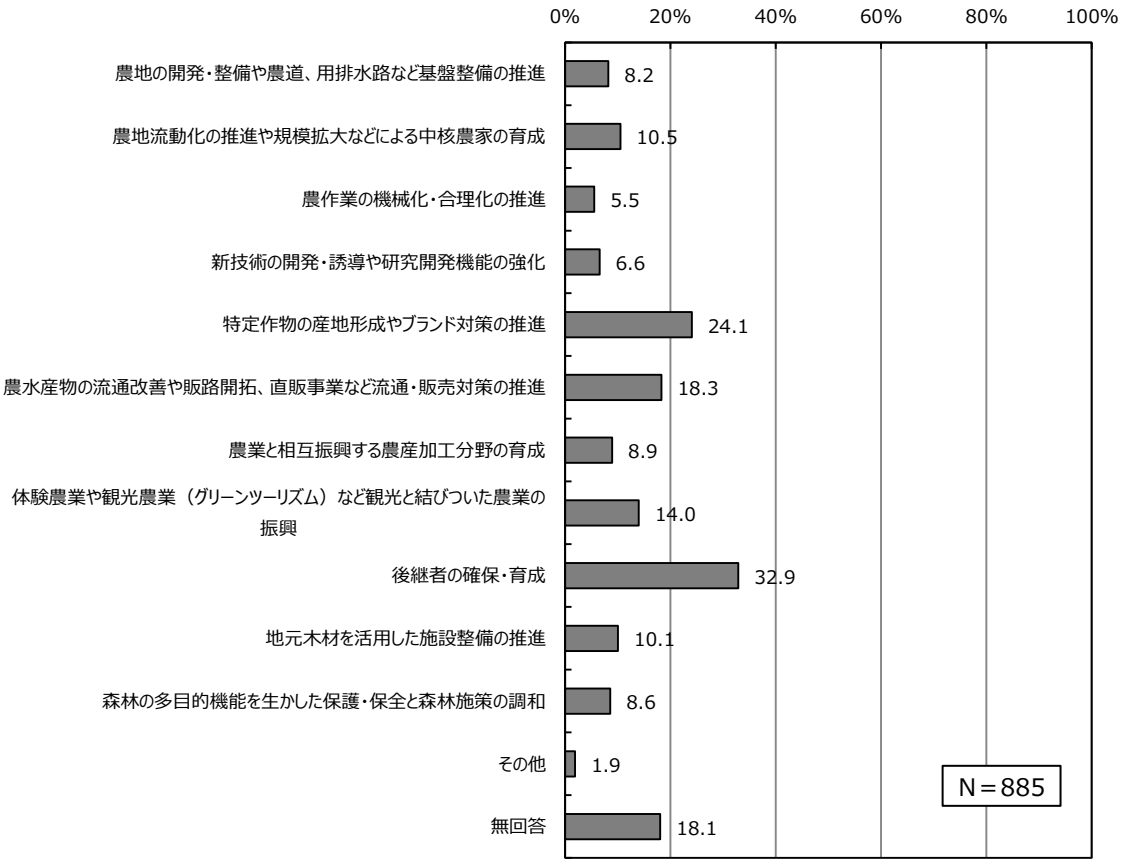
1．農地の開発・整備や農道、用排水路など基盤整備の推進
2．農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成
3．農作業の機械化・合理化の推進
4．新技術の開発・誘導や研究開発機能の強化
5．特定作物の産地形成やブランド対策の推進
6．農水産物の流通改善や販路開拓、直販事業など流通・販売対策の推進
7．農業と相互振興する農産加工分野の育成
8．体験農業や観光農業（グリーンツーリズム）など観光と結びついた農業の振興
9．後継者の確保・育成
10．地元木材を活用した施設整備の推進
11．森林の多目的機能を生かした保護・保全と森林施策の調和
12．その他（　　）

農林水産業の振興方策（複数回答）については、「後継者の確保・育成」が 32.9%で最も多く、次いで「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」が 24.1%、「農水産物の流通改善や販路開拓、直販事業など流通・販売対策の推進」が 18.3%となっている。

地域別にみると、全地域で「後継者の確保・育成」が最も多くなっている。

年齢別にみると、20～30 代及び 50 代以上は「後継者の確保・育成」が最も多くなっているが、40 代では「特定作物の産地形成やブランド対策の推進」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「体験農業や観光農業（グリーンツーリズム）など観光と結びついた農業の振興」が前回より 11 ポイント下回っている。



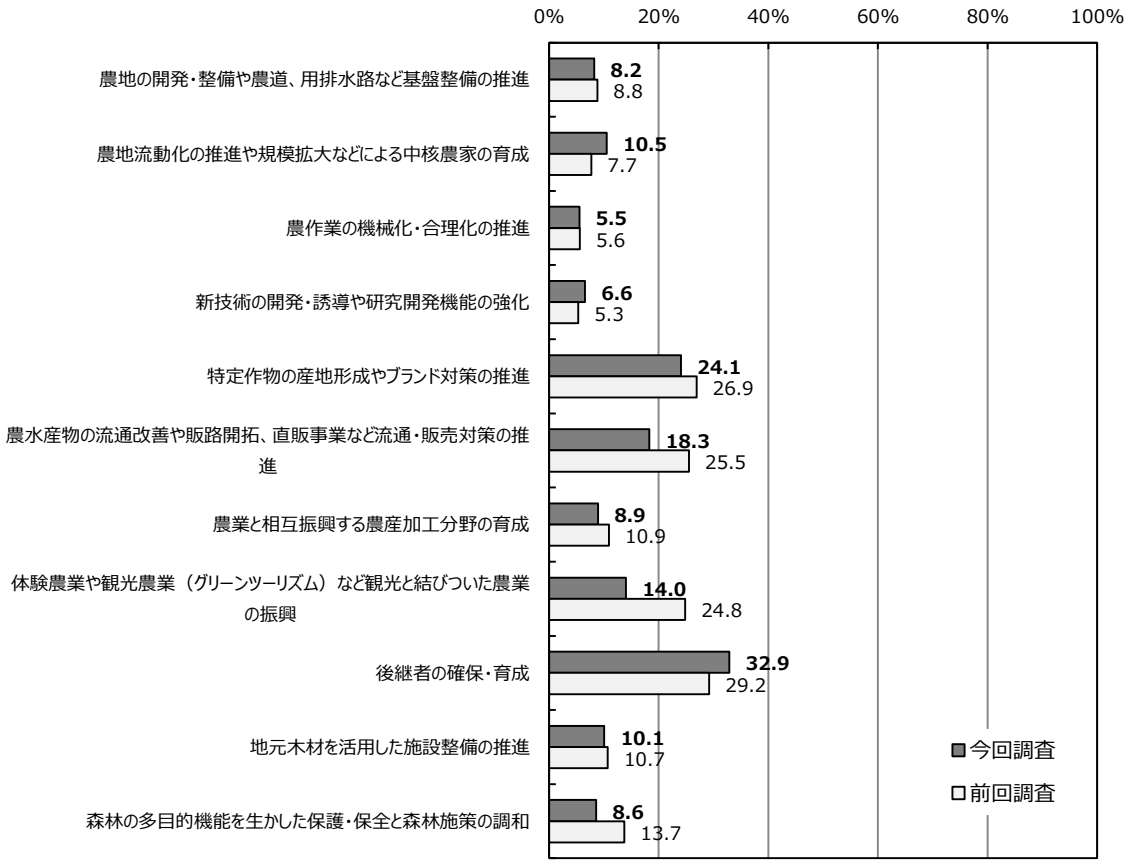
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
農地の開発・整備や農道、用排水路など基盤整備の推進	23 7.3%	21 7.3%	21 10.0%	65 8.0%	4 16.7%	2 7.4%	2 10.0%	73 8.2%
農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成	31 9.8%	34 11.8%	19 9.0%	84 10.3%	7 29.2%	1 3.7%	1 5.0%	93 10.5%
農作業の機械化・合理化の推進	16 5.1%	21 7.3%	10 4.8%	47 5.8%	1 4.2%	1 3.7%	0 0.0%	49 5.5%
新技術の開発・誘導や研究開発機能の強化	18 5.7%	22 7.6%	14 6.7%	54 6.6%	1 4.2%	1 3.7%	2 10.0%	58 6.6%
特定作物の産地形成やブランド対策の推進	68 21.6%	76 26.3%	51 24.3%	195 24.0%	5 20.8%	7 25.9%	6 30.0%	213 24.1%
農水産物の流通改善や販路開拓、直販事業など流通・販売対策の推進	58 18.4%	51 17.6%	41 19.5%	150 18.4%	3 12.5%	8 29.6%	1 5.0%	162 18.3%
農業と相互振興する農産加工分野の育成	34 10.8%	16 5.5%	22 10.5%	72 8.8%	5 20.8%	0 0.0%	2 10.0%	79 8.9%
体験農業や観光農業（グリーンツーリズム）など観光と結びついた農業の振興	39 12.4%	44 15.2%	31 14.8%	114 14.0%	2 8.3%	8 29.6%	0 0.0%	124 14.0%
後継者の確保・育成	95 30.2%	101 34.9%	70 33.3%	266 32.7%	11 45.8%	9 33.3%	5 25.0%	291 32.9%
地元木材を活用した施設整備の推進	32 10.2%	32 11.1%	20 9.5%	84 10.3%	1 4.2%	3 11.1%	1 5.0%	89 10.1%
森林の多目的機能を生かした保護・保全と森林施策の調和	30 9.5%	30 10.4%	13 6.2%	73 9.0%	1 4.2%	2 7.4%	0 0.0%	76 8.6%
その他	8 2.5%	3 1.0%	2 1.0%	13 1.6%	2 8.3%	0 0.0%	2 10.0%	17 1.9%
無回答	66 21.0%	44 15.2%	38 18.1%	148 18.2%	2 8.3%	4 14.8%	6 30.0%	160 18.1%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
農地の開発・整備や農道、用排水路など基盤整備の推進	0 0.0%	0 0.0%	7 13.5%	5 6.6%	15 13.3%	22 10.0%	24 6.1%	0 0.0%	73 8.2%
農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	6 7.9%	12 10.6%	28 12.8%	40 10.1%	1 10.0%	93 10.5%
農作業の機械化・合理化の推進	0 0.0%	2 11.1%	2 3.8%	4 5.3%	2 1.8%	16 7.3%	23 5.8%	0 0.0%	49 5.5%
新技術の開発・誘導や研究開発機能の強化	1 50.0%	3 16.7%	2 3.8%	1 1.3%	12 10.6%	14 6.4%	24 6.1%	1 10.0%	58 6.6%
特定作物の産地形成やブランド対策の推進	0 0.0%	7 38.9%	15 28.8%	29 38.2%	32 28.3%	55 25.1%	73 18.5%	2 20.0%	213 24.1%
農水産物の流通改善や販路開拓、直販事業など流通・販売対策の推進	1 50.0%	2 11.1%	10 19.2%	16 21.1%	15 13.3%	46 21.0%	72 18.2%	0 0.0%	162 18.3%
農業と相互振興する農産加工分野の育成	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	9 11.8%	7 6.2%	25 11.4%	32 8.1%	0 0.0%	79 8.9%
体験農業や観光農業（グリーンツーリズム）など観光と結びついた農業の振興	0 0.0%	5 27.8%	13 25.0%	18 23.7%	30 26.5%	28 12.8%	30 7.6%	0 0.0%	124 14.0%
後継者の確保・育成	1 50.0%	8 44.4%	24 46.2%	27 35.5%	41 36.3%	76 34.7%	112 28.4%	2 20.0%	291 32.9%
地元木材を活用した施設整備の推進	1 50.0%	2 11.1%	3 5.8%	5 6.6%	8 7.1%	25 11.4%	44 11.1%	1 10.0%	89 10.1%
森林の多目的機能を生かした保護・保全と森林施策の調和	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	6 7.9%	10 8.8%	18 8.2%	38 9.6%	0 0.0%	76 8.6%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	1 1.3%	2 1.8%	2 0.9%	10 2.5%	0 0.0%	17 1.9%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	5 6.6%	11 9.7%	28 12.8%	106 26.8%	6 60.0%	160 18.1%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・助成金など農家が基盤整備、規模拡大等における助成。
・今の生活環境等は難しく、日本人なのか外人なのか理解しにくい。
・自然と共存した農業、オーガニックブランド。
・全国的に減少している和牛の導入に対する町助成を考えるべきではないか。
・酒米の生産を行う。
・地熱を利用した資源活用型農業。
・農林業に従事する人の意識改革、助成ではいつまでたっても変わらない。行政の意識改革が必要。
・有機農業、安心、安全、生産者の健康も考えた農業の育成。

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
農地の開発・整備や農道、用排水路など基盤整備の推進
8.2
8.8
農地流動化の推進や規模拡大などによる中核農家の育成
10.5
7.7
農作業の機械化・合理化の推進
5.5
5.6
新技術の開発・誘導や研究開発機能の強化
6.6
5.3
特定作物の産地形成やブランド対策の推進
24.1
26.9
農水産物の流通改善や販路開拓、直販事業など流通・販売対策の推進
18.3
25.5
農業と相互振興する農産加工分野の育成
8.9
10.9
体験農業や観光農業（グリーンツーリズム）など観光と結びついた農業の振興
14.0
24.8
後継者の確保・育成
32.9
29.2
地元木材を活用した施設整備の推進
10.1
10.7
森林の多目的機能を生かした保護・保全と森林施策の調和
8.6
13.7
今回調査
前回調査

（１０）商業の振興方策

上川町の商業の振興方策について、どのようにお考えでしょうか。（２つまで選択）

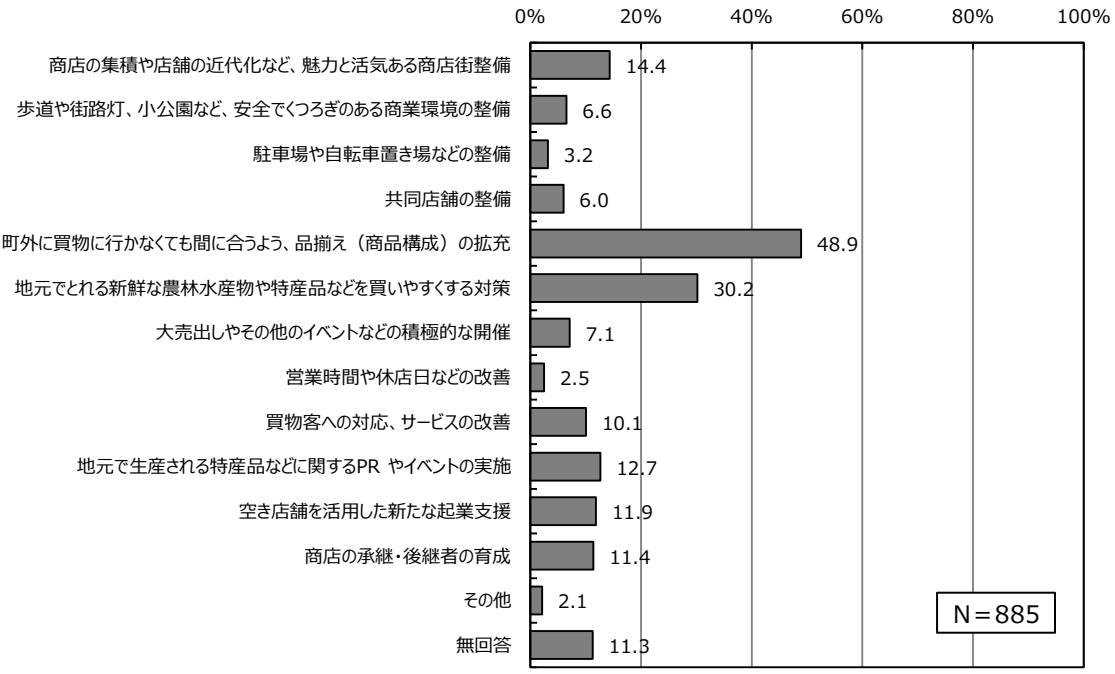
１．商店の集積や店舗の近代化など、魅力と活気ある商店街整備
２．歩道や街路灯、小公園など、安全でくつろぎのある商業環境の整備
３．駐車場や自転車置き場などの整備
４．共同店舗の整備
５．町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充
６．地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策
７．大売出しやその他のイベントなどの積極的な開催
８．営業時間や休店日などの改善
９．買物客への対応、サービスの改善
10．地元で生産される特産品などに関する PR やイベントの実施
11．空き店舗を活用した新たな起業支援を行う
12．商店の承継・後継者の育成
13．その他（　　）

商業の振興方策（複数回答）としては、「町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充」が 48.9％で最も多く、次いで「地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策」が 30.2％、「商店の集積や店舗の近代化など、魅力と活気ある商店街整備」が 14.4％となっている。

地区別にみると、全地区が全体とほぼ同じ傾向であり、「町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充」が最も多く、次いで「地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策」となっている。

年齢別にみると、全年代が全体とほぼ同じ傾向にある。

前回調査と比較すると、全項目で前回を下回っている。特に「買物客への対応、サービスの改善」が 22 ポイント、「地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策」が 20 ポイント、「営業時間や休店日などの改善」及び「町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充」がともに 16 ポイントそれぞれ下回っている。



	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
商店の集積や店舗の近代化など、魅力と活気ある商店街整備	42 13.3%	45 15.6%	29 13.8%	116 14.3%	5 20.8%	3 11.1%	3 15.0%	127 14.4%
歩道や街路灯、小公園など、安全でくつろぎのある商業環境の整備	23 7.3%	17 5.9%	13 6.2%	53 6.5%	1 4.2%	1 3.7%	3 15.0%	58 6.6%
駐車場や自転車置き場などの整備	10 3.2%	8 2.8%	6 2.9%	24 2.9%	2 8.3%	2 7.4%	0 0.0%	28 3.2%
共同店舗の整備	21 6.7%	18 6.2%	13 6.2%	52 6.4%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	53 6.0%
町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充	156 49.5%	142 49.1%	104 49.5%	402 49.4%	10 41.7%	14 51.9%	7 35.0%	433 48.9%
地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策	97 30.8%	90 31.1%	61 29.0%	248 30.5%	7 29.2%	7 25.9%	5 25.0%	267 30.2%
大売出しやその他のイベントなどの積極的な開催	24 7.6%	21 7.3%	14 6.7%	59 7.2%	1 4.2%	3 11.1%	0 0.0%	63 7.1%
営業時間や休店日などの改善	5 1.6%	9 3.1%	8 3.8%	22 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	22 2.5%
買物客への対応、サービスの改善	27 8.6%	28 9.7%	30 14.3%	85 10.4%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	89 10.1%
地元で生産される特産品などに関する PR やイベントの実施	33 10.5%	37 12.8%	30 14.3%	100 12.3%	5 20.8%	6 22.2%	1 5.0%	112 12.7%
空き店舗を活用した新たな起業支援	34 10.8%	36 12.5%	26 12.4%	96 11.8%	0 0.0%	7 25.9%	2 10.0%	105 11.9%
商店の承継・後継者の育成	30 9.5%	39 13.5%	24 11.4%	93 11.4%	6 25.0%	2 7.4%	0 0.0%	101 11.4%
その他	5 1.6%	6 2.1%	3 1.4%	14 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 25.0%	19 2.1%
無回答	45 14.3%	25 8.7%	21 10.0%	91 11.2%	2 8.3%	2 7.4%	5 25.0%	100 11.3%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

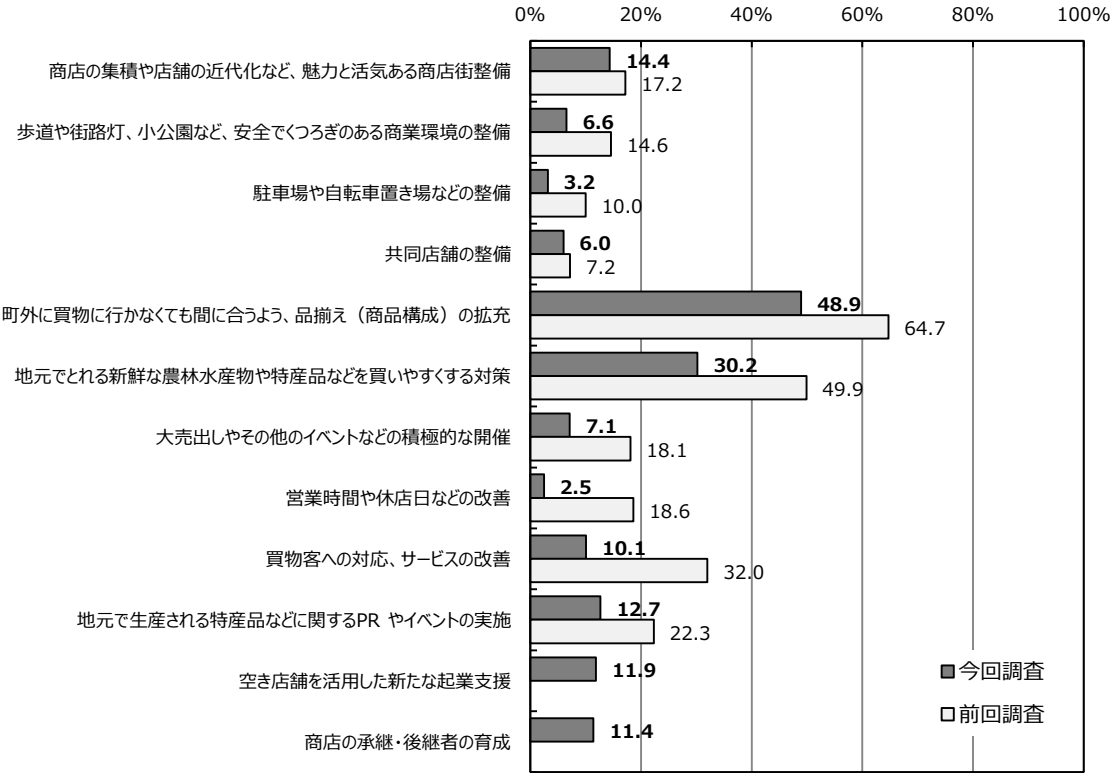
	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
商店の集積や店舗の近代化など、魅力と活気ある商店街整備	0 0.0%	3 16.7%	11 21.2%	12 15.8%	15 13.3%	32 14.6%	52 13.2%	2 20.0%	127 14.4%
歩道や街路灯、小公園など、安全でくつろぎのある商業環境の整備	0 0.0%	1 5.6%	8 15.4%	10 13.2%	4 3.5%	11 5.0%	24 6.1%	0 0.0%	58 6.6%
駐車場や自転車置き場などの整備	0 0.0%	2 11.1%	4 7.7%	0 0.0%	5 4.4%	6 2.7%	11 2.8%	0 0.0%	28 3.2%
共同店舗の整備	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	4 5.3%	12 10.6%	15 6.8%	18 4.6%	1 10.0%	53 6.0%
町外に買物に行かなくても間に合うよう、品揃え（商品構成）の拡充	1 50.0%	13 72.2%	24 46.2%	29 38.2%	45 39.8%	113 51.6%	205 51.9%	3 30.0%	433 48.9%
地元でとれる新鮮な農林水産物や特産品などを買いやすくする対策	1 50.0%	4 22.2%	14 26.9%	27 35.5%	35 31.0%	74 33.8%	111 28.1%	1 10.0%	267 30.2%
大売出しやその他のイベントなどの積極的な開催	1 50.0%	3 16.7%	5 9.6%	6 7.9%	10 8.8%	17 7.8%	20 5.1%	1 10.0%	63 7.1%
営業時間や休店日などの改善	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	4 5.3%	3 2.7%	5 2.3%	4 1.0%	0 0.0%	22 2.5%
買物客への対応、サービスの改善	0 0.0%	1 5.6%	5 9.6%	9 11.8%	10 8.8%	28 12.8%	36 9.1%	0 0.0%	89 10.1%
地元で生産される特産品などに関する PR やイベントの実施	1 50.0%	3 16.7%	8 15.4%	10 13.2%	14 12.4%	29 13.2%	47 11.9%	0 0.0%	112 12.7%
空き店舗を活用した新たな起業支援	0 0.0%	1 5.6%	6 11.5%	11 14.5%	18 15.9%	28 12.8%	39 9.9%	2 20.0%	105 11.9%
商店の承継・後継者の育成	0 0.0%	2 11.1%	4 7.7%	11 14.5%	22 19.5%	28 12.8%	34 8.6%	0 0.0%	101 11.4%
その他	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	2 2.6%	4 3.5%	3 1.4%	5 1.3%	2 20.0%	19 2.1%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	4 3.5%	12 5.5%	78 19.7%	4 40.0%	100 11.3%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・商品の価格を下げる。
・たぶん消費者と商店側の意見は正反対だと思う。そこをお互いどう理解して良い方向に向けていくかではないか。品揃えなんて絶対無理だし（大型店にだって無いものは無いし）必ずしもその商品でなくてもいい場合も多々ある。休みだって無いと身体こわすし。
・地域にあった対策を。
・高齢者世帯等への出前販売。
・どこも価格が高く、安い所は質が悪い。
・ネット環境がなくても店舗でネット注文（店員が代行もしてくれる）できて店舗で受取が出来ると不在時も助かる（高齢者、単身者向き）。
・全ての面に魅力ある町づくり。移住者や旅行者が集まるように。
・商業の振興は総合的なもので、上記２つまでとする行政の考え方では商業の振興は無い。
・人口減少をくい止める方策を考えるべき。
・貸しテナントがあると嬉しい。老朽化に備えて駅を降りてすぐの所にラーメン村をつくる。高校アルバイトを後継者（推進して）として育成を図る。

・ネットを使える世代だと通販で大抵買えてしまう。地元ならではの物を地産地消し、町内で循環できるようにするのも一つかと。これからは個人配信（ツィッター、インスタ等）が多くなると思うので、いかに口コミできる人を増やすかも大切かと思います。
・公務員が地元で買物をするように。
・生産者と会話しながら買い物すると楽しい。農家さんがブランドになると少々高くても売れるのでは？個々の農家さんのおすすめ商品があると買いたくなる。〇〇農家さんはとうきび有名とか〇〇農家さんのトマトとか。商品パッケージが可愛いとお土産として出せるとか。上川の道の駅を作る。北の森とタッグする。
・上川町は昔からお客さんを大切にしないので、もっと挨拶からのサービスの充実を願います。
・国道沿いの活性化。
・町が徹底して町内業者を利用する。
・町中の駐車場がどこに止めていいのかわかりにくい。空地が駐車場なのか。
・ラーメン以外の飲食店が少ない(少なくなっている。）印象である。

前回調査との比較



（１１）観光振興方策

上川町の観光振興方策について、どのようにお考えでしょうか。（２つまで選択）

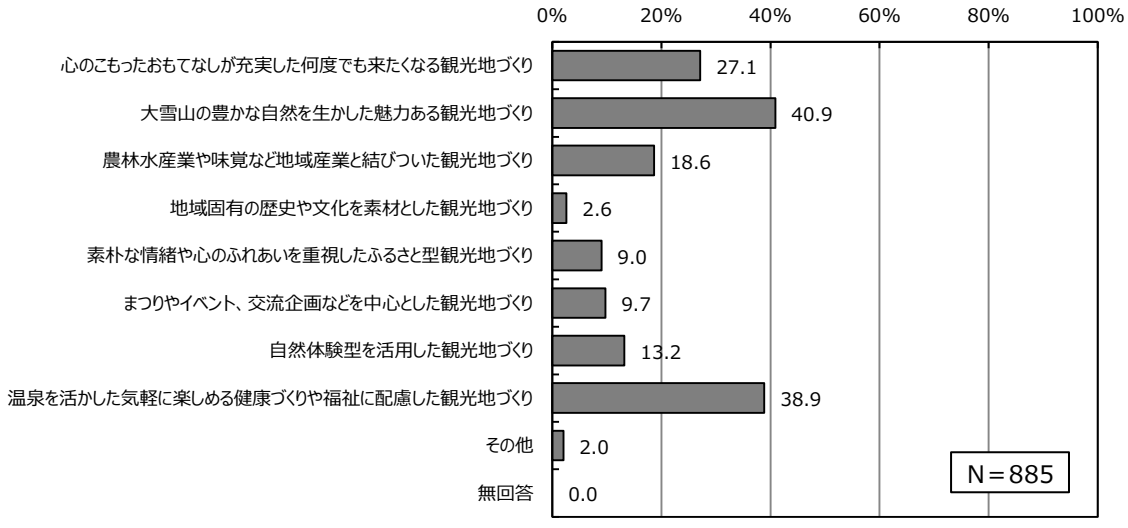
１．心のこもったおもてなし（ホスピタリティ）が充実した何度でも来たくなる観光地づくり
２．大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり
３．農林水産業や味覚など地域産業と結びついた観光地づくり
４．地域固有の歴史や文化を素材とした観光地づくり
５．素朴な情緒や心のふれあいを重視したふるさと型観光地づくり
６．まつりやイベント、交流企画などを中心とした観光地づくり
７．自然体験型（エコツーリズム）を活用した観光地づくり
８．温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり
９．その他（　　）

観光振興方策（複数回答）については、「大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり」が 40.9%で最も多く、次いで「温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり」が 38.9%、「心のこもったおもてなし（ホスピタリティ）が充実した何度でも来たくなる観光地づくり」が 27.1%となっている。

地区別にみると、全地区で全体とほぼ同じ傾向であり「大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり」及び「温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり」が多くなっている。加えて農村地域では「農林水産業や味覚など地域産業と結びついた観光地づくり」が多い。

年齢別にみると、20 代及び 40 代以上では「大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり」及び「温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり」が多くなっているが、30 代では「大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり」に次いで「まつりやイベント、交流企画などを中心とした観光地づくり」が多い。

前回調査と比較すると、「心のこもったおもてなし（ホスピタリティ）が充実した何度でも来たくなる観光地づくり」が前回より 15 ポイント下回っている。



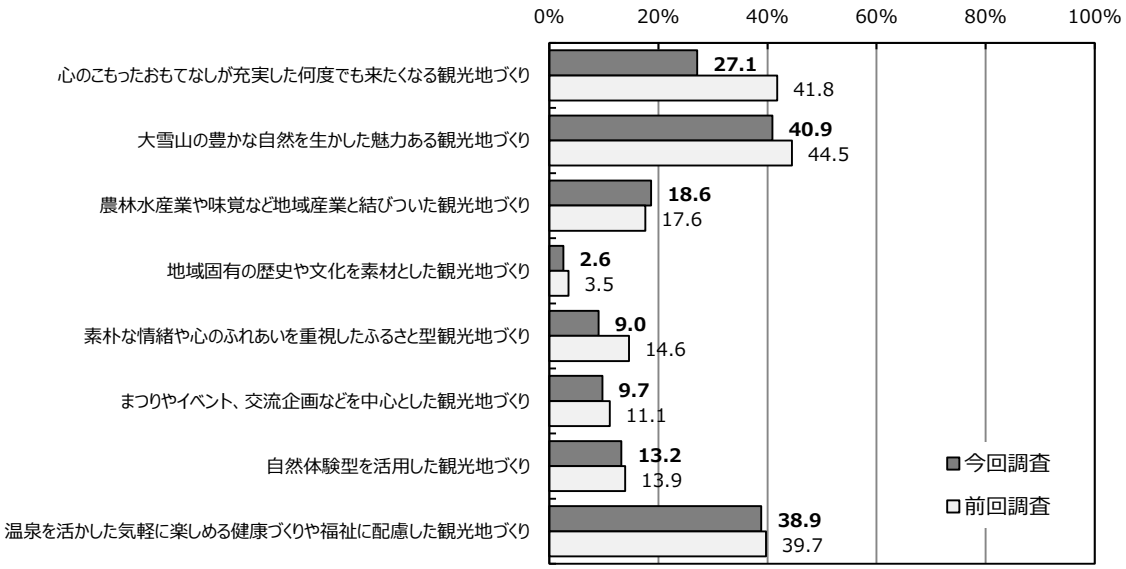
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
心のこもったおもてなしが充実した何度でも来たくなる観光地づくり	92 29.2%	78 27.0%	58 27.6%	228 28.0%	7 29.2%	3 11.1%	2 10.0%	240 27.1%
大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり	130 41.3%	114 39.4%	87 41.4%	331 40.7%	10 41.7%	13 48.1%	8 40.0%	362 40.9%
農林水産業や味覚など地域産業と結びついた観光地づくり	52 16.5%	55 19.0%	44 21.0%	151 18.6%	10 41.7%	3 11.1%	1 5.0%	165 18.6%
地域固有の歴史や文化を素材とした観光地づくり	10 3.2%	7 2.4%	4 1.9%	21 2.6%	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	23 2.6%
素朴な情緒や心のふれあいを重視したふるさと型観光地づくり	25 7.9%	31 10.7%	21 10.0%	77 9.5%	1 4.2%	1 3.7%	1 5.0%	80 9.0%
まつりやイベント、交流企画などを中心とした観光地づくり	26 8.3%	31 10.7%	24 11.4%	81 10.0%	0 0.0%	4 14.8%	1 5.0%	86 9.7%
自然体験型を活用した観光地づくり	36 11.4%	40 13.8%	25 11.9%	101 12.4%	4 16.7%	10 37.0%	2 10.0%	117 13.2%
温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり	122 38.7%	108 37.4%	83 39.5%	313 38.5%	11 45.8%	12 44.4%	8 40.0%	344 38.9%
その他	4 1.3%	10 3.5%	2 1.0%	16 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	18 2.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
心のこもったおもてなしが充実した何度でも来たくなる観光地づくり	0 0.0%	3 16.7%	16 30.8%	17 22.4%	33 29.2%	57 26.0%	113 28.6%	1 10.0%	240 27.1%
大雪山の豊かな自然を生かした魅力ある観光地づくり	0 0.0%	8 44.4%	26 50.0%	38 50.0%	47 41.6%	90 41.1%	153 38.7%	0 0.0%	362 40.9%
農林水産業や味覚など地域産業と結びついた観光地づくり	1 50.0%	3 16.7%	8 15.4%	19 25.0%	27 23.9%	48 21.9%	58 14.7%	1 10.0%	165 18.6%
地域固有の歴史や文化を素材とした観光地づくり	1 50.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	3 2.7%	7 3.2%	10 2.5%	0 0.0%	23 2.6%
素朴な情緒や心のふれあいを重視したふるさと型観光地づくり	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	7 9.2%	6 5.3%	25 11.4%	38 9.6%	1 10.0%	80 9.0%
まつりやイベント、交流企画などを中心とした観光地づくり	1 50.0%	6 33.3%	19 36.5%	10 13.2%	8 7.1%	21 9.6%	20 5.1%	1 10.0%	86 9.7%
自然体験型を活用した観光地づくり	1 50.0%	4 22.2%	7 13.5%	17 22.4%	22 19.5%	42 19.2%	24 6.1%	0 0.0%	117 13.2%
温泉を活かした気軽に楽しめる健康づくりや福祉に配慮した観光地づくり	0 0.0%	8 44.4%	13 25.0%	22 28.9%	51 45.1%	85 38.8%	161 40.8%	4 40.0%	344 38.9%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	3 2.7%	3 1.4%	7 1.8%	1 10.0%	18 2.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・大雪森のガーデンやめましょう。
・今ある施設のことの動きを町民がわかるようにして良い意見を取り入れる。
・交流イベント、町の中、南町公園。駅前では遠すぎる。
・層雲峡側からの大雪山（旭岳）へのアクセスを容易に。
・新光町の公住跡地周辺に桜公園の構想を。
・層雲峡、旭ヶ丘だけでなく、町中にも観光客が足を運びたくなるような対策。
・カナダの山岳公園を見習って。
・愛山峡温泉の PR を積極的に行う。
・営業力、宣伝力を向上させる。
・いつ来ても満足できるようなリピートを考えた観光、おもてなしができていない。イベントにたよりすぎ。
・上川の特長をのばす、個性のある観光地づくり。
・上川町のイベント交流。自分の足元から観光地づくりを。
・情報提供に精通したエキスパートの育成

前回調査との比較



（１２）環境と共生したまちづくりを進める上での対策

上川町が環境と共生したまちづくりを進める上で、どのような対策が必要だと思いますか。（２つまで選択）

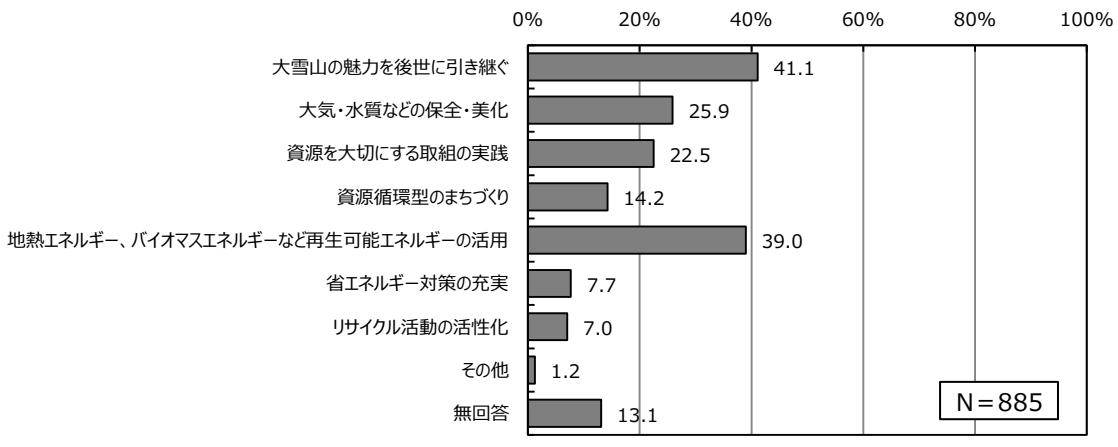
１．大雪山の魅力を後世に引き継ぐ
２．大気・水質などの保全・美化に努める
３．資源を大切にする取組を実践する
４．資源循環型のまちづくりをめざす
５．地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る
６．省エネルギー対策を充実する
７．リサイクル活動の活性化を図る
８．その他（　　）

環境と共生したまちづくりを進める上で必要な対策（複数回答）としては、「大雪山の魅力を後世に引き継ぐ」と答えた方が 41.1%で最も多く、次いで「地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る」が 39.0%、「大気・水質などの保全・美化に努める」が 25.9%となっている。

地区別にみると、市街地（東地区）、市街地（西地区）及び層雲峡は「大雪山の魅力を後世に引き継ぐ」が最も多く、市街地（北地区）及び農村地域は「地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る」が最も多くなっている。

年齢別にみると、20～30 代、50 代及び 70 歳以上は「大雪山の魅力を後世に引き継ぐ」が最も多く、40 代及び 60 代は「地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る」が最も多くなっている。また 20 歳未満は「資源を大切にする取組を実践する」が最も多い。

前回調査と比較すると、「地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用を図る」のみ前回を上回っており、22 ポイントと大幅に増加している。一方で、「大気・水質などの保全・美化に努める」は前回から 13 ポイント減少し、大きく下回っている。



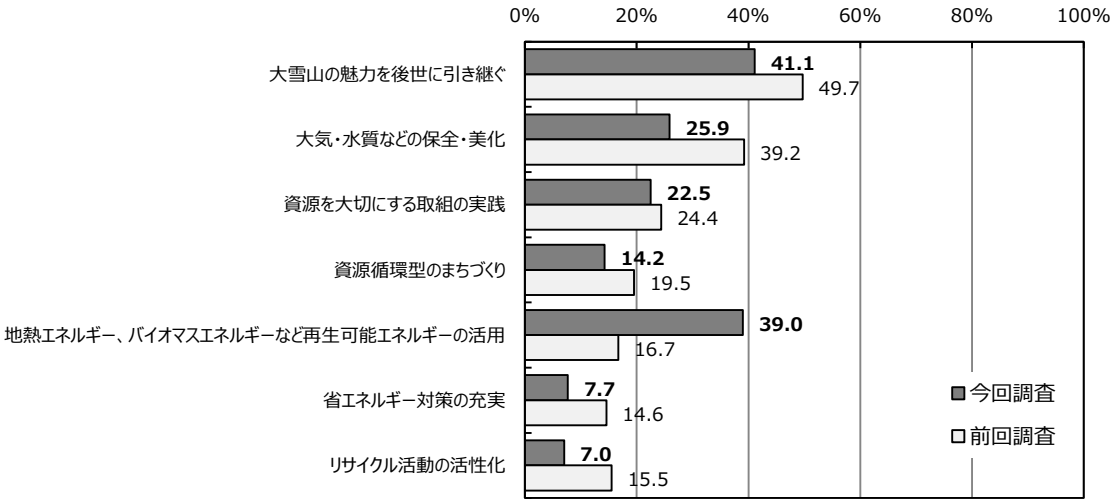
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
大雪山の魅力を後世に引き継ぐ	128	111	95	334	10	14	6	364
	40.6%	38.4%	45.2%	41.0%	41.7%	51.9%	30.0%	41.1%
大気・水質などの保全・美化	64	88	61	213	7	7	2	229
	20.3%	30.4%	29.0%	26.2%	29.2%	25.9%	10.0%	25.9%
資源を大切にする取組の実践	67	68	48	183	6	8	2	199
	21.3%	23.5%	22.9%	22.5%	25.0%	29.6%	10.0%	22.5%
資源循環型のまちづくり	54	40	24	118	5	2	1	126
	17.1%	13.8%	11.4%	14.5%	20.8%	7.4%	5.0%	14.2%
地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用	115	119	81	315	11	12	7	345
	36.5%	41.2%	38.6%	38.7%	45.8%	44.4%	35.0%	39.0%
省エネルギー対策の充実	24	20	19	63	1	4	0	68
	7.6%	6.9%	9.0%	7.7%	4.2%	14.8%	0.0%	7.7%
リサイクル活動の活性化	23	19	16	58	2	1	1	62
	7.3%	6.6%	7.6%	7.1%	8.3%	3.7%	5.0%	7.0%
その他	3	5	2	10	0	0	1	11
	1.0%	1.7%	1.0%	1.2%	0.0%	0.0%	5.0%	1.2%
無回答	49	35	21	105	2	1	8	116
	15.6%	12.1%	10.0%	12.9%	8.3%	3.7%	40.0%	13.1%
回答者数	315	289	210	814	24	27	20	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
大雪山の魅力を後世に引き継ぐ	0	10	29	30	57	83	153	2	364
	0.0%	55.6%	55.8%	39.5%	50.4%	37.9%	38.7%	20.0%	41.1%
大気・水質などの保全・美化	0	8	14	29	41	63	74	0	229
	0.0%	44.4%	26.9%	38.2%	36.3%	28.8%	18.7%	0.0%	25.9%
資源を大切にする取組の実践	2	6	11	10	21	57	91	1	199
	100.0%	33.3%	21.2%	13.2%	18.6%	26.0%	23.0%	10.0%	22.5%
資源循環型のまちづくり	1	1	9	9	24	37	45	0	126
	50.0%	5.6%	17.3%	11.8%	21.2%	16.9%	11.4%	0.0%	14.2%
地熱エネルギー、バイオマスエネルギーなど再生可能エネルギーの活用	0	7	21	33	42	93	147	2	345
	0.0%	38.9%	40.4%	43.4%	37.2%	42.5%	37.2%	20.0%	39.0%
省エネルギー対策の充実	1	1	4	5	6	21	30	0	68
	50.0%	5.6%	7.7%	6.6%	5.3%	9.6%	7.6%	0.0%	7.7%
リサイクル活動の活性化	0	1	2	2	5	17	35	0	62
	0.0%	5.6%	3.8%	2.6%	4.4%	7.8%	8.9%	0.0%	7.0%
その他	0	0	1	1	3	1	5	0	11
	0.0%	0.0%	1.9%	1.3%	2.7%	0.5%	1.3%	0.0%	1.2%
無回答	0	0	2	5	4	14	84	7	116
	0.0%	0.0%	3.8%	6.6%	3.5%	6.4%	21.3%	70.0%	13.1%
回答者数	2	18	52	76	113	219	395	10	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他の回答内容

・旭ヶ丘の開発でこれ以上自然を壊さないでください。
・時代に見合った他町村のマネでないものをつくる。
・層雲峡側からの大雪山（旭岳）へのアクセスを容易に。
・まず上川町の環境について知る機会をつくる。
・公園内でも開発するところは開発して、守る所は守ってはっきりする。中途半端はダメ。
・不法投棄、ポイ捨ての取り締まり強化。
・情報発信（インターネット、看板等）。
・教育の中にもっと農業や大雪山とふれあう場を入れるべき。

前回調査との比較



（１３）交通網の整備

上川町の交通網の整備について、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（２つまで選択）

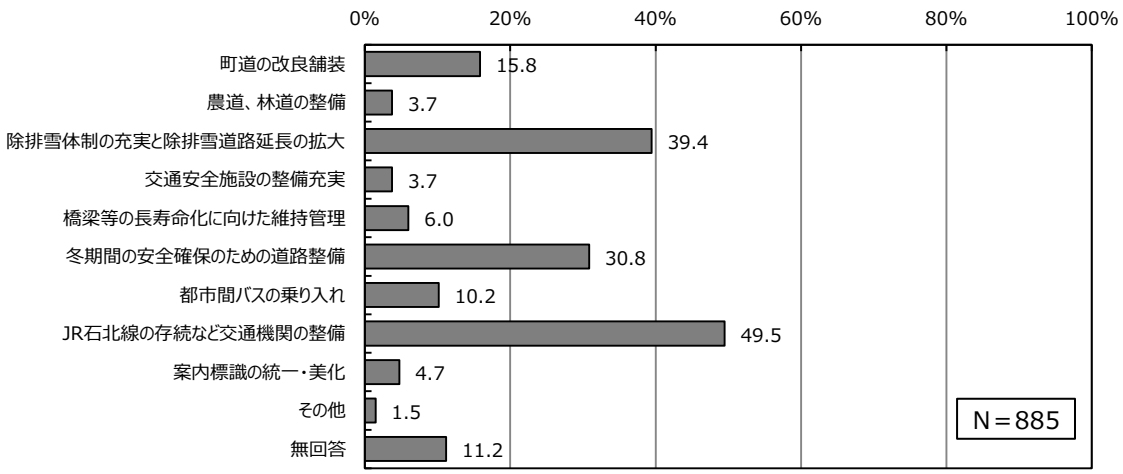
１．町道の改良舗装を図る
２．農道、林道の整備を図る
３．除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大を図る
４．交通安全施設の整備充実を図る
５．橋梁等の長寿命化に向けた維持管理を図る
６．冬期間の安全確保のための道路整備を図る
７．都市間バスの乗り入れを図る
８．JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る
９．案内標識の統一・美化を図る
10．その他（　　）

交通網の整備について力をそそぐべき点（複数回答）としては、「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」が 49.5%で最も多く、次いで「除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大を図る」が 39.4%、「冬期間の安全確保のための道路整備を図る」が 30.8%となっている。

地区別にみると農村地域除く地域で「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」が最も多く、層雲峡では加えて「除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大を図る」も最も多い。農村地域では「冬期間の安全確保のための道路整備を図る」が最も多くなっている。

年齢別にみると、30 代以上は「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」が最も多く、加えて 30 代では「除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大を図る」も最も多い。20 代以下は回答が分散している。

前回調査と比較すると、「冬期間の安全確保のための道路整備を図る」及び「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」が前回を上回っており、特に「JR 石北線の存続など交通機関の整備を図る」は前回から 43 ポイントと大幅に増加している。一方で「橋梁等の長寿命化に向けた維持管理を図る」は前回から 31 ポイントと大幅に減少している。



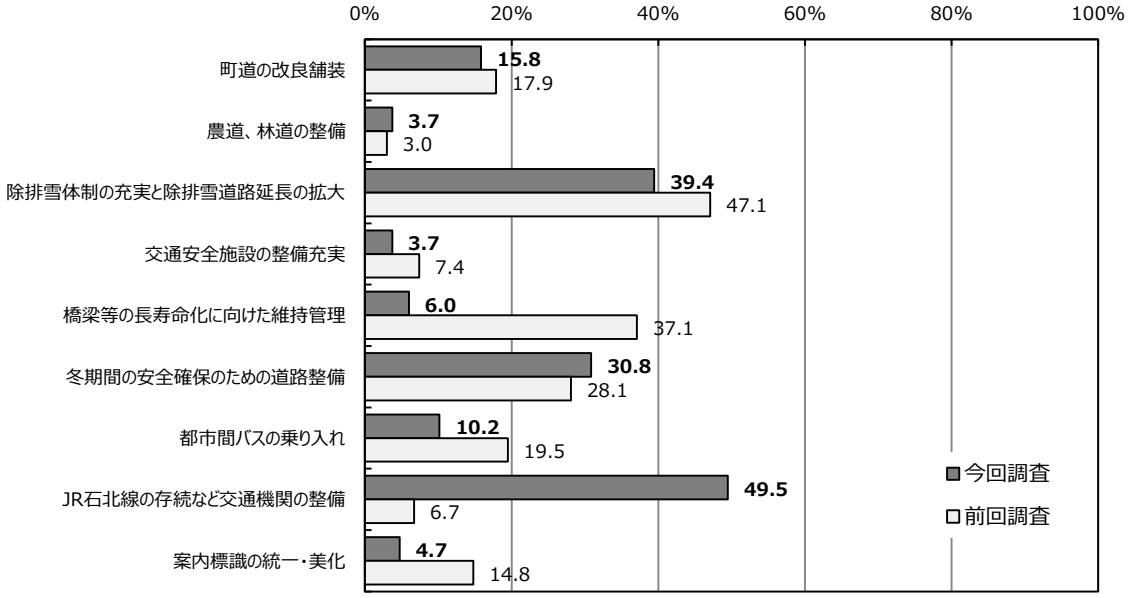
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
町道の改良舗装	45	46	36	127	7	3	3	140
	14.3%	15.9%	17.1%	15.6%	29.2%	11.1%	15.0%	15.8%
農道、林道の整備	9	11	8	28	3	1	1	33
	2.9%	3.8%	3.8%	3.4%	12.5%	3.7%	5.0%	3.7%
除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大	119	120	85	324	7	11	7	349
	37.8%	41.5%	40.5%	39.8%	29.2%	40.7%	35.0%	39.4%
交通安全施設の整備充実	10	10	9	29	2	2	0	33
	3.2%	3.5%	4.3%	3.6%	8.3%	7.4%	0.0%	3.7%
橋梁等の長寿命化に向けた維持管理	16	19	15	50	1	1	1	53
	5.1%	6.6%	7.1%	6.1%	4.2%	3.7%	5.0%	6.0%
冬期間の安全確保のための道路整備	99	86	68	253	8	8	4	273
	31.4%	29.8%	32.4%	31.1%	33.3%	29.6%	20.0%	30.8%
都市間バスの乗り入れ	27	21	25	73	4	10	3	90
	8.6%	7.3%	11.9%	9.0%	16.7%	37.0%	15.0%	10.2%
JR 石北線の存続など交通機関の整備	170	144	99	413	6	11	8	438
	54.0%	49.8%	47.1%	50.7%	25.0%	40.7%	40.0%	49.5%
案内標識の統一・美化	10	10	18	38	2	1	1	42
	3.2%	3.5%	8.6%	4.7%	8.3%	3.7%	5.0%	4.7%
その他	6	6	1	13	0	0	0	13
	1.9%	2.1%	0.5%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
無回答	41	32	18	91	3	1	4	99
	13.0%	11.1%	8.6%	11.2%	12.5%	3.7%	20.0%	11.2%
回答者数	315	289	210	814	24	27	20	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
町道の改良舗装	0	0	13	15	20	47	45	0	140
	0.0%	0.0%	25.0%	19.7%	17.7%	21.5%	11.4%	0.0%	15.8%
農道、林道の整備	0	1	2	4	5	9	12	0	33
	0.0%	5.6%	3.8%	5.3%	4.4%	4.1%	3.0%	0.0%	3.7%
除排雪体制の充実と除排雪道路延長の拡大	1	7	23	31	50	88	146	3	349
	50.0%	38.9%	44.2%	40.8%	44.2%	40.2%	37.0%	30.0%	39.4%
交通安全施設の整備充実	1	1	1	0	4	9	17	0	33
	50.0%	5.6%	1.9%	0.0%	3.5%	4.1%	4.3%	0.0%	3.7%
橋梁等の長寿命化に向けた維持管理	1	1	3	2	8	19	18	1	53
	50.0%	5.6%	5.8%	2.6%	7.1%	8.7%	4.6%	10.0%	6.0%
冬期間の安全確保のための道路整備	0	7	19	26	32	74	113	2	273
	0.0%	38.9%	36.5%	34.2%	28.3%	33.8%	28.6%	20.0%	30.8%
都市間バスの乗り入れ	0	5	5	9	20	23	26	2	90
	0.0%	27.8%	9.6%	11.8%	17.7%	10.5%	6.6%	20.0%	10.2%
JR 石北線の存続など交通機関の整備	1	7	23	44	59	99	202	3	438
	50.0%	38.9%	44.2%	57.9%	52.2%	45.2%	51.1%	30.0%	49.5%
案内標識の統一・美化	0	1	4	4	5	13	14	1	42
	0.0%	5.6%	7.7%	5.3%	4.4%	5.9%	3.5%	10.0%	4.7%
その他	0	0	0	0	3	6	4	0	13
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	1.0%	0.0%	1.5%
無回答	0	1	2	3	4	10	75	4	99
	0.0%	5.6%	3.8%	3.9%	3.5%	4.6%	19.0%	40.0%	11.2%
回答者数	2	18	52	76	113	219	395	10	885
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

その他の回答内容

・案内標識が見づらいと観光客等々の方によく聞かれます。
・冬は道路滑って歩くこともできない。高齢者の運動不足。
・一方通行はいらない。
・残った雪が大変。
・町道の適正な維持管理。
・町内除雪の質を上げる。アスファルト上の残雪多い。
・歩道の除排雪。
・舗装が古い。照明よりも。
・大通りの歩道への排雪の積み上げを禁止する。
・高速バスの停車駅になっていますが、上川から北見、遠軽、旭川等に行くとき乗車できない事が不便と感じます。
・削り除排雪体制ありがたいです。

前回調査との比較



（１４）情報化の推進

上川町の情報化の推進について、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（２つまで選択）

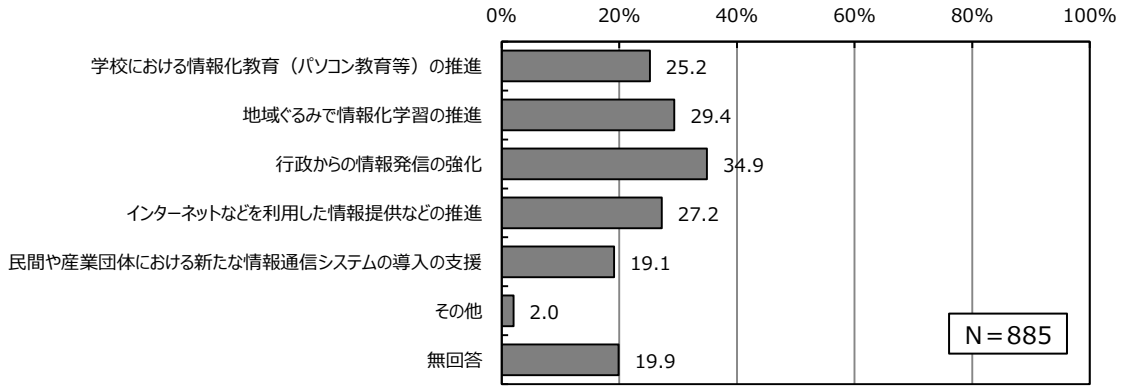
１．学校における情報化教育（パソコン教育等）を推進する
２．地域ぐるみで情報化学習を推進する
３．行政からの情報発信を強化する
４．インターネットなどを利用した情報提供などを推進する
５．民間や産業団体における新たな情報通信システムの導入を支援する
６．その他（　　）

情報化の推進について力をそそぐべき点（複数回答）としては、「行政からの情報発信を強化する」が 34.9%で最も多く、次いで「地域ぐるみで情報化学習を推進する」が 29.4%、「インターネットなどを利用した情報提供などを推進する」が 27.2%となっている。

地区別にみると、層雲峡除く地区では「行政からの情報発信を強化する」が最も多く、層雲峡では「インターネットなどを利用した情報提供などを推進する」が最も多くなっている。

年齢別にみると、20 歳未満及び 20～50 代では「インターネットなどを利用した情報提供などを推進する」が最も多く、加えて 20 歳未満は「学校における情報化教育（パソコン教育等）を強化する」も多くなっている。また 60 代以上は「行政からの情報発信を強化する」が多くなっている。

前回調査と比較すると、全項目で前回を下回っている。特に「民間や産業団体における新たな情報通信システムの導入を支援する」が前回から 10 ポイントと大きく減少している。



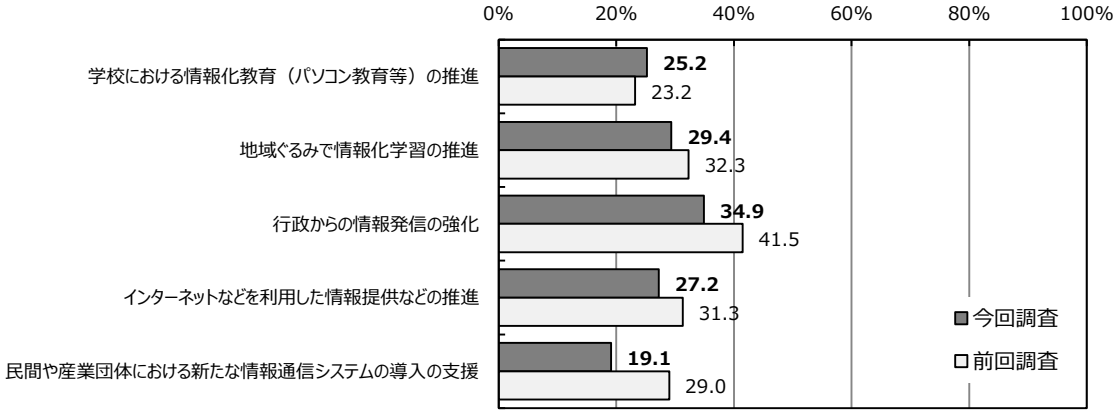
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
学校における情報化教育（パソコン教育等）の推進	65 20.6%	77 26.6%	58 27.6%	200 24.6%	8 33.3%	10 37.0%	5 25.0%	223 25.2%
地域ぐるみで情報化学習の推進	81 25.7%	90 31.1%	67 31.9%	238 29.2%	6 25.0%	10 37.0%	6 30.0%	260 29.4%
行政からの情報発信の強化	116 36.8%	102 35.3%	73 34.8%	291 35.7%	10 41.7%	5 18.5%	3 15.0%	309 34.9%
インターネットなどを利用した情報提供などの推進	88 27.9%	77 26.6%	52 24.8%	217 26.7%	7 29.2%	14 51.9%	3 15.0%	241 27.2%
民間や産業団体における新たな情報通信システムの導入の支援	55 17.5%	57 19.7%	39 18.6%	151 18.6%	7 29.2%	9 33.3%	2 10.0%	169 19.1%
その他	6 1.9%	5 1.7%	4 1.9%	15 1.8%	1 4.2%	0 0.0%	2 10.0%	18 2.0%
無回答	72 22.9%	50 17.3%	44 21.0%	166 20.4%	3 12.5%	0 0.0%	7 35.0%	176 19.9%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
学校における情報化教育（パソコン教育等）の推進	2 100.0%	4 22.2%	23 44.2%	21 27.6%	33 29.2%	56 25.6%	83 21.0%	1 10.0%	223 25.2%
地域ぐるみで情報化学習の推進	0 0.0%	6 33.3%	10 19.2%	24 31.6%	30 26.5%	67 30.6%	120 30.4%	3 30.0%	260 29.4%
行政からの情報発信の強化	0 0.0%	6 33.3%	9 17.3%	25 32.9%	37 32.7%	88 40.2%	142 35.9%	2 20.0%	309 34.9%
インターネットなどを利用した情報提供などの推進	2 100.0%	7 38.9%	28 53.8%	39 51.3%	43 38.1%	69 31.5%	53 13.4%	0 0.0%	241 27.2%
民間や産業団体における新たな情報通信システムの導入の支援	0 0.0%	6 33.3%	13 25.0%	10 13.2%	32 28.3%	48 21.9%	59 14.9%	1 10.0%	169 19.1%
その他	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	0 0.0%	6 5.3%	4 1.8%	5 1.3%	1 10.0%	18 2.0%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	3 3.9%	8 7.1%	24 11.0%	131 33.2%	6 60.0%	176 19.9%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・各世帯に町内の情報（イベント等）を知らせる手段（配布物以外の）を考えてほしい（有線的なこと）。
・光ネットワークが周辺地域でも使えるように早急な取り組み必要。
・「情報化」を一般市民にどのように役立たせるかを考えてからでは。
・IT のみならず情報交換の場を増やす、発信する。
・メールアドレス登録で情報提供（メルマガのように）。
・災対本部のリアル情報を各家庭にネット配信。ポテトのようなケーブルテレビで。
・案内板（そこに行ったら QR コード等でみれる等）。
・wifi 設備の強化。
・パソコンを安価で販売。パソコンは OS が古くなると使いづらくなる。老人は追いつかない。

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
学校における情報化教育（パソコン教育等）の推進
25.2
23.2
地域ぐるみで情報化学習の推進
29.4
32.3
行政からの情報発信の強化
34.9
41.5
インターネットなどを利用した情報提供などの推進
27.2
31.3
民間や産業団体における新たな情報通信システムの導入の支援
19.1
29.0
今回調査
前回調査

（１５）日常的な学習活動や文化活動の促進にむけた施策

町民の日常的な学習活動や文化活動を促進するためにどのような施策が重要だと思いますか。（２つまで選択）

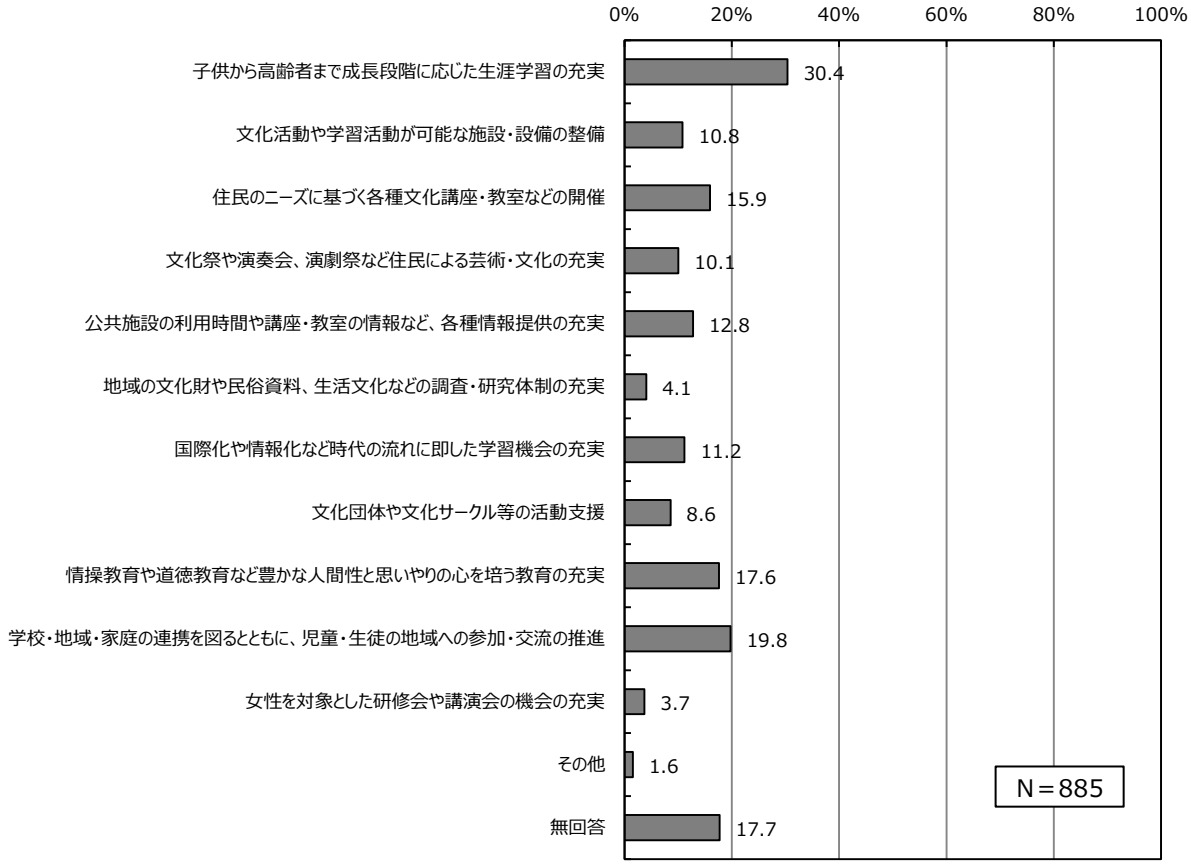
１．子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実を図る
２．文化活動や学習活動が可能な施設・設備の整備を進める
３．住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などを開催する
４．文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実を図る
５．公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実を図る
６．地域の文化財や民俗資料、生活文化などの調査・研究体制の充実を図る
７．国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実を図る
８．文化団体や文化サークル等の活動支援を図る
９．情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実を図る
10．学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流を推進する
11．女性を対象とした研修会や講演会の機会の充実を図る
12．その他（　　）

日常的な学習活動や文化活動を促進する上で重要な施策（複数回答）としては、「子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実を図る」が 30.4％で最も多く、次いで「学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流を推進する」が 19.8％、「情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実を図る」が 17.6％となっている。

地区別にみると、全地区で「子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実を図る」が最も多いが、層雲峡では加えて「住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などを開催する」も最も多くなっている。

年齢別にみると、30 代以上では「子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実を図る」が最も多いが、20 代では「文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実を図る」及び「公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実を図る」が最も多くなっている。

前回調査と比較すると、「文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実を図る」、「国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実を図る」及び「文化団体や文化サークル等の活動支援を図る」が前回より上回っている。


0%
20%
40%
60%
80%
100%
子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実
30.4
文化活動や学習活動が可能な施設・設備の整備
10.8
住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などの開催
15.9
文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実
10.1
公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実
12.8
地域の文化財や民俗資料、生活文化などの調査・研究体制の充実
4.1
国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実
11.2
文化団体や文化サークル等の活動支援
8.6
情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実
17.6
学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流の推進
19.8
女性を対象とした研修会や講演会の機会の充実
3.7
その他
1.6
無回答
17.7
N＝885

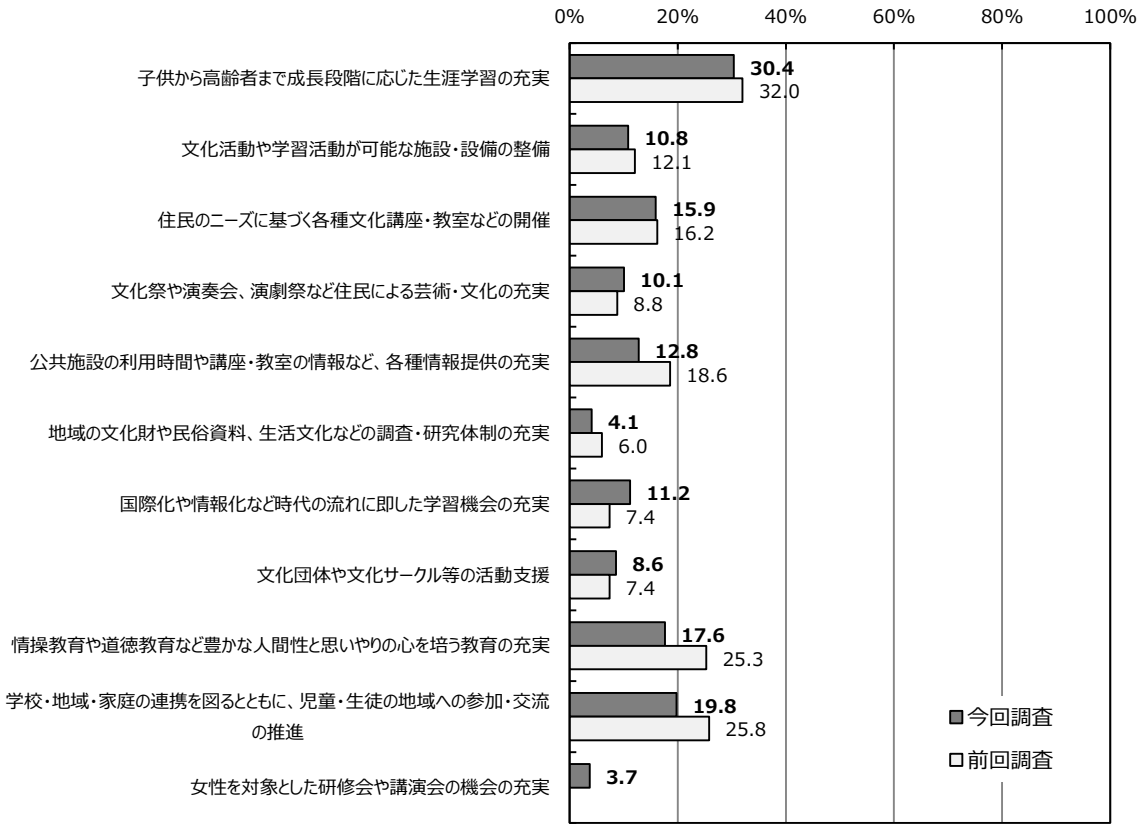
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実	79 25.1%	99 34.3%	67 31.9%	245 30.1%	8 33.3%	8 29.6%	8 40.0%	269 30.4%
文化活動や学習活動が可能な施設・設備の整備	40 12.7%	28 9.7%	18 8.6%	86 10.6%	3 12.5%	6 22.2%	1 5.0%	96 10.8%
住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などの開催	46 14.6%	48 16.6%	34 16.2%	128 15.7%	4 16.7%	8 29.6%	1 5.0%	141 15.9%
文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実	36 11.4%	27 9.3%	20 9.5%	83 10.2%	3 12.5%	3 11.1%	0 0.0%	89 10.1%
公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実	38 12.1%	37 12.8%	30 14.3%	105 12.9%	4 16.7%	4 14.8%	0 0.0%	113 12.8%
地域の文化財や民俗資料、生活文化などの調査・研究体制の充実	10 3.2%	10 3.5%	11 5.2%	31 3.8%	2 8.3%	3 11.1%	0 0.0%	36 4.1%
国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実	30 9.5%	34 11.8%	26 12.4%	90 11.1%	2 8.3%	7 25.9%	0 0.0%	99 11.2%
文化団体や文化サークル等の活動支援	30 9.5%	20 6.9%	19 9.0%	69 8.5%	1 4.2%	4 14.8%	2 10.0%	76 8.6%
情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実	47 14.9%	62 21.5%	37 17.6%	146 17.9%	6 25.0%	3 11.1%	1 5.0%	156 17.6%
学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流の推進	61 19.4%	56 19.4%	47 22.4%	164 20.1%	6 25.0%	0 0.0%	5 25.0%	175 19.8%
女性を対象とした研修会や講演会の機会の充実	13 4.1%	9 3.1%	7 3.3%	29 3.6%	2 8.3%	2 7.4%	0 0.0%	33 3.7%
その他	3 1.0%	5 1.7%	2 1.0%	10 1.2%	1 4.2%	0 0.0%	3 15.0%	14 1.6%
無回答	66 21.0%	48 16.6%	34 16.2%	148 18.2%	2 8.3%	0 0.0%	7 35.0%	157 17.7%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実	0 0.0%	5 27.8%	17 32.7%	21 27.6%	31 27.4%	72 32.9%	120 30.4%	3 30.0%	269 30.4%
文化活動や学習活動が可能な施設・設備の整備	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	13 17.1%	20 17.7%	26 11.9%	34 8.6%	0 0.0%	96 10.8%
住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などの開催	0 0.0%	3 16.7%	9 17.3%	14 18.4%	29 25.7%	47 21.5%	39 9.9%	0 0.0%	141 15.9%
文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実	1 50.0%	6 33.3%	4 7.7%	4 5.3%	10 8.8%	22 10.0%	41 10.4%	1 10.0%	89 10.1%
公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実	0 0.0%	6 33.3%	9 17.3%	15 19.7%	21 18.6%	27 12.3%	35 8.9%	0 0.0%	113 12.8%
地域の文化財や民俗資料、生活文化などの調査・研究体制の充実	0 0.0%	1 5.6%	1 1.9%	4 5.3%	8 7.1%	7 3.2%	15 3.8%	0 0.0%	36 4.1%
国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実	0 0.0%	3 16.7%	15 28.8%	15 19.7%	14 12.4%	25 11.4%	27 6.8%	0 0.0%	99 11.2%
文化団体や文化サークル等の活動支援	0 0.0%	2 11.1%	4 7.7%	10 13.2%	8 7.1%	19 8.7%	33 8.4%	0 0.0%	76 8.6%
情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実	1 50.0%	0 0.0%	6 11.5%	9 11.8%	19 16.8%	48 21.9%	73 18.5%	0 0.0%	156 17.6%
学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流の推進	1 50.0%	3 16.7%	16 30.8%	16 21.1%	19 16.8%	41 18.7%	79 20.0%	0 0.0%	175 19.8%
女性を対象とした研修会や講演会の機会の充実	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%	3 2.7%	8 3.7%	18 4.6%	1 10.0%	33 3.7%
その他	1 50.0%	0 0.0%	2 3.8%	1 1.3%	1 0.9%	2 0.9%	5 1.3%	2 20.0%	14 1.6%
無回答	0 0.0%	1 5.6%	2 3.8%	4 5.3%	9 8.0%	26 11.9%	109 27.6%	6 60.0%	157 17.7%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・一般論的なものではなく、町の進むべき方向がみえたり、上川町の住民に新しい提案や視野を広げられる講演会。
・自分のことは自分で考える力を育てる。
・会館のない町内に会館設立（中央町、南町）。
・公共でない施設、喫茶店、食事処などに、町の援助。
・ジャンプの町としてジャンプ台をもっと利用してもらうため、小中学生用の寮を作り、全道から子供を呼びジャンパーを育成する。当然指導者にも予算を組む。
・ダンスサークルが多いのに鏡が足りない。
・学校の行事は生徒とその家族しか参加出来ない。
・高校に工業、農業、商業系のクラスを取り入れる。

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
子供から高齢者まで成長段階に応じた生涯学習の充実
30.4
32.0
文化活動や学習活動が可能な施設・設備の整備
10.8
12.1
住民のニーズに基づく各種文化講座・教室などの開催
15.9
16.2
文化祭や演奏会、演劇祭など住民による芸術・文化の充実
10.1
8.8
公共施設の利用時間や講座・教室の情報など、各種情報提供の充実
12.8
18.6
地域の文化財や民俗資料、生活文化などの調査・研究体制の充実
4.1
6.0
国際化や情報化など時代の流れに即した学習機会の充実
11.2
7.4
文化団体や文化サークル等の活動支援
8.6
7.4
情操教育や道徳教育など豊かな人間性と思いやりの心を培う教育の充実
17.6
25.3
学校・地域・家庭の連携を図るとともに、児童・生徒の地域への参加・交流の推進
19.8
25.8
女性を対象とした研修会や講演会の機会の充実
3.7
今回調査
前回調査

（１６）スポーツ活動や青年活動、レクリエーション活動の促進にむけた施策

町民のスポーツ活動や青年活動、レクリエーション活動を促進するために、どのような施策が重要だと思いますか。（２つまで選択）

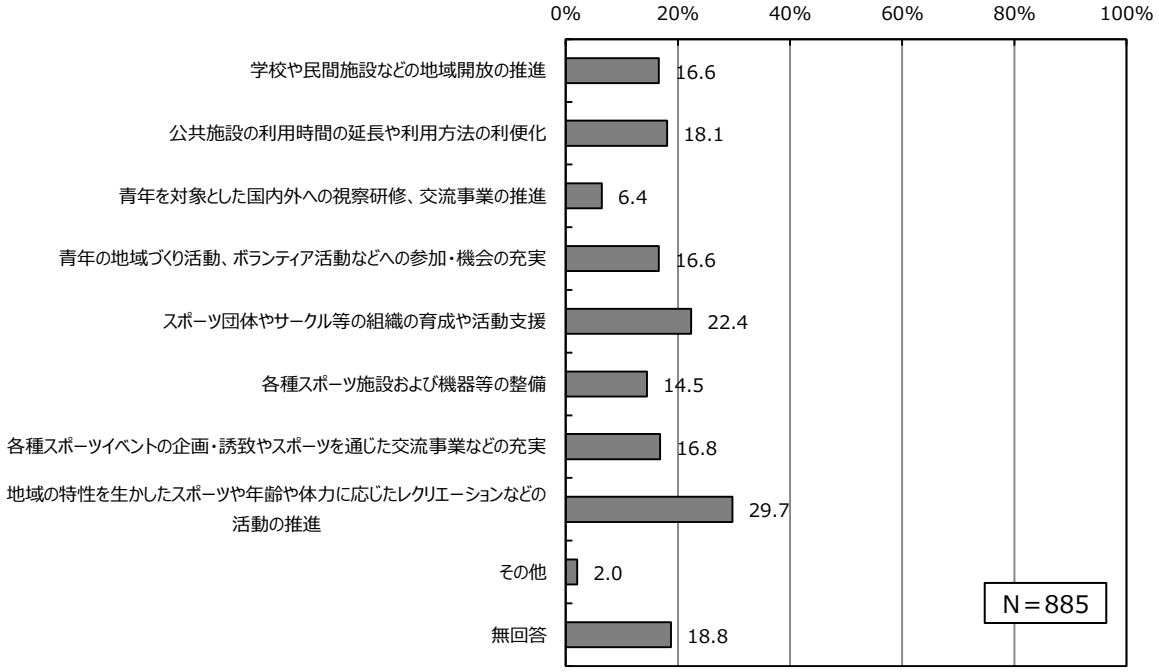
１．学校や民間施設などの地域開放を推進する
２．公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化を図る
３．青年を対象とした国内外への視察研修、交流事業を推進する
４．青年の地域づくり活動、ボランティア活動などへの参加・機会の充実を図る
５．スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援を図る
６．各種スポーツ施設および機器等の整備を図る
７．各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などを充実する
８．地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動を推進する
９．その他（　　）

スポーツ活動や青年活動、レクリエーション活動を促進する上で重要な施策（複数回答）としては、「地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動を推進する」が 29.7％で最も多く、次いで「スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援を図る」が 22.4％、「公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化を図る」が 18.1％となっている。

地区別にみると、市街地及び農村地域では「地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動を推進する」が最も多く、層雲峡では「各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などを充実する」が最も多くなっている。

年齢別にみると、年代別で回答が分散しており、60 代以上は「地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動を推進する」が最も多いが、30 代と 40 代では「スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援を図る」が最も多く、加えて 30 代では「各種スポーツ施設および機器等の整備を図る」も多い。20 代では「各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などを充実する」、50 代は「公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化を図る」がそれぞれ多い。

前回調査と比較すると、「公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化を図る」のみ前回から 13 ポイント減少しており変化がみられるが、それ以外の項目に大きな変化はみられない。



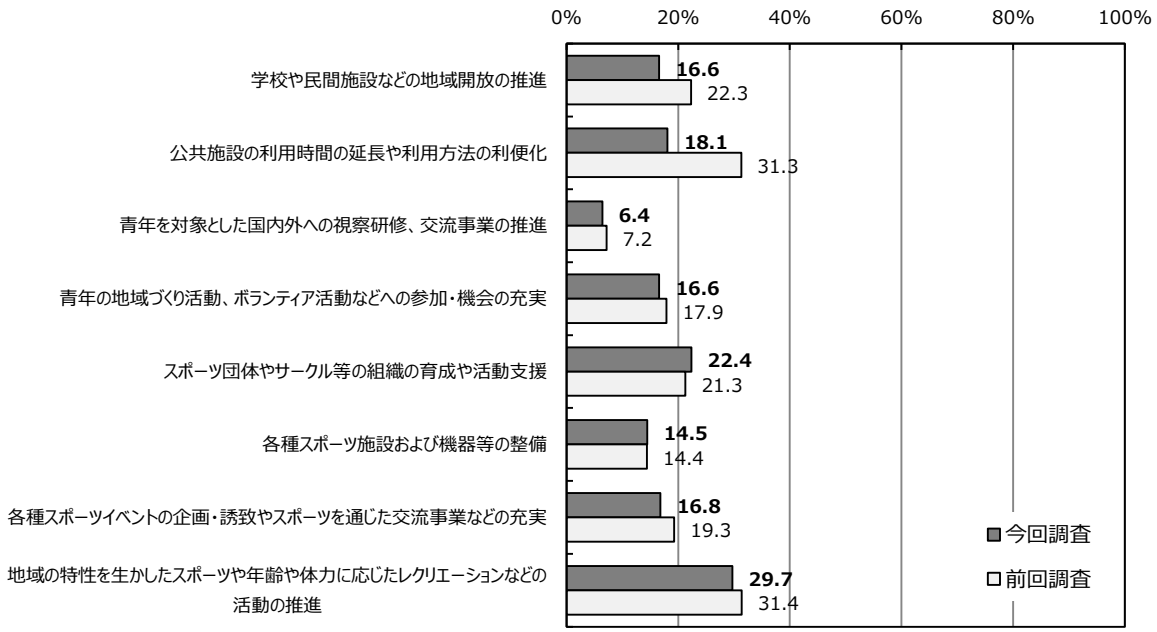
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
学校や民間施設などの地域開放の推進	49 15.6%	54 18.7%	29 13.8%	132 16.2%	5 20.8%	5 18.5%	5 25.0%	147 16.6%
公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化	49 15.6%	54 18.7%	41 19.5%	144 17.7%	4 16.7%	7 25.9%	5 25.0%	160 18.1%
青年を対象とした国内外への視察研修、交流事業の推進	19 6.0%	18 6.2%	15 7.1%	52 6.4%	2 8.3%	2 7.4%	1 5.0%	57 6.4%
青年の地域づくり活動、ボランティア活動などへの参加・機会の充実	45 14.3%	52 18.0%	31 14.8%	128 15.7%	8 33.3%	8 29.6%	3 15.0%	147 16.6%
スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援	68 21.6%	64 22.1%	54 25.7%	186 22.9%	4 16.7%	6 22.2%	2 10.0%	198 22.4%
各種スポーツ施設および機器等の整備	43 13.7%	47 16.3%	28 13.3%	118 14.5%	2 8.3%	6 22.2%	2 10.0%	128 14.5%
各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などの充実	46 14.6%	49 17.0%	38 18.1%	133 16.3%	5 20.8%	10 37.0%	1 5.0%	149 16.8%
地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動の推進	91 28.9%	82 28.4%	73 34.8%	246 30.2%	9 37.5%	5 18.5%	3 15.0%	263 29.7%
その他	8 2.5%	4 1.4%	3 1.4%	15 1.8%	1 4.2%	0 0.0%	2 10.0%	18 2.0%
無回答	75 23.8%	48 16.6%	35 16.7%	158 19.4%	2 8.3%	1 3.7%	5 25.0%	166 18.8%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
学校や民間施設などの地域開放の推進	1 50.0%	7 38.9%	12 23.1%	12 15.8%	21 18.6%	38 17.4%	54 13.7%	2 20.0%	147 16.6%
公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化	0 0.0%	5 27.8%	9 17.3%	15 19.7%	34 30.1%	45 20.5%	51 12.9%	1 10.0%	160 18.1%
青年を対象とした国内外への視察研修、交流事業の推進	0 0.0%	0 0.0%	6 11.5%	2 2.6%	5 4.4%	19 8.7%	25 6.3%	0 0.0%	57 6.4%
青年の地域づくり活動、ボランティア活動などへの参加・機会の充実	1 50.0%	4 22.2%	9 17.3%	8 10.5%	15 13.3%	45 20.5%	65 16.5%	0 0.0%	147 16.6%
スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援	0 0.0%	4 22.2%	14 26.9%	26 34.2%	27 23.9%	45 20.5%	81 20.5%	1 10.0%	198 22.4%
各種スポーツ施設および機器等の整備	1 50.0%	3 16.7%	14 26.9%	19 25.0%	23 20.4%	34 15.5%	33 8.4%	1 10.0%	128 14.5%
各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などの充実	1 50.0%	8 44.4%	12 23.1%	21 27.6%	26 23.0%	42 19.2%	38 9.6%	1 10.0%	149 16.8%
地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動の推進	0 0.0%	2 11.1%	6 11.5%	14 18.4%	29 25.7%	75 34.2%	136 34.4%	1 10.0%	263 29.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	2 2.6%	3 2.7%	3 1.4%	7 1.8%	1 10.0%	18 2.0%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	4 7.7%	5 6.6%	8 7.1%	23 10.5%	121 30.6%	5 50.0%	166 18.8%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・町民プール、16：00～の休憩は無くてもいい。
・中学校のグランドに照明を付けてほしい。
・もう充分やっていると思います。
・健康で長生きするために、パークゴルフ場の新たな造成を望む（例：栄町球場をパーク場に）。
・現状で良い。
・青年男女の集う事が必要では。
・高梨選手に続く有望選手の育成方法を検討する必要が。
・ジャンプ台の整備。
・スポーツ団体などの合宿、誘致、交流。
・上川町にしか出来ないことを。
・体育館を新しくすべき。トレーニングの部屋をお年寄りも入って動けるものを置いてほしい。
・町全体にイベントがもっとつたわるように。

前回調査との比較


0%
20%
40%
60%
80%
100%
学校や民間施設などの地域開放の推進
16.6
22.3
公共施設の利用時間の延長や利用方法の利便化
18.1
31.3
青年を対象とした国内外への視察研修、交流事業の推進
6.4
7.2
青年の地域づくり活動、ボランティア活動などへの参加・機会の充実
16.6
17.9
スポーツ団体やサークル等の組織の育成や活動支援
22.4
21.3
各種スポーツ施設および機器等の整備
14.5
14.4
各種スポーツイベントの企画・誘致やスポーツを通じた交流事業などの充実
16.8
19.3
地域の特性を生かしたスポーツや年齢や体力に応じたレクリエーションなどの活動の推進
29.7
31.4
今回調査
前回調査

（１７）町民の主体的な活動への参加意向

まちづくりには町民の主体的な活動が不可欠です。町民の一人ひとりが“誰もが何かを受け持つ（一人一役）”とすれば、あなたはどのような活動に参加したいと思いますか。（３つまで選択）

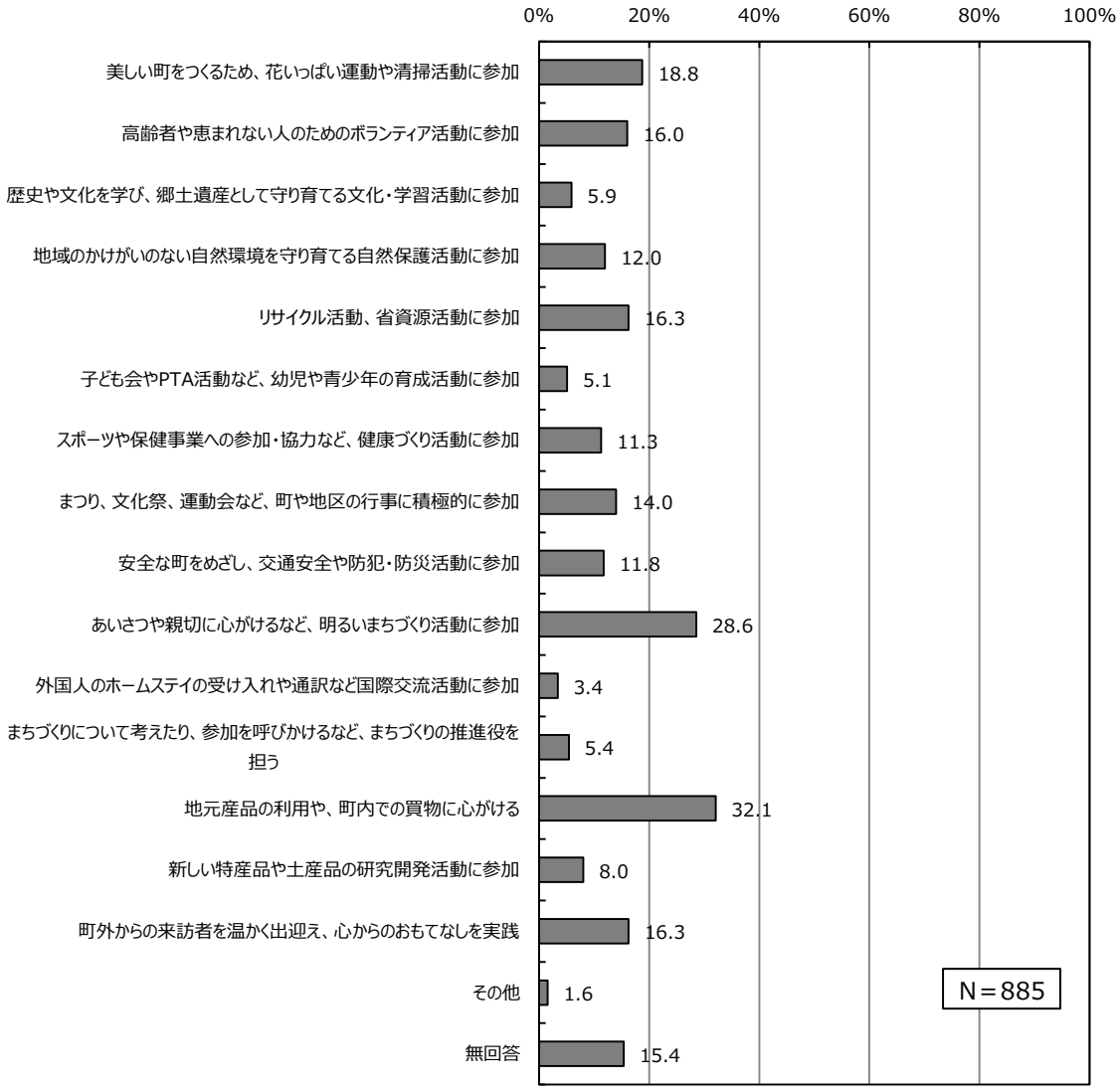
１．美しい町をつくるため、花いっぱい運動や清掃活動に参加する
２．高齢者や恵まれない人のためのボランティア活動に参加する
３．歴史や文化を学び、郷土遺産として守り育てる文化・学習活動に参加する
４．地域のかけがいのない自然環境を守り育てる自然保護活動に参加する
５．リサイクル活動、省資源活動に参加する
６．子ども会や PTA 活動など、幼児や青少年の育成活動に参加する
７．スポーツや保健事業への参加・協力など、健康づくり活動に参加する
８．まつり、文化祭、運動会など、町や地区の行事に積極的に参加する
９．安全な町をめざし、交通安全や防犯・防災活動に参加する
10．あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加する
11．外国人のホームステイの受け入れや通訳など国際交流活動に参加する
12．まちづくりについて考えたり、参加を呼びかけるなど、まちづくりの推進役を担う
13．地元産品の利用や、町内での買物に心がける
14．新しい特産品や土産品の研究開発活動に参加する
15．町外からの来訪者を温かく出迎え、心からのおもてなしを実践する
16．その他（　　）

まちづくり活動として参加を希望するもの（複数回答）は、「地元産品の利用や、町内での買物に心がける」が 32.1％で最も多く、次いで「あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加する」が 28.6％、「美しい町をつくるため、花いっぱい運動や清掃活動に参加する」が 18.8％となっている。

地区別にみると、市街地や農村地域及び層雲峡では「地元産品の利用や、町内での買物に心がける」が最も多くなっている。また、市街地（北地区、西地区）では「あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加する」、農村地域では「地域のかけがいのない自然環境を守り育てる自然保護活動に参加する」も多くなっている。

年齢別にみると、40 代、60 代以上は「地元産品の利用や、町内での買物に心がける」が最も多く、30 代は「まつり、文化祭、運動会など、町や地区の行事に積極的に参加する」、50 代は「あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加する」がそれぞれ最も多くなっている。20 代以下は回答が分散している。

前回調査と比較すると、「町外からの来訪者を温かく出迎え、心からのおもてなしを実践する」のみが前回を上回り、前回から 15 ポイントの増加と大きく上回っている。


0%
20%
40%
60%
80%
100%
美しい町をつくるため、花いっぱい運動や清掃活動に参加
18.8
高齢者や恵まれない人のためのボランティア活動に参加
16.0
歴史や文化を学び、郷土遺産として守り育てる文化・学習活動に参加
5.9
地域のかけがいのない自然環境を守り育てる自然保護活動に参加
12.0
リサイクル活動、省資源活動に参加
16.3
子ども会やPTA活動など、幼児や青少年の育成活動に参加
5.1
スポーツや保健事業への参加・協力など、健康づくり活動に参加
11.3
まつり、文化祭、運動会など、町や地区の行事に積極的に参加
14.0
安全な町をめざし、交通安全や防犯・防災活動に参加
11.8
あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加
28.6
外国人のホームステイの受け入れや通訳など国際交流活動に参加
3.4
まちづくりについて考えたり、参加を呼びかけるなど、まちづくりの推進役を担う
5.4
地元産品の利用や、町内での買物に心がける
32.1
新しい特産品や土産品の研究開発活動に参加
8.0
町外からの来訪者を温かく出迎え、心からのおもてなしを実践
16.3
その他
1.6
無回答
15.4
N＝885

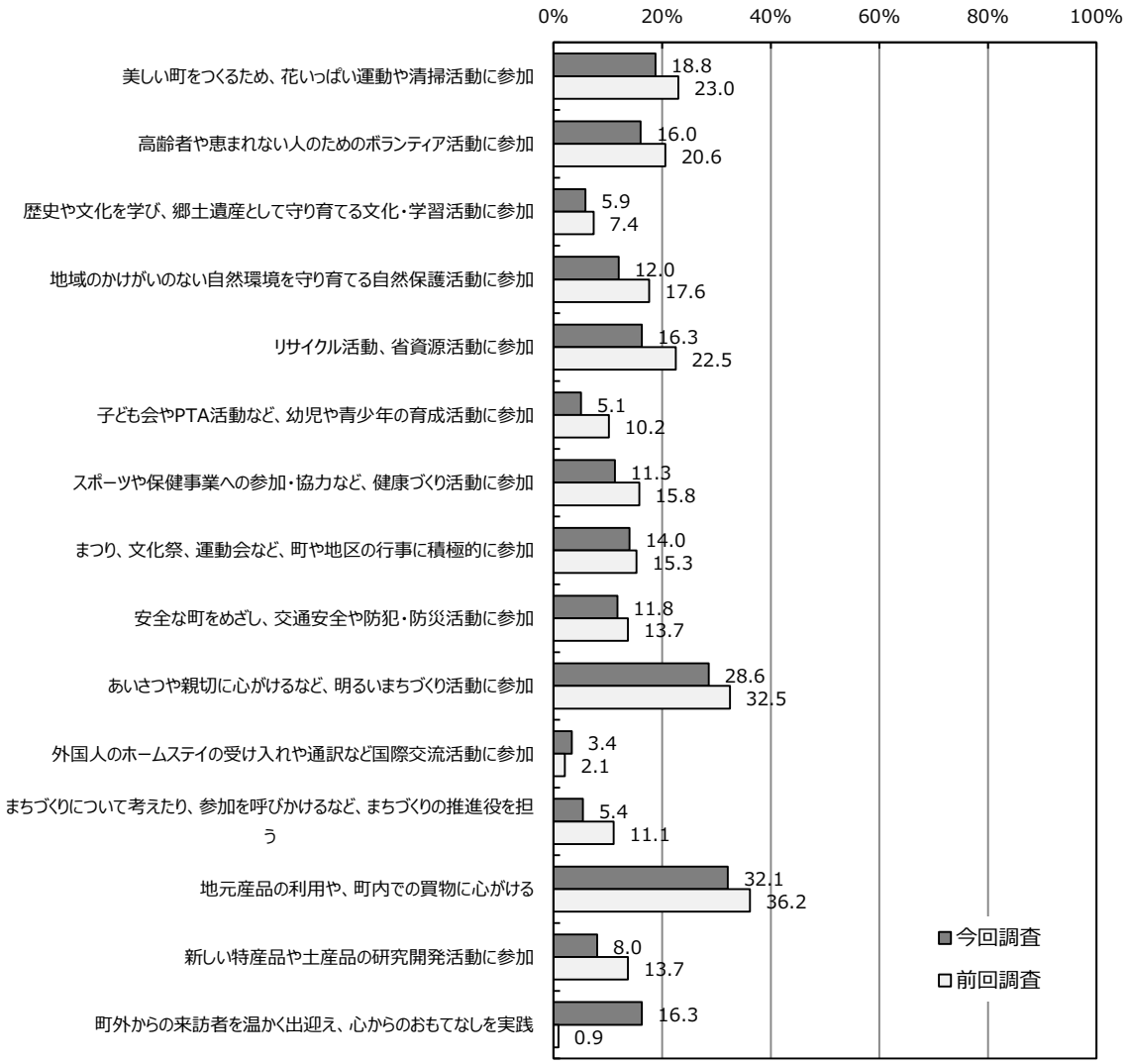
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
美しい町をつくるため、花いっぱい運動や清掃活動に参加	66 21.0%	56 19.4%	31 14.8%	153 18.8%	3 12.5%	6 22.2%	4 20.0%	166 18.8%
高齢者や恵まれない人のためのボランティア活動に参加	46 14.6%	47 16.3%	39 18.6%	132 16.2%	5 20.8%	3 11.1%	2 10.0%	142 16.0%
歴史や文化を学び、郷土遺産として守り育てる文化・学習活動に参加	11 3.5%	22 7.6%	14 6.7%	47 5.8%	2 8.3%	3 11.1%	0 0.0%	52 5.9%
地域のかけがいのない自然環境を守り育てる自然保護活動に参加	35 11.1%	30 10.4%	26 12.4%	91 11.2%	9 37.5%	5 18.5%	1 5.0%	106 12.0%
リサイクル活動、省資源活動に参加	50 15.9%	45 15.6%	40 19.0%	135 16.6%	3 12.5%	3 11.1%	3 15.0%	144 16.3%
子ども会や PTA 活動など、幼児や青少年の育成活動に参加	18 5.7%	17 5.9%	7 3.3%	42 5.2%	1 4.2%	1 3.7%	1 5.0%	45 5.1%
スポーツや保健事業への参加・協力など、健康づくり活動に参加	39 12.4%	31 10.7%	22 10.5%	92 11.3%	1 4.2%	5 18.5%	2 10.0%	100 11.3%
まつり、文化祭、運動会など、町や地区の行事に積極的に参加	42 13.3%	43 14.9%	28 13.3%	113 13.9%	3 12.5%	7 25.9%	1 5.0%	124 14.0%
安全な町をめざし、交通安全や防犯・防災活動に参加	38 12.1%	36 12.5%	25 11.9%	99 12.2%	3 12.5%	2 7.4%	0 0.0%	104 11.8%
あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加	80 25.4%	93 32.2%	67 31.9%	240 29.5%	5 20.8%	4 14.8%	4 20.0%	253 28.6%
外国人のホームステイの受け入れや通訳など国際交流活動に参加	8 2.5%	12 4.2%	8 3.8%	28 3.4%	1 4.2%	0 0.0%	1 5.0%	30 3.4%
まちづくりについて考えたり、参加を呼びかけるなど、まちづくりの推進役を担う	19 6.0%	13 4.5%	10 4.8%	42 5.2%	1 4.2%	4 14.8%	1 5.0%	48 5.4%
地元産品の利用や、町内での買物に心がける	96 30.5%	97 33.6%	72 34.3%	265 32.6%	10 41.7%	8 29.6%	1 5.0%	284 32.1%
新しい特産品や土産品の研究開発活動に参加	20 6.3%	18 6.2%	20 9.5%	58 7.1%	5 20.8%	5 18.5%	3 15.0%	71 8.0%
町外からの来訪者を温かく出迎え、心からのおもてなしを実践	38 12.1%	51 17.6%	45 21.4%	134 16.5%	2 8.3%	6 22.2%	2 10.0%	144 16.3%
その他	4 1.3%	3 1.0%	5 2.4%	12 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	14 1.6%
無回答	62 19.7%	37 12.8%	26 12.4%	125 15.4%	3 12.5%	2 7.4%	6 30.0%	136 15.4%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳 未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上	年齢 不明	合計
美しい町をつくるため、花いっぱい運動や清掃活動に参加	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	17 22.4%	21 18.6%	41 18.7%	82 20.8%	0 0.0%	166 18.8%
高齢者や恵まれない人のためのボランティア活動に参加	0 0.0%	2 11.1%	4 7.7%	8 10.5%	23 20.4%	41 18.7%	61 15.4%	3 30.0%	142 16.0%
歴史や文化を学び、郷土遺産として守り育てる文化・学習活動に参加	1 50.0%	2 11.1%	2 3.8%	1 1.3%	15 13.3%	15 6.8%	16 4.1%	0 0.0%	52 5.9%
地域のかけがいのない自然環境を守り育てる自然保護活動に参加	0 0.0%	1 5.6%	3 5.8%	11 14.5%	14 12.4%	35 16.0%	41 10.4%	1 10.0%	106 12.0%
リサイクル活動、省資源活動に参加	1 50.0%	1 5.6%	4 7.7%	10 13.2%	23 20.4%	44 20.1%	60 15.2%	1 10.0%	144 16.3%
子ども会や PTA 活動など、幼児や青少年の育成活動に参加	1 50.0%	2 11.1%	13 25.0%	14 18.4%	3 2.7%	4 1.8%	8 2.0%	0 0.0%	45 5.1%
スポーツや保健事業への参加・協力など、健康づくり活動に参加	0 0.0%	7 38.9%	13 25.0%	11 14.5%	18 15.9%	19 8.7%	31 7.8%	1 10.0%	100 11.3%
まつり、文化祭、運動会など、町や地区の行事に積極的に参加	0 0.0%	7 38.9%	21 40.4%	15 19.7%	22 19.5%	30 13.7%	29 7.3%	0 0.0%	124 14.0%
安全な町をめざし、交通安全や防犯・防災活動に参加	1 50.0%	5 27.8%	1 1.9%	6 7.9%	17 15.0%	29 13.2%	45 11.4%	0 0.0%	104 11.8%
あいさつや親切に心がけるなど、明るいまちづくり活動に参加	0 0.0%	5 27.8%	12 23.1%	18 23.7%	29 25.7%	62 28.3%	125 31.6%	2 20.0%	253 28.6%
外国人のホームステイの受け入れや通訳など国際交流活動に参加	0 0.0%	0 0.0%	7 13.5%	7 9.2%	6 5.3%	7 3.2%	3 0.8%	0 0.0%	30 3.4%
まちづくりについて考えたり、参加を呼びかけるなど、まちづくりの推進役を担う	0 0.0%	3 16.7%	2 3.8%	3 3.9%	11 9.7%	13 5.9%	14 3.5%	2 20.0%	48 5.4%
地元産品の利用や、町内での買物に心がける	1 50.0%	7 38.9%	13 25.0%	22 28.9%	25 22.1%	76 34.7%	138 34.9%	2 20.0%	284 32.1%
新しい特産品や土産品の研究開発活動に参加	1 50.0%	2 11.1%	8 15.4%	9 11.8%	13 11.5%	21 9.6%	17 4.3%	0 0.0%	71 8.0%
町外からの来訪者を温かく出迎え、心からのおもてなしを実践	0 0.0%	3 16.7%	10 19.2%	17 22.4%	19 16.8%	37 16.9%	57 14.4%	1 10.0%	144 16.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	2 3.8%	0 0.0%	1 0.9%	2 0.9%	9 2.3%	0 0.0%	14 1.6%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	4 5.3%	8 7.1%	25 11.4%	92 23.3%	4 40.0%	136 15.4%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・高齢者には参加出来るものが無い。
・気持的には上記すべてに参加したい。
・高齢のため自身の事で精一杯。(4)
・情緒、心の教育のための芸術的教育の推進、実行を担う。
・近所の高齢者宅前など除雪などお手伝い。
・一人一役で 3 つの選択とは？アンケート自体？

前回調査との比較



（１８）国際化の推進

上川町の国際化の推進について、どのような点に力をそそぐべきとお考えでしょうか。（２つまで選択）

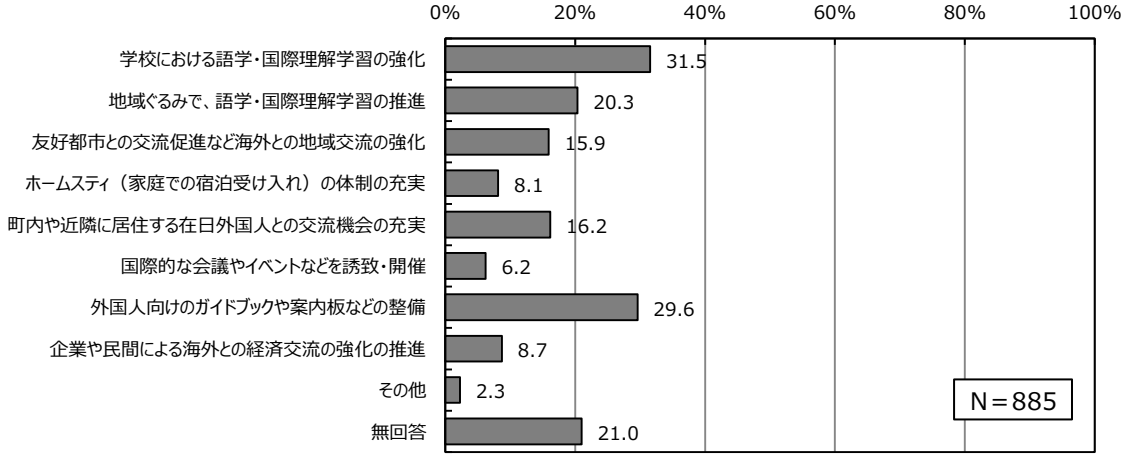
１．学校における語学・国際理解学習を強化する
２．地域ぐるみで、語学・国際理解学習を推進する
３．友好都市との交流促進など海外との地域交流を強化する
４．ホームスティ（家庭での宿泊受け入れ）の体制を充実する
５．町内や近隣に居住する在日外国人との交流機会を充実する
６．国際的な会議やイベントなどを誘致・開催する
７．外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する
８．企業や民間による海外との経済交流の強化を推進する
９．その他（　　）

国際化の推進について力をそそぐべき点（複数回答）としては、「学校における語学・国際理解学習を強化する」が 31.5％で最も多く、次いで「外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する」が 29.6%、「地域ぐるみで、語学・国際理解学習を推進する」が 20.3%となっている。

地区別にみると、市街地及び農村地域では「学校における語学・国際理解学習を強化する」が最も多く、加えて市街地（東地区）と層雲峡では「外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する」が多くなっている。

年齢別にみると、20～30 代と 50 代では「外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する」が最も多く、40 代と 60 代以上では「学校における語学・国際理解学習を強化する」が多くなっている。

前回調査と比較すると、「学校における語学・国際理解学習を強化する」及び「外国人向けのガイドブックや案内板などを整備する」」の２項目が前回を上回っている。



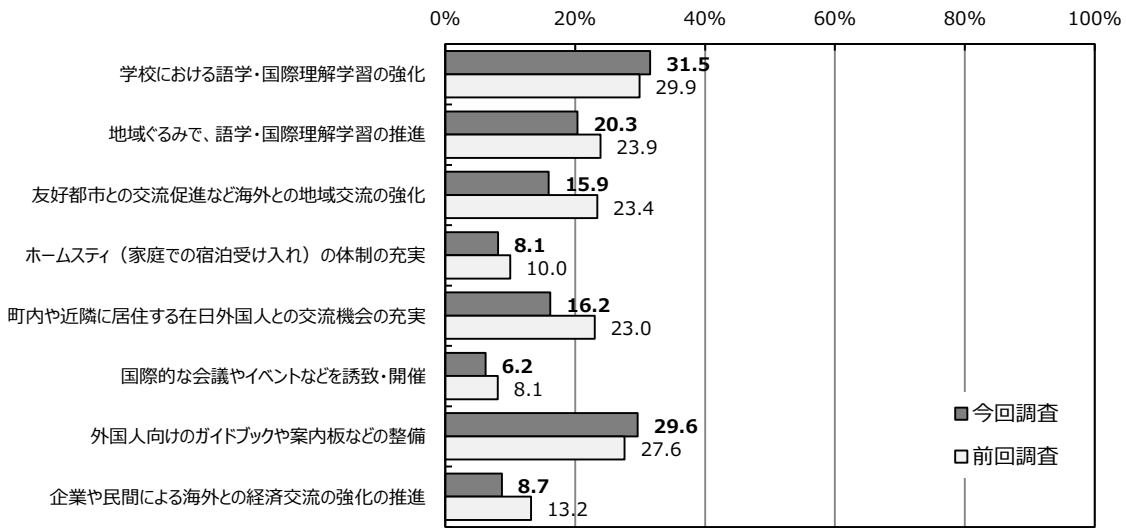
	市街地（東地区）	市街地（北地区）	市街地（西地区）	市街地計	農村地域	層雲峡	地区不明	合計
学校における語学・国際理解学習の強化	87 27.6%	97 33.6%	71 33.8%	255 31.3%	11 45.8%	7 25.9%	6 30.0%	279 31.5%
地域ぐるみで、語学・国際理解学習の推進	60 19.0%	66 22.8%	38 18.1%	164 20.1%	3 12.5%	9 33.3%	4 20.0%	180 20.3%
友好都市との交流促進など海外との地域交流の強化	50 15.9%	36 12.5%	43 20.5%	129 15.8%	5 20.8%	5 18.5%	2 10.0%	141 15.9%
ホームスティ（家庭での宿泊受け入れ）の体制の充実	18 5.7%	22 7.6%	23 11.0%	63 7.7%	2 8.3%	5 18.5%	2 10.0%	72 8.1%
町内や近隣に居住する在日外国人との交流機会の充実	45 14.3%	47 16.3%	40 19.0%	132 16.2%	7 29.2%	4 14.8%	0 0.0%	143 16.2%
国際的な会議やイベントなどを誘致・開催	19 6.0%	24 8.3%	11 5.2%	54 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	55 6.2%
外国人向けのガイドブックや案内板などの整備	87 27.6%	86 29.8%	64 30.5%	237 29.1%	7 29.2%	16 59.3%	2 10.0%	262 29.6%
企業や民間による海外との経済交流の強化の推進	24 7.6%	25 8.7%	17 8.1%	66 8.1%	4 16.7%	4 14.8%	3 15.0%	77 8.7%
その他	3 1.0%	9 3.1%	5 2.4%	17 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 15.0%	20 2.3%
無回答	86 27.3%	53 18.3%	38 18.1%	177 21.7%	3 12.5%	0 0.0%	6 30.0%	186 21.0%
回答者数	315 100.0%	289 100.0%	210 100.0%	814 100.0%	24 100.0%	27 100.0%	20 100.0%	885 100.0%

	20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳以上	年齢不明	合計
学校における語学・国際理解学習の強化	1 50.0%	6 33.3%	19 36.5%	22 28.9%	40 35.4%	79 36.1%	110 27.8%	2 20.0%	279 31.5%
地域ぐるみで、語学・国際理解学習の推進	0 0.0%	5 27.8%	12 23.1%	21 27.6%	32 28.3%	52 23.7%	57 14.4%	1 10.0%	180 20.3%
友好都市との交流促進など海外との地域交流の強化	0 0.0%	2 11.1%	8 15.4%	12 15.8%	14 12.4%	38 17.4%	66 16.7%	1 10.0%	141 15.9%
ホームスティ（家庭での宿泊受け入れ）の体制の充実	1 50.0%	3 16.7%	10 19.2%	9 11.8%	8 7.1%	12 5.5%	29 7.3%	0 0.0%	72 8.1%
町内や近隣に居住する在日外国人との交流機会の充実	1 50.0%	3 16.7%	4 7.7%	17 22.4%	20 17.7%	38 17.4%	59 14.9%	1 10.0%	143 16.2%
国際的な会議やイベントなどを誘致・開催	0 0.0%	3 16.7%	2 3.8%	5 6.6%	13 11.5%	13 5.9%	19 4.8%	0 0.0%	55 6.2%
外国人向けのガイドブックや案内板などの整備	0 0.0%	10 55.6%	20 38.5%	20 26.3%	45 39.8%	75 34.2%	91 23.0%	1 10.0%	262 29.6%
企業や民間による海外との経済交流の強化の推進	1 50.0%	2 11.1%	5 9.6%	9 11.8%	14 12.4%	19 8.7%	26 6.6%	1 10.0%	77 8.7%
その他	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.3%	1 0.9%	6 2.7%	10 2.5%	1 10.0%	20 2.3%
無回答	0 0.0%	0 0.0%	4 7.7%	5 6.6%	7 6.2%	31 14.2%	134 33.9%	5 50.0%	186 21.0%
回答者数	2 100.0%	18 100.0%	52 100.0%	76 100.0%	113 100.0%	219 100.0%	395 100.0%	10 100.0%	885 100.0%

その他の回答内容

・国際化無理。現状維持。
・背伸びせず分相応の取り組みを。
・英語がしゃべれる町に。もっと身近に思えるように。続けることが大事なのでゆるーく長く英会話が身につくといいです。２０代、３０代を特に強化。
・４千人未満の町でこんなこと考える必要なし。
・駅からバスに乗るのに不便そう。けっこう上川駅に外国人が来ているので、ちゃんと整備してください。案内標示、観光案内の人を置くとか。数年したら商業、工業の次の世代がいなくなります。せっかく高校あるのだから、町内で働くように町も一生懸命になって。
・国外向けガイドの積極性。
・「2」で学習した事を活用出来る場や活動を企画する。
・上川町に移住して来れるように色々環境を整えてほしい。
・今まで行ってきた事を統括し、何が必要か考えるべき。
・ロッキーマウンテンとの姉妹提携をやめてヨーロッパに学ぶ。
・外人を見たときの態度を改める。とてもウェルカムではない。
・あまり外国人が多くなることを望まない。

前回調査との比較



（１９）他地域との関わり

まちづくりを進めるうえで、他地域との関わりがますます重要な時代になってきています。上川町は今後、どこの地域との関わりを強めていくことが望ましいと思いますか。

（３つ選択し、望ましい順に枠内へ番号をお書きください。）

１．旭川市との結びつきを強める
２．旭川圏１市８ 町との結びつきを強める
３．滝上町や遠軽町、北見市、上士幌町など近隣の町村との結び付きを強める
４．道北地域全体の市町村との結びつきを強める
５．札幌圏との結び付きを強める
６．東京・大阪・名古屋など都市圏との結び付きを強める
７．姉妹友好都市など海外との交流を活発にする
８．その他（　　）

望ましいと思う選択肢の番号を３つ選んで順に記入してください

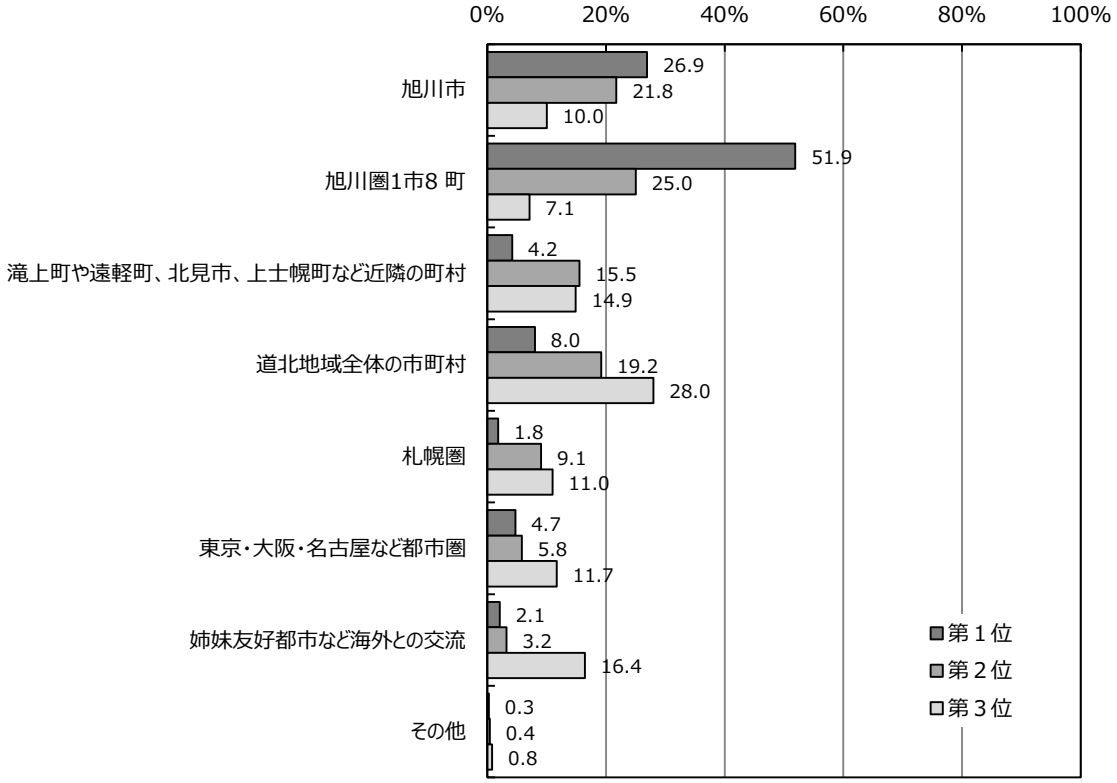
１位	２位	３位

今後、関わりを強めていくことが望ましい地域（複数回答）について、第１ 位の占める割合が高いものは、「旭川圏 1 市 8 町との結びつきを強める」が 51.9%で最も多く、次いで「旭川市との結びつきを強める」が 26.9%となっている。

１～３位までをポイント換算※すると、「旭川圏１ 市８ 町との結びつきを強める」が最も多く全ポイントの 35.8%である。次いで「旭川市との結びつきを強める」が同 22.5%、「道北地域全体の市町村との結び付きを強める」が同 15.0%となっている。

１～３位までの合計回答数に対する割合を前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

※ポイント換算：１位を３ポイント、２位を２ポイント、３位を１ポイント、順位なしを２ポイントとして換算



	第１位		第２位		第３位	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
旭川市	205	26.9%	161	21.8%	72	10.0%
旭川圏１市８ 町	395	51.9%	185	25.0%	51	7.1%
滝上町や遠軽町、北見市、上士幌町など近隣の町村	32	4.2%	115	15.5%	107	14.9%
道北地域全体の市町村	61	8.0%	142	19.2%	201	28.0%
札幌圏	14	1.8%	67	9.1%	79	11.0%
東京・大阪・名古屋など都市圏	36	4.7%	43	5.8%	84	11.7%
姉妹友好都市など海外との交流	16	2.1%	24	3.2%	118	16.4%
その他	2	0.3%	3	0.4%	6	0.8%
合計	761	100.0%	740	100.0%	718	100.0%

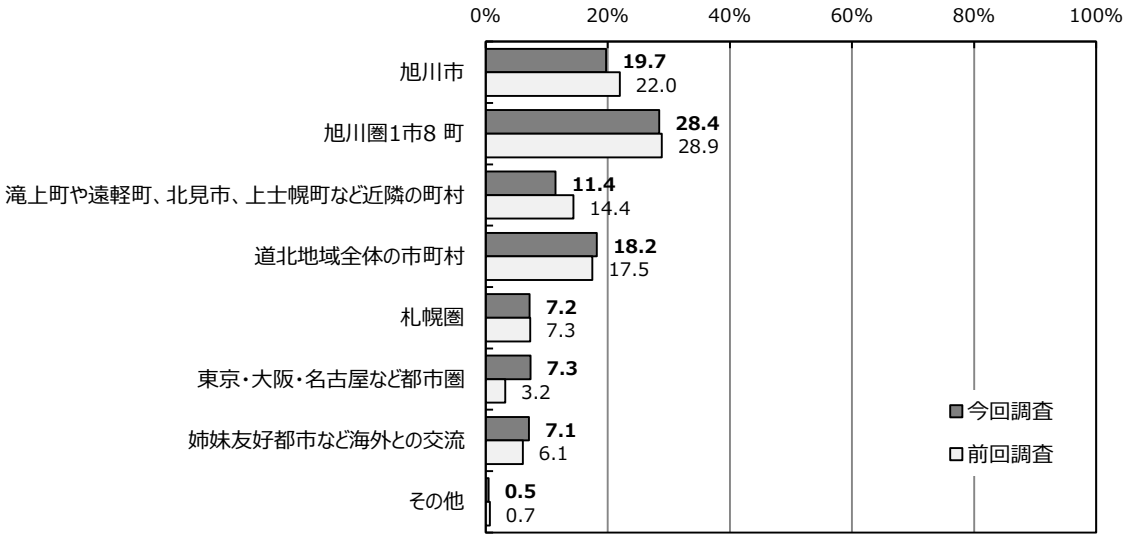
	順位なし		１位～３位の合計		ポイント換算	
	回答数	構成比	回答数	構成比	ポイント	構成比
旭川市	7	21.2%	438	19.7%	1,023	22.5%
旭川圏１市８ 町	11	33.3%	631	28.4%	1,628	35.8%
滝上町や遠軽町、北見市、上士幌町など近隣の町村	2	6.1%	254	11.4%	437	9.6%
道北地域全体の市町村	6	18.2%	404	18.2%	680	15.0%
札幌圏	2	6.1%	160	7.2%	259	5.7%
東京・大阪・名古屋など都市圏	1	3.0%	163	7.3%	280	6.2%
姉妹友好都市など海外との交流	2	6.1%	158	7.1%	218	4.8%
その他	2	6.1%	11	0.5%	22	0.5%
合計	33	100.0%	2,219	100.0%	4,547	100.0%

※ポイント換算：１位を３ポイント、２位を２ポイント、３位を１ポイント、順位なしを２ポイントとして換算

その他の回答内容

・大雪山国立公園を行政区域に持つ市町村。
・働きかけて失敗するより、見守っていた方が良い。
・北見、十勝。
・近隣町で方向性を再検討する。
・連携の出来る町と結び付きを強める（課題別に）。
・同じ国立公園やロープウェイを持つ東川町との交流。
・国内に友好姉妹都、市、町、村を求める。
・都市に頼るのではなく、個性のある町づくり。

前回調査との比較



※1 位～3 位の合計値で比較

（２０）結びつくことが望ましい分野

「関わりを強めていくことが望ましい地域」とどの分野で結びつくことが重要だと考えていますか。（３つ選択し、望ましい順に枠内へ番号をお書きください。）

１．保健医療・介護福祉分野	２．ゴミ・し尿処理等の環境分野
３．保育・教育分野	４．消防・防災分野
５．観光・産業経済分野	６．その他（　　）

望ましいと思う選択肢の番号を３つ選んで順に記入してください

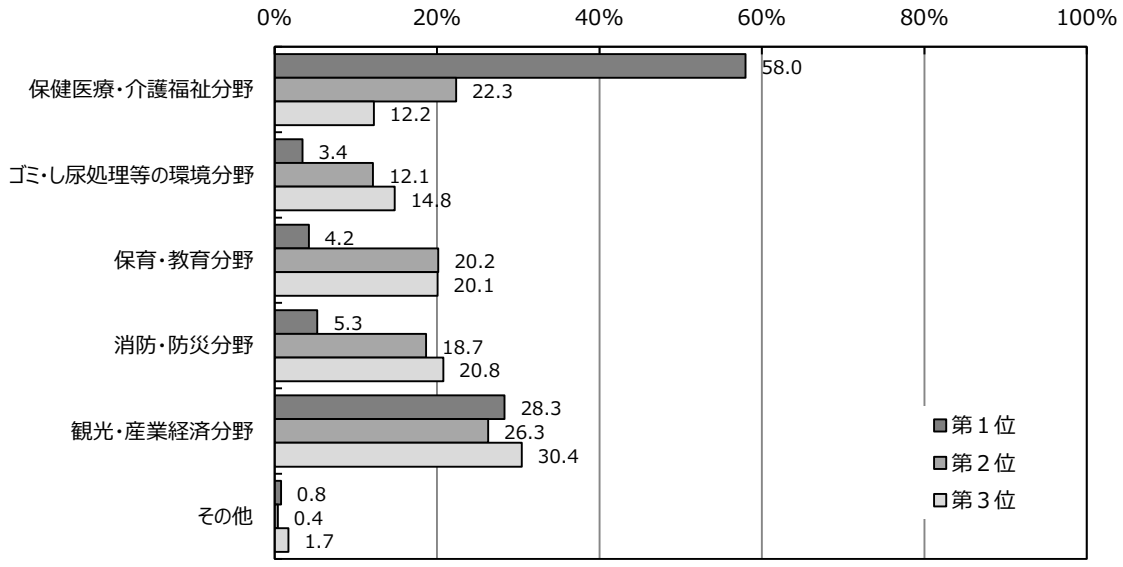
１位	２位	３位

関わりを強めていくことが望ましい地域との結びつきを強めるべき分野（複数回答）について、第１ 位の占める割合が高いものは、「保健医療・介護福祉分野」が 58.0％で最も高く、次いで「観光・産業経済分野」が 28.3％となっている。

１～３位までをポイント換算※すると、「保健医療・介護福祉分野」が最も多く全ポイントの 38.8％である。次いで「観光・産業経済分野」が同 27.9％、「消防・防災分野」が同 12.1％、「保育・教育分野」が同 12.1％となっている。

１～３位までの合計回答数に対する割合を前回調査と比較すると、「消防・防災分野」が前回から８ポイント上回っているほかは、大きな変化がみられない。

※ポイント換算：１位を３ポイント、２位を２ポイント、３位を１ポイント、順位なしを２ポイントとして換算



	第１位		第２位		第３位	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
保健医療・介護福祉分野	440	58.0%	164	22.3%	86	12.2%
ゴミ・し尿処理等の環境分野	26	3.4%	89	12.1%	104	14.8%
保育・教育分野	32	4.2%	148	20.2%	141	20.1%
消防・防災分野	40	5.3%	137	18.7%	146	20.8%
観光・産業経済分野	215	28.3%	193	26.3%	214	30.4%
その他	6	0.8%	3	0.4%	12	1.7%
合計	759	100.0%	734	100.0%	703	100.0%

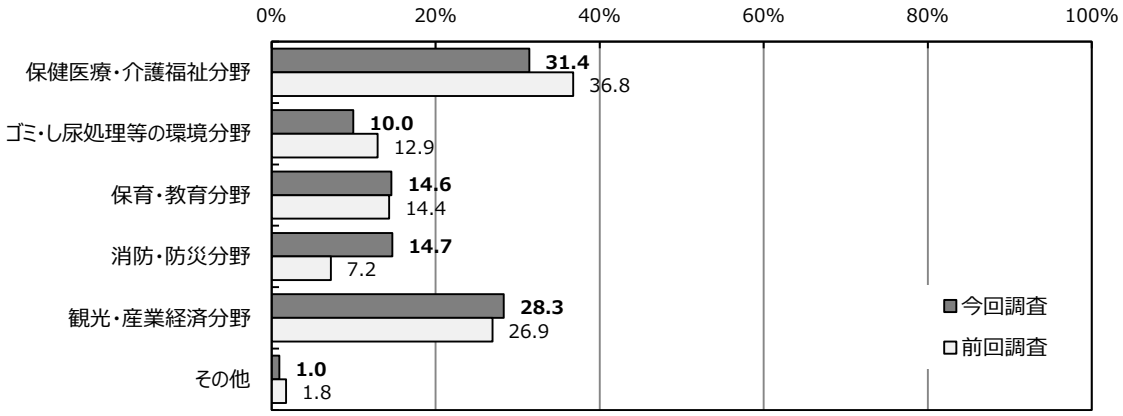
	順位なし		１位～３位の合計		ポイント換算	
	回答数	構成比	回答数	構成比	ポイント	構成比
保健医療・介護福祉分野	7	24.1%	690	31.4%	1,748	38.8%
ゴミ・し尿処理等の環境分野	7	24.1%	219	10.0%	374	8.3%
保育・教育分野	3	10.3%	321	14.6%	539	12.0%
消防・防災分野	3	10.3%	323	14.7%	546	12.1%
観光・産業経済分野	6	20.7%	622	28.3%	1,257	27.9%
その他	3	10.3%	21	1.0%	42	0.9%
合計	29	100.0%	2,196	100.0%	4,506	100.0%

※ポイント換算：１位を３ポイント、２位を２ポイント、３位を１ポイント、順位なしを２ポイントとして換算

その他の回答内容

・農畜産物の販売、提供。
・地域性を活かした政策への提言。
・大雪山国立公園の保全や活用、整備など。
・雇用の場の拡大。
・青少年の交流。
・産業誘致
・全般。(2)
・都市との関わり無くては残れない分野は関係する。
・人を集める戦略。
・現状で良好です。
・子供の交流（文化、スポーツ)。
・労働環境の整備。
・移住か別荘地。
・情報、ＩＴ分野。

前回調査との比較



※1 位～3 位の合計値で比較

4　まちづくりについてのアイディアや意見

○まちづくりについてのアイディアや意見については、項目別にまとめています。意見等が複数の項目について記載されている場合は、項目ごとに内容を分割しています。
○個人・団体が特定される意見などについては、掲載をいたしておりません。
※凡例　　・自由意見内容＜居住地区，年代，番号（項目が複数の場合）＞

（1）保健・医療・福祉

高齢者福祉

・ディサービスなどに園芸療法を取り入れてください（アシスタント参加可能です）。＜市街地（東地区），60 代②＞
・福祉の一体化。老健、特養、グループホーム、社協等、高齢化社会に対応するため、町営を社協が経営しては？＜市街地（北地区），70 歳以上②＞
・人はひとりでは一刻も生きていけないはずなのに、何故か年齢を重ねる毎に自己中心的な足跡を振り返ってばかりいる、愚の骨頂な生き方を反省すべき生き物である。性別や年齢にとらわれず、己の一日一日を他人とのふれあい。社会と言う輪の中で楽しく生きて行き度いとする者です。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・年齢を重ねれば重ねるほど、自分の住んでいる場所に愛着を感じ、住み続けられることを強く望むもの。年をとり、病気になって一人であればなおさら心細く、知らない街には行きたくないもの。高齢者同士がプライバシーを保ちつつ、寄り添って生活ができるケア付き集合住宅が必要と思う。＜市街地（西地区），50 代＞
・現在の民生委員さんがもう少し活発に活動してほしい。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・人口減で現状維持も大変なことと思います。いろいろ手を広げるよりも、今、上川町民に安心してやさしい町であるだけで十分です。福祉のことで言わせてもらえれば、元気だ会の開催も良いことと思いますが、その会場にも行かれない気分の高齢者にお弁当でも配る方がよっぽど元気だ会でないでしょうか。不公平が一番よくないと思います。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・グループホーム、集合住宅が出来れば良い。一人暮らしなので倒れた時にどうするか。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・高齢者に無料タクシー券等。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・福祉優先のまちづくり。＜市街地（西地区），60 代＞
・独居高齢者で認知症の方が安心して生活できる環境が必要。できるだけ自宅で生活できるよう、24h 体制で対応できるサービスがあるといいと思います。＜市街地（東地区），40 代＞
・高齢化に対応出来る町政を。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・高齢者福祉に対する強化を願います（所得に関係なく）。除雪や雪下ろし等。医療機関への交通費補助等。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・皆が協力しあうことが大切だと思います。上川は何をやっても長続きしません。もう少し福祉の方に力を入れてほしい（上川は老人世帯が多いので）。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

子育て支援

・町内の商店街と子供達、子育て世代へ支援するのが今一番町が活性するはず。税金の使い方を間違えないでほしい。＜市街地（東地区），40 代②＞

・子育て支援も 3 人目？2 人目？から補助が出るなど、もっと町内にも目を向けては？と思うことが多いです。＜市街地（西地区），30 代③＞

・子を持つ両親が安心して就労（共稼ぎ）出来る形を作ってあげるのも良いかと。＜市街地（東地区），60 代＞

その他

・医療センターを新しくし、明るい雰囲気が好ましく思う。＜市街地（東地区），60 代＞

・上川町にも授産施設（精神、身体共）があるといいと思う。＜市街地（北地区），50 代＞

（2）生活環境

移住定住対策

・上川町も人口が減り、とても寂しい町になりました。もっと住民を増やして活気づいた明るい町をつくってほしいです。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

・高齢になり、つい町政に対する期待や甘えが生じていますが、最も重要なのは子供や若い世代の生活環境や希望だと思います。そこに力を注げば各世代が納得するのだと思います。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・他から入ってきた人がいても公営住宅、民間含めてパッと住めるようにしたら良いです。若者、子育て世代がすぐに住めるようにしたら良いです。役場の人に公営住宅の空きの話（もったいない）という話をしても、国から言われて決まっているからとかで、そうしたらどうしたらいいの？やる気あるの？町民に家まわりを美しくして町外から来た人を感心させるような町づくりをしてください。とにかくぶらぶら歩いて楽しい美しい町はいいと思います。＜市街地（西地区），30 代④＞

・若い女の子をもっと上川によんでほしい。＜市街地（西地区），20 代③＞

・移住の促進。＜市街地（西地区），70 歳以上③＞

・子供達が上川町に定住や将来Ｕターン定住できる、子育て家族や定年後の安住の地に選んでもらえる（人口が減らない）、外国や他域からの移住者が増える（人口増加）を目指せる上川町を繁栄する上川町を望みます。＜市街地（北地区），60 代＞

・居住地の充実（赤平市市外移住者 5 年助成など）。都市部の方が自然へのあこがれ、移住支援。旭川から車で 40 分、大自然、人柄の良い風土。＜市街地（西地区），40 代＞

・人口が減っていく中で、他の町で増えている所を参考に移住が出来る環境を作ってほしいと思います。このままではもったいないと思います。＜市街地（西地区），60 代＞

・失敗しても良いと思いますので、まだどこもやっていない斬新的な移住者増加の企画を期待しています。＜市街地（東地区），30 代＞

街並み

・役場、商工会、観光協会など町づくりのために尽力されている様子が素晴らしい。軽井沢やカナダの町の景観を参考に大胆な変革をしてみてはどうか。他から移住したくなるような町並みにする。＜市街地（東地区），40 代＞

・小高い緑の山々に囲まれた盆地形の町は全国にあまりないと思う。町内には空き地が多く見られ木を植えていけば上川町は森の中の町になり、お伽の国のようになるのではないかな。＜市街地（北地区），70 歳以上＞

防犯・防災対策

・防犯、電信柱の近くの木を伐り、夜明るくしてください。高校前あたりからの電柱が少ないくて暗い。＜市街地（東地区），40 代＞

・夜の突然の停電でビックリと同時に何が原因で消えたのかわからず一人で住んでいる人にとって怖い思いをしました。その時にはどうか役場の職員さんでも消防の方でも放送してまわってほしいです、原因について。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・上川町も災害の発生が多い町だと思います。近隣町でも防災無線を活用している町もあります。上川も取り入れてはどうですか。＜市街地（東地区），60 代＞

（3）産業

企業、商店誘致・雇用確保

・働く職場があって、若い人たちがとどまってくれたりとか、高齢化率を少しでも上げないということを考えていかないと大変なことになります。皆で考えていきましょう。＜市街地（西地区），50 代＞

・人口増を見込めるような企業（専門学校、大学等も含めた）の誘致を望みます。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・まちづくりとはちょっと違いますが、町の飲食店の高齢化が進んでいるのが心配です。後継者がいないと思われるので、店を閉める所がここ数年で軒並みあると思います。町外から呼ぶとか（支援して）考えていかないとさらに人口減につながると思います。対策を望みます。＜市街地（東地区），40 代＞

・ドラッグストアがあると、日常の買い物や急な体調不良に便利だと思います（ツルハやサツドラなど）。＜市街地（北地区），20 代③＞

・昔は林業会社、営林署、人口も多く、良い所でしたが、今は淋しい気持ちもしますがなんとか元気な町にして、皆でもり上げていきたいし、協力して一人でも人口を多くしたい。がんばってください。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・娯楽施設。＜市街地（東地区），60 代＞

・上川町内に温泉があれば良いと思います（駅に足湯とか）。＜市街地（西地区），40 代＞

・もう少し安く買物が出来る商店が出来たら上川にとって良いと思います。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・どんな方でも働く事ができると良いと思います。子育ての最中の方でも働けたり、障がいのある方が働けるような環境を作れたらステキだと思います。そして少しでも税金を納める事ができれば本当に良いと思います。＜市街地（東地区），40 代＞

・もっと日中にやってる飲食店を増やしてほしい。＜市街地（西地区），20 代②＞

・上川町の人口は毎月の様に減少しています。どこの町でも高齢化していますが、我が町は観光、大雪の森ガーデン、酒蔵と立派な企業があります。若い人達を採用して若者が安心して生活が出来る環境を作って下さい。＜市街地（西地区），60 代＞

・企業が少ない為、誘致してでも企業が必要。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・上川町の町づくりをするためにも若い世代が必要だと思います。後期高齢者が進む中で人口が減少し若者が働く職場がないため、町を離れなければならない状況だと思います。若者が安心して生活できる環境整備が必要と思います。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・企業誘致など、町全体が豊かになって町民に還元してゆとりのある老後生活＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・若者が働ける環境をつくることが課題だと思います。＜市街地（西地区），60 代＞
・1．少子高齢化が進む中、若者雇用の場を創出することが急務であります。2．雪国の雪利用産業を計ることが課題です。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・人口減少対策、雇用を生む企業誘致。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・上川町には魅力ある物産が多いので、それらを一元的に手に入れることができるとともに、飲食ができるおしゃれな施設（カフェなど）を国道沿いか、駅前か、層雲峡につくってほしい。＜市街地（東地区），40 代＞

販路拡大・産業発展

・物資不足であるが、生産性があるので智恵を活かし、流通のある町に。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・新しい物・事を取り入れるばかりではなく、町内既存の物・事を大切に育て、活用し、大自然と共に町内外にＰＲする。町内生産物の販売・販路拡大に町が積極的に関与しても良いのではないか。＜市街地（北地区），60 代＞
・自然エネルギーを町民に還元する仕組みを考えられてはどうでしょう。＜農村地域，60 代＞
・今有る産業を活かし発展させるべき。＜市街地（西地区），60 代②＞
・農商観の協調をもっと強くし、町民全員で町の振興を行っては。行政がパイプ役として生かされていないのでは。＜市街地（北地区），60 代＞
・農業、林業の産物と商工業による加工品、または木工品を機能的に結び付けたものづくりの発想。さらには観光事業（一部はみやげ品販売等）へと繋いでいく考えはいかがでしょう。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・上川町には加工施設がないので（山ろくの四季くらい？）一つでもつくるべきだと思う。味豚を加工、大雪高原牛を加工、野菜を何か加工する工場があれば雇用も生まれ、それに直結したレストランなどもあれば客を呼べると思う。＜市街地（東地区），30 代②＞
・地酒、、良いと思います。地熱発電に期待しています。＜層雲峡，50 代＞

観光対策

・層雲峡や旭ケ丘だけでなく何か町内にも名物、足を運んだり遊べる場所（温楽など）があったらと思う。＜市街地（北地区），50 代＞
・層雲峡、上川町ともおもてなし力をもっとつけるべき。せっかくの観光客に「つまらない町」と思われぬよう、もっと整備（散策ルート、ツアー）をつくるべきです。＜市街地（北地区），40 代②＞
・観光情報、イベント情報をもっとネットなどに配信したらいいと思う。＜層雲峡，20 代＞
・上川の特色を生かしたまちづくり。上川でしか体験できないことを観光に生かす。海外インバウンドの方が来やすい環境、外国語対応、現地へのアピール。ふるさと納税を魅力的な内容に

して町税の向上を図る。＜市街地（北地区），40 代＞

・上川町のこれといった地産物とかそれを活かしたものをつくったり、観光客が来ても層雲峡で時間をもてあます人が多く、旭ケ丘とかは観光バスが行く事もほとんどないと思う、層雲峡で仕事していてよくお客様に言われることです。＜市街地（東地区），60 代＞

・「東雲小の利用」本州や東北に向けて夏休みを利用した合宿、ステイの案内をする。管理、清掃予約は町内ホテルなどに委託。お風呂もつける。登山、ファームステイ、ちょこっと暮らしなど 1 年の半分でも人口が増えるような仕組みづくり。＜市街地（北地区），30 代＞

道の駅整備

・他の地域には道の駅がありますが、上川町にはありません。活性を図るためには道の駅が必要だと思います。ぜひ実行してください。＜市街地（西地区），60 代＞

・駅前で農産物販売をしたらいいと思います。上川町だけが道の駅が無いのはおかしいと思います。ぜひ道の駅をつくってもらいたい。＜市街地（西地区），60 代＞

・北の森エリアにスーパー銭湯を併設した道の駅を作ったらかなりの集客数が望めるのでは。＜市街地（東地区），50 代＞

交流人口増加・イベント

・資源（人・もの・環境）を最大に活かし、交流人口を増加させることで、更に資源の集積できる環境づくり。とりわけ情報（ＩＴ）を活用できる（情報量の大きな情報を受発信できる）環境を早急に構築してください。＜農村地域，60 代＞

・若い人や町外の人が楽しいと思えるイベントをいろいろやって、上川町にたくさんの人に訪れてもらい、町の良さを知ってほしいと思う。＜市街地（北地区），30 代＞

・ラーメン日本一としているが、①イベントがほぼないので、月一回か常設のイベントとか、スタンプラリーがあるとよい。②場所がばらけているので、一堂に会する場があるとよい。(お祭りのときなど)③観光客に実をもってアピールできていない。目立つところに店がないので、案内板設置があればよい。＜市街地（東地区），40 代＞

・上川町に遊びにきたくなる様なイベントや独自で新しい大きなお祭りを考え、全国に知れわたる様な札幌の「よさこい」の様なイベントをやる。もっともっと魅力ある町へしてもらいたい。＜市街地（西地区），30 代＞

（４）地域環境

道路整備

・近年は旭ケ丘に重点的に力を入れているようですが、町内を見れば町道はガタガタのところがあり、上川公園は草ぼうぼう、階段は壊れている。JR やバスで来た観光客が歩いて大雪山を見ながら町内を回ることができるようにルートをつくったらいいです。また、新光町～駅側を行き来しやすくするためにも道路をつくったらいいです。線路の下を通して歩行者だけでも通れるように道路網を便利にするだけでも町民のためになると思います。町内からよく大雪山とニセイカウシュッペが見えます。この山を見ながらぐるっと町内を回れる美しい道をつくってはいかがかと思います。駅から上川公園までの道があまり美しくないので、何年かかけて、歩いて楽しい美しい道をつくってください。＜市街地（西地区），30 代②＞

・道道 640 号線（中愛別上川線）から分かれて天幕へ向かう道路の痛みが激しいです（特に上川橋から先)。舗装を直してはいかがでしょうか。＜市街地（北地区），50 代＞

・年々市街地の舗装道路の陥没箇所が多く見受けられる。非常に走りづらいです。昔、工場や家屋の廃材を道路や空地に埋めて砂利を敷いた事が所々で見受けた事があります。廃材が腐れて来る事によるところもあると思う。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・南町の陸橋をあれ程明るくするくらいなら他の旭町、西町、本町等、街灯の少ない町を明るくする必要があるのではないだろうか。あの陸橋の無駄な明るさは意味がない。団地の駐車場等、暗くて不便な場所は沢山ある。＜地区不明，無回答＞
・国道は高規格を走る人たちをどれだけ市街まで呼びよせるかが大事。結構、素通りされたり、中心地がわからない人も多いので、桜ロードか花壇等で中心地に導く仕掛けもありかな。また、看板やロードサインを変えてみるなど。＜農村地域，30 代＞
・国道沿いの看板、オフシーズンは原田さんのイラストになっているけど、かみっきーにしてほしい。ゆるキャラグランプリとかに出る割に街でかみっきーをあまり見かけないのが残念。小さな子が遊べる場と大きな子が自分で遊べる（ボールなどを使って）場をもっと増やしてほしい。町の中心部に大きな公園をつくるなど町の中に楽しいものがあるようにするべき。町内の子はそこへ行き、土日は町外の人が遊びに来る場となれば、町も発展していくと思う。＜市街地（東地区），30 代＞

除雪

・高齢者が増える中、雪はねが大きな問題と考える。家に手伝いに行く、または、夏しか仕事が無い方への仕事として少し助成金等を使用してはどうか。＜市街地（北地区），50 代②＞
・除雪について、自分が上川に来た頃（約 25 年）は旭川市よりずっと真丁寧だと思ったが、今では逆に旭川市より雑に感じる（まじめにやっているし、色々制約もあるとは思うのだが）。＜市街地（北地区），60 代＞
・冬、暖気で屋根の雪が落ちたのを片付けが 77 歳（女）になるととても大変です。そのようなときにすぐ連絡をする所、又、すぐ来て片付けてくださる手配をしていただきたい。切にお願いします。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・大雪が降った朝とか強風の時など日々心配してかけつけて来てくれるようなことで、見守られて不安を少なくして人口の流出を防ぐ。＜市街地（西地区），70 歳以上②＞

町内バス・公共交通

・車の無い人が旭ヶ丘や層雲峡温泉に行ける機会を増やしてあげてほしいです。＜市街地（北地区），40 代②＞
・後期高齢者が車を運転しなくても良い様な方法を考えてもらいたい。（例えば公共交通機関の乗車を金銭的に応援してくれる様な方法を考えてもらいたい）。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・JR やバスなど交通機関をもっと充実してほしい。＜市街地（西地区），20 代＞
・上川町在中のお年寄りが、他町から入ってきたトドックなどに頼らず上川町民は上川でお買物が出来るよう町内を一日一回でも良いので送り迎えの小さいバスなどが家の近くで乗り降り出来たら良いのにと思います。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・網走便の層雲峡乗降できるようにする等。＜層雲峡，50 代②＞
・町内のみのトロリーバスがあるといいと思います。東町大雪団地～西町、栄町ぐるりと週に 1～2 便程。町でチケット販売する。かわいく、おしゃれなバスにしたら観光客にもうけるし、買い物にきた高齢者や持ち物の多い小学生が利用するとコミュニケーションが生まれるかな？

＜地区不明，40 代＞

自然環境保全

・短期雇用で参りましたのがご縁でこちらへ。とっても自然豊かで鹿が近くにいて、おいしそうに草をムシャムシャ。心が癒されます。旭川へ行くのも旅行気分。２時間もバスに乗って景色を楽しんでいました。石狩川のせせらぎの音を聞きつつ、仕事の休憩は解放され、心のリセットになりました。こんな美しい町ですから、もっと来やすいように、また、滝とロープウェイ以外の見所（四季にあわせて又は常設）が有るといいなと思います。でも私は上川町は「何も無いの中にある、大切な何か」を感じるいい町だと思いました。＜層雲峡，30 代＞

・他町と比較して優れていることは自然環境（大雪山―空気、森のガーデン、石狩川―水・菊水・緑丘蔵、エネルギー―水力・木材燃料)、生活と人づくり（季節の変化が優れている、生活に工夫が生じる―自然とのマッチング、女子ジャンプの活躍)、以上に絞って町民意識の高揚に集中すべき方策をとる事。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

公園・花壇整備

・上川公園の整備について、実の生る公園の復活とエスポワールを主体にした周辺の整備、特に階段。＜市街地（北地区），70 歳以上＞

・大通り、駅周辺の花壇は毎年、きれいに花を咲かせ、花いっぱいの人達には、とても感謝しています。大変な作業を毎年続けて年配の方が多いと聞いています。もっとお手伝いの人が増えればいいですね。もっと町民の方も関心を持って参加することを望みます。＜市街地(東地区)，50 代＞

・子育て中ですので、夏の暑さや冬の寒さ、雪を気にせずに子供が遊べる室内遊戯施設がほしいです。＜市街地（北地区），20 代＞

・緑に囲まれたすばらしい環境なのに活かしてない。エスポワールや上川公園など放置状態？もう少しきれいにしてほしい。色々もったいないと思う。＜地区不明，40 代＞

・花いっぱいの人達で毎年種から育てた苗を町内花壇に植え、苦労はあるけど花が咲いて町内を歩くのが嬉しいです。これからも花植え続けたいです。役場の人達が手伝ってくださるので助かっています。＜市街地（北地区），60 代＞

・西町のもみじ等あまり上にのばさないようにする。＜市街地（北地区），70 歳以上＞

・２．上川公園を利用しているが、樹木の種類の多さに何日も驚いておりますが、樹木に銘板をつけてほしいと思います（昔はもっとついていたと思います)。＜市街地（東地区），60 代②＞

・大人もゆっくりできる公園などあればうれしいです。＜市街地（北地区），50 代＞

大雪の森ガーデン

・旭ヶ丘＝将来性を考えると不安であり、赤字部分は廃止すべき。＜市街地（北地区），70 歳以上③＞

・大雪の森ガーデンの長い魅力を期待いたします。他の町からもうらやましがられています。上川駅からの交通を平日の２回、１日１往復でもあると毎日が休日年代のお客様が喜ぶと思います。＜市街地（東地区），60 代＞

・大雪の森ガーデンに行く度に思う、ガーデン付近の地形を生かしたパークゴルフ場や子供の遊び場（アスレチック）などがあれば、お客も増すといつも思います。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

・せっかく旭ケ丘にガーデン園が出来たのに町民に 1000 円でシーズン券を出していますが、車の無い者は行けず困っています。週１回でも乗車できる体制を考えてほしい。切に要望します。まして、町外からバスや列車で来るにしても週１、２回の定時の時間に合わせてやるべき。ますます来園客は少なくなります。考えてみてください。＜市街地（西地区），70 歳以上㊦＞
・大雪森のガーデン地区に他の施設を作り、活性化を。例えば果樹園（ブドウ、ハスカップ等でワインを作る）、乗馬体験施設。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・旭ケ丘の事業を早期撤退して税金の無駄使いをやめて、本当に必要な事に対して力を入れるべき。旭ケ丘の事業はこれからの若い世代の足かせになるのは明らかであり、すぐに撤退すべきである。＜市街地（東地区），40 代＞
・まちづくりと関係ありませんが、要望として、旭ヶ丘ガーデンのチケット買っても交通の不便がありハイヤーまで利用するにもいかず、週 1 回でも町よりバスを利用させて頂けましたら幸いと思います。お願い致します。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・ガーデンのイベントで得をしたのは○○さんだけでは？少しだけ知名度アップと短期間の雇用促進だけだったと思う。＜市街地（東地区），70 歳以上②＞
・森のガーデン整備も良いのですが、広げず現状維持できれいに花がいつでも咲いてるとお客さんが来ます。高規格おりた所の看板が小さいので矢印を大きくする。ナビで迷うのですぐにお願いしたい。早くふれあいセンターが街中に来ると親切だと思います。アップダウンはどなたが考えたのでしょう。富田ファーム、美瑛の感じだとぜったい赤字にはならなかったと思います。＜市街地（東地区），50 代＞
・旭ケ丘地区の自然を生かした開発はいいのですが、農林業、観光業、自然保護、文化団体等の意見を十分取り入れ、なるべく自然を生かした開発にしてほしい。高齢者の運転免許返納が増えています。乗り合いバス等対策を考えるべきです。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

公衆浴場整備

・層雲峡に黒岳の湯がありますが、上川町内にお金を出してもいいから普通の銭湯がほしいです。鶴の湯に役場から一度でも見学に行ったことがありますか？あれは昭和以前の風呂屋です。＜市街地（北地区），60 代＞
・いくら無料券を配布してもお年寄りは黒岳の湯まで行けない。愛別、比布、当麻の様に施設のバスを利用出来れば銭湯にも行きやすいし、近場にあれば利便性あり。＜市街地（東地区），50 代②＞
・上川町に温泉設置する事、早急にお願い致したいです。長年温泉のある生活していたものには痛切に感じてます。町の中心地に設備してくだって料金も 600 円ではなく低料金で毎日入浴できるようになると町の医療費も低くなり、温泉の効能はすばらしいです。是非とも早急設置希望を切に願います。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

施設整備方針全般

・新しい建物を建てるより、今あるものを有効活用すべきだと思います。町で色々な活動や整備をしているが、なかなかニーズと合っていないことが多い。＜市街地（北地区），40 代＞
・一つの所で公共施設や休務所、スポーツが出来る所があればいいですね。＜市街地（東地区），60 代＞

（5）教育・文化・スポーツ

教育・教育施設整備

・学校のプール、着替え室を改装して、個室のシャワー室を作ってほしい。愛別町のプールがとてもうらやましい。＜市街地（東地区），30 代＞

・少子化対策教育は怠ってはいけません。ここで育て住みたい町にしなければなりません。＜市街地（北地区），40 代③＞

・すばらしい大雪山があるので、小中学生にはその教育、郷土の教育してますか？小学校から山が見えるので。＜市街地（西地区），30 代⑥＞

・上川高校の学科を普通科だけでなく、農業科（上川町の農業）、観光科（層雲峡やガーデン）、調理科（ラーメン）などを増やして上川町で働ける資格などがとれるようにしてはどうか。＜市街地（東地区），30 代③＞

・現下、本町が人口減少と高齢化がますます急進するなか、同様の過疎地音威子府村は特色ある村立工芸高校を有効活用して若者を呼び込み、活性化に努めている。経営的には苦労があろうが継続は力なりで小さくとも「キラリと光る」特色を生みだしており、全国から人を集める意味で何か参考になるのではないか。＜市街地（東地区），無回答＞

・子供は地域社会の宝です。子供の育成、教育については「100 年の大計」と考え、目先の予算や施策ではなく、上川町、ひいては日本を担う上川の子がいきいきと学ぶために必要な予算、情報、保護など温かい支援のある町づくりをお願いしたいと考えます。＜市街地（西地区），40 代＞

スポーツ活性化・スポーツ施設整備

・ジャンプ大国の町にすべき、チャンス。＜市街地（北地区），60 代＞

・ちなみに栄町ゴルフ場、拡大して大変ありがたく、健康につながると良い。＜市街地（西地区），70 歳以上②＞

・野球って何か町民にプラスですか？野球は仕事に活きていますか？（活きているならいいですけど）朝野球でヘトヘトになって仕事に影響はないですか？もう少し朝野球くらい仕事で活き活きする姿をみたいです。＜市街地（北地区），40 代③＞

・スキー場の建設＜市街地（西地区），70 歳以上②＞

・特徴ある冬季スポーツ施設等で上川町を全国にアピール。＜市街地（西地区），70 歳以上②＞

若者の施設利用・整備

・若者が楽しく過ごせるような施設をつくってほしいです。月曜日になると町の公共の施設が休んでしまうので一気に休むのではなく、日にちをずらしてほしいです。外国人や観光客の人に上川町に来てよかった、楽しかったって言ってもらえるような町にしてほしい。＜市街地（北地区），20 代＞

・子供へ、児童館の整備→かみんぐを利用して。＜市街地（北地区），40 代③＞

（6）町民との協働

まちづくり参画

・若い者が上川のために意見したり、何か立ち上げたりして頑張っているのを年配の方が鼻で笑うようにしたり、代替案も無しに批判ばかりするのは良くないと思います。若い芽をつぶすこ

となく、のびのびと意見できる環境ができると良いと思います。＜市街地（東地区），40 代＞
・役場や観光協会が先頭に立って、しっかり皆を引っ張っていってほしいです。子どもとお年寄りがもっと共有できる場所などあったらいいです。＜市街地（北地区），40 代＞
・ボランティアに興味があるが、具体的でないのでよく分からず参加できない。例えば Yes. No. 方式で週一ぐらい手伝える→Yes→No など、具体的に自分に合った方式で、適したものは何か分かる形式で教えていただけると、もっと参加しやすいのでは？＜市街地（東地区），50 代＞
・上川町民は（一部の人）頑張ってる人がいるのですが、無関心の人も多いです。＜市街地（東地区），50 代②＞
・地方からの人口大量流入時代に生きるためにつちかったのか？本音と建て前を使い分けるすべが未だに残ってるようだ。町民憲章の基本的ルールが理解できない。自分だけの勝手な発想で行動発言者が多いのではと思う。行政担当者は大変だと思っている。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・自分が得意な事や希望することに参加して町民としての自覚を持てる企画があれば更に発展することになると考えます。具体的でなくてすみません。＜市街地（東地区），50 代＞
・様々な分野において個人情報が漏れすぎ。上川町の将来性がはっきりしない。町に対して町民が無関心。「出る杭は打たれる」的な体質。排他的。＜市街地（北地区），30 代＞
・「まちづくり」の再編成を本気で行わなければならない時期、時代だと思います。教育と観光と生涯教育が結びつくこと。やりがい、生きがいを見つけ誇りとなる持続性のある活動を生みだしていくこと。熱を持っている人間を中心に置かなければならないと思います。＜市街地（北地区），40 代＞
・43 年続いたボランティア団体が解散したり、町内最後の商店会が廃止の危機になっていたり、今年は不幸なことが重なっておりますので、元気の出ることを考えてください。＜市街地（北地区），60 代＞
・上川のまちづくりは大変難しいと考えます。その理由はそれぞれに皆さんの考えが固定的で否定的な方が多いように思うからです。ですからそれらを力強くけん引し、統率力のある方が出ない限りは「中倒れ」になる事が感じます。＜市街地（東地区），60 代＞

町民との意見交換

・小さな声にも耳を傾ける（議員さんの仕事だと思うけど、今の議員さんは自分のことばかりだと思うのです）。役場での対応の教育。住む人が良い町と思わない限り、他の人へのやさしさは生まれないと思うのです。見た目のまちづくりではなく、心のまちづくりが大切だと思う。＜地区不明，60 代＞
・町長が自ら町民と汗を流し、交流を高めることで…そこからアイディアが生まれるのでは？農家で汗水流して働いている人は、アイディアの持ち主ですよ。＜市街地（東地区），60 代＞
・出席が少ないと思いますが、まちづくり懇談会を多く開いてほしい。＜市街地（東地区），50 代＞
・担当課の職員の方や町議の方が各町内を訪れて住民の悩みや要望を聞く事が大切と思います。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・町の長である町長がまず町内を御自分の足で歩いてみてください。旭ヶ丘での事業も大切ですが、あまりにも足下がなおざり過ぎると感じています。町長の目線を町民レベルまで下げてい

ただくと、色々な部分が見えてくるのではないでしょうか。＜市街地（北地区），50 代＞

・「都民ファースト」という言葉が多々聞かれるようになり、地方自治、行政の核心をついたものだと感心しました。町づくりは誰のために、どんなベネフィットを求めて行うものなのか上川町は改めて真摯に考えていかなければならないと思います。町民の幸せとは何なのか。立派な器が出来ても、それが一部の人の利益にしかなっていないとしたら、「町づくり」の失敗策ということではないでしょうか。また役場の職員の心持ち等、行政のベースとなる部分も見直しが必要ではないかと。小さな不満であっても解決しないと、いずれは大きな問題になりうることを思慮に欠ける職員には反省し、町民のための仕事をこなしてほしいと思います。＜市街地（北地区），60 代＞

・まちづくりについて行政と議会の議論が不十分では。赤、黒の議論ばかりではなく、将来に花開く種をつくる為には予算が必要。＜市街地（東地区），60 代＞

情報発信

・情報発信等について、高齢者にも理解しやすい方法などをもっと多くした方が、より良いと日頃思っています。＜市街地（西地区），60 代＞

・町民は行政がどんな動きをしているか知りたいと思います。どんなことに取り組んでいるのか、広告で知らせてほしいと思います。文、多いと面倒なので短くていいですが。「〇〇課～グループ〇〇について動いています」など。また、町民の意見をその場で求めてもいいと思います。さて上川町は今、危機的な状況だと思いますが、職員の方はどう思われているのでしょうか？中心に対策を考える課以外にも全部署人口について無関係のところはないと思います。各部署からも改善策を考えるべきです。上川町はどんな暮らしをできる町なのでしょうか？それが上川町の柱となるテーマだと思います。それを原点に今回のアンケートは各論であり、自ずと答えが出るのではないでしょうか？でもそれを町民に伝え続けなければ浸透しません。人口は減っても一人一人利益を生み出せる仕事が出来るようにしなければなりません。小さくても活気があるといいです（今はありませんが）。枠の中だけで考えないで広い視点を持てるよう職員さんを育ててほしいです。最後に職員さんと町民がもっと対話できる機会があるといいです。＜市街地（北地区），40 代②＞

・役場の職員多い気もします。町と結びつきが弱い気がするので、もっと国立公園の町としていろんな案内つくって PR すべきです。環境省や近くの町を合わせて、愛山渓も人気なのに町と結びつかない。＜市街地（西地区），30 代⑤＞

・各家庭（独居老人、高齢者）にインターネットを利用した有線放送設備を設置し、町内の情報（ゴミの日、イベント、ニュース等）を 1 日 1 回流す。放送を確認したらボタンを押すと安否確認をとれるシステムを作る。＜市街地（北地区），50 代＞

・田舎ほど情報発信が大事。全家庭でのネット化を進め、行政と家庭間の情報交換をすべき。上川町も HP だけでなく、観光の見所やマル秘スポット情報を動画で全国配信すべき。できれば週一くらいで番組を変える。＜市街地（北地区），50 代＞

コミュニティ

・少子高齢化がより一層進む中にあって、世代間交流を図り、互いに助け合える町（社会・地域）づくりを目指してほしい。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

・安心、安全なまちづくりを希望します。そのためには多くの人が色々なことに関わるべきであ

る。＜市街地（東地区），60 代＞
・当町に住んで 50 年以上になりますが、来て 2 日目でとてもいやな目にあってから、どうしてもこの町が好きになれないでいます。その為、住みづらい町のイメージしか私にはありません。アンケートも協力的にはならなかったかもしれません。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・困った人を助けてほしい。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・人がいなければ町ではありません。出身者、関係者など人を活用し、人との関わりが持てる町に。＜市街地（西地区），50 代＞
・上川町に越してきてとてもよかったと思います。子育て支援のあたたかさや人々のご親切に甘えて、今はとても安心しています。ひとつ、越して来るまでの半年間、様々な問い合わせを役場にしましたが、「わからない。」「自分でお調べください。」「把握してません。」が多くて困りました。この対応を改善すればもっと若い人もこの自然豊かでやさしい町にもっと来たいと思うはずです。町民、皆でがんばりましょう。＜市街地（北地区），30 代＞
・町外から引っ越してきて数日ですが、人の温かさ、対応の早さに驚いています。人の温かさにふれると自分も何か町の為に出来る事をしたいという思いにもなりました。町のことはまだ良くわかりませんが、この温かなネットワークをいかした人材育成や町づくりに期待しています。＜市街地（東地区），30 代＞
・目立たないけれど身を粉にして町内会のため頑張っている人を大切に。＜市街地（北地区），70 歳以上②＞
・転勤族であり、約 1 年半生活していて、町民の礼儀正しさ（挨拶）がすばらしいと感じています。＜市街地（北地区），60 代＞

（7）まちづくり全般、その他

まちづくり全般について

・アイディアはありませんが、一生、良き友を得て楽しい人生を送れたら最高だと思います。行政、皆さんお世話になりますが、宜しくお願い致します。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・上川町を良い町に出来るよう望みます。＜市街地（西地区），70 歳以上＞
・自分達が住む町です。大切にしたいです。高齢人口流出はどこもです。でも自分の町に誇りを持ちましょう。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・我が町はすべての面で、やや不満が丁度良い。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・人口も年々減る上川で町おこしも大変でしょうが、頑張ってください。＜市街地（西地区），60 代＞
・生涯を通してよい町に住んで良かったと思える町づくりをお願い致します。＜市街地（北地区），70 歳以上＞
・今のところ上川町は何をやってもうまくいく町ではないと思います。住民も少なくなって何もやらないほうが良いと思います。＜市街地（北地区），60 代＞
・人口減、少子化、どうにかしないとダメです。＜市街地（東地区），70 歳以上＞
・平成 20 年から平成 29 年、まちづくりを進めてきたと言いますが、具体的なことが分からない。＜農村地域，40 代＞

財政健全化

・少子高齢、人口減少が進む現実を見据え（10 年、20 年）計画構想を住民に示し、現予算を抑え、先の計画に備え、強い意志を持って進めて頂きたい。＜市街地（西地区），70 歳以上＞

・健全な財政運営を望む。＜市街地（東地区），60 代＞

・人口の増加、財政の著しい伸びは見込めないので、現状から分析して長期計画は背伸びをすべきではない。新しい取組みも必要と思うが、お金を使いすぎない事。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

本アンケート調査について

・1 つ 1 つのアンケートの選択項目が長く、意見を理解するのが大変だった。もっと選択項目を簡潔にしてアンケートをとってはどうか（今後）。このような 12 ページにもなるアンケートの経費を別に使用していただきたい。ポストに入れる必要があるのかも考えものです。＜市街地（北地区），50 代＞

・最初に書いたように、このままではこの町はお年寄りだけが幸せに暮らせる町になり、若い人はどんどん離れて行くと思います。それだけこの町に魅力がありません。企業の誘致はもちろんのこと近隣の町に住む人にも「上川町を外から見てどう思いますか？」と聞いてみてはいかがでしょうか？きっと町と町民の至らない点が見えてくるかもしれません。しっかり役場は仕事してください。＜市街地（東地区），30 代＞

・このアンケートにとっても時間をかけました。無い時間を拾いながらやりました。そうやって記入した町民の皆さんの意見はどれだけ反映されるのでしょうか？得意な分野とそうでない分野もあります。なんとなく〇をつけて多数となっているものもあるのではないでしょうか？第９次上川町総合計画は振り返り、描いた未来図に近かったですか？反省するべき点は何ですか？１０年間は長くも短くもとれます。軌道修正することはないんですか？どなたかきっときらりと光る意見を出していると思います。少数派でもそういう方の意見を取り入れて、また協力してもらってください。＜市街地（北地区），40 代＞

・６０歳以上の住民が５割を超えています。このようなアンケートをとってもまともな結果は得られないと思います。それと「問 19」は重要な問題です。このアンケートで意見を図るものではないと思います。＜市街地（東地区），60 代＞

・このアンケート自体、選択肢を何度読んでも難しいというか何を指しているのかわからない。選びにくいです。＜市街地（西地区），30 代＞

・アンケートの内容がまちづくりではなく、補助、助成金の目安としか見えない。住民が自ら何が出来るか行政は何をすべきか、今一度考えを新たにすべきでないか。行政の押し付けだけが見えるアンケートである。上川町のまちづくりは第一に行政の意識改革なくして何一つとして成功はない。住民アンケートで住民にその責任をおしつけることをまずやめる。行政の過去の統括から始めるべきだと思う。＜地区不明，70 歳以上＞

・今回は質問がたくさんありすぎ。お年寄りは大変では。質問をもっとしぼったアンケートを。＜市街地（東地区），50 代②＞

その他

・人口減が毎年進んでおり、将来が心配です。高齢化して後継者が少ない。全国的なことですが、当町として町民全体が考える時期と思います。町村合併も一つの方法と考え、積極的に進めて

ほしいと思います。＜市街地（東地区），70 歳以上＞

・町役場の机の配置＝住民と隔離（カウンター）したのは、きわめて不愉快。庁舎が不潔である、移築しては？＜市街地（北地区），70 歳以上＞